

6K

6-Channel Digital Proportional R/C System

S.BUS 2



取扱説明書

注意

- 製品をご使用前に必ず本書をお読みください。
- 本書はいつでも活用できるように大切に保管してください。

保証書について

- セットに保証書が付属しています。お買上時、保証書に販売店印とお買い上げ年月日の記入手続きをお受けください。

模型用

Futaba®

Digital Proportional R/C System

1M23N30301

このたびは **6K** T-FHSS Air-2.4GHz システムをお買い上げいただきまして
誠にありがとうございます。

ご使用の前に、この取扱説明書をお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

また、お読みになられたあとも大切に保管してください。

●リンク操作について

この 6K システムの送信機は固有の ID 番号を持っています。ペアで使用する受信機にこの ID 番号を読み込ませることにより操作が可能となります。(リンク操作) 受信機を買い足した場合や別の送信機で使用する場合、また、モデルセレクトで新規のモデルに変更した場合は、再度リンク操作が必要となります。

●受信機について

このセットに付属の受信機 R3006SB は弊社製 S.BUS サーボとの組み合わせ使用により S.BUS システムの使用が可能です。この場合、S.BUS サーボをあらかじめ CH 設定し、S.BUS サーボを HUB でまとめて S.BUS コネクタに接続し使用します。S.BUS システムと従来チャンネルの同時併用も可能です。

●テレメトリーシステムについて

この 6K システムは、双方向通信システム T-FHSS Air が搭載されています。飛行中、機体に搭載された、受信機用バッテリーの電圧を送信機へ表示することができます。また、オプションのテレメトリーセンサー(温度、回転、高度)を機体に搭載すると、機体の各情報を送信機に表示することができます。市販のイヤホンを送信機に接続するとテレメトリー情報を音声で聞くこともできます。

●モデルタイプについて

この 6K システムの送信機は、飛行機、ヘリコプター、グライダー、マルチコプター機能に対応しています。パラメーター機能内のモデルタイプ選択機能で、ご使用の機体に合わせてタイプを選択してください。

用途、輸出、改造等に関するご注意

1. 模型用以外に使用しないで下さい。

本説明書に記載されている製品は、用途が模型用に限定されております。

2. 輸出する際のご注意

(イ) 本製品を海外に輸出する場合、輸出する国の電波法で認可されていないと使用することはできません。

(ロ) 模型以外の用途で使用する場合、輸出貿易管理令で規制される場合があり、輸出許可申請等の法的手続きが必要となります。

3. 改造、調整、部品交換した場合のご注意

本製品を弊社以外で改造、調整、部品交換などの手が加えられた場合、一切の責任を負いかねますのでご了承下さい。

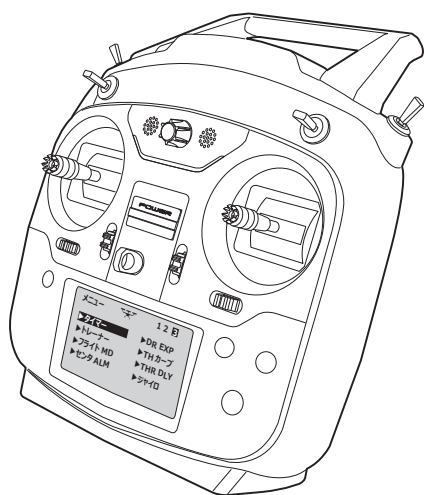
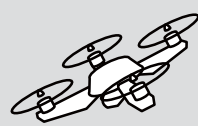
●保証についてのご注意

本製品の保証につきましては、添付の保証書に記載の保証規定にしたがって保証いたします。なお、本製品以外の機体、エンジン等につきましては保証の対象外となります。

- 本書の内容の一部または全部を無断で転載しないでください。
- 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容は万全を期して作成していますが、万一ご不明な点や誤り、記載もれなどお気づきの点がございましたら弊社までご連絡ください。
- お客様が機器を使用された結果につきましては、責任を負いかねることがございますのでご了承ください。

6K

飛行機／ヘリ／グライダー／マルチコプター用 6チャンネル
T-FHSS Air-2.4GHz方式



取扱説明書

目次

安全にお使いいただくために

●表示の意味	7
●飛行時の注意	7
●バッテリーの取扱上の注意	9
●保管・廃棄時の注意	9
●その他の注意	10

お使いになる前に

●特長	11
●セット内容	12
●システム互換表 (T6K と受信機の互換表)	12
●マルチコプター／ロボット仕様のセットについて	13
●各部の名称／取り扱い方	14
送信機	14
電池の入れ方	15
オプション充電式バッテリーについて	16
電源スイッチ	19
モニター LED	19
LCD 画面／各キー	20
LCD 画面のコントラスト調整	21
キーロック	21
スイッチの初期設定	22
スティック操作について	22
飛行機のスティック操作例	23
ヘリコプターのスティック操作例	25
マルチコプターのスティック操作例	27
デジタルトリムの取扱い	29
送信機裏面コネクター	30
スティックの長さ調整	30
スティックテンション調整	31
受信機 R3006SB	32
●送受信機のリンク操作	34
受信機電圧が表示されない場合	35
●パワーダウンモード	36
●テレメトリーシステム	37
●S.BUS について	38
●S.BUS 2 について	39

組込方法

●電源スイッチの取り付け方法	41
●サーボ接続位置	41
●受信機の搭載	44
●組込時の安全上の注意	45

初期設定 (例)

●飛行機セッティング手順例	46
●ヘリセッティング手順例	48

共通機能 (ACRO, GLIDER, HELI, MULTICOPTER)

●機能マップ	52
●機能説明		
M 外部	モデル機能	54
	●モデルセレクト	
	●RX (T-FHSS Air ⇄ S-FHSS 切替)	
	●リンク	
	●リセット	
	●コピー	
Mタイプ	モデルタイプ	57
	●ウイングタイプ (飛行機・グライダー)	
	●テールタイプ (飛行機・グライダー)	
	●スワッシュタイプ (ヘリ)	
Mネーム	モデルネーム/ユーザーネーム	60
F/S	フェイルセーフ機能	62
Eポイント	エンドポイント (舵角調整)	64
トリム	トリム機能	65
サブトリム	サブトリム	66
リバース	サーボリバース	67
パラメータ	パラメーター機能	68
	●LCD コントラスト	
	●バックライト	
	●バックライトのON 時間	
	●バックライトの輝度調整	
	●バッテリーアラーム電圧	
	●バッテリーアラームバイブ	
	●ブザートーン	
	●初期画面表示モード	
	●テレメトリーモード	
	●テレメトリー表示単位	
	●スピーチ言語	
	●スピーチ音量	
	●スティックポジションアラーム	
P.MIX	プログラマブルミキシング	73
AUX CH	AUX チャンネル	76
サーボ	サーボ表示/サーボテスト	77
テレメトリセンサー	テレメトリー (双方向通信機能)	78
	テレメトリーセンサー	91
S.BUS	S.BUS サーボ設定機能	93
Mトランス	モデルトランス (データ転送機能)	96
タイマー	タイマー機能	97
トレーナー	トレーナー機能	98

お使いになる前に

組込方法



共通機能



飛行機用機能



ヘリコプター用機能



グライダー用機能

飛行機用機能 (ACRO)

●機能マップ	100
●機能説明		
TH カット	スロットルカット	102
DR EXPO	デュアルレート/エクスポネンシャル	104
TH カーブ	スロットルカーブ	106
IDL DWN	アイドルダウン	107
ジャイロ	ジャイロ	108
AIL DIF	エルロンディファレンシャル	109
Vテール	Vテール	110
キャンパー	キャンパー	111
エアブレーキ	エアブレーキ	112
EL → FLP	エレベーター→フラップミキシング	114
FLP → EL	フラップ→エレベーターミキシング	115
エレボン	エレボン	116



マルチコプター用機能

参考

ヘリコプター用機能 (HELI)

●機能マップ	117
●機能説明	
コンディション	コンディション (アイドルアップ・スロットルホールド) 119
TH カット	スロットルカット 120
DR EXPO	デュアルレート/エキスポネンシャル 122
トリムオフセット	トリムオフセット 124
ディレ	ディレー機能 125
ジャイロ	ジャイロ (ヘリ用) 126
SWH AFR	スワッシュ AFR (スワッシュタイプ H-1 には無し) 127
SWH MIX	スワッシュミキシング 128
TH カーブ	スロットルカーブ (ヘリ用) 130
PI カーブ	ピッチカーブ (ヘリ用) 132
PI → RUD	ピッチ→ラダーミキシング 134
THR HOLD	スロットルホールド 136
TH ホバリ	ホバリングスロットル 137
PI ホバリ	ホバリングピッチ 138

グライダー用機能 (GLIDER)

●機能マップ	139
●機能説明	
コンディション	コンディション セレクト 141
DR EXP	デュアルレート/エキスポネンシャル 142
モーター SW	モータースイッチ 144
ジャイロ	ジャイロ 145
AIL DIF	エルロンディファレンシャル 146
V テール	V テール 147
バタフライ	バタフライミキシング 148
トリム MIX	トリムミックス 149
EL → CMB	エレベーター→キャンバミキシング 150
CMB MIX	キャンバミキシング 152
AL → CMB	エルロン→キャンバミキシング 153

マルチコプター用機能 (MULTI COPT)

●機能マップ	154
●機能説明	
フライト MD	フライトモード 156
センタ ALM	センターアラーム 157
DR EXP	デュアルレート/エキスポネンシャル 158
TH カーブ	スロットルカーブ 160
TH ディレ	スロットルディレー 161
ジャイロ	ジャイロ 162

参考




●仕様	163
●オプションパーツ	164
●送信機設定 (スティックモード、スティックアジャスト、THR スティックリバース、表示言語)	165
●ワーニング表示/エラー表示	167
●修理を依頼されるときは	169

安全にお使いいただくために

いつも安全に製品をお使いいただくために、以下の点にご注意ください。

表示の意味

本書の中で次の表示がある部分は、安全上で特に注意する必要のある内容を示しています。

表示	意味
 危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者または他の人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される場合。
 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者または他の人が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合。または、軽傷、物的損害が発生する可能性が高い場合。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者または他の人が重傷を負う可能性は少ないが、傷害を負う危険が想定される場合。ならびに物的損害のみの発生が想定される場合。

図記号：










；禁止事項



；必ず実行する事項

飛行時の注意

警告

-  他の 2.4GHz システム等からのノイズの影響により電波が届かなくなる場合があります。ご使用前の動作テストや使用中にこのような状況がある場合は使用を中止する。
-  パワーダウンモードの状態では絶対に飛行させない。
■距離テスト専用のパワーダウンモードの場合、飛行範囲が狭く墜落の恐れがあります。
-  操作中、送信機を他の送信機や携帯電話等の無線装置に接触させたり近づけたりしない。
■誤動作の原因となります。
-  雨の日、風の強いときや夜間は絶対に飛行させない。
■装置内部に水が入り誤動作したり、操縦不能となったり、見失ったりして墜落します。
-  フックバンドを首にかけたままで、エンジン、モーターのスタート操作をしない。
■フックバンドが回転するプロペラ、ローターへ吸い込まれると大ケガとなります。
-  疲れているとき、病気のとき、酔っぱらっているようなときは飛行させない。
■集中力を欠いたり、正常な判断ができないため思わぬ操作ミスをおかして墜落します。
-  次のような場所では飛行させない。
 - ・人の近くや上空
 - ・プライバシーを侵害する場所
 - ・法律・条例で飛行が禁止されている場所
 - ・公共施設、公園、家屋、学校、病院、空港などの人の集まる場所とその近辺
 - ・高圧線、高い建造物または通信施設の近く■電波の混信や障害物などにより墜落したり、万一、プロペラや機体の故障により墜落した場合、人命を奪ったり、家屋等の損傷をひきおこします。



安全のため、常に機体が視認できる状態で飛行する。

- 建物等の大きな障害物の背後への飛行は見えないばかりでなく、通信品質も低下し機体のコントロールができなくなる恐れがあります。



飛行前には必ずプロポのテストを実行する。

- プロポ、機体等のどこかに一つでも異常があれば墜落します。

*エンジン始動前に、各舵を動作させてみて、各舵が追従動作することを確認します。追従動作しない場合や異常な動作をする場合は飛行しないでください。



安全上、必ずフェイルセーフ機能の設定を行なう。

- スロットルのフェイルセーフ設定は通常飛行機の場合最スロー、ヘリの場合ホバリング位置よりスロー側になるように設定します。また、状況に合わせて安全な位置に設定してください。正しく電波を受信できなくなった場合に、フルハイで墜落すると大変危険です。



フライト時は必ず送信機の設定画面をホーム画面かテレメトリー画面にする。

- フライト中に設定キーに触れて、誤入力すると大変危険です。



飛行準備中に送信機を地上におく場合、送信機を立てて置かない。

- 送信機が風などで倒れ、スティックが操作状態となり、不意にプロペラが回転すると大ケガとなります。



使用中、使用直後には、エンジン、モーター、FET アンブ等には触れない。

- 高温になっているためヤケドします。



<電源スイッチを入れるとき>

送信機のスロットルスティックを最スローの状態とした後、

1. 送信機の電源スイッチを入れてから
2. 受信機側の電源スイッチを入れる

<電源スイッチを切るとき>

エンジンまたはモーターを停止させた後、

1. 受信機側の電源スイッチを切ってから
2. 送信機の電源スイッチを切る

- 操作の順番を逆にすると、不意にプロペラやローターが回転し、ケガをします。

*最スロー：エンジンまたはモーターが一番低速回転となる方向。



プロポの調整を行うときは、必要な場合を除き、エンジンを停止させて行う。モーターは配線をはずしてプロペラやローターが回転しない状態にする。

- 不意にプロペラやローターが高回転となった場合ケガをします。



スロットル（モーター）チャンネル（3CH）の初期設定はリバースです。データリセットを行った場合も3CHはリバースとなります。ご使用のエンジンやモーターのHi、Lowの方向を十分確認して方向設定してください。

- 不意にプロペラやローターが高回転となった場合ケガをします。



フライト中やエンジン/モーターが回転する状態のときは、送受信機の電源スイッチのON/OFF操作を絶対にしてはいけない。

- 操作不能で墜落やケガをします。

充電式バッテリー取扱上の注意

警告

- ❗ 充電式バッテリーは飛行前に必ず充電し、電圧をチェックする。
 - 飛行中に電池がなくなると墜落します。
- ❗ プロポ用充電式バッテリーの充電は、専用充電器または、別売りのプロポ用の急速充電器を使用する。
 - 規定値を越える充電は、異常発熱、破裂、漏液等により、ヤケド、火災、ケガ、失明等を引き起こします。

注意

- ⊘ 市販の単3型充電式バッテリーは使用しない。
 - 急速充電時、バッテリーホルダーの接点部分が異常発熱し装置が破損したり充電できない場合があります。
- ⊘ 充電式バッテリーの接続コネクタの端子をショートさせない。
 - ショートすると発火、異常発熱等によりヤケドしたり火災を引き起こします。
- ⊘ 充電式バッテリーは、落下させるなどの強い衝撃をあてない。
 - ショートして異常発熱したり、壊れて電解液が漏れると、ヤケドしたり、化学物質による被害を受けます。

< 充電式バッテリーの電解液について >

充電式バッテリー内の電解液は強アルカリ性のため、電解液が目に入ったときは、失明の恐れがあります。こすらずに、すぐにきれいな水でよく洗い流した後、直ちに医師の治療を受けてください。また、電解液が皮膚や衣服に付着したときは、皮膚に障害を起こすおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。

保管・廃棄時の注意

警告

- ⊘ プロポ、電池、機体等を幼児の手の届く所に放置しない。
 - 触って作動させたり、電池をなめたりすると、ケガをしたり、化学物質による被害を受けます。
- ⊘ 充電式バッテリーを火の中に投入したり、加熱したりしない。また、分解したり、改造したりしない。
 - 破裂、異常発熱、漏液等により、ケガ、ヤケド、失明等をします。

⚠ 注意



プロボは次のような場所に保管しない。

- ・ 極端に暑いところ (40℃以上)、寒いところ (-10℃以下)。
- ・ 直射日光があたるところ。
- ・ 湿気の多いところ。
- ・ 振動の多いところ。
- ・ ほこりの多いところ。
- ・ 蒸気や熱があたるところ。

■上記のようなところに保管すると、変形や故障の原因となります。



長期間使用しない場合は、乾電池・バッテリーを送信機や機体から取り出して、湿気の少ない場所に保管する。

■そのまま放置すると、電池の漏液により、送信機や機体の性能や寿命を低下させます。

<バッテリーのリサイクルについて>

使用済みバッテリーは貴重な資源です。端子部分にテープを貼るなどの処理をして、バッテリーリサイクル協力店にご持参ください。

その他の注意

⚠ 注意



燃料、廃油、排気等を直接プラスチック部分にかけない。

■そのままにしておくと、プラスチックが侵され、破損します。



送信機、受信機、サーボ、FET アンプ、バッテリーその他オプションパーツは、必ず Futaba 純正品の組み合わせで使用する。

■ Futaba 純正品以外との組み合わせにより発生した損害等につきましては、当社では責任を負いません。取扱説明書およびカタログに記載されているものを使用してください。



ラジコン保険に加入する。

■ラジコン保険の加入申し込みはラジコン操縦士登録代行店に問い合わせてください。

お使いになる前に

特長

T6K 送信機

● T-FHSS Air-2.4G 方式多機能 6 チャンネル送信機

2.4GHz の T-FHSS Air 方式を採用。

● テレメトリーシステム

双方向通信システム T-FHSS Air が搭載されています。飛行中、機体に搭載された、バッテリーの電圧を送信機へ表示することができます。また、オプションの各種テレメトリーセンサーを機体に搭載すると、温度、回転数、高度の各情報を送信機に表示することができます。

● 音声機能

市販のイヤホンを送信機に接続すると、テレメトリー情報を音声で聞くことができます。

● ビルトインアンテナ

アンテナをケースに内蔵しシンプルな外観と扱いやすさを向上させました。

● S.BUS/S.BUS2 サーボの設定機能

S.BUS/S.BUS2 サーボのチャンネルや各種機能の設定を、送信機にサーボを接続することで行えます。(S.BUS/S.BUS2 サーボを二又コードなどでサーボ用バッテリーとともに接続)

● 省電力型送信機

単三アルカリ乾電池 4 本で使用できます。またオプションの HT5F1800B(ニッケル水素 6.0V 1800mA)、FT2F2100BV2(リチウムフェライト 6.6V 2100mA)バッテリーが使用できます。

● 大型グラフィック液晶パネル (128x64 ドット / LED バックライト付)

バックライト付大型グラフィック液晶パネルを採用。設定カーブのグラフ表示、サーボ動作のバーグラフ表示等がより見やすくなりました。また、機能名等のカタカナ表示に対応しています。

● バイブレーション

各種アラームを送信機の振動でお知らせする機能が選択できます。

● 独自のモデルメモリーシステム

送信機本体に 30 機分のモデルメモリーが搭載されています。モデルデータはバッテリーバックアップ不要のメモリー素子に保存されます。

● モデルタイプが選べる

機体に合わせて、飛行機、ヘリコプター、グライダー、マルチコプターのモデルタイプが選べます。ヘリコプター用は 6 種類のスワッシュプレートタイプに対応可能です。飛行機、グライダーは 5 つのウイングタイプを選択できます。

● デジタルトリム

飛行中に素早いトリム調整が可能です。トリムセンターで音が変わります。ステップ量は任意に可変できます。トリム位置は液晶パネルに表示されます。

● レバーヘッドの長さ調整、新形状レバーヘッド

レバーヘッドの長さが調整できます。操作時のスリップを減らす形状のレバーヘッド採用しました。

●**スイッチ／ボリューム機能の変更、AUXチャンネルのファンクション変更**

ミキシング等のスイッチやボリュームの選択ができます。また、AUXチャンネル（5、6ch）のファンクション変更もできるため、プログラマブルミキシングを使用して、既定のミキシング以外にオリジナルのミキシングも作成できます。

●**トレーナー機能**

練習したいチャンネルが選択できます。また、4チャンネルの送信機でもヘリコプターの練習ができます。（スティックチャンネルのみの練習）（トレーナーコードは別売り）

●**モデルトランス機能**

T6K送信機同士であれば、モデルデータの転送が無線で可能です。

R3006SB 受信機

●**T-FHSS Air 方式 S.BUS 対応受信機**

S.BUS出力と従来チャンネル出力（6CH）があり、S.BUSシステムと従来システムの併用が可能です。

●**バッテリーフェイルセーフ機能付き**

セット内容

6KA 飛行機用／6KH ヘリ用システムにはそれぞれ下記のものが付属します。

- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・送信機 T6K(A/H) ・受信機 R3006SB ・受信機用スイッチ ・ミニドライバー ・取扱説明書（本書） ・保証書 | <p>このセットにサーボは付属していません。ご使用の用途に合わせて Futaba 製サーボを購入してください。</p> <p>飛行機用（6KA）とヘリ用（6KH）は、初期設定がそれぞれのモデルタイプになっているのとスティックの長さ、（ヘリ用が短い）スロットルスティックのラチェットが異なります。モデルタイプを切換えると、どちらも各モデルタイプ（飛行機、ヘリ、グライダー、マルチコプター）で使用可能です。</p> |
|--|---|

システム互換表

6K は 2.4GHz **T-FHSS Air** システムです。また、送信機は **S-FHSS** に切替が可能です。（ただし、**S-FHSS** の場合テレメトリーシステムは使用できません。）使用可能な受信機は下表になります。

T6K 通信システム	使用できる受信機
T-FHSS Air （初期設定）	R3006SB, R3008SB ※ R304SB, R304SB-E などの地上用 T-FHSS の受信機は作動しません。
S-FHSS （モデルセレクトで切換）	R2008SB R2006GS R2106GF

注意：

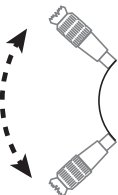
- ※ Futaba **T-FHSS Air** システムは Futaba **S-FHSS / FASST / FASSTest** システムの送受信機との組み合わせでは動作しません。**T-FHSS Air** システムの送受信機の組み合わせでお使いください。T6K は **T-FHSS Air** システムですが、**S-FHSS** に切り替えて **S-FHSS** の受信機と使用することが可能です。ただし、その場合テレメトリーシステムは使用できません。
- ※ **T-FHSS Air** システムと地上用の **T-FHSS** システムは異なります。T6K は、R304SB、R304SB-E などの地上用 **T-FHSS** 受信機は使用できません。

マルチコプター／ロボット仕様のセットについて

スロットルスティックの動作が異なります。

ラチェット式スティック (通常のセット)

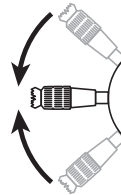
通常の送信機はスロットルスティックがニュートラルにもどりません。



指をはなした位置にスティックがとまります。

セルフニュートラル式スティック (マルチコプター／ロボット仕様)

スロットルスティックがスプリングでニュートラルにもどります。



お使いになる前に

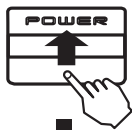
⚠ 注意

RC 飛行機や RC ヘリコプター、一部のマルチコプターでは、スロットルスティックがセルフニュートラル式では使用できません。

指をはなすと、エンジン・モーターが中速になってしまうため大変危険です。

電源 ON 時ワーニング表示

送信機の電源スイッチを ON にすると、アラーム音と共に下記のワーニング表示が現われます。一旦、スロットルスティックをスロー側(下側)に操作して、ワーニング表示を解除してからご使用ください。モデルタイプがマルチコプターの場合スロットルスティックのアラームは鳴りません。



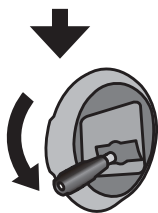
電源 ON すると

(ワーニング表示)

** WARNING **
▶THR スティック

ピピピピ! ピピピピ!

アラームが鳴ります。(左の表示がです。)



一度スロットルスティックを下にさげる (スローにする。)とアラームがとまり通常に使用できます。(つぎにニュートラルに戻してもアラームは鳴りません。)

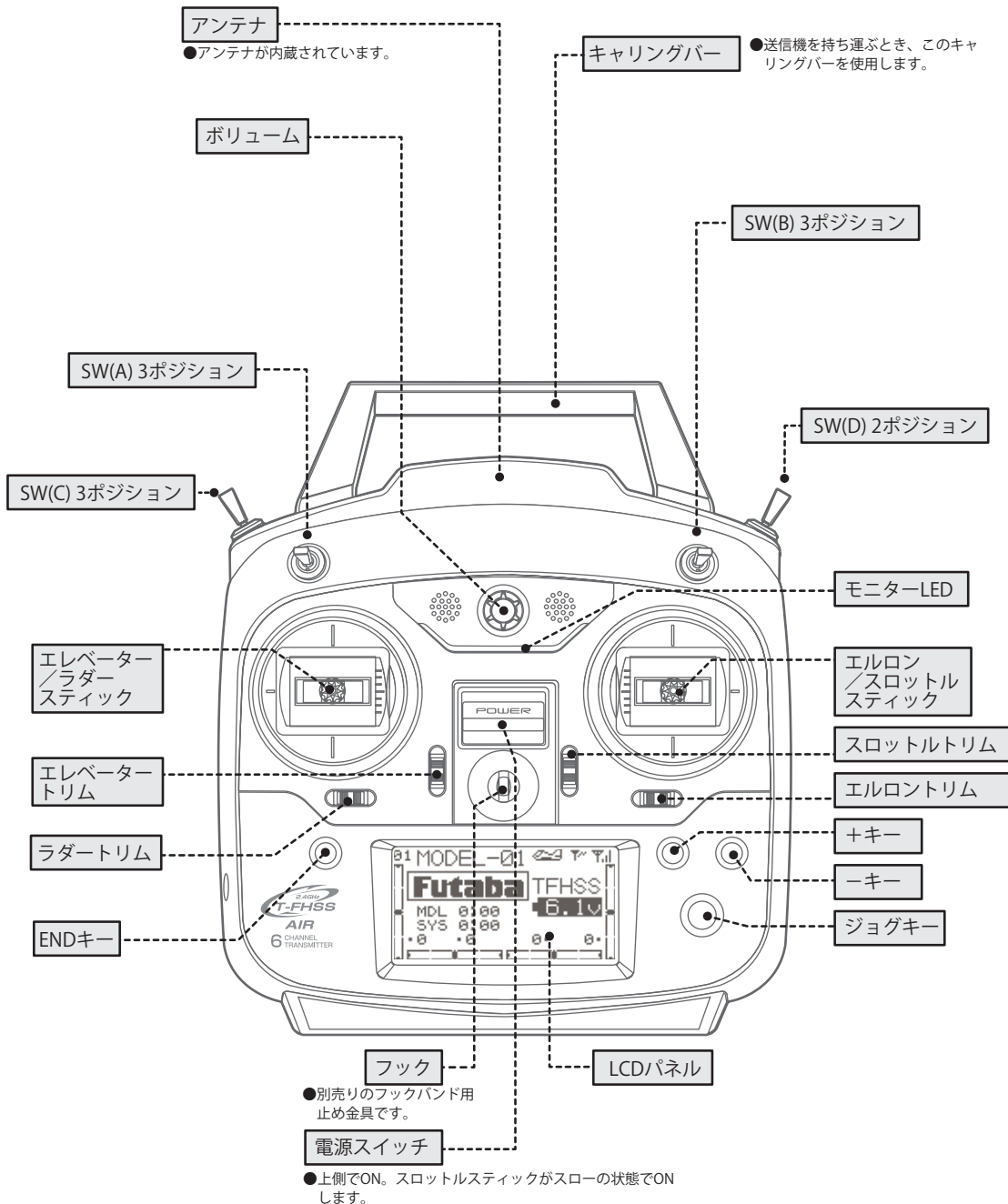
各部の名称／取り扱い方

送信機 T6K

■飛行機用 T6KA の送信機はスロットルスティックがカチカチとクリック感があります。

■ヘリ用 T6KH の送信機はスロットルスティックにクリック感がなくスムーズに動きます。

お使いになる前に

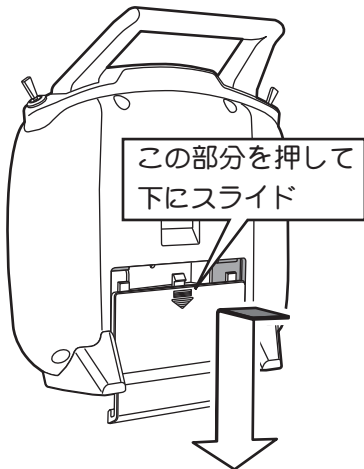


*各スイッチは各機能の設定項目で変更が可能です。また、AUX-CH機能でCH5、CH6のファンクションも変更できます。

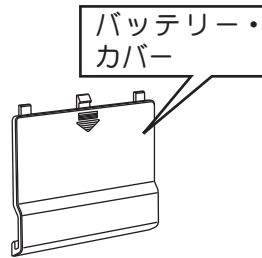
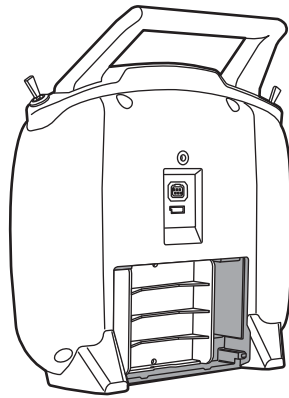
送信機 T6K (裏面)

乾電池の入れ方

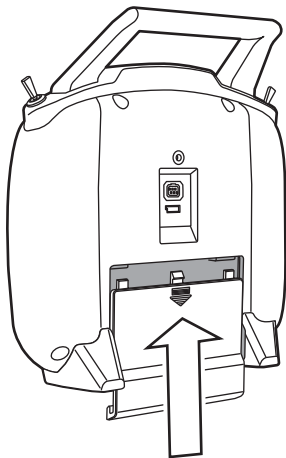
新品の単三アルカリ乾電池 4 本 (別売) を送信機に入れてください。



裏面のバッテリー・カ
バーをはずします。



プラス・マイナスを間
違えないように単三乾
電池をマイナス側から
挿入します。



⚠ 注意

- 古い電池と新しい電池を一緒に使用しないでください。
- 単三型の充電式電池は使用しないでください。
- 液漏れした電池は使用しないでください。
- 長期間使用しないときは乾電池をはずしてください。
- 使用するときはかならずバッテリー・カバーを付けてください。
- 電圧が低い場合は、そのまま使用せずに新しい乾電池に交換してから使用してください。

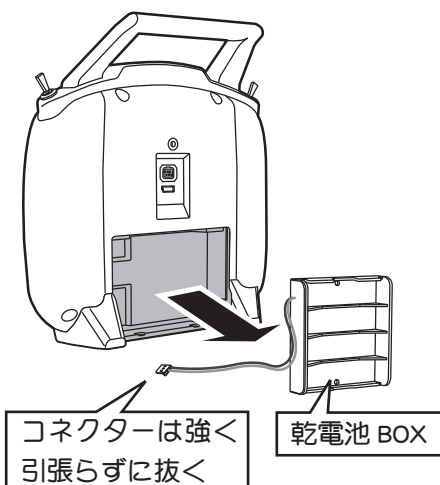
お使いになる前に

ニッケル水素バッテリー HT5F1800B (別売) の使用方法

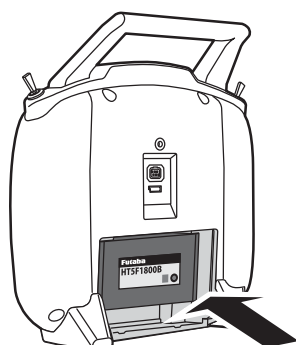


オプションの充電式ニッケル水素バッテリー HT5F1800B を使用することができます。

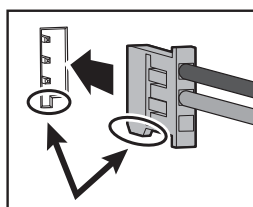
お使いになる前に



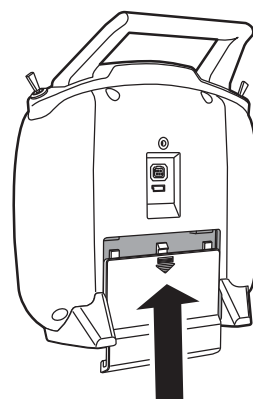
バッテリー・カバーをはずして、乾電池 BOX をはずします。



HT5F1800B を挿入して、コネクターを接続します。



タグの方向に注意してコネクターを接続します。



配線をはさまないように気をつけてバッテリー・カバーをしめます。

ニッケル水素バッテリー HT5F1800B の充電方法

充電方法

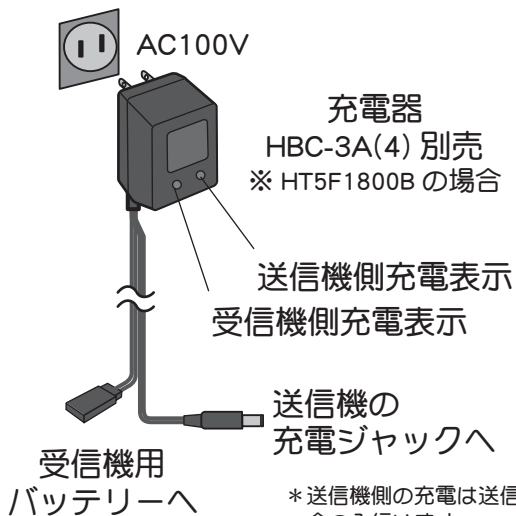


- 1 使用するバッテリーの専用充電器の各コネクターを、送信機および受信機用バッテリーに接続する。
- 2 AC100V のコンセントに充電器を接続する。
- 3 それぞれの充電表示 LED が点灯していることを確認する。

* 所定の時間充電後、充電器からバッテリーを外します。また、充電器はコンセントから外しておきます。

⚠ 危険

⊘ 乾電池は絶対に充電しないでください！



充電器
HBC-3A(4) 別売
※ HT5F1800B の場合

送信機側充電表示
受信機側充電表示

送信機の
充電ジャックへ

受信機用
バッテリーへ

- * 送信機側の充電は送信機を充電式ニッケル水素バッテリー HT5F1800B に変更した場合のみ行います。
- * リチウムフェライトバッテリー FT2F2100B の充電は送信機からはずして、専用充電器 LBC-4E5 で行います。

保護回路について

* 送信機の充電回路にはショート保護用の素子が入っているため、プロボ用以外の急速充電器で充電した場合、正常に充電されない場合があります。

⚠注意

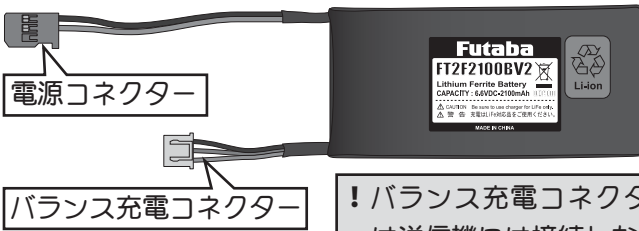
① 電池を取り出すときは手を添えて、落下させないようにしてください。また、コネクターリード線は強く引っ張らないでください。断線する恐れがあります。

② 送信機を充電式バッテリーに交換した場合、必ずパラメーター機能で BATT ALM 電圧を変更してください。

* 充電式バッテリーと乾電池では電圧降下の特性が異なります。バッテリーアラーム電圧(パラメーター内)を **HT5F1800B** は **5.0V** に変更してください。

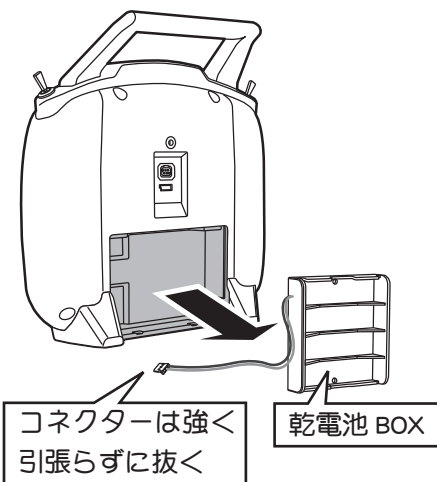
お使いになる前に

リチウムフェライトバッテリー FT2F2100BV2 (別売) の使用方法



オプションの充電式 Li-Fe バッテリー FT2F2100B(V2) を使用することができます。ただし専用充電器が必要で充電時はバッテリーを送信機からはずさなければなりません。

! バランス充電コネクターは送信機には接続しない

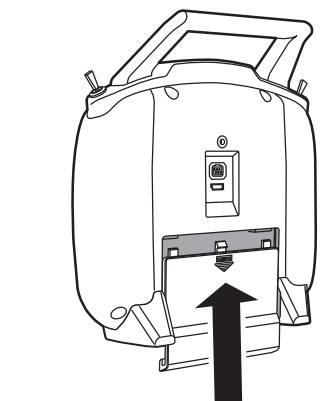
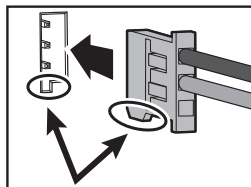


コネクターは強く引張らずに抜く

乾電池 BOX



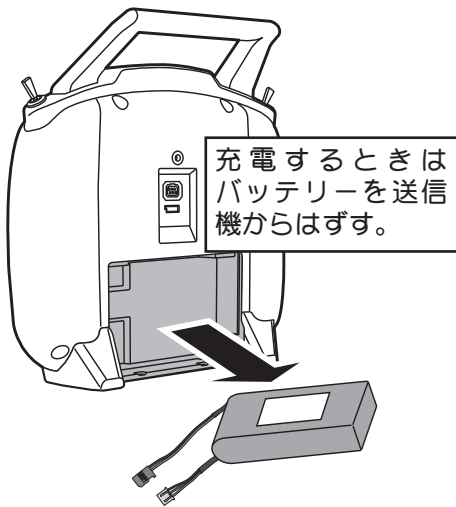
FT2F2100BV2 を挿入して、電源コネクターのみを接続します。



配線をはさまないように気をつけてバッテリー・カバーをしめます。

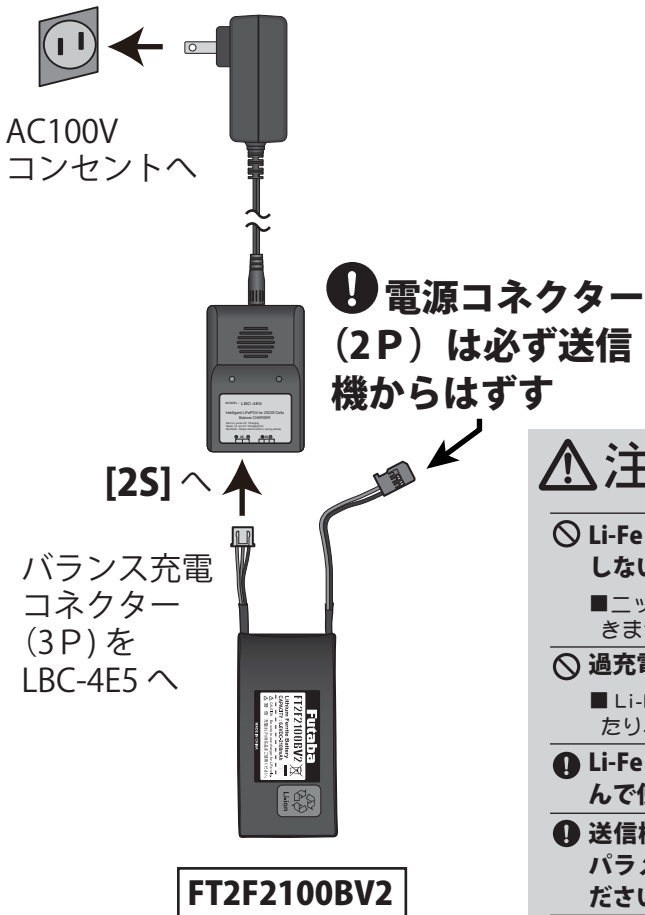
リチウムフェライトバッテリー FT2F2100BV2 の充電方法

お使いになる前に



充電方法

- 1 送信機からバッテリーをはずしバッテリーの電源コネクタを送信機から抜く。
- 2 AC100V のコンセントに専用充電器 LBC-4E5 を接続する。
- 3 バランス充電コネクタを LBC-4E5 の 2S に接続する。
- 4 充電完了（3 時間程度）すると LBC-4E5 の LED が緑点灯。
- 5 バッテリーを充電器からはずし、充電器をコンセントからはずす。



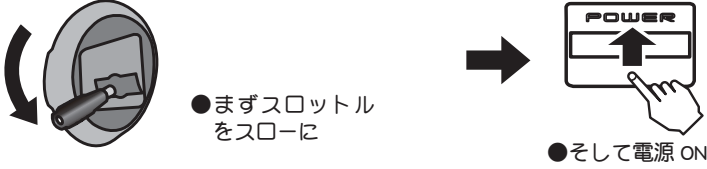
⚠ 注意

- ⊘ Li-Fe バッテリーは送信機の充電ジャックから充電しない。
■ ニッケル水素用の HBC-3A(4) では充電することができません。
- ⊘ 過充電 / 過放電させない。
■ Li-Fe 電池は過放電して電圧がさがりすぎると破損したり、充電できなくなったりします。
- ① Li-Fe バッテリー / 充電器の取扱い説明書をよく読んで使用すること。
- ① 送信機を充電式バッテリーに交換した場合、必ずパラメーター機能で BATT ALM 電圧を変更してください。

※充電式バッテリーと乾電池では電圧降下の特性が異なります。バッテリーアラーム電圧パラメーター内)を **FT2F2100BV2** は **5.8V** に変更してください。

電源スイッチ

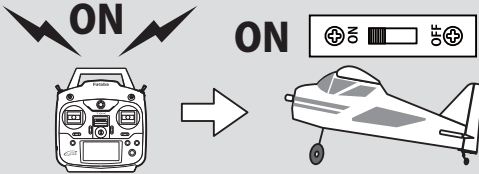
電源スイッチを入れると、「ピッピッ」という確認音がして、スタート画面が現れます。
 電源スイッチは安全のためスロットルスティックがスロー（下）の状態ですべてONしてください。
 ※スロットルがスロー以外で電源ONすると警告音がなります。スローにすると警告は止まります。
 ※マルチコプタータイプの場合はスロットルスティックの警告は鳴りません。



安全のためお守りください！（万が一の暴走を防ぎます。）

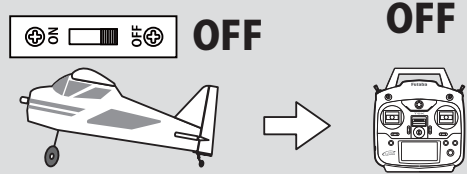
ONするとき

▶送信機をONしてから受信機（機体）をON



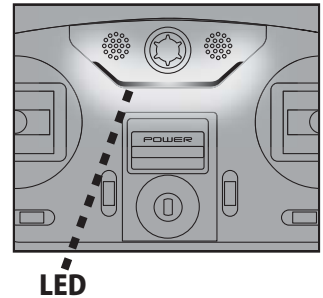
OFFするとき

▶まずエンジン・モーターを停止させる
 ▶受信機（機体）をOFFしてから送信機をOFF



モニターLED表示

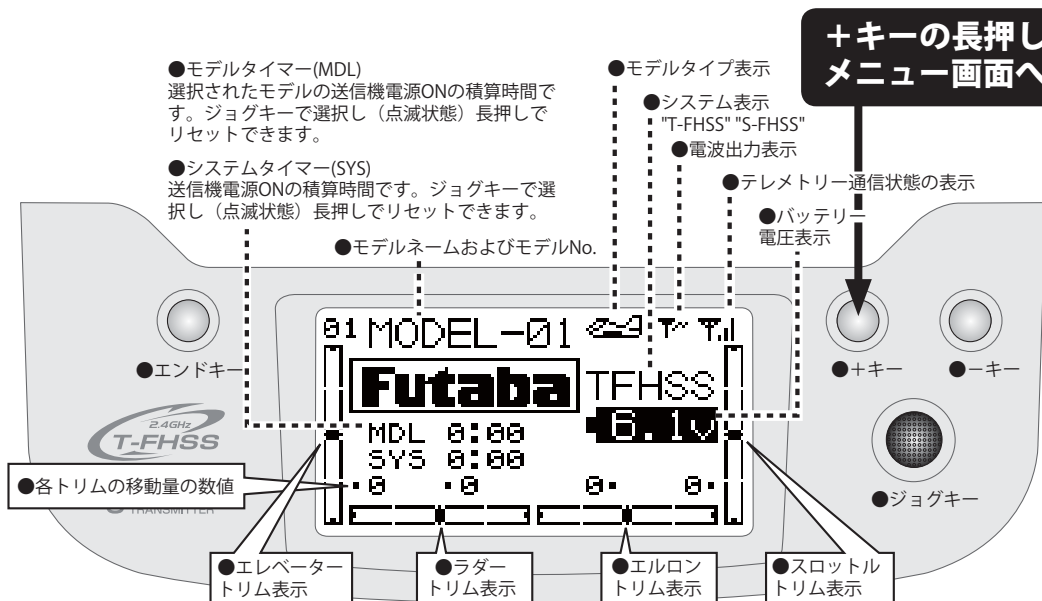
T6K 送信機にはLEDインジケーターが搭載されています。
 電源が入ると青点灯します。その他、電源ON時のミキシングワーニング（警告）表示、ローバッテリーアラームのときに点滅表示します。
 パワーダウンモード時はビープ音とともに青点灯の状態となります。また、パワーモードで送信出力を停止した状態では、LEDは消灯します。



⚠注意

❶ 飛行する前には必ずモデルネームを確認する。

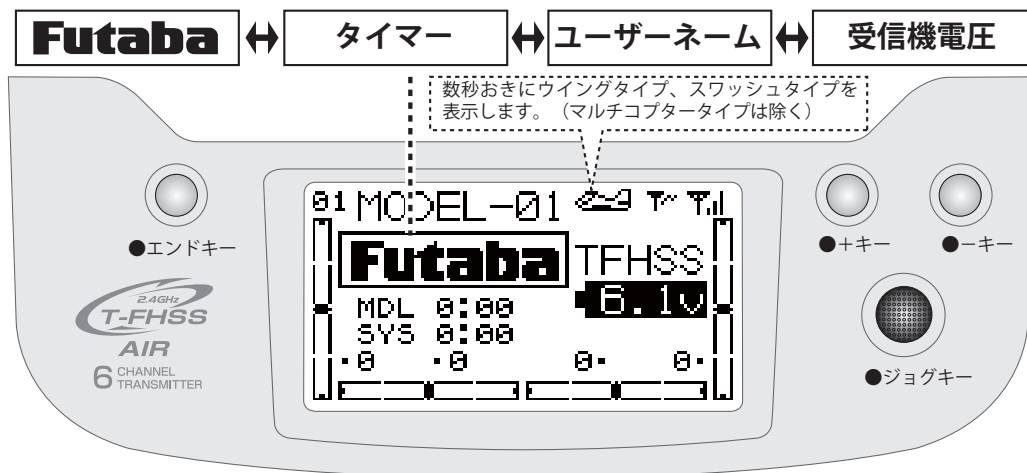
- * T6Kは複数のモデルデータを使用することができます。飛行する機体と異なったモデルデータを使用すると操縦不能で墜落する危険性があります。
- * 電源ON/OFF時にLCD画面上に短時間シマ模様等が発生する場合がありますが、異常ではありません。
- * 電源ON/OFFを速く繰り返した場合、画面表示されない場合があります。一旦電源スイッチをOFFしてから再度立ち上げ直してください。



- モデルタイマー(MDL)
選択されたモデルの送信機電源ONの積算時間です。ジョグキーで選択し(点滅状態)長押しでリセットできます。
- システムタイマー(SYS)
送信機電源ONの積算時間です。ジョグキーで選択し(点滅状態)長押しでリセットできます。
- モデル名前およびモデルNo.
- モデルタイプ表示
- システム表示
"T-FHSS" "S-FHSS"
- 電波出力表示
- テレメトリー通信状態の表示
- バッテリー電圧表示
- +キー
- キー
- ジョグキー
- 各トリムの移動量の数値
- エレベータートリム表示
- ラダートリム表示
- エルロントリム表示
- スロットルトリム表示
- エンドキー(END)
設定画面や、メニュー画面を終了させたいときに押します。
- +キー
初期画面からメニュー画面を呼び出すときに押します。(1秒以上)
また、各設定画面で設定の変更や数値を増加する際に押します。
- キー
各設定画面で設定の変更や数値を減らす際に押します。
- ジョグキー
メニュー画面での機能の選択、設定画面での設定項目の選択に使用。上下左右への移動が可能です。
メニュー画面や設定画面が複数ページある場合、横に押して次のページに移動可能です。
キーを押すと決定となります。

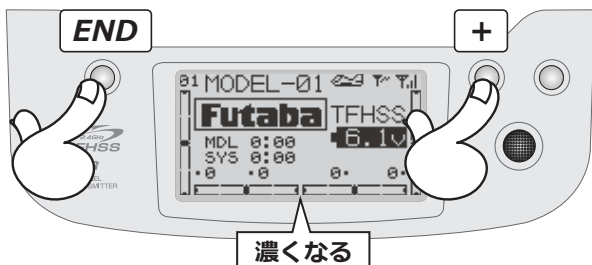
●"Futaba"のロゴ表示を変更することができます。

- 1 ホーム画面からジョグキーを上下に押して **Futaba** ロゴを点滅させます。
- 2 **+キー** / **-キー** で表示させたい項目を選択します。
- 3 点滅が終わるまでそのまま待つか、**ジョグキー** を長押しで終了です。

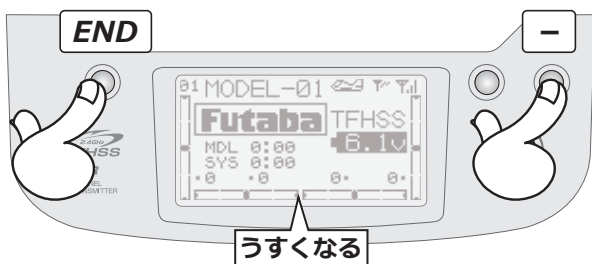


- タイマー
メニューの"**タイマー**"で設定します。
アップタイマー、ダウンタイマーやスタート/ストップの方法が選べます。
- ユーザーネーム
メニューの"**Mネーム**"の中の**<USR NAME>**で設定します。好きな名前を8文字まで設定できます。
- 受信機電圧
受信機からのテレメトリーデータの受信機電圧が表示されます。T-FHSS-Air時のみ表示できます。

LCD画面のコントラスト調整



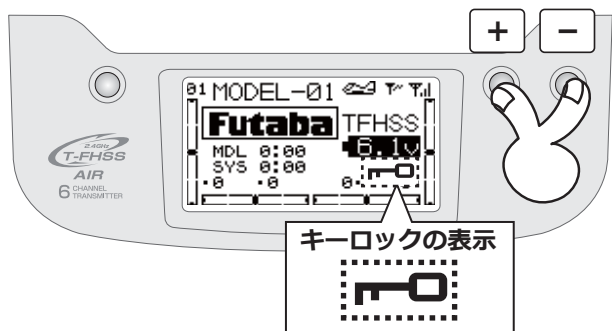
END キーを押しながら**＋キー**をおすと
LCD コントラストが**濃く**なります。



END キーを押しながら**－キー**をおすと
LCD コントラストが**うすく**なります。

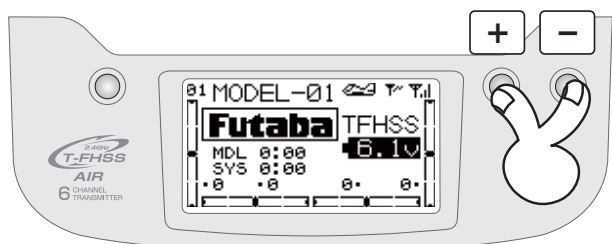
キーロック

飛行中の誤入力防止のためにキー操作をロックする機能です。飛行中に設定が変更されると危険ですので、キーロックしてフライトしてください。



＋キーと－キーを同時に長押しすると
キーロックされます。

キー操作ができなくなります。
(操作できないのは**ジョグキー**、**＋キー**、**END キー**でその他のスティック、トリム、スイッチ、VR 操作は可能です。)



キーロック状態から**＋キーと－キー**を同時に長押しするとキーロックが解除されます。

スイッチの初期設定

AIRPLANE

スイッチ /VR	1AIL	1AIL1FLP	2AIL	2AIL1FLP	ELEVON
スイッチ A	---	---	---	---	---
スイッチ B	CH6	CH6	---	---	CH6
スイッチ C	CH5	CH5	CH5	CH5	CH5
スイッチ D	---	---	---	---	---
ボリューム VR	---	---	---	---	---

GLIDER

スイッチ /VR	1AIL	1AIL1FLP	2AIL	2AIL1FLP	2AIL2FLP
スイッチ A	---	---	---	---	---
スイッチ B	CH6	---	---	---	---
スイッチ C	---	---	---	---	---
スイッチ D	---	---	---	---	---
ボリューム VR	CH5	フラップ	CH5	フラップ	フラップ

HELICOPTER

スイッチ /VR	HELICOPTER
スイッチ A	---
スイッチ B	CH5
スイッチ C	IDLE-UP1/2
スイッチ D	THR-HOLD
ボリューム VR	---

* コンディションでアイドルアップ 1/2、スロットルホールドを使用した場合

MULTI COPT

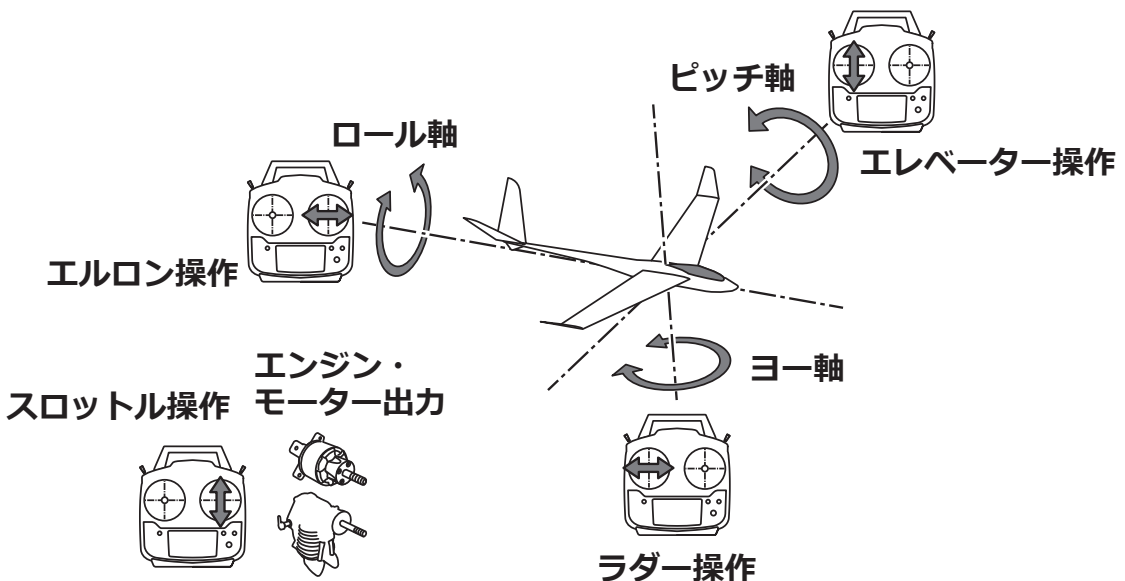
スイッチ /VR	MULTI COPT
スイッチ A	---
スイッチ B	---
スイッチ C	---
スイッチ D	CH5
ボリューム VR	---

お使いになる前に

スティック操作について

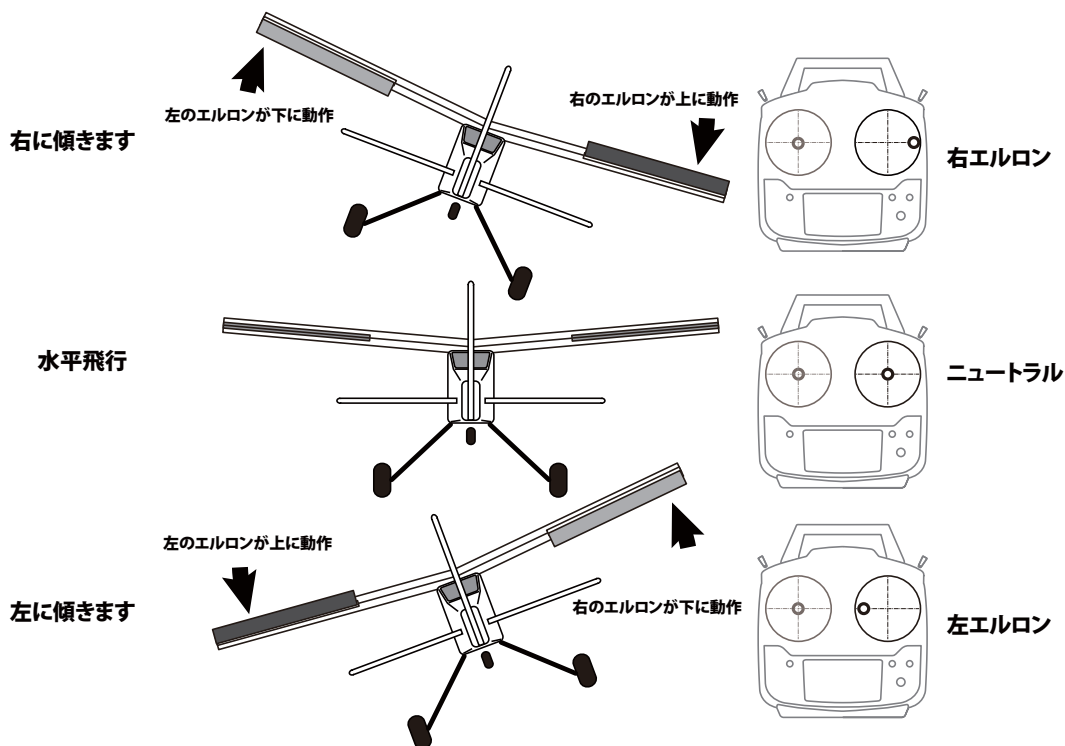
2つのスティックで機体の3軸とエンジン・モーターの出力を操作します。

※一般的な模型の例です。模型により操作方法が異なる場合があります。



エルロン・スティックの操作

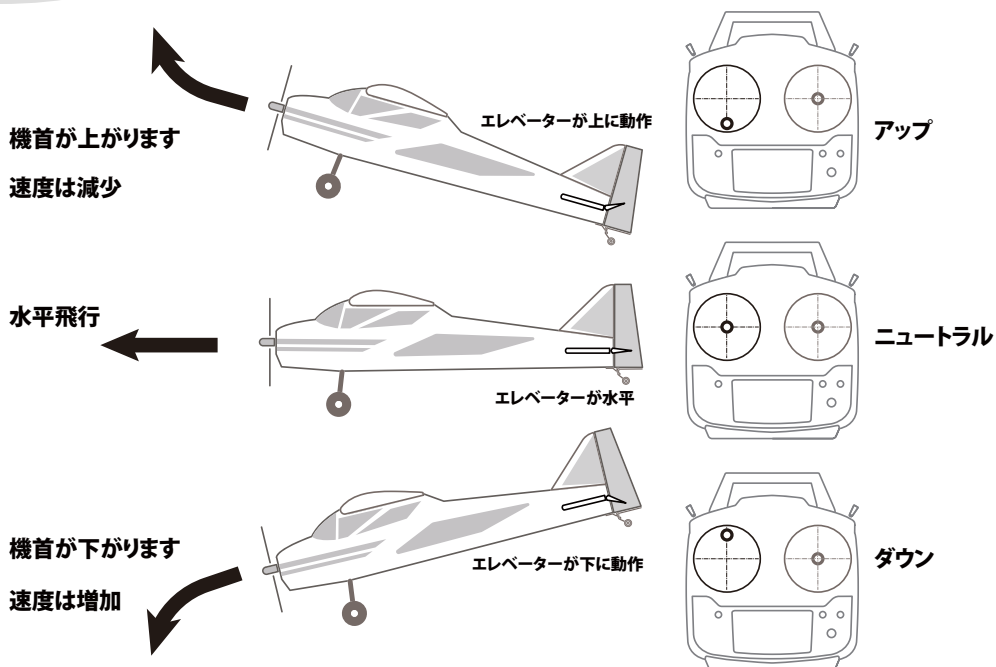
ロール軸操作



お使いになる前に

ピッチ軸操作

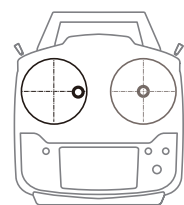
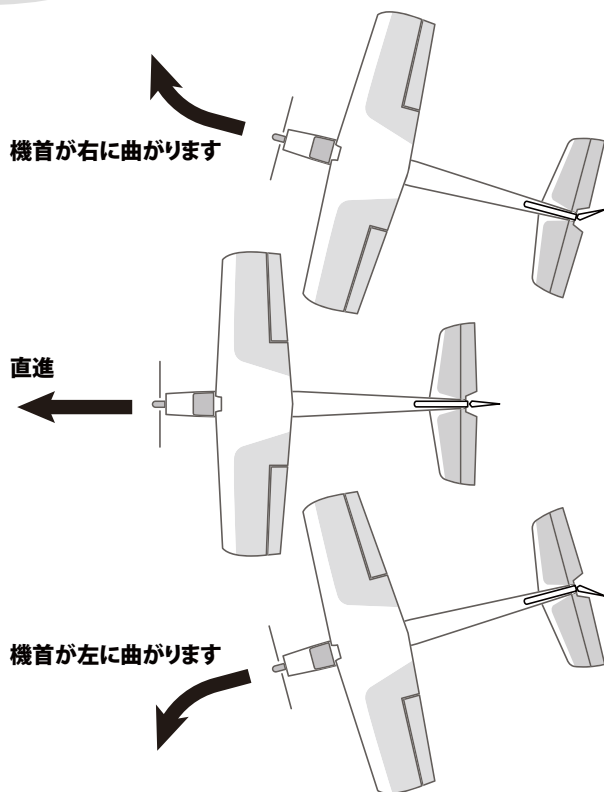
エレベーター・スティックの操作



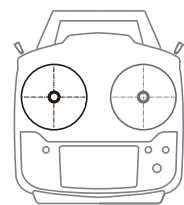
ラダー・スティックの操作

ヨー軸操作

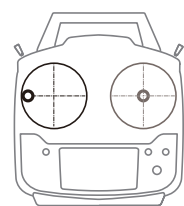
お使いになる前に



右ラダー



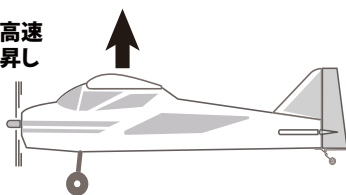
ニュートラル



左ラダー

エンコン・スティックの操作

プロペラが高速回転して上昇します



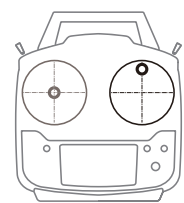
モーターの場合 エンジンの場合



モーターフルパワー

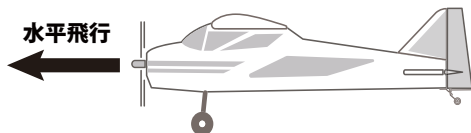


キャブレター全開



ハイ

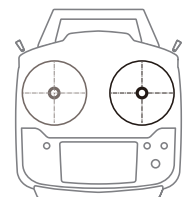
水平飛行



モーター中速

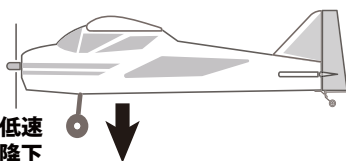


キャブレター半開



ニュートラル

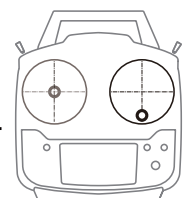
プロペラが低速回転になり降下します



モーターストップ



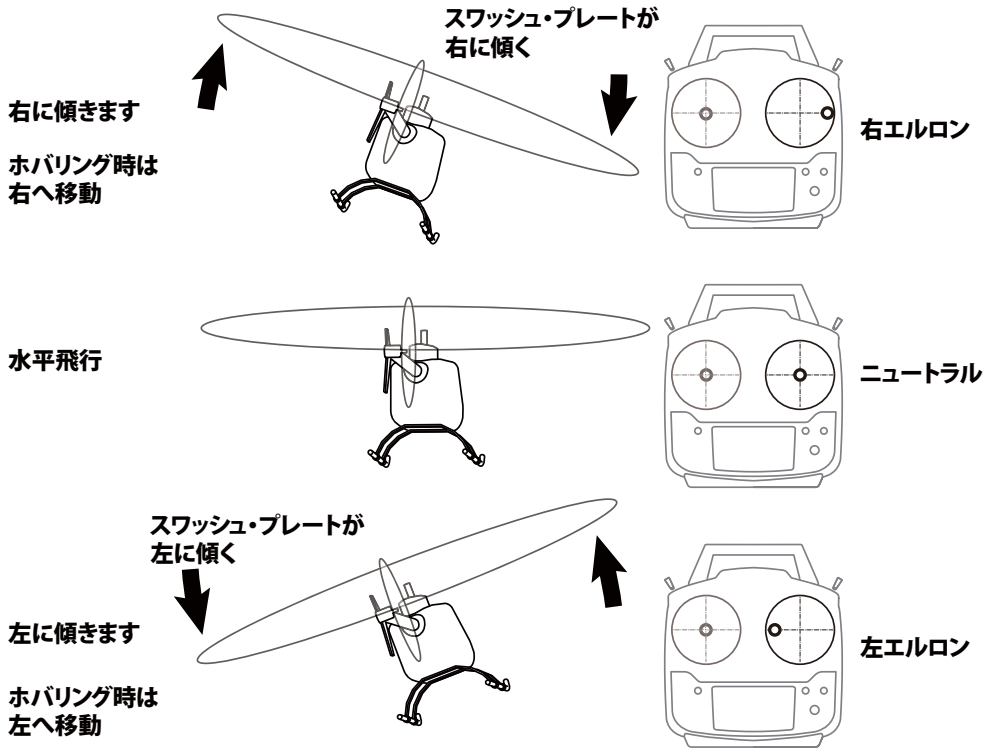
キャブレター最スロー



スロー

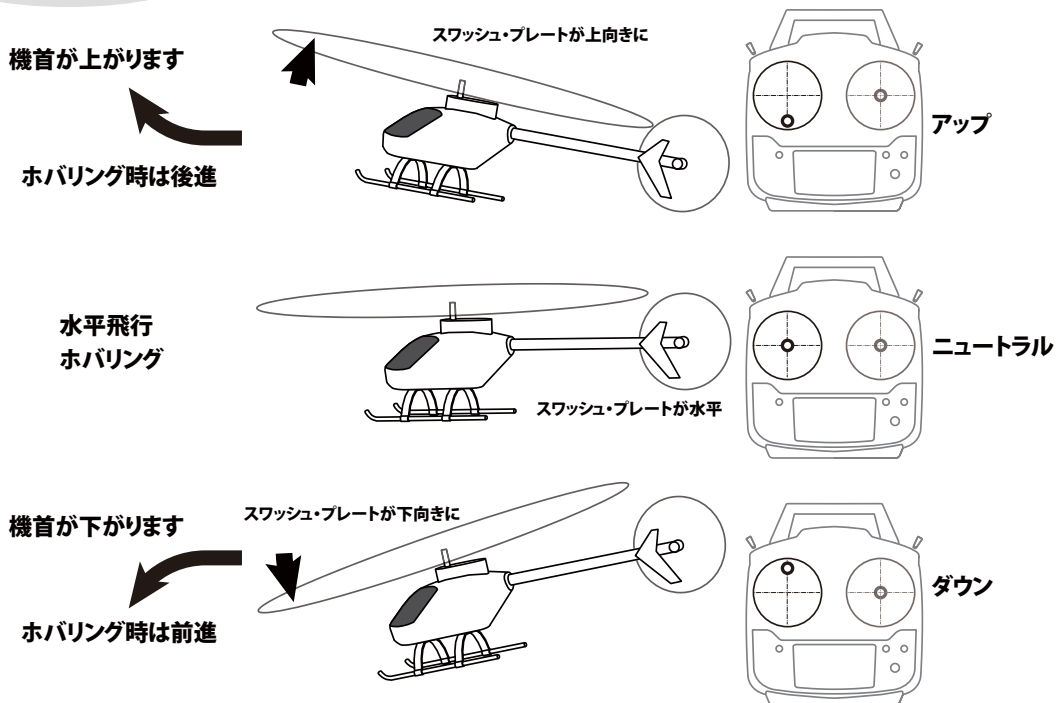
ロール軸操作

エルロン・スティックの操作



ピッチ 軸操作

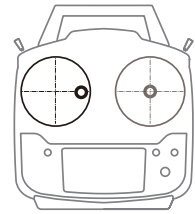
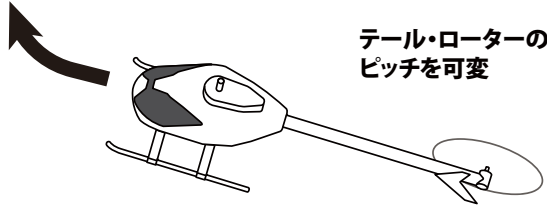
エレベーター・スティックの操作



お使いになる前に

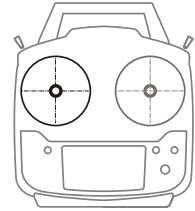
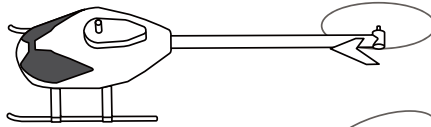
お使いになる前に

機首が右に曲がります



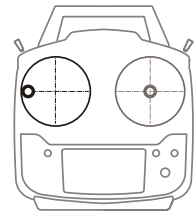
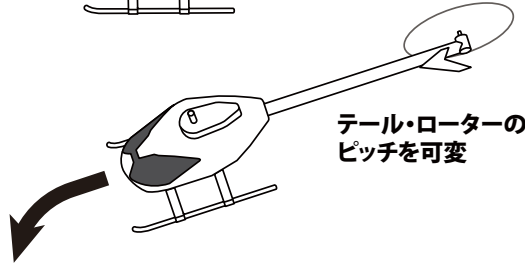
右ラダー

直進
ホバリング



ニュートラル

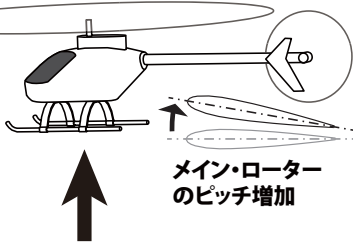
機首が左に曲がります



左ラダー

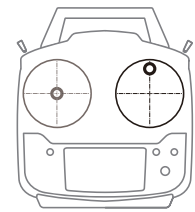
エンコン・スティックの操作

上空
高速飛行
上昇



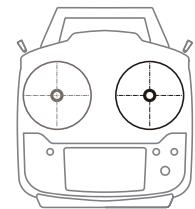
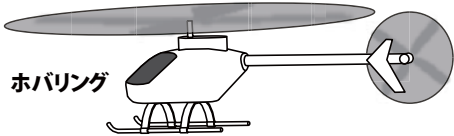
モーターの場合

エンジンの場合



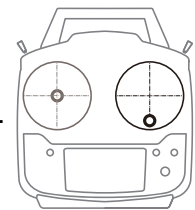
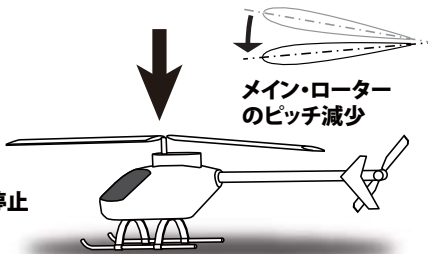
ハイ

ホバリング



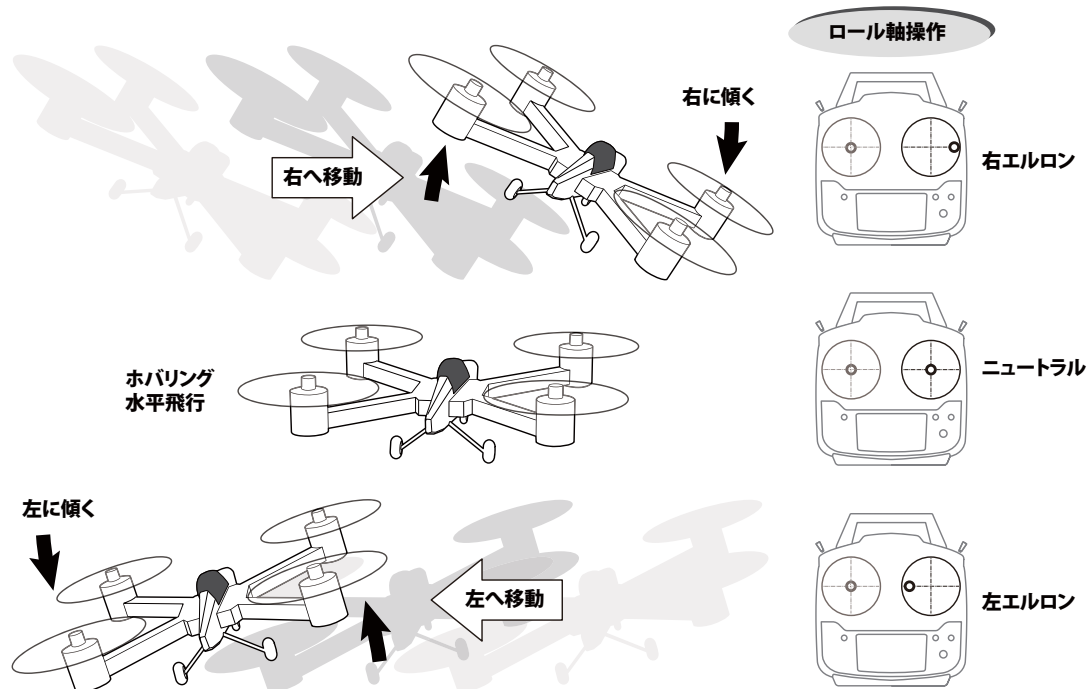
ニュートラル

停止



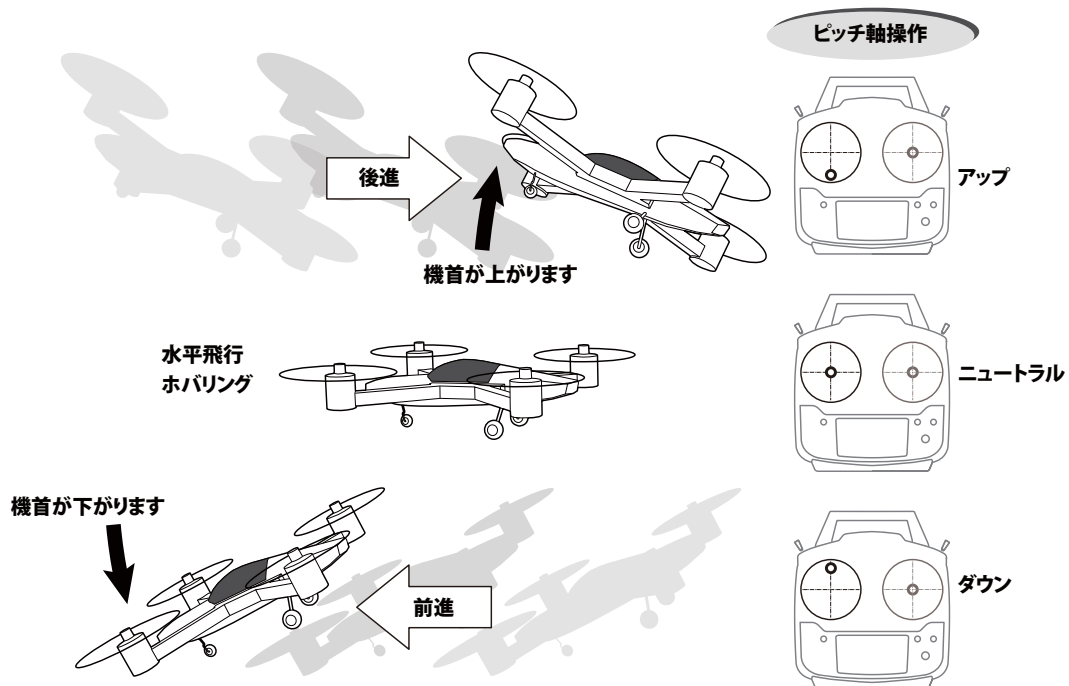
スロー

エルロン・スティックの操作



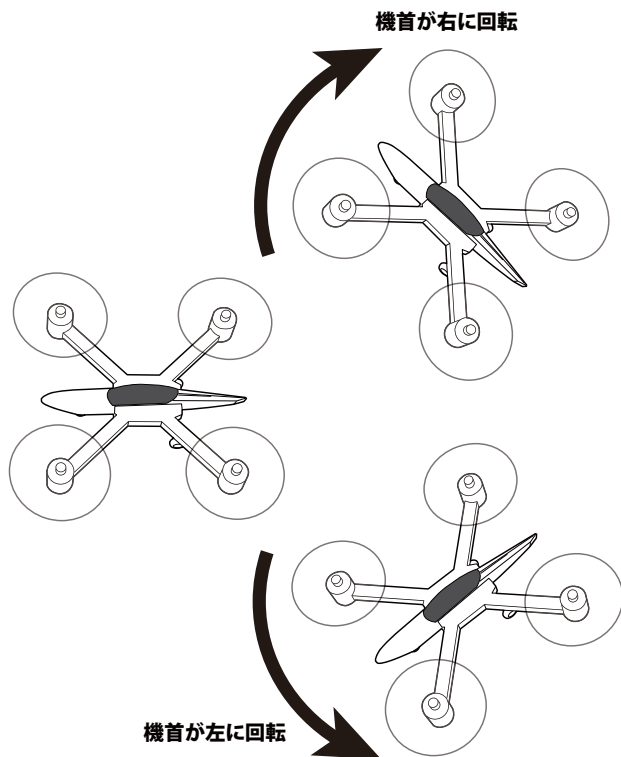
お使いになる前に

エレベーター・スティックの操作

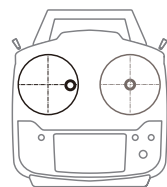


ラダー・スティックの操作

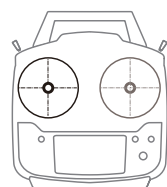
お使いになる前に



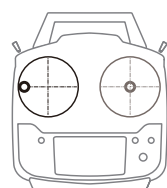
ヨー軸操作



右ラダー

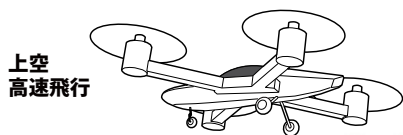


ニュートラル



左ラダー

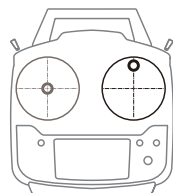
エンコン・スティックの操作



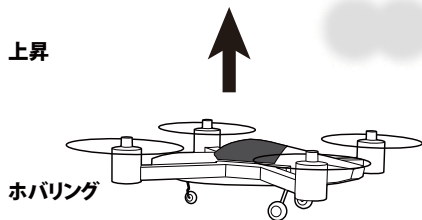
上空
高速飛行



MC
モーターフルパワー



ハイ

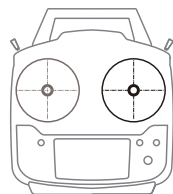


上昇

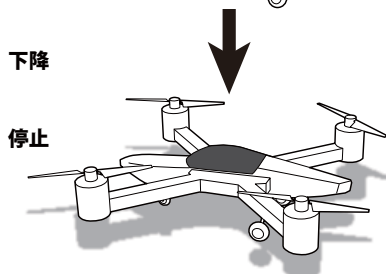
ホバリング



MC
モーター中速



ニュートラル

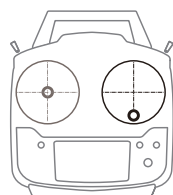


下降

停止



MC
モーターストップ



スロー

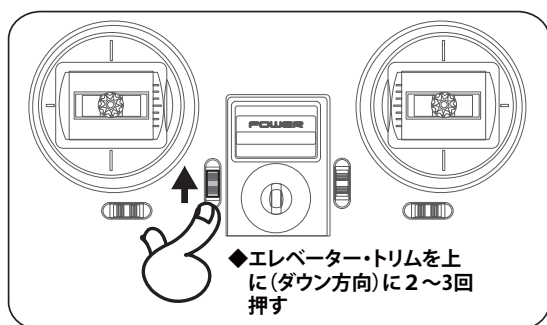
デジタルトリムの取扱い

この送信機にはデジタルトリムが装備されています。トリムを操作する毎に一定のステップ量で移動します。また、トリムがセンターの位置になると、動作音が変わって知らせます。トリム位置はLCD画面の左右および下端に常にグラフィック表示されます。

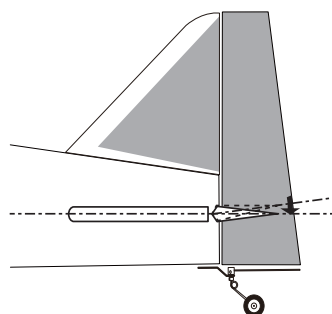
トリム操作の一例



◆エレベーター・スティックがニュートラルで飛行機が上昇してしまう場合



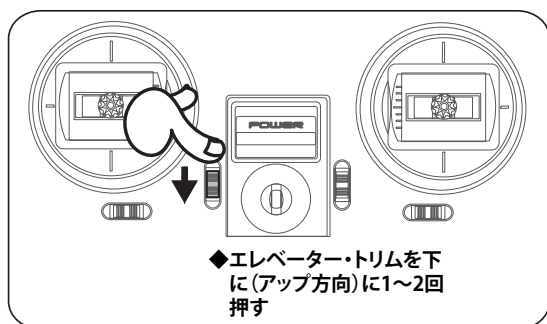
◆エレベーター・トリムを上
に(ダウン方向)に2~3回
押す



◆エレベーター・ニュートラルが
ダウン側へ少し移動します



◆今度は飛行機が下降してしまう



◆エレベーター・トリムを下
に(アップ方向)に1~2回
押す



◆ある程度水平に飛行するように何度か調整します。

トリム調整飛行後はそのまま送信機の電源を OFF してかまいません。次回電源 ON したときは、前回のトリム位置がそのまま記憶されています。

送信機裏面コネクター

お使いになる前に

イヤホンジャック (PHONE)

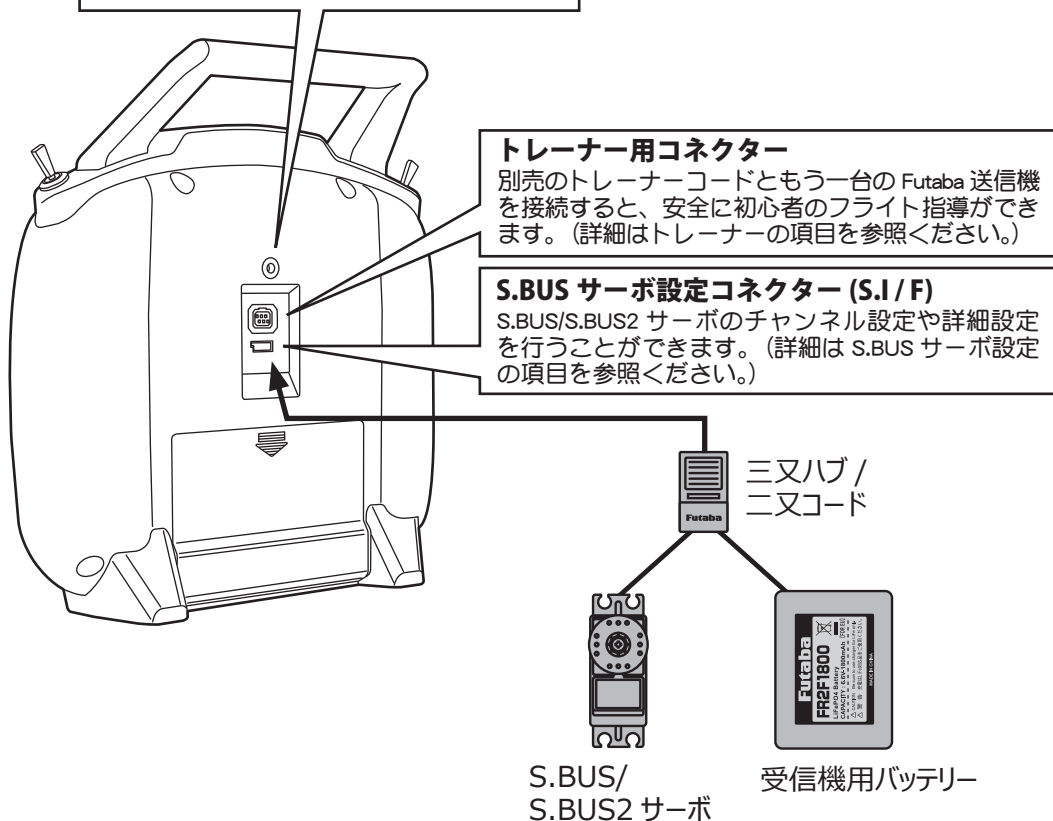
市販のφ 3.5 イヤホンを接続すると、テレメトリー情報を音声で聞くことができます。(詳細設定はテレメトリーの項目を参照ください。)

トレーナー用コネクター

別売のトレーナーコードともう一台の Futaba 送信機を接続すると、安全に初心者の方のフライト指導ができます。(詳細はトレーナーの項目を参照ください。)

S.BUS サーボ設定コネクター (S.I/F)

S.BUS/S.BUS2 サーボのチャンネル設定や詳細設定を行うことができます。(詳細は S.BUS サーボ設定の項目を参照ください。)

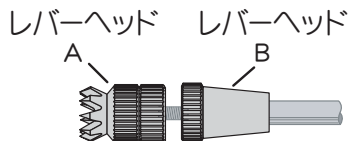


スティックの長さ調整

好みにあわせてスティックのレバーヘッドの長さが可変できます。あなたの手に合わせて長さの調整をしてください。

調整方法

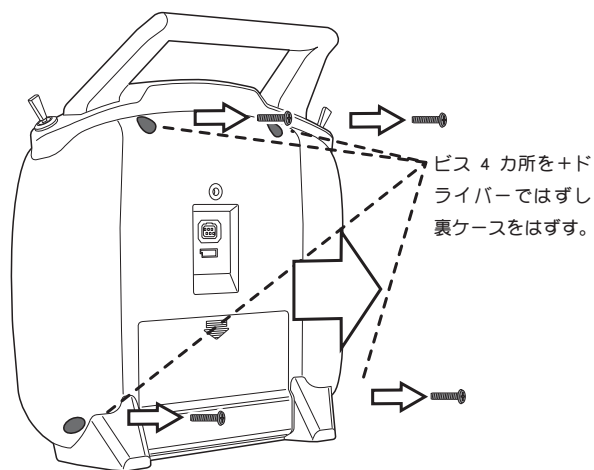
- 1 レバーヘッド B を保持し、レバーヘッド A を反時計方向へ回すとロックがはずれます。
- 2 レバーヘッド B を調整したい方向に移動して保持し、レバーヘッド A を時計方向へロックするまで回ししっかり固定します。



スティックテンション調整

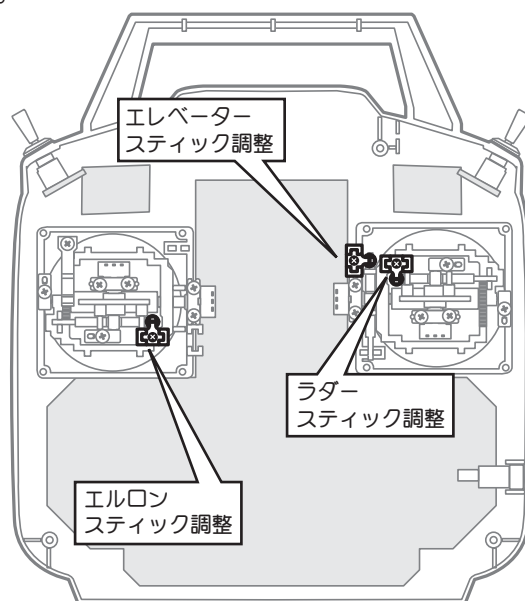
好みにあわせてスティックのテンション(スプリング圧)の調整ができます。ただし、ケースの分解が必要です。内部の基板や配線にはなるべく触れないようご注意ください。

※組立に自信のない方は分解しないでください。



裏ケースの基板と本体基板が配線につながっています。

各スティックテンション調整



裏ケースをはずした状態

お使いになる前に

+ビスを右回してしめる

スティックが重い状態
(ビスを一番しめた状態)

+ビスを左回してゆるめる

スティックが軽い状態

この線よりビスが上に出ないようにする。線より出てもテンションは変わらない。

ビスをゆるめすぎの状態

※ビスがケースに干渉します。

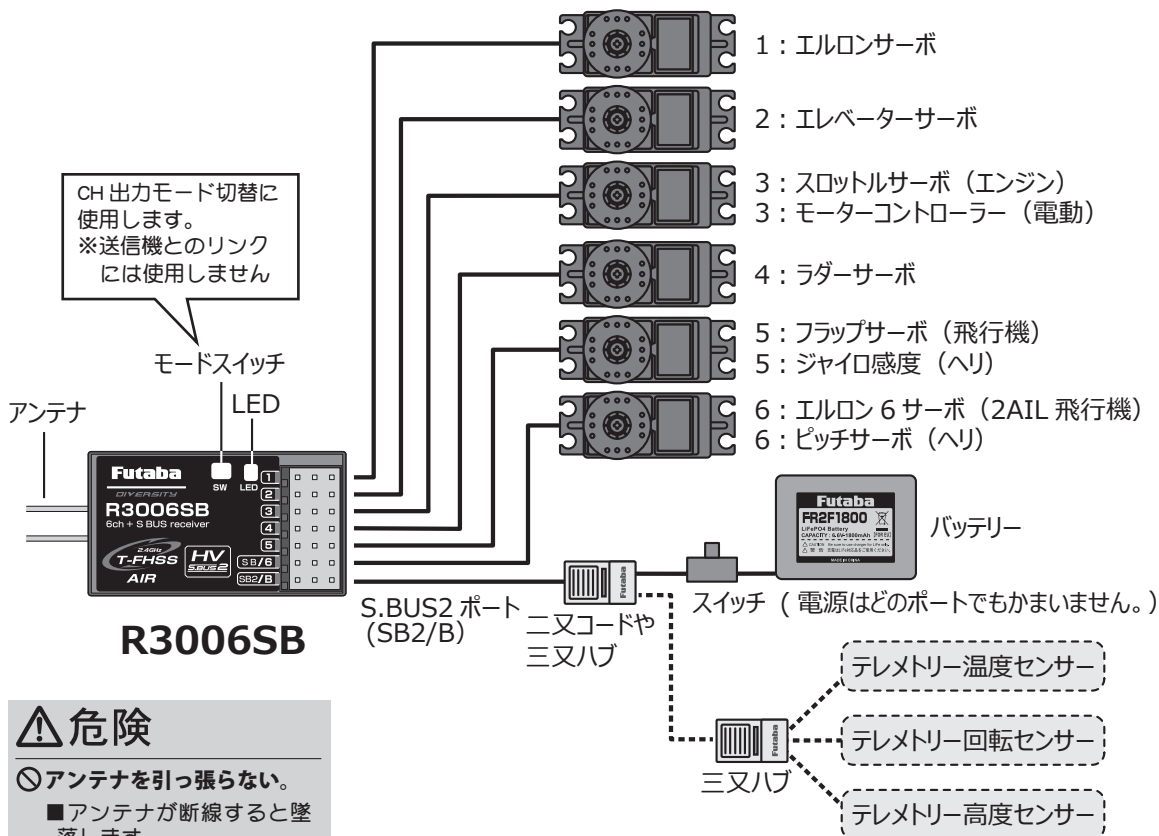
⚠️ 注意

- 組み立ての際は配線がケースにはさまらないようにする。
- ケース内部に異物が入らないようにする。
- 基板部分に触らない。
- それぞれのビスの大きさに合ったドライバーを使用する。
- ネジの締め忘れ、締めすぎには気を付ける。
- 必要がなければ分解しない。

受信機 R3006SB

この受信機は 1 チャンネルから 6 チャンネルまでの接続ポートと S.BUS(6CH と兼用で CH 出力モードの切替えが必要)、S.BUS2 (別売の各種テレメトリーセンサーを接続) の接続ポートがあります。電源は空きポートに接続します。空きがない場合には二又コードか三又ハブでサーボ(センサー) と共に接続します。

お使いになる前に



R3006SB

⚠ 危険

- ⊙ アンテナを引っ張らない。
■ アンテナが断線すると墜落します。

受信機 LED 表示

緑色	赤色	状態
消灯	点灯	無信号時
点灯	消灯	通常動作時
交互点滅		受信機内部の異常 (メモリー等) 電源再投入で回復できない場合は弊社カスタマーサービスへ点検・修理依頼してください。

⚠ 危険

- ⊙ S.BUS2 ポートに S.BUS2 以外のサーボを接続しない。
■ 従来型デジタルサーボは動作しません。アナログサーボは故障、発火の危険性があります。

⚠ 危険

- ⊙ コネクターの挿入する方向に気をつけてください。
■ 誤って右図の部分に間違った方向でバッテリーや電源スイッチを挿入すると、ショートします。

受信機



- ⊙ スイッチやバッテリーを決してこの向きに挿入しないでください。

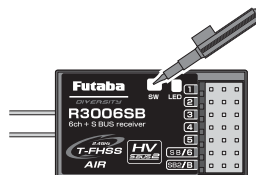
誤って挿入すると、ショートして、焼損、爆発、発火の危険性があります。

S.BUS を使用する場合

R3006SB は SB/6 の出力を CH6 (初期設定) から S.BUS 出力に切替えることができます。S.BUS を使用する場合は下記のように CH 出力モードを切替えてご使用ください。

CH 出力モードの切替え方法

- 1 受信機電源を ON にします。約 3 秒後に赤点滅を開始するので、赤点灯に変わるまで待ちます。(送信機は OFF)
- 2 赤点灯の状態でもードスイッチを 5 秒以上長押しします。
- 3 LED が赤 / 緑同時点滅になったらボタンを離します。
- 4 CH 出力の切替モードになり、現在のモードの LED 点滅になります。(初期設定はモード A)
- 5 モードスイッチを押すたびにモードが変わります。
- 6 目的のモードに切り替わったら、モードスイッチを 2 秒以上長押しして下さい。LED が赤 / 緑の同時点滅に変わったらモード切替完了です。ボタンを離して下さい。
- 7 切替が完了したら電源を入れ直して下さい。



お使いになる前に

※リンク済みの送信機の電源が ON になっていると CH 出力切替モードに入りません。

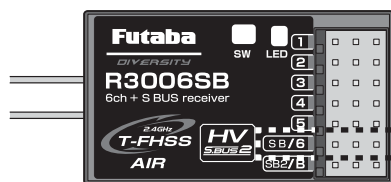
CH 出力モード一覧表

	モード A	モード B
SB/6	6 CH	S.BUS
赤色 LED 点滅回数	1 回	2 回

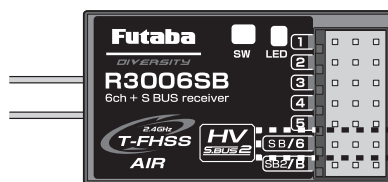
⚠ 危険

- ⊖ SB/6 ポートをモード B(S.BUS) に切替えた場合 SB/6 ポートに S.BUS/S.BUS2 以外のサーボを接続しない。
- 従来型デジタルサーボは動作しません。アナログサーボは故障、発火の危険性があります。

初期設定



6チャンネルの動作をします。



S.BUS 出力になります。

リンク操作

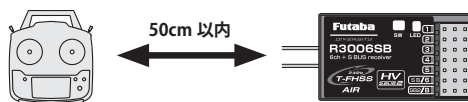
R3006SB 受信機の場合、ご使用の前に送信機の ID コードを受信機に読み込ませる操作（リンク操作）を行う必要があります。一度リンク操作が行われると、その ID コードは受信機に記憶され、その受信機を別の送信機で使用するまでは再リンク操作の必要はありません。T-FHSS Air のリンク方法は、従来システムから使いやすさを向上した、リンクボタンを使用せずにリンクが出来るシステムです。

- 初期セット以外の受信機を使用する場合、リンクが必要です。
- 新たに新規モデルに変更した場合、再リンクしなければテレメトリーが使用できません。

お使いになる前に

リンクの方法

- 1 送信機と受信機を近づけ、送信機の電源を入れてください。（受信機は OFF）



- 2 送信機をリンクモードにします。

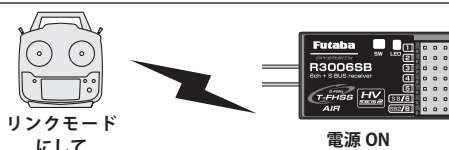
設定画面の呼び出し

- ① 初期画面の状態では、+キーを1秒以上押し、メニュー画面を呼び出します。
- ② ジョグキーでメニュー内のモデルセレクトを選択します。
- ③ ジョグキーを押して、設定画面に入ります。

リンクモードへ

- ① ジョグキーでメニュー内の LINK 横の (NO LINK) が ID ナンバーを選択します。
- ② ジョグキーを長押しするとリンクモードに入ります。
- ③ 送信機からチャイム音がでてリンクモードに入っていることをお知らせします。
“ピッ ピッ ピッ”
(20 秒間リンクモードになる)

- 3 すぐに受信機の電源を ON します。
受信機電源 ON から約 3 秒後に受信機はリンク待ち状態（赤点滅）になります。



- 4 送信機にその受信機の ID が表示され、受信機の LED が赤色の点滅から緑色点灯に変化すれば、リンク完了です。（受信機のリンク待ち状態は約 3 秒間で終了します。）

- 5 動作を確認してください。リンクされていない場合は再度お試しください。

※リンク操作時に、周囲で他の T-FHSS Air-2.4GHz システムが使用されている場合、それらの送信機のうちの 1 台とリンクしてしまう場合があります。このためリンク操作が完了したら、必ず動作を確認してください。

※リンクされた送信機の電源を入れた場合はそのまま通信を開始します。

※ 2 台の受信機を使用する場合は、1 台目の受信機と同じようにリンク操作を行って下さい。（ただし、2 つの受信機を使用する場合はテレメトリーシステムが使用できません。必ずパラメーターでテレメトリー MODE を INH にしてください。）

警告

- ⊘ リンク操作は動力用モーターが接続された状態やエンジンがかかった状態では行わない。
■ 不意にモーターが回転したり、エンジンが吹け上がったりすると大変危険です。
- ⚠ リンク操作が完了したら、一旦受信機の電源を OFF とし、リンクした送信機で操作ができることを確認してください。
- ⚠ リンク完了後は必ず送信機から電源を入れる。

モデルセレクトでモデルを変更すると受信機電圧が表示されない場合

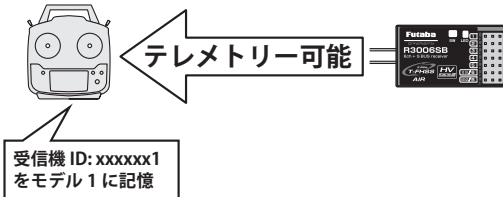
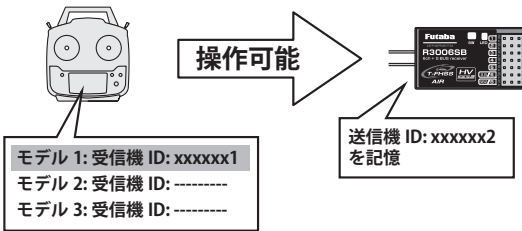
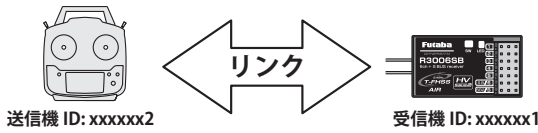
受信機が送信機の ID をリンクにより記憶すると通常の操作が可能になります。

送信機が受信機の ID をリンクにより記憶するとテレメトリーが使用可能になります。

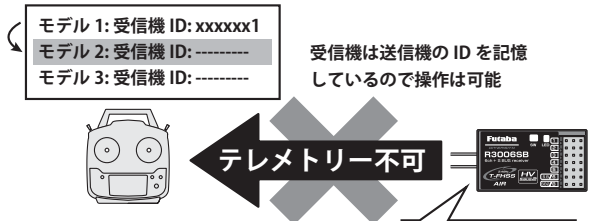
送信機は各モデル毎に受信機 ID を記憶するので、受信機 ID が記憶されていないモデルや異なる受信機 ID が記憶されている場合はテレメトリー機能が使用できません。ただし受信機が送信機の ID を記憶していると操作は可能です。

お使いになる前に

送信機がモデル 1 でリンクする場合

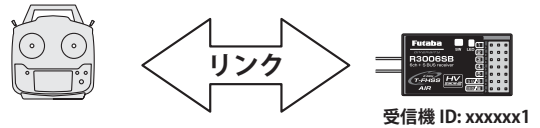


送信機をモデル 2 へ切替えた場合



モデル 2 は受信機 ID を記憶していないのでテレメトリーは使用できない。

送信機をモデル 2 へ切替えて再リンク



送信機の各モデルに受信機 ID が記憶されるので、一度受信機 ID が記憶されたモデルを再度呼び出した場合再リンクの必要はありません。



新規モデルを設定する場合、そのモデルに使用する受信機ではじめに一度リンクを行なってからご使用ください。

パワーダウンモード

安全にご使用いただくために、飛行前には必ず距離テストを実行してください。T6K 送信機には距離テスト専用のパワーダウンモード（送信電波を弱くする）が搭載されています。

次の手順に従って距離テストを行ってください。

- 1 送信機のジョグキーを押しながら、送信機電源を ON にし、"パワーモード" 画面を呼び出します。"Power Down" が選択された状態でジョグキーを押します。
- 2 パワーダウンモードで RF 出力され、ピープ音とともに送信機の LED が点灯の状態となります。
- 3 スティック等を操作しながら、機体から離れて行きます。すべての操作が完全に正確に動作することを、機体のそばにいる助手に確認してもらいます。機体から 30 ~ 50 歩 (30m) 程度離れた位置で正常に動作することを確認します。
- 4 すべて正常に動作したら機体のそばに戻ります。END キーを押すと、パワーダウンモードが終了して、通常の電波出力となります。必ずパワーダウンモードを終了しスロットルスティックを最スローの状態としてから、エンジンやモーターを始動します。助手に機体を保持してもらい、エンジン回転数を変化させて距離テストを実行します。このとき、サーボがジッターしたり、操作とは異なる動きをする場合は何らかの問題があることが考えられます。原因を取り除くまではそのまま飛行しないでください。その他、サーボ接続のゆるみやリンクエッジの状態等も確認します。また、フルに充電されたバッテリーを使用してください。

(パワーダウンモード時の表示)

パワーダウンモード動作中、ピープ音とともに送信機のモニター LED が点滅の状態となります。

(パワーダウンモード時のサーボテスト動作)

パワーダウンモード動作中、到達距離を確認するために指定したサーボを自動テスト動作（左右にゆっくり動かす）させることができます。

- メニューの"サーボ"を選び2ページ目で動かしたいサーボを ACT にします。
 - 送信機 OFF の状態からジョグキーを押し POWER MODE 画面にして、"Power Down" を ON しパワーダウンモード起動中に "SERVO TEST" を ON にします。動作チェック中にスティックを振らずに離れた距離からサーボの動きがチェックできます。
- ※パワーダウン動作中はスロットルスティックはスローに固定となります。また、ヘリの場合コンディションが NOR に固定されます。

(電波を出さずに電源を ON する場合)

"POWER MODE" 画面でジョグ・キーを下に押し "OFF" を選択し、ジョグ・キーを押すと電波がでない状態となります (LED 消灯)。電源 OFF → ON で再び電波がでます。

⚠ 危険

- ⊖ パワーダウンモードのまま飛行しない。 ■電波が届かず墜落します。
- ⊖ パワーダウンモードのままエンジンを始動したりモーターを接続したりしない。 ■不意に回転しケガをする恐れがあります。

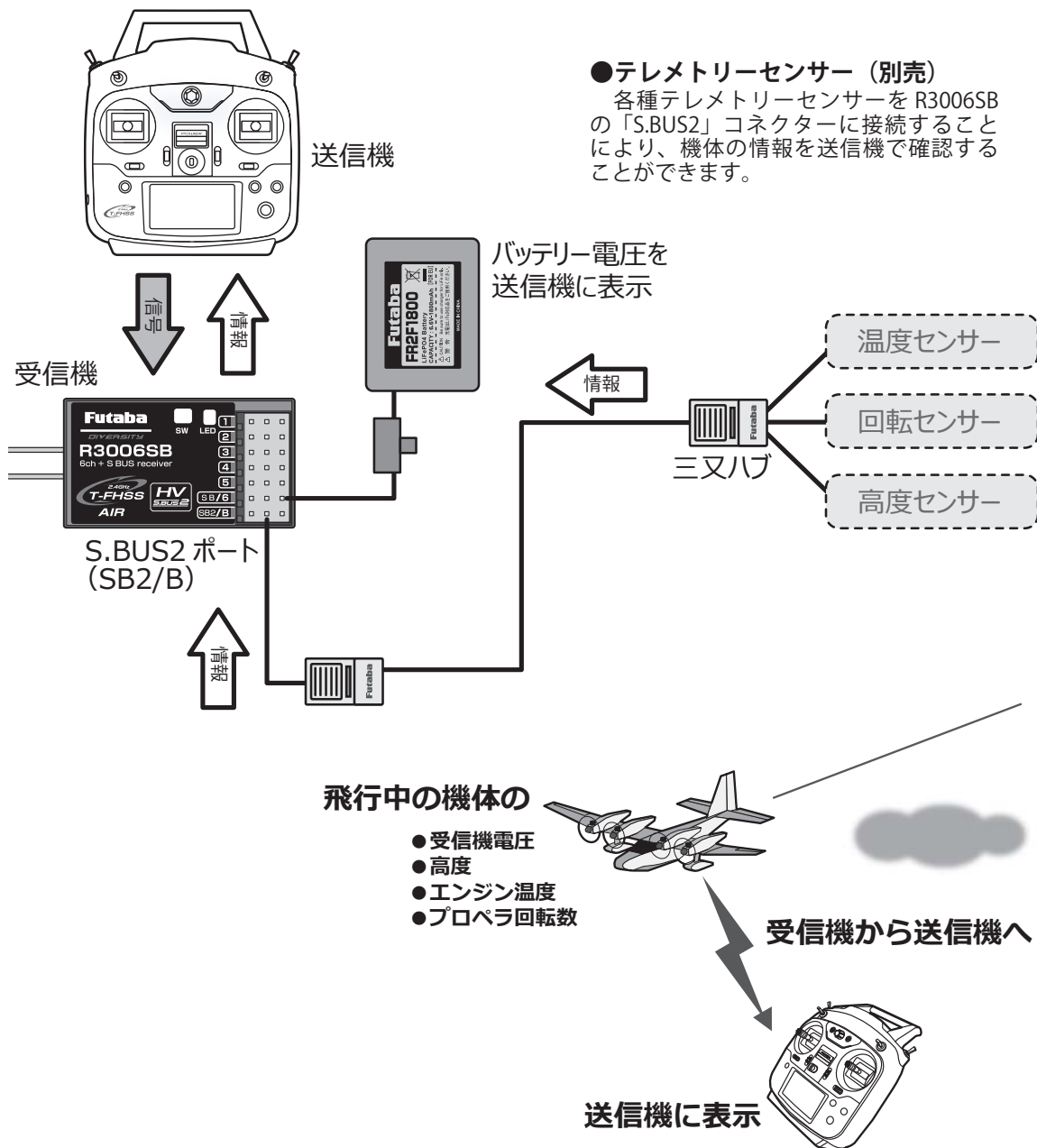
テレメトリーシステム (双方向通信)

このセットはテレメトリーシステムに対応しています。飛行中でも受信機バッテリーの電圧を送信機に表示することができます。また、機体に各種センサーユニット (別売) を搭載することにより飛行中の機体の各情報 (高度、回転数、温度) を送信機に表示することができます。

* テレメトリー機能は T-FHSS Air モードのみ対応します。

* 1 台の送信機で複数の受信機を使用する場合テレメトリー機能は使用できません。送信機のテレメトリー機能を INH にしてください。

* R3006SB の ID が登録された T6K のみテレメトリー表示します。



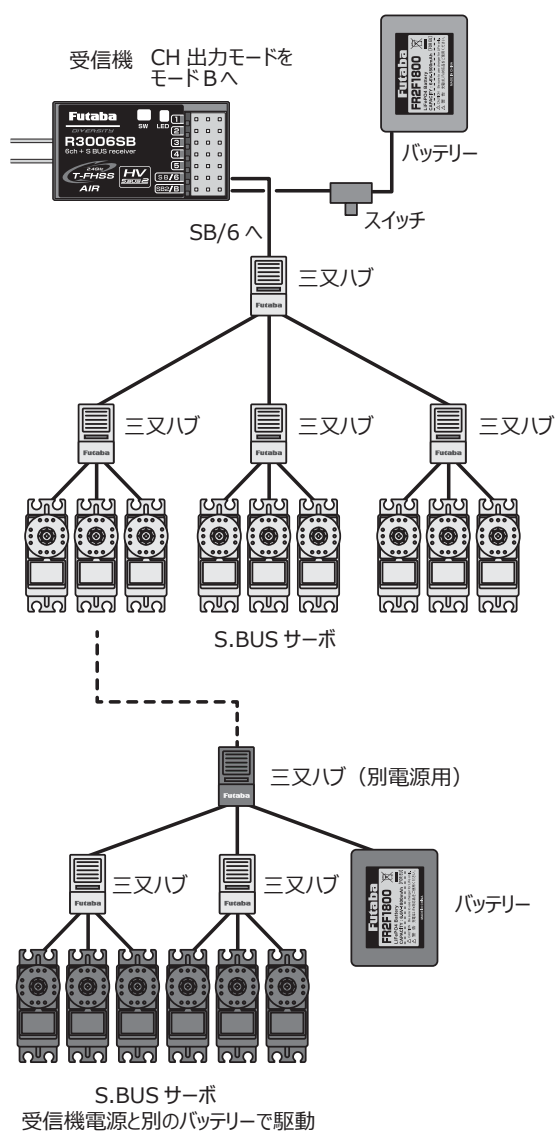
S.BUS について

このセットは S.BUS システムも使用可能です。機体搭載の際、サーボ数の多いモデルでも配線が簡素化されスッキリと搭載することができます。また胴体に主翼を取付ける時に、多サーボの主翼でも配線を 1 つつなぐだけですみます。

- S.BUS を使用する場合、送信機に特別な設定は不要です。
- S.BUS システムを使用するためには、S.BUS サーボ（ジャイロ）、三又ハブや中継 BOX が必要です。
- T6K で S.BUS サーボに CH 以外の各種設定（動作角度やスピードなど）もすることができます。
- S.BUS システムと従来システム（受信機の従来 CH を使用）を混在して使用できます。
- S.BUS サーボは従来 CH に接続しても使用できます。（サーボに記憶された CH 設定は無視されます。）
- S.BUS コネクターに S.BUS 以外のサーボ（ジャイロ）は接続できません。

お使いになる前に

S.BUS の配線例

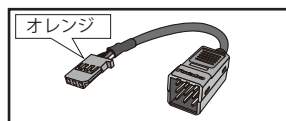


● S.BUS サーボ (別売)

あらかじめ S.BUS サーボに自分が何 CH かを記憶させるので、どのコネクターにさしてもかまいません。

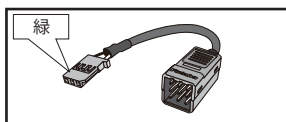
● 三又ハブ (別売)

3 つのコネクターを挿入できます。



● 三又ハブ別電源用 (別売)

別電源用のバッテリーを使用する際に使用します。



● 別電源使用の場合

より多くのサーボを使用する時や、消費電流の大きなサーボを使用する場合、別電源用の三又ハブを使用し、別電源でサーボを駆動してください。

● 電源について: 電源には十分に余裕のあるバッテリーをご使用ください。乾電池では使用できません。

警告

⚠ 電源に対してサーボの消費電流が大きすぎると動作しなくなります。

⚠ S.BUS 使用時は必ず送信機の電源を ON にしてから受信機の電源を ON にして、正常に操作できることを確認してからご使用ください。また、受信機電源が ON の状態で S.BUS サーボのコネクターを抜き差ししないでください。

■ S.BUS 通信判定できずに誤動作します。

S.BUS2 について

S.BUS2 とは従来の S.BUS システムを拡張し、テレメトリーセンサーなどの双方向通信システムをサポートしたものです。

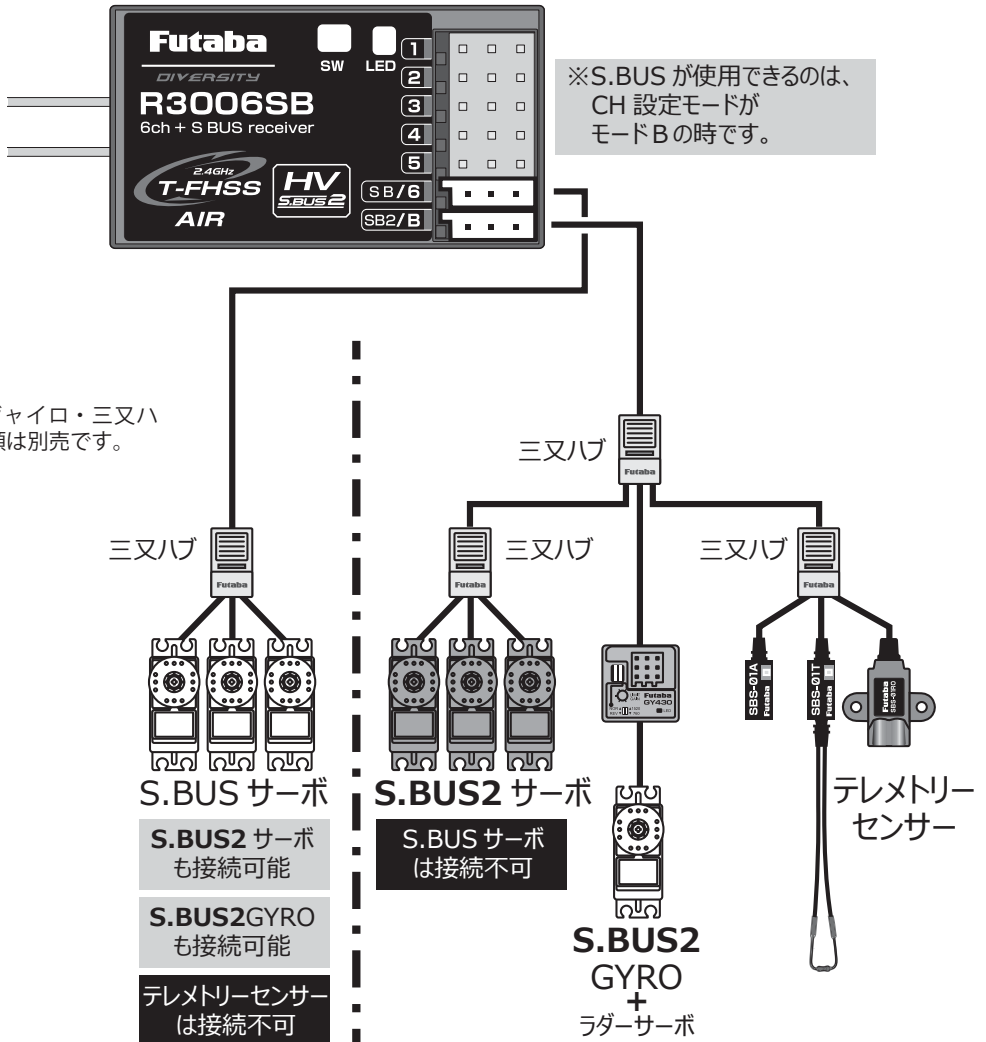
S.BUS 機器の対応表

受信機コネクタ	S.BUS 対応サーボ ジャイロ	S.BUS2 対応サーボ ジャイロ	テレメトリーセンサー
S.BUS	○	○	×
S.BUS2	×	○	○

(※) S.BUS 対応サーボ・ジャイロは **S.BUS2** コネクタに接続しないでください。

※ S.BUS サーボ・ジャイロには S.BUS 対応と **S.BUS2 対応**があります。カタログやそれぞれの取扱説明書でご確認ください。

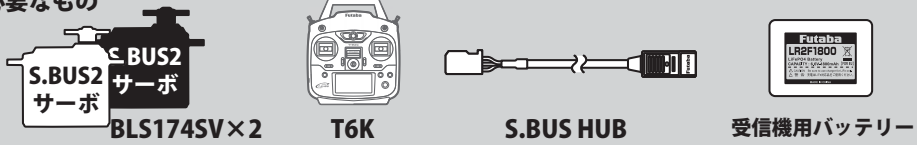
S.BUS/S.BUS2 の接続例



お使いになる前に

T6KでS.BUS2を使用する例 [飛行機のエルロン2サーボ (BLS174SV) に]

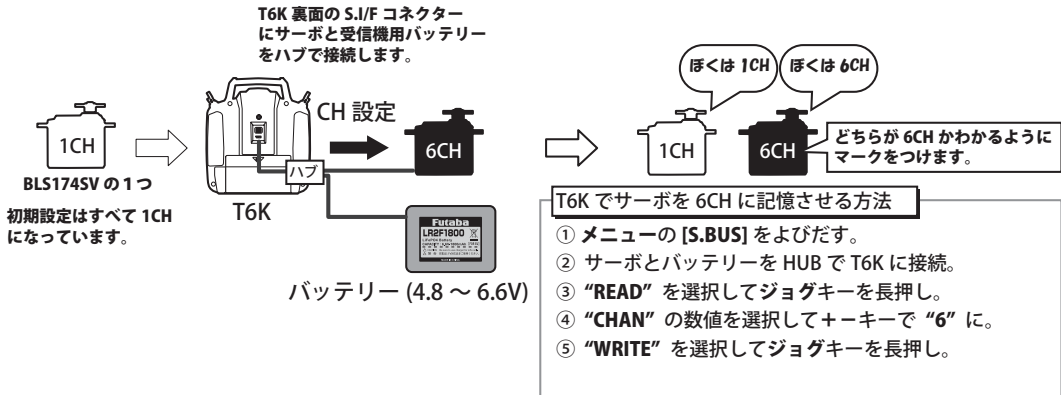
●必要なもの



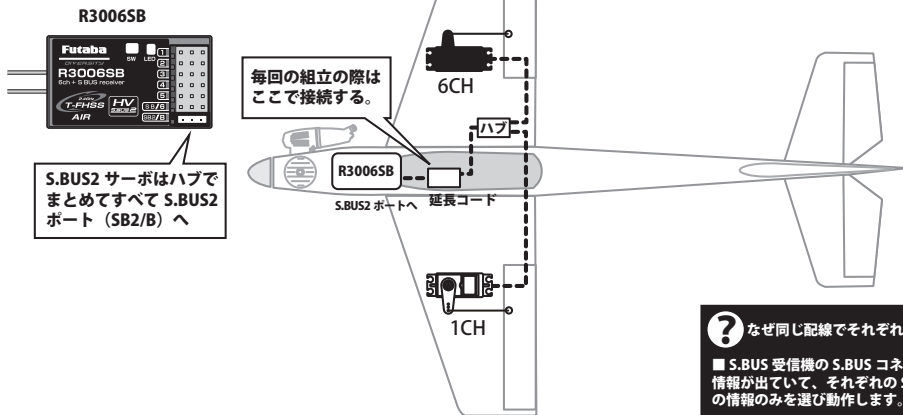
●設定方法

1. S.BUS2 サーボにチャンネルを記憶させます。

S.BUS/S.BUS2 サーボの初期設定はすべて1CHなのでどちらか1つを6CHへ変更します。



2. S.BUS2 サーボを HUB でまとめて受信機の S.BUS コネクターにつなぎます。



3. 送信機の設定をします。S.BUS に関わる特別な設定は不要です。



A. "モデルタイプ" を "AIRPLANE" に、WING を "2AIL" にする

B. 通常のリバース設定、舵角設定、エアブレーキ設定などをする

もちろん1CHと6CHで個別にサブトリムや舵角調整ができます。

●S.BUSのメリット

1. 毎回、飛行場での機体の組立で、エルロンコネクターは1本つなぐだけでOKです。
2. 配線のまちがえがありません。以前は1CHと6CHをまちがえるとエアブレーキ動作が逆になってしまいました。
3. 大型機やグライダーで多数のサーボを使用する場合、設定や配線が非常にやりやすくなります。

電源スイッチの取り付け方法

機体に受信機側電源スイッチを取付ける場合、スイッチのつまみ全ストロークより、多少大き目の長方形のあなを開け、ON / OFF が確実にスムーズに行えるように取付けてください。取り付けビスを変更しなければならないときは、スイッチの配線を押さないようビスの長さを選んでください。ショートすると火災、破損、墜落の原因となります。

また、エンジンオイル、ほこり等が直接かからない場所に取付けてください。一般的にマフラー排気の反対側の胴体側面に取付けます。

サーボ接続位置

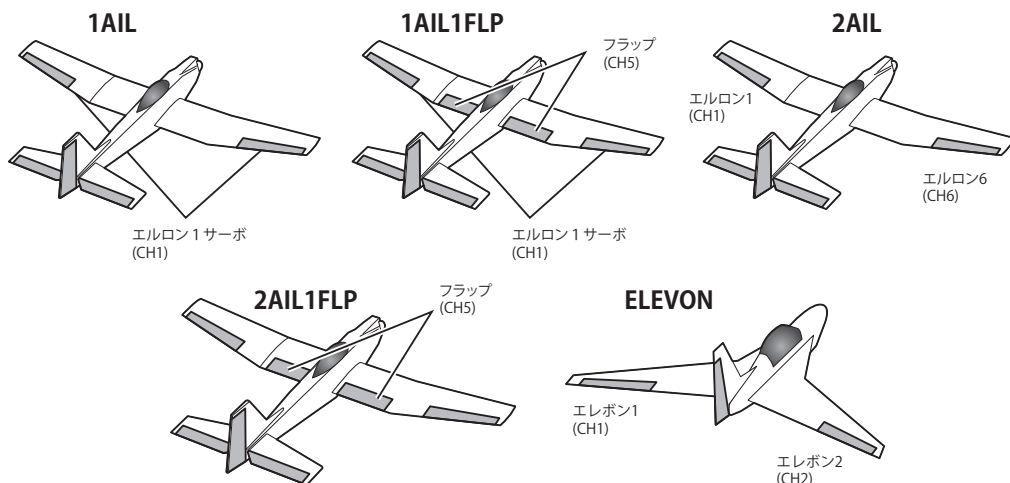
サーボ接続位置：飛行機

下表はウイングタイプ・テールタイプ別のサーボ接続位置を示します。

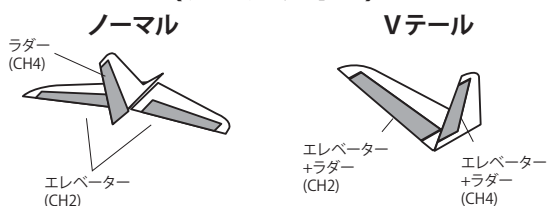
●飛行機 (AIRPLANE) の場合

CH	1AIL 1 エルロン	1AIL1FLP 1 エルロン 1 フラップ	2AIL 2 エルロン	2AIL1FLP 2 エルロン 1 フラップ	ELEVON エレボン
1	エルロン	エルロン	エルロン 1	エルロン	エレボン 1
2	エレベーター	エレベーター	エレベーター	エレベーター	エレボン 2
3	スロットル	スロットル	スロットル	スロットル	スロットル
4	ラダー	ラダー	ラダー	ラダー	ラダー
5	----	フラップ	----	フラップ	フラップ
6	----	----	エルロン 6	エルロン 6	----

(ウイングタイプ)



(テールタイプ)



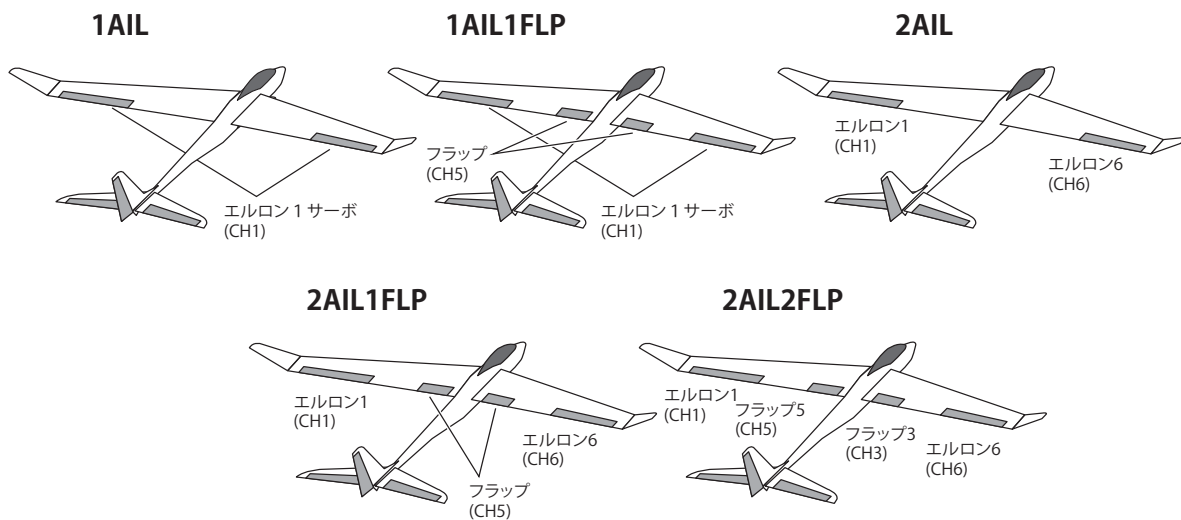
サーボ接続位置：グライダー

下表はウイングタイプ・テールタイプ別のサーボ接続位置を示します。

●グライダー（GLIDER）の場合

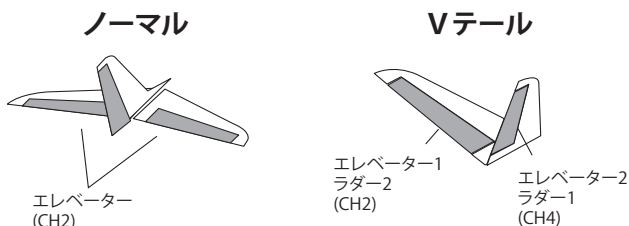
CH	1AIL 1 エルロン	1A+1F 1 エルロン 1 フラップ	2AIL 2 エルロン	2A+1F 2 エルロン 1 フラップ	2A+2F 2 エルロン 2 フラップ
1	エルロン	エルロン	エルロン 1	エルロン	エルロン
2	エレベーター	エレベーター	エレベーター	エレベーター	エレベーター
3	モーター	モーター	モーター	モーター	フラップ 3
4	ラダー	ラダー	ラダー	ラダー	ラダー
5	---	フラップ	---	フラップ	フラップ 5
6	---	---	エルロン 6	エルロン 6	エルロン 6

(ウイングタイプ)



※ 2AIL2FLP タイプは 6CH すべて舵に使用します。モーターグライダーには使用できません。

(テールタイプ)

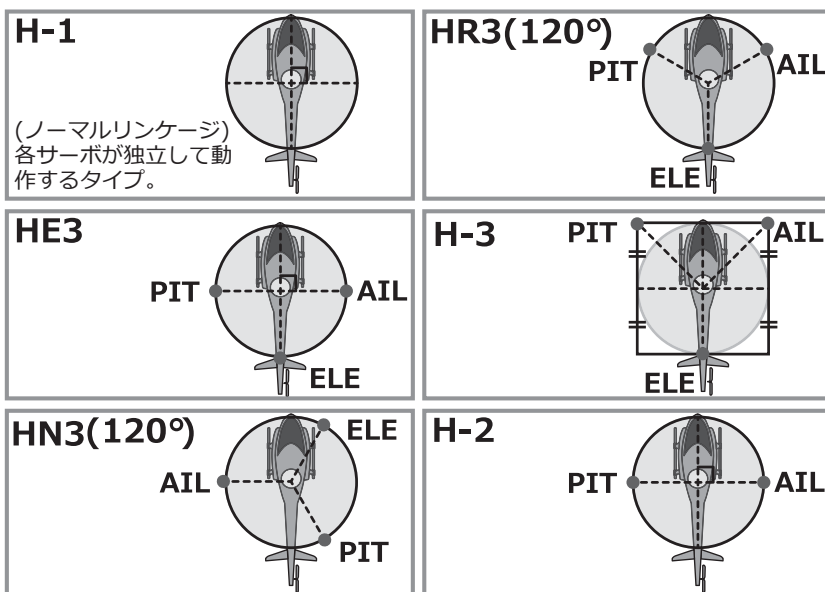


サーボ接続位置：ヘリ

下図はスワッシュタイプ別のサーボ接続位置を示します。

(スワッシュタイプ)

CH	HELICOPTER ヘリコプター
1	エルロン
2	エレベーター
3	スロットル
4	ラダー
5	ジャイロ
6	ピッチ



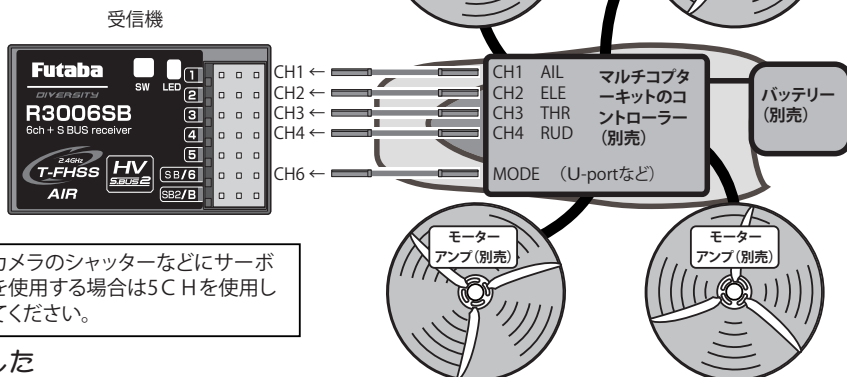
AIL : エルロンサーボ
ELE : エレベーターサーボ
PIT : ピッチサーボ

接続位置：マルチコプター

下図はマルチコプターの接続一例を示します。(マルチコプターキットにより異なります。)

CH	MULTI COPTER マルチコプター
1	エルロン
2	エレベーター
3	スロットル
4	ラダー
5	AUX
6	MODE マルチコプターの コントローラー Uポートなど

[接続例]



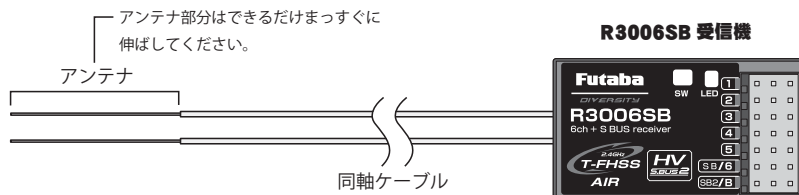
※ Futaba プロポに対応したマルチコプターキットをご使用ください。非対応のマルチコプターには使用できません。

※接続は一例です。マルチコプターのキット・コントローラーにより接続方法は変わります。ご使用のマルチコプターのキット・コントローラーの取扱説明書を見て接続してください。

受信機の搭載

受信機アンテナの搭載方法

R3006SB 受信機のアンテナは下記の方法で搭載してください。






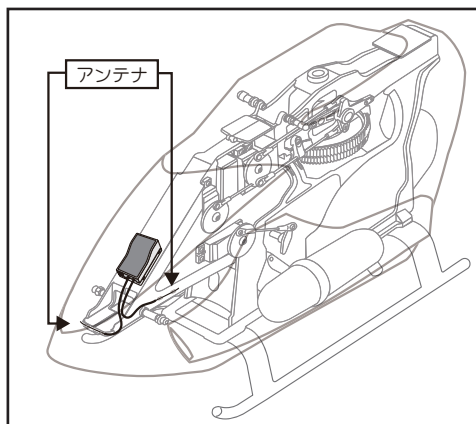
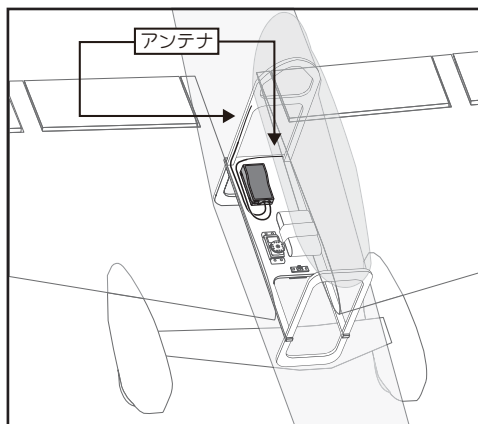
R3006SB はダイバーシティーアンテナが装備されています。2本のアンテナを自動的に切替えて常に安定した受信状態を確保しています。受信機の性能を発揮させるために、次の手順および注意事項に従って搭載してください。

組込方法

- 1) 機体に受信機を搭載する場合、機体の振動から受信機を保護するため、スポンジ等で防振対策を行ってください。
- 2) 2つのアンテナ(同軸ケーブルは除く)はできるだけ曲げないように搭載します。曲げると受信特性に悪影響があります。
- 3) 2つのアンテナがお互いに90°の位置関係になるようにし、アンテナ同士はできるだけ離して搭載してください。
- 4) 受信機アンテナの搭載位置の近くに金属等の導電体がある場合、受信特性に影響を与える可能性があるため、アンテナは導電体をはさんで、機体の両サイドに配置するようにします。
- 5) アンテナは金属やカーボン等の導電体から少なくとも1cm以上離して搭載してください。なお、同軸ケーブル部は離す必要はありません。ただし同軸ケーブルはきつく曲げないでください。
- 6) 機体がカーボンや金属を蒸着したフィルム等の導電体の材質で覆われている場合、アンテナ部は必ず機体の外側に出ている必要があります。また、アンテナを導電体の胴体や燃料タンクに貼り付けないでください。

警告

-  **アンテナを引っ張ったり、余分な力を加えない。**
■受信機内部でアンテナが断線し受信不能になります。
-  **アンテナをカットしたり、折り曲げたりしない。**
■受信距離が短くなり操作不能になります。
-  **アンテナはモーター、アンプおよびその他のノイズ源からできるだけ離す。**



組込時の安全上の注意

警告

コネクター接続について

- コネクターは奥まで確実に挿入する。
 - 飛行中に、機体の振動等でコネクターが抜けると墜落します。特に、エルロンサーボへの延長コードを主翼につなぐ場合に、受信機側が抜けやすいので注意してください。

受信機の防振／防水について

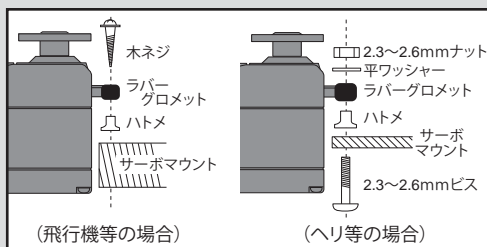
- 受信機はスポンジゴム等で包んで防振対策を行う。また、水のかかる恐れのある場合はビニール袋等に入れて、防水対策を行う。
 - 強い振動やショックを受けたり、水滴の侵入によって誤動作すると墜落します。

サーボの動作中について

- 各舵のサーボを動作中いっばいに動作させてみて、プッシュロッドがひっかかったり、たわんだりしないように調整する。
 - サーボホーンに無理な力が加わった状態が続くと、サーボが破損したり、電池の消耗が早くなって墜落します。

サーボの取り付けについて

- サーボは防振ゴム（ラバークロメット）を介してサーボマウント等に取り付ける。また、サーボケースがサーボマウント等の機体の一部に直接触れないように搭載する。
 - サーボケースが直接機体に触れていると、機体の振動が直接サーボに伝わり、その状態が続くとサーボが破損し墜落します。

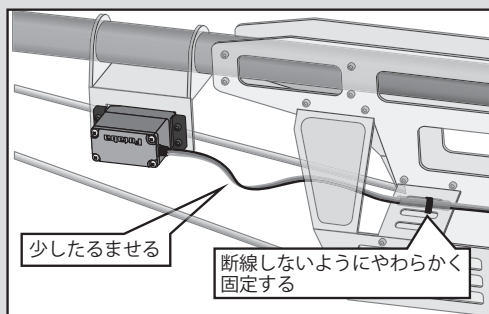


サーボリード線の固定

- サーボのリード線は飛行中の振動に共振して断線することを防ぐため、突っ張らないよう少し余裕を持たせ、適当な位置で固定してください。また、日頃のメンテナンス時にも定期的を確認してください。

(固定例)

- リード線に余裕を持たせる。
- リード線が暴れないようサーボの出口から5～10cm程度のところを固定する。



初期設定

飛行機セッティング手順 (2 サーボエルロン機の場合)

飛行機のセッティング手順について、ここでは一般的な2サーボエルロン(主翼の左右にそれぞれエルロンサーボがついている)の機体を例にとって説明します。実際に使用される機体に合わせて、各数値は読み替えてください。

まず設定を行う前に、モデルセレクト機能で空いているモデルを選択します。また、モデルネーム機能でわかりやすいモデルの名前を登録しておく、後で呼び出す時に便利です。

組込方法

1. モデルタイプの選択

モデルタイプを "AIRPLANE" にします。
WING タイプを "2AIL" にします。

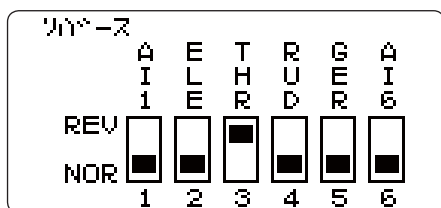


2. 基本となる舵角を設定します

●舵の方向をあわせる

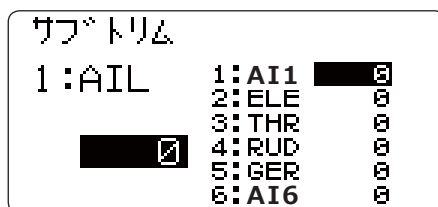
舵角を設定する前に各舵の方向が合っているかどうかを確認し、逆の場合はリバース機能で方向を合わせます。

主翼のエルロンは、左翼に受信機の1CH(エルロン)、右翼に6CHを接続してください。



●舵のニュートラルをあわせる

地上で各舵を真後ろから見て、中立にします。リンケージのアジャスターで調整します。微調整はサブトリムで行ないます。



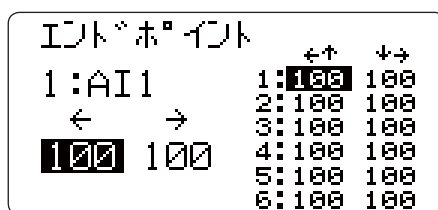
●舵角の調整

リンケージの時の舵角設定はエンドポイント機能で行います。

舵角は最大動作のときにサーボに極端な負荷がかからない程度にします。

また上下左右の舵角を同じにあわせるように調整します。

できるだけ100%に近い数値になるようにホーンの長さで調整します。



●デュアルレート機能(D/R)の調整

飛行後のレート調整はエンドポイントではなくデュアルレート機能(D/R)で行います。強い舵角と弱い舵角の2つを設定する方法を記載します。

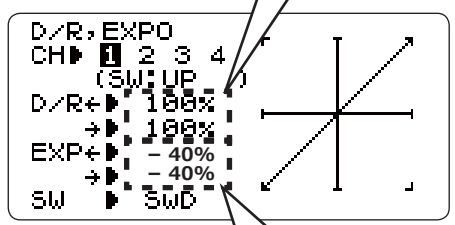
●エルロンに2つの舵角を設定

飛行後のレート調整はエンドポイントではなくデュアルレート機能(D/R)で行います。強い舵角と弱い舵角の2つを設定する方法を記載します。メニューから "DR EXP" をよびだします。

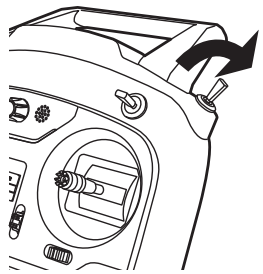


スイッチDを手前に倒します。

その時の舵角が表示されます。ここは強い舵角で100%のままにします。

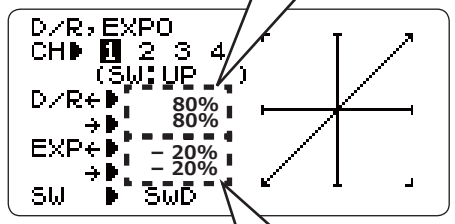


強い舵角の場合ニュートラル付近が敏感になってしまうのでEXP エキスポンシヤルを-40%位入力します。カーソルをEXPの数値に置きキーで-40%に入力します。次にエルロンスティックを右(左)に倒して右(左)のレートも同じく-40%と入力します。



スイッチDを奥に倒します。

その時の舵角が表示されます。ここは弱い舵角で80%にします。カーソルをこの数値に置きキーで80%に下げます。次にエルロンスティックを右(左)に倒して右(左)のレートも同じく80%と入力します。



弱い舵角ではニュートラル付近はさほど敏感にならないのでEXP エキスポンシヤルを-20%位入力します。カーソルをEXPの数値に置きキーで-20%に入力します。次にエルロンスティックを右(左)に倒して右(左)のレートも同じく-20%と入力します。

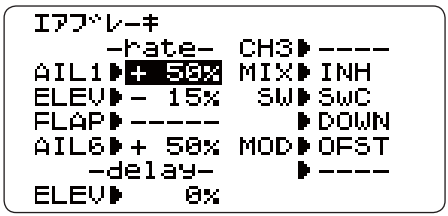
これでスイッチDを手前にすると強い舵角、奥にすると弱い舵角の2レートができました。飛行中必要に応じて切替えができます。CH2も同じ手順で設定するとエレベーターも2つのレートが使用できます。エルロン・エレベーター同時に強弱切替えたい場合はエレベーターもスイッチDを選択します。するとスイッチDでエルロン・エレベーター同時に強弱切替えることができます。

3. エアブレーキの設定

エルロンを両方上げて、エアブレーキとして利用する例です。このとき機首上げとなる場合エレベーターを若干ダウンに動作するようにします。抵抗が増え降下角度がおおきくなり、また、失速しにくくなり、狭い飛行場に有利です。

[注意事項]
このときエルロンのききが悪くなります。エルロン舵角が少ない機体や、風が強いときは使用しないようにしてください。

●エアブレーキの設定



エアブレーキを呼び出します。オフセットモード (OFST) とします。(通常はオフセットモードで使用します)

エルロンレート (AIL1, AIL6) + 50 ~ + 55% (1CH, 6CH とも)、エレベーターレート (ELEV) - 15% ~ - 20% にセッティングしてみます。SW を下側にして動作を確認してください。中スローで飛行したときに、機体が水平に飛ぶようにエレベーターレートで微調整してください。

初期設定

ヘリコプターセッティング手順 (一般的なヘリセッティング例)

ヘリのセッティング手順について、一般のエンジンヘリのセッティングを例にとって説明します。実際に使用される機体に合わせて数値は読み替えてください。

設定を行う前に、モデルセレクト機能で空いているモデルを選択します。また、モデルネーム機能でモデルの名前を登録しておく、後で呼び出す時に便利です。

組込方法

また、パラメーター機能呼び出し、モデルタイプ選択機能で HELICOPTER(ヘリ)が選ばれていることを確認します。別のタイプが選ばれている場合は、HELICOPTER を選択します。(この設定ではスワッシュタイプは "H-1" とします。実際に使用される機体に合わせて変更してください。)

1. 機体側のリンケージ

エルロン、エレベーター、スロットル、ラダー、ピッチの各舵をキットの取扱説明書に従ってリンケージします。

リンケージの動作方向が逆の場合は、リバース機能により方向を合わせます。ジャイロの動作方向も合わせます。

エンジン機の場合、スロットルはトリム全閉でキャブレター全閉となり、エンジンカットできるようにリンケージしてください。

舵角は基本的にはサーボホーンで調整し、舵角調整機能(エンドポイント)で微調整します。

2. ノーマル/アイドルアップ/ス

ロットルホールド切替スイッチ

コンディション機能呼び出し、切替スイッチを使用可能な状態に設定します。(初期設定は INH)

ノーマル : (スイッチ OFF の時動作)
アイドルアップ 1 : C スwitch の真中 (CNTR) で動作
アイドルアップ 2 : C スwitch の手前 (DOWN) で動作
スロットルホールド : D スwitch の手前 (DOWN) で動作
優先順位はスロットルホールド/アイドルアップ 2 / アイドルアップ 1 で、スロットルホールドが最優先となります。

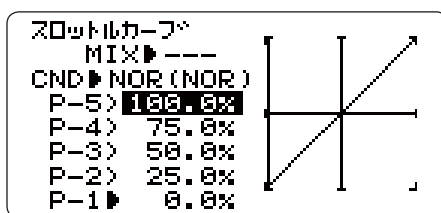
ノーマル : エンジン始動からホバリング演技に使用
アイドルアップ 1 : 上空でループなどに使用
アイドルアップ 2 : 上空でロールなどに使用
スロットルホールド : オートローテーションに使用

3. ノーマルの設定

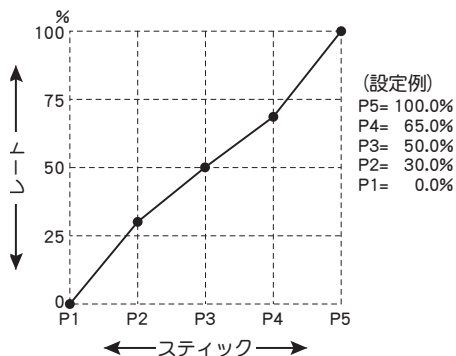
まず、ノーマルの設定を行います。アイドルアップ/スロットルホールドスイッチを全て OFF にすると、ノーマルの状態です。

●スロットルカーブ

メニューから TH カーブ (スロットルカーブ) を呼び出します。



NOR (ノーマル) のスロットルカーブをとりあえず下図の値に設定してみます。

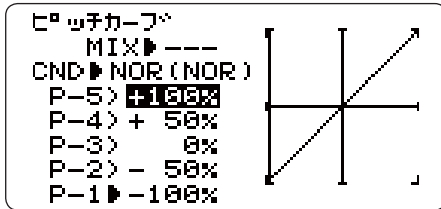


この設定は、ホバリング (3 ポイント目) を基準に前後を寝かせたカーブで、ホバリング付近を鈍くしてあります。

ホバリング時のレスポンス、回転数を見ながら、2~4 ポイントで調整します。ピッチとの兼ね合いもあるので合わせて考えてください。

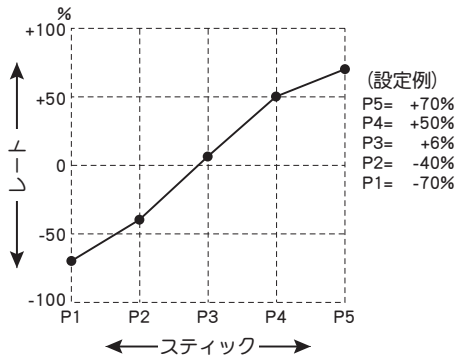
●ピッチカーブ

メニューから **PI カーブ** (ピッチカーブ) を呼び出します。



ピッチカーブをとりあえず次の表の値に設定してみます。

ホバリング時のピッチは約 +5 ~ 6° にします。



この設定は、立ち上がりガスロー側で早く、ハイ側が遅くなるカーブです。

[調整ポイント 1]

■離着陸ではポイント 1、2 を使い、上昇、下降時のレートを含ませます。

[調整ポイント 2]

■ホバリングではポイント 3 を基準にピッチ回転数を設定します。

■上昇側のセットはポイント 4 の数値を増減させることによりレスポンスを変えることができます。数値を増やすと敏感に、減らすと鈍感になります。

■下降側のセットはポイント 2 の数値を増減させることによってレスポンスを変えることができます。数値を増やすと鈍感に、減らすと敏感になります。

*ホバリングの時の安定は、スロットルカーブとの兼ね合いがあります。ホバリングスロットル、ホバリングピッチ機能を合わせて使うと調整が楽になります。

4. アイドルアップ 1 の設定

次にアイドルアップ 1 の設定を行います。アイドルアップ 1 は、一般的にループ、ストールターンなどの演技に使用します。

アイドルアップスイッチ (C スイッチ) を真

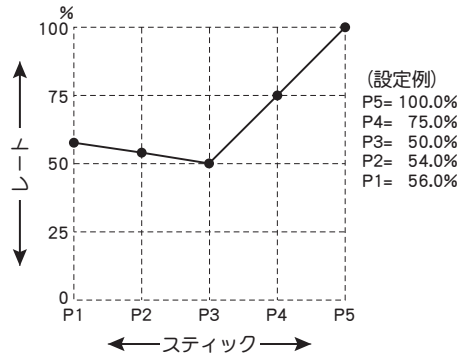
中にするとアイドルアップ 1 の状態です。

●スロットルカーブ

メニューから **TH カーブ** (スロットルカーブ) を呼び出し **ジョグキー** 長押しで **CND ▶ ID1** とします。

そして、次の値を設定してください。

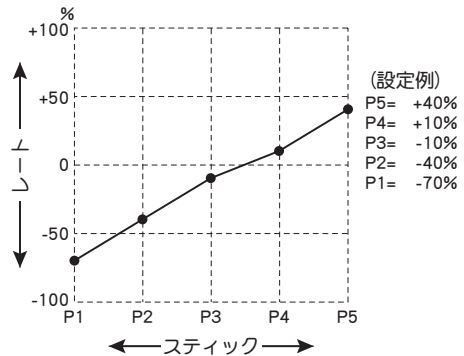
スロットルスティックをスロー側にしても回転を維持する設定となります。



●ピッチカーブ

メニューから **PI カーブ** (ピッチカーブ) を呼び出し **ジョグキー** 長押しで **CND ▶ ID1** とします。

そして、次の値を設定してください。



アイドルアップ 1 のピッチカーブは、ポイント 1、2 をノーマルと同じ設定値とし、ホバリングよりハイ側は、エンジンパワーにより異なりますが、およそ最大ピッチ角が 8 ~ 10° の間になると思われます。

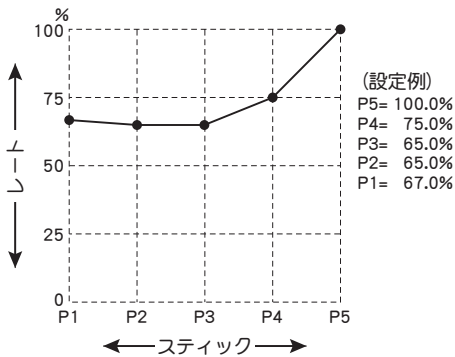
5. アイドルアップ 2 の設定

次に、アイドルアップ 2 の設定を行います。アイドルアップ 2 はロールの演技に使用します。

アイドルアップスイッチ (C スイッチ) を手前にするとアイドルアップ 2 の状態です。

●スロットルカーブ

メニューからスロットルカーブを呼び出しジョグキー長押しで **CND ▶ ID2** とします。そして、次の値を設定してください。

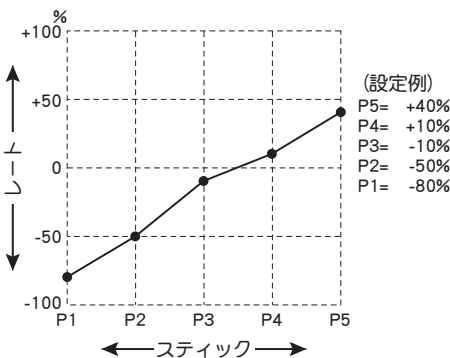


スロットルスティックをスロー側にしピッチをぬいた時でも、回転が維持できるアイドルアップ量となります。

●ピッチカーブ

メニューから **PI カーブ** (ピッチカーブ) を呼び出しジョグキー長押しで **CND ▶ ID2** とします。

そして、次の値を設定してください。



ハイ側ピッチの設定はアイドルアップ 1 と同じ設定にします。カーブは下図の値に設定します。この時の -ピッチはロールを行った時に機体をリフトできるピッチとします。

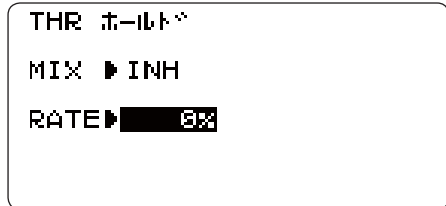
6. スロットルホールドの設定

次にスロットルホールドの設定を行います。スロットルホールドはオートローテーションに使用します。

スロットルホールドスイッチ (C スイッチ) を手前にするとスロットルホールドの状態になります。

●スロットルホールド

メニューから **THR HOLD** を呼び出します。



スロットルホールド時のサーボポジションを + 15% に設定します。(エンジンの場合: アイドリングの状態とします)

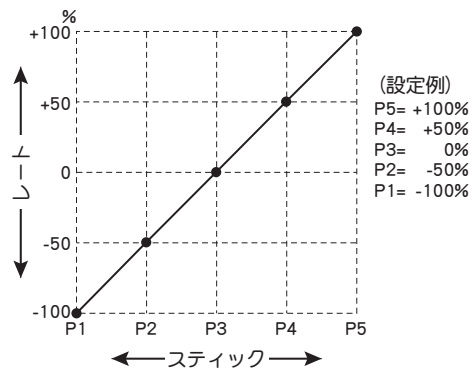
●ピッチカーブ

メニューから **PI カーブ** (ピッチカーブ) を呼び出しジョグキー長押しで **CND ▶ HLD** とします。

そして、次の値を設定してください。

オートローテーションの場合はハイ / ロー側とも最大ピッチを使用します。

ピッチアップ時のリフトの状態は、ポイント 2 ~ 5 の調整により変えることができます。



[ピッチ角度の設定例]

ノーマル : - 2.5° ~ 4.5° ~ 10°
 アイドルアップ 1 : - 2.5° ~ 5.5° ~ 8(10)°
 アイドルアップ 2 : - 3° ~ 5.5° ~ 8(10)°
 スロットルホールド : - 4° ~ 4.5° ~ 12°

7. ジャイロの感度切り替え

ジャイロ側に感度切り換えがある場合、ジャイロ機能を使用して感度を切り替えます。
 ジャイロ感度大 : ノーマル (ホバリング)
 ジャイロ感度小 : アイドルアップ1 / アイドルアップ2 / スロットルホールド
 但し、オートローテーション時にテール駆動されているヘリの場合は、スロットルホールド時にジャイロ感度大で効果がある場合もあります。

8. ピッチ→ラダーミキシングの設定

メインローターの反動トルクを抑えるミキシングで、各状態毎にミキシングのカーブが設定できます。(この機能は必要により設定してください。ただし、GY ジャイロで AVCS をご使用の場合はこのミキシングは使用しません。ニュートラルズレになります。)

●ピッチ→ラダーミキシング

PI → RUD (ピッチ→ラダーミキシング) を呼び出します。

(ノーマル)

ホバリング系に使用し、離着陸、一定スピードの垂直上昇に合わせて設定します。

HIGH > + 10%

LOW > - 10%

(AVCS では使用しません。)

初期設定の値を調整します。

(アイドルアップ 1)

ループ、ストールターンに使用し、風に正対した状態で直進するように合わせます。

HIGH / LOW とともに -15% に設定します。

この数値に設定するとラダーがオフセットされます。(AVCS では使用しません。)

9. オフセットの設定

各コンディションで別個にトリムを調整することができます。

●オフセット

オフセットを呼び出します。 **MIX → OFF**
SW → Cond とします。各コンディションでそれぞれフライトしながらトリム調整します。

オフセット	MIX ▶ INH
	SW ▶ Cond
COND ▶	IDL1 (NORM)
AIL ▶	0%
ELE ▶	0%
RUD ▶	0%

(AVCS ではラダートリムは 0% のまま動きません。)

10. スロットルカットの設定

フライト終了時のエンジンカットをスロットルトリムではなく専用スイッチにてワンタッチで行なえます。

スイッチで行うため、トリムの位置を探す必要がありません。従っていつもアイドル位置が一定となります。

●スロットルカット

TH カット (スロットルカット) を呼び出します。

機能を動作状態にします。

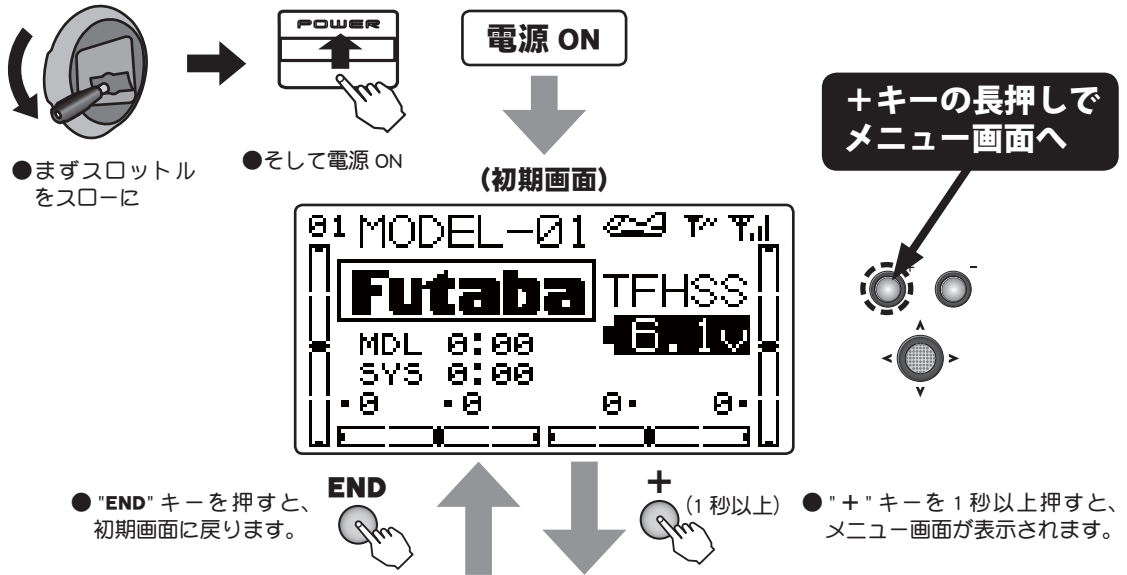
スロットルカットのオフセット量は "+" 方向に大きくし、キャブレターが全閉になるように調整します。スイッチ A を手前に倒すとエンジンストップとなります。

これで一通りの設定は終わりましたが、最後に F/S (フェイルセーフ機能) のスロットルチャンネルに設定量を調整します。通常、ホバリング位置よりスロー側になるように設定します。

共通機能



各機能の設定画面は、下記のメニューから呼び出します。ここでは、モデルタイプが飛行機用、ヘリ、グライダー、マルチコプターすべての共通の機能を示します。



共通機能

メニュー画面

メニュー 1/4

メニュー	1 2 3 4
▶ M セレクト	▶ E ポイント
▶ M タイプ	▶ トリム
▶ M ネーム	▶ サフトリム
▶ F/S	▶ リンクス

メニュー 2/4

メニュー	1 2 3 4
▶ パラメータ	▶ テレメトリー
▶ P.MIX	▶ センサー
▶ AUX CH	▶ S.BUS
▶ サーボ	▶ M トランス

メニュー 3/4

メニュー	1 2 3 4
▶ タイマー	▶ DR EXP
▶ トレーナー	▶ TH カーブ
	▶ IDL DWN
▶ TH カット	

(機能の選択)

●ジョグキーで、上下・左右にカーソル(反転表示)を移動し、機能を選択します。ページをまたがって移動も可能。

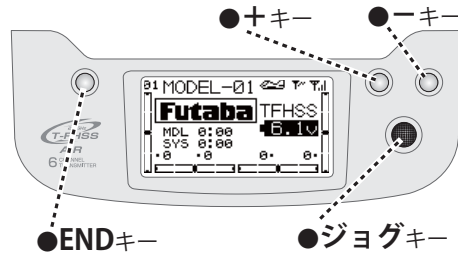
●メニュー画面のページ移動は+キーでもできます。(設定画面のページ移動はジョグキーのみ)

(設定画面の呼出し)

●ジョグキーを押して、設定画面に入ります。



エディットキー / LCD 画面



■機能一覧

◆ 1 ページ

Mセレクト	P.54
Mタイプ	P.57
Mネーム	P.60
F/S	P.62
Eポイント	P.64
トリム	P.65
サブトリム	P.66
リバース	P.67

◆ 2 ページ

パラメータ	P.68
P.MIX	P.73
AUX CH	P.76
サーボ	P.77
テレメトリー	P.78
センサー	P.91
S.BUS	P.93
Mトランス	P.96

◆ 3 ページ

タイマー	P.97
トレーナー	P.98

共通機能



Mセレクト モデル機能 (選択/RX/リンク/リセット/モデルコピー) (共通)

機能説明

このモデル機能は、送信機本体に記憶されたモデルデータの呼び出しやコピーを行なうときに使用します。また、選択されているモデルデータのリセットが可能です。受信機のタイプにあわせてシステムの変更 (T-FHSS Air, S-FHSS) と受信機とのリンクもここでを行います。

モデルセレクト (SELE)

送信機には最大 30 機分のモデルデータを保存することができます。保存されたモデルデータを呼び出すときにこのモデルセレクト機能を使用します。

受信機選択 (RX)

セットされている R3006SB は T-FHSS Air システムですが S-FHSS の受信機を使用したい場合、ここで S-FHSS に切替えます。ただし、S-FHSS の場合テレメトリー機能は使用できません。

リンク (LINK)

受信機とリンクする場合ここで送信機をリンクモードにします。現在リンクされている受信機の ID ナンバーが表示されます。(S-FHSS を選択した場合は ID が表示されません)

データリセット (RES)

現在使用しているモデルのデータを初期値にリセットすることができます。モデルタイプ (TYPE) の設定、パラメーターの各設定はリセットされません。(ただし、パラメーターのテレメトリーモード、STK POSI アラームはリセットされます)

モデルコピー (COPY)

モデルデータのコピー機能です。モデルデータをバックアップとして保存したり、同じような設定データのモデルをいくつも作りたい時などに便利な機能です。

- 現在使用しているモデルメモリーのデータを他のモデルメモリーへコピーすることができます。

共通機能

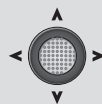
設定方法

設定画面の呼び出し

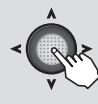
① 初期画面の状態で、+キーを 1 秒以上押して、メニュー画面を呼び出します。



② ジョグキーでメニュー内の "Mセレクト" を選択します。



③ ジョグキーを押して、設定画面に入ります。



(モデル機能 設定画面)

モデルセレクト
受信機システム
リンク
リセット

Mセレクト 12
SELE ▶ 1 MODEL-01
RX ▶ T-FHSS Air
LINK ▶ 131300099
RES ▶ Execute

(モデル No. : 1 ~ 30)
●現在選択されているモデルのモデルタイプとモデルネーム
●システム (T-FHSS Air か S-FHSS)
●リンクされた受信機の ID
各モデル毎に記憶します。この ID と受信機の ID が合致していなければ、テレメトリーが使用できません。(受信機が送信機の ID を記憶していると動作します。)

- 設定項目の選択はジョグキーで行ないます。



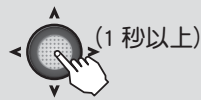
モデルセレクト

- ① "SELE" の項目が選択された状態で、+又は-キーを押してモデル No. を選択します。



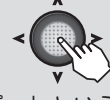
選択範囲：1～30

- ② ジョグキーを1秒以上押しします。



- 画面上に確認メッセージ "sure?" が点滅表示されます。

- ③ ジョグキーを押してモデルの選択を実行します。



- 「ピピッ」という確認音が出て、選択が完了したことを知らせます。

安全のため、ダブルセット方式を採用しています。確認メッセージ表示後、変更を取りやめるときは、**ジョグキー**で別の設定項目に移動すると変更されません。

RX

- ① "RX" の項目が選択された状態で、+又は-キーを押して "T-FHSS Air" か "S-FHSS" を選択します。



選択範囲：T-FHSS Air, S-FHSS

- 画面上に確認メッセージ "sure?" が点滅表示されます。

- ② ジョグキーを押してシステムの変更を実行します。



- 「ピピッ」という確認音で変更が完了したことを知らせます。

安全のため、ダブルセット方式を採用しています。確認メッセージ表示後、変更を取りやめるときは、**ジョグキー**で別の設定項目に移動すると変更されません。

共通機能

リンク

- ① "LINK" の項目が選択された状態で、**ジョグ**キーを1秒以上押しします。



- **T-FHSS Air** のみです。**S-FHSS** はリンクモードになりません。受信機のリンクボタンを使用してリンクします。

- ② 20秒間リンクモードに入ります。この間に受信機を送信機に近づけて受信機電源をいれます。リンクされると受信機のIDが表示されます。

- リンクモード中「ピッピッピッ」という確認音および画面上に残タイムが表示されます。20秒経過すると「ピッピッピッ」と鳴ってリンクモードが終了します。

安全のため、動力モーターやエンジンが回転する状態でリンクを行ってはいけません。また、リンクが完了したら、一旦電源 OFF し再度電源をいれて、動作確認を行ってください。

- 初期セット以外の受信機を使用する場合、リンクが必要です。
- 新たに新規モデルに変更した場合、一度、再リンクしなければテレメトリーが使用できません。



データリセット

- ① "RES" の項目が選択された状態で、**ジョグ** キーを 1 秒以上押します。



- 画面上に確認メッセージ "sure?" が点滅表示されます。

- ② **ジョグ** キーを押してデータリセットを実行します。



- 「ピピッ」という確認音および画面上に "Complete" が表示され、リセットが完了したことを知らせます。

安全のため、ダブルセット方式を採用しています。確認メッセージ表示後、変更を取りやめるときは、**ジョグ** キーで別の設定項目に移動するとリセットされません。

⚠ 注意

スロットル (3CH) のみ初期設定は "REV" (リバース) です。データリセット後もリバースとなります。ご使用のエンジンやモーターの Hi と Low の方向をよく確認し、急に全速で回らさないように注意してください。

⚠ 注意

モデルセレクトやデータリセットを行なう場合、必ず機体のエンジン・モーターが回転しない状態でおこなってください。(機体の電源 OFF・エンジン停止・モーター配線を外す) モーターやエンジンが回転する状態でモデル変更やデータリセットすると不意にプロペラ・ローターが回転する可能性があり大変危険です!

モデルコピー

- ① "COPY" の項目が選択された状態で、+ 又は - キーを押してコピー先のモデル No. を選択します。(コピー元は現在選択のモデル)



選択範囲：1 ~ 30

- ② **ジョグ** キーを 1 秒以上押します。



- 画面上に確認メッセージ "sure?" が点滅表示されます。

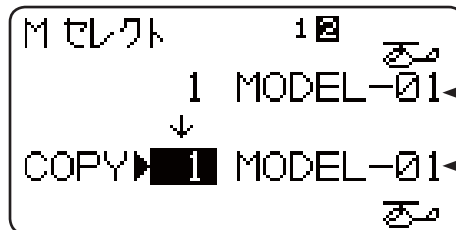
- ③ **ジョグ** キーを押してモデルのコピーを実行します。



- 「ピピッ」という確認音および画面上に "Complete" が表示され、コピーが完了したことを知らせます。

安全のため、ダブルセット方式を採用しています。確認メッセージ表示後、変更を取りやめるときは、**ジョグ** キーで別の設定項目に移動するとコピーされません。

(モデル機能 設定画面 2 ページ)



●コピー元のモデル

●コピー先のモデル



Mタイプ

モデルタイプ

(共通)

機能説明

使用する機体に合わせてあらかじめモデルタイプを選択します。飛行機、グライダーの場合はウイングタイプ、ヘリの場合はスワッシュタイプも必ず模型にあわせて設定します。

注意 モデルタイプを変更するとそのモデルの設定データはリセットされます。あらかじめ使用していない新規モデルにモデルセレクトしてからモデルタイプを変更してください。

モデルタイプ (TYPE)

ご使用の機体に合わせて次のモデルタイプの中から選択してください。

飛行機用: "AIRPLANE" を選択します。

●ご使用の機体に合わせて、WING タイプを選択してください。

ヘリコプター用: "HELICOPTER" を選択します。

●このモデルタイプを選択すると、スワッシュタイプ選択の項目が現れます。

グライダー用: "GLIDER" を選択します。

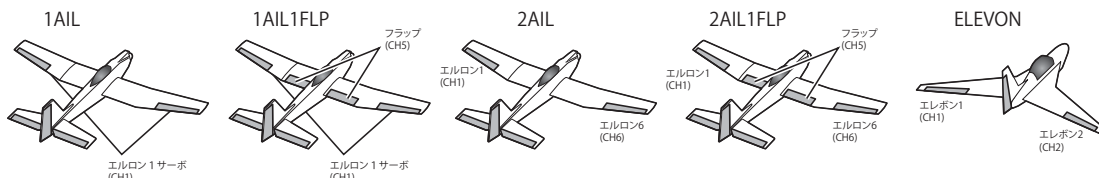
●ご使用の機体に合わせて、WING タイプを選択してください。

マルチコプター用: "MULTI COPT" を選択します。

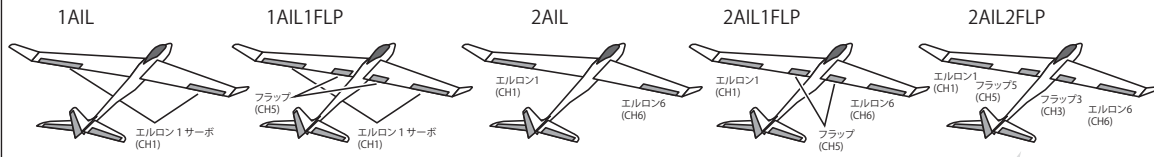
ウイングタイプ (WING)

飛行機/グライダー用のモデルタイプを選択した場合、ご使用の機体に合わせて、ウイングタイプを選択してください。

(ウイングタイプ: AIRPLANE)



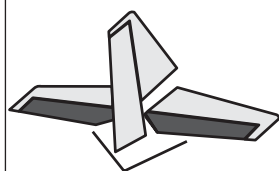
(ウイングタイプ: GLIDER)



テールタイプ (TAIL)

(ノーマル)

(Vテール)



エレベーター (CH2)



エレベーターラダー (CH2)

エレベーターラダー (CH4)

※ 2AIL2FLP タイプは 6CH すべて舵に使用します。モーターグライダーには使用できません。

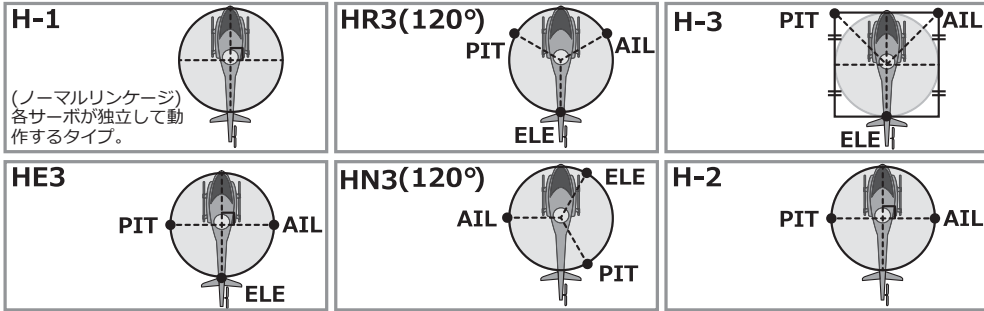
共通機能



スワッシュタイプ (SWASH)

ヘリコプター用のモデルタイプを選択した場合、ご使用の機体に合わせて、必ずスワッシュタイプを選択してください。(H-1 / HR3 / H-3 / HE3 / HN3 / H-2)

ただし、機体のリンクージの方向等の違いにより、上記の各スワッシュタイプで指定された位置にサーボを接続しただけでは、スワッシュプレートの正しい動きにならない場合があります。スワッシュプレートがキットの取扱説明書に指定する動作となるように、各サーボの動作方向はリバース機能を使用して合わせ、また、エルロン、エレベーター、ピッチ動作方向の反転はスワッシュ AFR 機能のレートの極性を変更して合わせてください。



※ Futaba **CGY750** ジャイロを使用する場合は、T6K のスワッシュタイプで **H-1** を選択して、CGY750 側でヘリのスワッシュタイプに設定します。

※ Futaba **CGY750** ジャイロを使用する場合は、感度調整が 1CH しかできません。3 軸すべてを送信機で別個に感度設定することはできません。

AIL : エルロンサーボ
 ELE : エレベーターサーボ
 PIT : ピッチサーボ

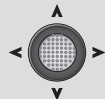
設定方法

設定画面の呼び出し

① 初期画面の状態、+ キーを 1 秒以上押して、メニュー画面を呼び出します。



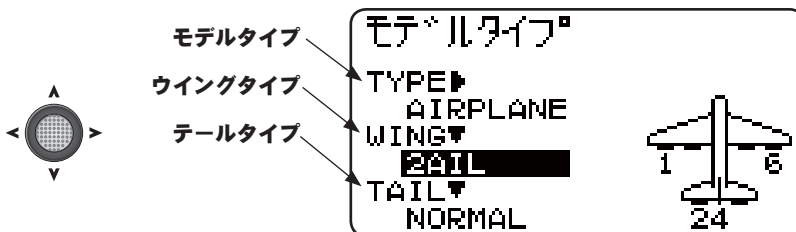
② ジョグキーでメニュー内の "M タイプ" を選択します。



③ ジョグキーを押して、設定画面に入ります。



(モデルタイプ設定画面)



- ヘリを選択するとスワッシュタイプが出現します。
- 飛行機、グライダーを選択すると、ウイングタイプとテールタイプが出現します。(エレボンはテールタイプが設定できません。)

●設定項目の選択はジョグキーで行ないます。



モデルタイプ

- ① "TYPE" の項目が選択された状態で、+又は-キーを押してモデルタイプを選択します。



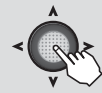
選択範囲：AIRPLANE / HELICOPTER /
GLIDER / MULTI COPT

- ② ジョグキーを1秒以上押しします。



- 画面上に確認メッセージ "sure?" が点滅表示されます。

- ③ ジョグキーを押してモデルの選択を実行します。



- 「ピピッ」という確認音が出て、選択が完了したことを知らせます。

安全のため、ダブルセット方式を採用しています。確認メッセージ表示後、変更を取りやめるときは、**ジョグキー**で別の設定項目に移動すると変更されません。

WING タイプ (AIRPLANE/GLIDER の場合)

- ① "WING" の項目が選択された状態で、+又は-キーを押してウィングタイプを選択します。



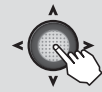
選択範囲：
1AIL/1AIL1FLP/2AIL/2AIL1FLP/
ELEVON(AIR)/2AIL2FLP(GLID)

- ② ジョグキーを1秒以上押しします。



- 画面上に確認メッセージ "sure?" が点滅表示されます。

- ③ ジョグキーを押してモデルの選択を実行します。



- 「ピピッ」という確認音が出て、選択が完了したことを知らせます。

安全のため、ダブルセット方式を採用しています。確認メッセージ表示後、変更を取りやめるときは、**ジョグキー**で別の設定項目に移動すると変更されません。

TAIL タイプ (AIRPLANE/GLIDER の場合)

- ① "TAIL" の項目が選択された状態で、+又は-キーを押してテールタイプを選択します。



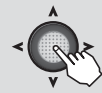
選択範囲：NORMAL/V-TAIL

- ② ジョグキーを1秒以上押しします。



- 画面上に確認メッセージ "sure?" が点滅表示されます。

- ③ ジョグキーを押してモデルの選択を実行します。



- 「ピピッ」という確認音が出て、選択が完了したことを知らせます。

安全のため、ダブルセット方式を採用しています。確認メッセージ表示後、変更を取りやめるときは、**ジョグキー**で別の設定項目に移動すると変更されません。

SWSH タイプ (HELICOPTER の場合)

- ① "SWSH" の項目が選択された状態で、+又は-キーを押してスワッシュタイプを選択します。



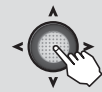
選択範囲：H-1/HR3/H-3/HE3/
HN3/H-2

- ② ジョグキーを1秒以上押しします。



- 画面上に確認メッセージ "sure?" が点滅表示されます。

- ③ ジョグキーを押してモデルの選択を実行します。



- 「ピピッ」という確認音が出て、選択が完了したことを知らせます。

安全のため、ダブルセット方式を採用しています。確認メッセージ表示後、変更を取りやめるときは、**ジョグキー**で別の設定項目に移動すると変更されません。



M ネーム

モデルネーム／ユーザーネーム

(共通)

機能説明

このモデルネーム機能では、初期画面に表示されるモデルネームおよびユーザーネームの設定が可能です。

モデルネームの設定 (MDL NAME)

モデルデータに名前を付ける機能です。モデルネームはいつも初期画面の上段に表示されます。現在使用している機体名等を入力すると、モデルメモリーの間違え防止に役立ちます。

- 最大 8 文字迄設定できます。

ユーザーネームの設定 (USR NAME)

初期画面に表示されるユーザーネームが設定できます。(ユーザーネームを設定していない場合は Futaba ロゴが表示されます) パラメーターで HOME-DSP を "U-NAME" に変更すると設定したネームが初期画面に表示されます。

- 最大 8 文字迄設定できます。

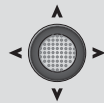
設定方法

設定画面の呼び出し

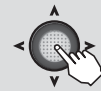
① 初期画面の状態、+ キーを 1 秒以上押して、メニュー画面を呼び出します。



② ジョグキーでメニュー内の "モデルネーム" を選択します。



③ ジョグキーを押して、設定画面に入ります。



共通機能

(モデルネーム 設定画面)

モデルネーム (8 桁)	モデルネーム	RESET ← (リセット)
	<MDL NAME>	0123456789
	MODEL-01	ABCDEF GHIJ
		KLMNOPQRST
		UVWXYZ
ユーザーネーム (8 桁)	<USR NAME>	abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
	USER_NAM	klmnopqrst
		uvwxyz

(候補文字)

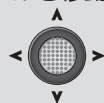
●入力できる文字
数字／アルファベット大文字／アルファベット小文字

モデルネーム

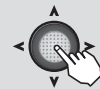
① + 又は - キーを押してモデルネームの変更したい桁にカーソルを移動します。



② ジョグキーで候補文字の中の変更したい文字にカーソルを移動します。



③ ジョグキーを押して文字の変更を実行します。



上記①～③を繰り返してモデルネームを設定してください。

リセット方法: + キー又は - キーでモデルネームの何れかの桁にカーソルを移動し、ジョグキーで "RESET" にカーソルを移動した状態でジョグキーを押すと、モデルネームが初期設定の状態に戻ります。

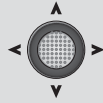


ユーザーネーム

① +又は-キーを押してユーザーネームの変更したい桁にカーソルを移動します。



② ジョグキーで候補文字の中の変更したい文字にカーソルを移動します。



③ ジョグキーを押して文字の変更を実行します。



上記①～③を繰り返してユーザーネームを設定してください。

リセット方法: +キー又は-キーでユーザーネームの何れかの桁にカーソルを移動し、ジョグキーで "RESET" にカーソルを移動した状態でジョグキーを押すと、ユーザーネームが初期設定の状態 (Futaba ロゴ) に戻ります。

ユーザーネームを初期画面に表示させる方法

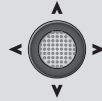
設定したユーザーネームを初期画面に表示できます。(設定していない場合は Futaba ロゴが表示されます) パラメーターで初期画面表示を "USR-NAME" に変更すると設定したネームが初期画面に表示されます。

設定画面の呼び出し

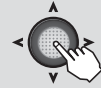
① 初期画面の状態、+キーを1秒以上押して、メニュー画面を呼び出します。



② ジョグキーでメニュー内の "パラメーター" を選択します。

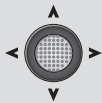


③ ジョグキーを押して、設定画面に入ります。



パラメーター

① ジョグキーでパラメーター画面の2ページ目の HOME-DSP を選択します。



② +又は-キーを押して U-NAME を選びます。



③ END キーを押して、終了です。





F/S

フェイルセーフ機能

(共通)

機能説明

ノイズや混信等で正常な電波が受信できなくなった場合、各チャンネルのサーボを受信できなくなる直前の位置に保持する "NOR"(ノーマル)モードまたはあらかじめ設定した位置に動作させる "F/S"(フェイルセーフ)モードを選択できます。T-FHSS Air 選択時はバッテリーフェイルセーフ電圧を変更できます。

- サーボリバース機能で、スロットルチャンネルを反転した場合、F/S のデータも連動して反転します。

フェイルセーフモードを選択した場合、受信機バッテリーの電圧が設定値以下に下がると、バッテリーフェイルセーフ機能が働き、予め設定した位置にサーボを動作させることが可能です。

- S-FHSS の場合バッテリーフェイルセーフ電圧は 3.8 V です。
- この機能が働いた場合は、バッテリーフェイルセーフ機能を下記の方法でいったん解除し、直ちに着陸して下さい。

警告

●安全上、必ずフェイルセーフ機能の設定を行なってください。特にスロットルチャンネルについては、飛行機の場合最スロー、ヘリの場合はホバリング位置よりスロー側になるように設定します。正しく電波を受信できなくなった場合に、フルハイで墜落すると大変危険です。

確認: フェイルセーフ機能を設定したら、必ず、設定どおりにサーボが動作することを確認してください。

解除方法: バッテリーフェイルセーフ機能は、スロットルスティックを最スロー側に操作することにより一時的に解除できます。ただし、30 秒後に再びバッテリーフェイルセーフ状態に戻ります。

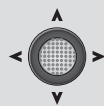
設定方法

設定画面の呼び出し

- ① 初期画面の状態、+キーを1秒以上押し、メニュー画面を呼び出します。



- ② ジョグキーでメニュー内の "フェイルセーフ" を選択します。



- ③ ジョグキーを押して、設定画面に入ります。



(フェイルセーフ機能 設定画面)

F/S ポジションの設定
モードの選択

ファイルセーフ	1 2	TFHSS
MODE	POSI	B-F/S
1:AIL	NOR	---
2:ELE	NOR	---
3:THR	F/S	20%
4:RUD	NOR	---
5:GYR	NOR	---
6:PIT	NOR	---

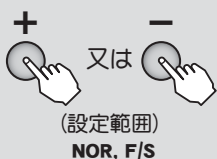
B-F/S 機能の ON/OFF

●設定項目の選択はジョグキーで行ないます。

フェイルセーフ機能

■モードの選択

- ① 各 CH の "MODE" の項目で、+又は-キーを押してモードを選択します。



(F/S モードを選択した場合)

■ F/S ポジションの設定

- ② "POSI" を選択した状態で、その CH のスティック等を設定したい位置に保持し、ジョグキーを1秒以上押し、F/S ポジションを設定します。

- 「ピピッ」という確認音がして、サーボポジションが設定されたことを知らせます。

■ B-F/S 機能を使用する場合

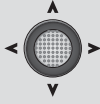
- ① "B-F/S" の項目で、+又は-キーを押して ACT を選択します。





バッテリーフェイルセーフ電圧設定

① ジョグキーでフェイルセーフ画面の2ページ目の **BATTERY F/S VOLT** を選択します。



② +又は-キーを押して電圧を設定します。



(設定範囲)

3.8V 4.0V 4.2V 4.4V 4.6V 4.8V
5.0V 5.3V 5.6V 5.9V 6.2V
6.5V 6.8V 7.1V 7.4V

③ **END** キーを押して、終了です。





Eポイント エンドポイント (舵角調整) (共通)

機能説明

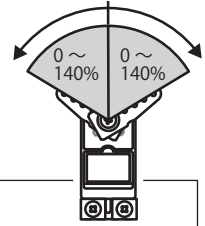
機体の各舵の初期舵角を決める機能です。

- サーボの動作量を左右片側ずつ調整できます。

サーボの振り角について

100%設定時の各チャンネルのサーボの振り角は、1～4CHが約40度、5～6CHは約55度です。
ただし、5～6CHは110%程度でサーボの最大舵角となります。

*飛行機/グライダーの2AILタイプなどで5～6CHをミキシングさせている場合は1～4CHと同じ振り角(約40度)となります。



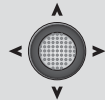
設定方法

設定画面の呼び出し

- ① 初期画面の状態、+キーを1秒以上押して、メニュー画面を呼び出します。



- ② ジョグキーでメニュー内の"Eポイント"を選択します。

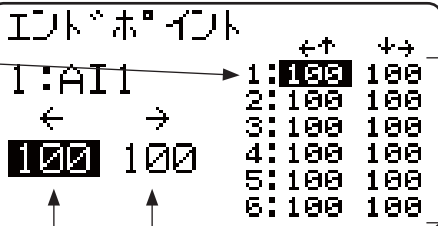


- ③ ジョグキーを押して、設定画面に入ります。



共通機能

(エンドポイント 設定画面)



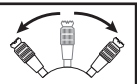
- 設定チャンネルの選択はジョグキーで行ないます。



- 各チャンネルの設定レートが表示されます。

(左側/下側) のレート表示 (右側/上側) のレート表示

該当チャンネルのスティック (スイッチ、VR) 操作で切替えます。



<チャンネル表示>

AIRPLANE (2AIL1FLP)	HELICOPTER	GLIDER (2AIL2FLP)	MULTICOPTER
1: AIL (エルロン 1)	1: AIL (エルロン)	1: AIL (エルロン 1)	1: AIL (エルロン)
2: ELE (エレベーター)	2: ELE (エレベーター)	2: ELE (エレベーター)	2: ELE (エレベーター)
3: THR (スロットル)	3: THR (スロットル)	3: FL3 (フラップ 3)	3: THR (スロットル)
4: RUD (ラダー)	4: RUD (ラダー)	4: RUD (ラダー)	4: RUD (ラダー)
5: FLP (フラップ)	5: GYR (ジャイロ)	5: FL5 (フラップ 5)	5: AUX (予備)
6: AI6 (エルロン 6)	6: PIT (ピッチ)	6: AI6 (エルロン 6)	6: MOD (モード)

エンドポイント

- ① ジョグキーでチャンネルを選択します。



選択範囲：1～6ch

- ② 選択したチャンネルのスティックやボリューム等を左(下)側または右(上)側いっばいに操作した状態で、+キー又は-キーを押してレートを調整します。



調整範囲：

0～140%

初期値：100%

- 設定値を初期値に戻したい場合、+キーおよび-キーを同時に押します。

上記②を繰り返して、スティックやボリューム等の各方向のレートを調整してください。



トリム

トリム機能

(共通)

機能説明

トリムステップ

機体の性能やトリムの用途により、ステップあたりのトリム変化量を1～40の間で変更できます。用途に合わせて設定してください。通常の機体では2～10位の設定でよいでしょう。(初期値：4)

トリムタイプ

スロットル・トリムのみノーマルとATL <ハイ側はトリムが効かない>が選べます。ほかのトリムはノーマルとセンター (CNT) <スティック両サイドはトリムが効かない>が選べます。

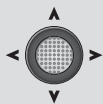
設定方法

設定画面の呼び出し

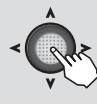
① 初期画面の状態、+キーを1秒以上押して、メニュー画面を呼び出します。



② ジョグキーでメニュー内の"トリム"を選択します。



③ ジョグキーを押して、設定画面に入ります。



(トリム 設定画面)

トリム	STEP	TYPE
1:AIL	4	NOR
2:ELE	4	NOR
3:THR	4	ATL
4:RUD	4	NOR

(各トリムのステップ量)

- THRのトリムタイプ NORとATLがあります。
NOR: 通常のトリム動作で、各スティックの全域に影響します。
ATL: スロットルトリムに使用します。スロー側のみトリムが効いてハイ側はトリム動作しません。

- THR以外のトリムタイプ NORとCNTがあります。
NOR: 通常のトリム動作で、各スティックの全域に影響します。
CNT: センター(ニュートラル)付近のみトリムが効いて両サイド(フル操作時)はトリム動作しません。



● 設定項目の選択はジョグキーで行ないます。

● 例えば、ステップ量が初期値(4)の場合、トリムはセンターから端までを30ステップで移動します。ステップ量を40とすると、3ステップで移動します。

トリムステップ量の調整

① "STEP"の項目の設定したいトリムが選択された状態で、+キー又は-キーを押して、ステップ量を設定します。



調整範囲：1～40

初期設定：4

● 設定値を初期値に戻したい場合、+キーおよび-キーを同時に押します。

トリムタイプの変更

① "TYPE"の項目の設定したいトリムが選択された状態で、+キー又は-キーを押して、タイプを変更します。



調整範囲：

THR以外：NOR, CNT

THR：NOR, ATL

共通機能



サブトリム サブトリム

(共通)

機能説明

このサブトリム機能は、リンクージ時のサーボ個々のニュートラル調整に使用するトリム機能です。サブトリムを設定するときは、トリムをセンター位置にセットしてから行ってください。

設定上の注意

サブトリムを大きくとりすぎると最大舵角時にサーボの動作範囲を超え、サーボが動作しない不感帯が発生することがあります。サブトリム使用量を最小限に押さえられるように、まずリンクージを工夫しましょう。

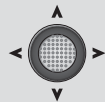
設定方法

設定画面の呼び出し

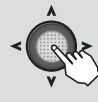
① 初期画面の状態では、+キーを1秒以上押し、メニュー画面を呼び出します。



② ジョグキーでメニュー内の"サブトリム"を選択します。

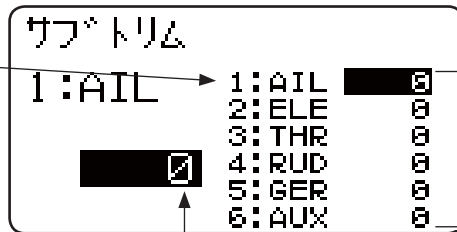


③ ジョグキーを押して、設定画面に入ります。



共通機能

(サブトリム 設定画面)



● 設定チャンネルの選択はジョグキーで行ないます。



● 各チャンネルの設定量が表示されます。

サブトリム
設定量の表示

<チャンネル表示>

AIRPLANE (2AIL1FLP)	HELICOPTER	GLIDER (2AIL2FLP)	MULTICOPTER
1: AI1 (エルロン 1)	1: AIL (エルロン)	1: AI1 (エルロン 1)	1: AIL (エルロン)
2: ELE (エレベーター)	2: ELE (エレベーター)	2: ELE (エレベーター)	2: ELE (エレベーター)
3: THR (スロットル)	3: THR (スロットル)	3: FL3 (フラップ 3)	3: THR (スロットル)
4: RUD (ラダー)	4: RUD (ラダー)	4: RUD (ラダー)	4: RUD (ラダー)
5: FLP (フラップ)	5: GYR (ジャイロ)	5: FL5 (フラップ 5)	5: AUX (予備)
6: AI6 (エルロン 6)	6: PIT (ピッチ)	6: AI6 (エルロン 6)	6: MOD (モード)

サブトリム

① ジョグキーでチャンネルを選択します。



選択範囲：1～6ch

② +キー又は-キーを押してサブトリム量を調整します。



調整範囲：
-120～+120%
初期値：0%

● 設定値を初期値に戻したい場合、+キーおよび-キーを同時に押しします。

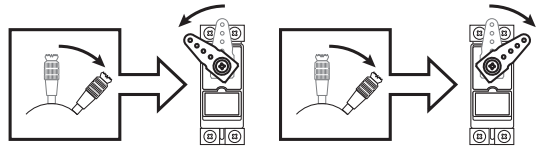


リバース サーボリバース

(共通)

機能説明

サーボの動作方向を変えたいときに使用する機能です。



注意

- ① スロットル (3CH) のみ初期設定は "REV" (リバース) です。ご使用のエンジンやモーターの Hi と Low の方向をよく確認し、急に全速で回りださないように注意してください。
- ② 飛行機の場合、特にエルロンの方向は間違いやすいので十分注意しましょう。

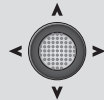
設定方法

設定画面の呼び出し

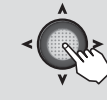
① 初期画面の状態、+キーを1秒以上押して、メニュー画面を呼び出します。



② ジョグキーでメニュー内の "リバース" を選択します。



③ ジョグキーを押して、設定画面に入ります。



誤設定防止のため、上記でサーボリバース画面を呼び出した後、ジョグキーを左右に押さなければチャンネルは選択されていません。

(サーボリバース 設定画面)

チャンネル選択



●チャンネルの選択はジョグキーで行ないます。

リバース					
A I L	E L E	T H R	R U D	G L I	A I 6
1	2	3	4	5	6
REV	NOR	REV	NOR	REV	NOR
1	2	3	4	5	6

●現在選択中のチャンネルが反転表示されます。

●動作方向を表示します。
REV : リバース側
NOR : ノーマル側
(チャンネル No.)

<チャンネル表示>

AIRPLANE (2AIL1FLP)	HELICOPTER	GLIDER (2AIL2FLP)	MULTICOPTER
1: AI1 (エルロン1)	1: AIL (エルロン)	1: AI1 (エルロン1)	1: AIL (エルロン)
2: ELE (エレベーター)	2: ELE (エレベーター)	2: ELE (エレベーター)	2: ELE (エレベーター)
3: THR (スロットル)	3: THR (スロットル)	3: FL3 (フラップ3)	3: THR (スロットル)
4: RUD (ラダー)	4: RUD (ラダー)	4: RUD (ラダー)	4: RUD (ラダー)
5: FLP (フラップ)	5: GYR (ジャイロ)	5: FL5 (フラップ5)	5: AUX (予備)
6: AI6 (エルロン6)	6: PIT (ピッチ)	6: AI6 (エルロン6)	6: MOD (モード)

サーボリバース

① ジョグキーでチャンネルを選択します。



選択範囲 : 1 ~ 6ch

② ジョグキーの上下で変更します。



●画面上に確認メッセージ "sure?" が点滅表示されます。(前と同じ場合は、表示されません。)

③ ジョグキーを押して、サーボリバースを実行します。



●「ピッ」という確認音が表示され、動作方向が反転します。

安全のため、ダブルセット方式を採用しています。確認メッセージ表示後、変更を取りやめるときは、ジョグキーで別の設定項目に移動するとサーボリバースは実行されません。

共通機能

**機能説明**

このパラメーター機能では、画面コントラストの調整、バックライトの調整、バックライトタイム、バックライト照度、送信機の電圧アラーム、バイブ、ブザートーン、初期画面の選択、テレメトリー（モード、単位、スピーチ、スピーチボリューム）、およびスティックポジションアラームの設定が可能です。

※パラメータ各機能は全てのモデル共通で連動します。ただし、(M)表示のある機能（テレメトリーモード、スティックポジションアラーム）のみ現在のモデルのみの設定となります。

LCD コントラストの調整 (CONTRAST)

LCD 画面のコントラスト調整が可能です。

- 設定によっては、薄くなり過ぎて画面が見えなくなったり、濃すぎて見づらくなる場合がありますので、適正な濃さに調整してください。設定範囲 -10 ~ +10

バックライトの動作モード (BACK-LIT)

LCD 画面のバックライトの動作モードを選択できます。

- 常時 ON (ON)、エディットキー操作後一定時間で OFF (KEY-ON)、または常時 OFF (OFF) を選択可能。

バックライトの ON 時間 (LIT-TIME)

バックライトの動作モードで "KEY-ON" を選択している場合の ON 時間を設定できます。

- 設定範囲：1 ~ 30 秒

バックライトの輝度調整 (LIT-ADJS)

LCD 画面のバックライトの輝度を調整できます。

- 設定範囲：1 ~ 30

送信機バッテリーアラーム電圧の選択 (BATT ALM)

使用する電池（送信機）によって選択します。

- 乾電池 4 本使用の場合 ⇒ 4.2V DR
- HT5F1800B(ニッケル水素電池)の場合 ⇒ 5.0V Ni
- FT2F2100B(リチウムフェライト電池)の場合 ⇒ 5.8V Fe

送信機バッテリーアラーム電圧バイブの選択 (BATT VIB)

送信機のバッテリーアラームをブザー音と同時に振動で知らせます。

ブザートーン設定 (BUZ-TONE)

キー操作時のブザー音のトーン（音色）を変更できます。

- 設定範囲：OFF, 1 (低) ~ 100 (高)

初期画面表示モードの選択 (HOME-DSP)

初期画面にタイマー、ユーザーネーム、受信機電圧の表示が可能です。

- 初期は Futaba ロゴを表示。

テレメトリーモードの設定 (TLM MODE) (M)

テレメトリーを機能させるかさせないかの設定です。1 台の送信機で 2 台の受信機を使用する場合 INH にしてください。

- 設定範囲：ACT / INH

テレメトリー表示単位の設定 (UNIT)

テレメトリー表示をメートル法かヤード・ポンド法 (°C / °F) にするかの設定です。

- 設定範囲：METER / YARD

スピーチ言語の設定 (SPEECH)

イヤホンからテレメトリー情報を聞く場合の言語種類の設定です。

- 設定範囲：日本語 (JPN) / 英語 (English)

スピーチ音量の設定 (VOLUME)

イヤホンからテレメトリー情報を聞く場合の音量設定です。

- 設定範囲：LOW (音量：小) / HIGH (音量：大)

スティックポジションアラームの設定 (STK ALRM) (M)

スロットルスティックが設定位置にくるとアラームが一回鳴るように設定できます。



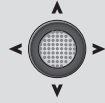
設定方法

設定画面の呼び出し

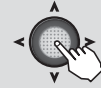
① 初期画面の状態では、+キーを1秒以上押し、メニュー画面を呼び出します。



② ジョグキーでメニュー内の"パラメータ"を選択します。



③ ジョグキーを押して、設定画面に入ります。



パラメータ 1 2 3 4

コントラスト	→ CONTRAST	▶	■■■■	1ページ
バックライト	→ BACK-LIT	▶	ON	----- 1ページ
ライトタイム	→ LIT-TIME	▶	10	
ライトアジャスト	→ LIT-ADJS	▶	15	

● 2～4ページ

バッテリーアラーム (BATT ALM)	
バッテリーアラームバイブ (BATT VIB)	----- 2ページ
ブザートーン (BUZ-TONE)	
ホーム画面 (HOME-DSP)	
テレメトリーモード (TLM MODE)	
テレメトリー単位 (UNIT)	----- 3ページ
スピーチ言語 (SPEECH)	
スピーチ音量 (VOLUME)	
スティックポジションアラーム (STK ALRM)	----- 4ページ

●設定項目の選択はジョグキーで行ないます。



LCD コントラスト調整

- ① "CONTRAST" の項目が選択された状態で、+キー又は-キーを押して、画面のコントラストを調整します。



- +側で濃くなり、-側で薄くなります。

選択範囲：-10 ~ 0 ~ +10

初期設定：0

- 設定値を初期値に戻したい場合、+キーおよび-キーを同時に押します。

バックライトの動作モード / ON 時間 / 輝度調整

■動作モードの設定

"BACK-LIT" の項目が選択された状態で、+キー又は-キーを押して、モードを選択します。



- "ON" : 常時オン
- "OFF" : 常時オフ
- "KEY-ON" : エディットキー操作後一定時間オン

選択範囲：
ON, OFF, KEY-ON

初期設定：KEY-ON

■ON 時間の設定

"LIT-TIME" の項目が選択された状態で、+キー又は-キーを押して、ON 時間を設定します。



- ここでは、動作モードが"KEY-ON"に設定されている場合に、キー操作後のON時間を設定できます。

選択範囲：1 ~ 30 (秒)
初期設定：10 (秒)

- 設定値を初期値に戻したい場合、+キーおよび-キーを同時に押します。

■輝度調整

"LIT-ADJS" の項目が選択された状態で、+キー又は-キーを押して、輝度を調整します。



- 設定値 30 で輝度が最大となります。

選択範囲：1 ~ 30
初期設定：15

- 設定値を初期値に戻したい場合、+キーおよび-キーを同時に押します。

送信機バッテリーアラーム電圧の選択

- ① "BATT ALM" の項目が選択された状態で、+キー又は-キーを押して、電圧を選択します。



- 乾電池 4 本使用の場合 ⇒ 4.2V DR
- HT5F1800B(ニッケル水素電池) の場合 ⇒ 5.0V Ni
- FT2F2100BV2(リチウムフェライト電池) の場合 ⇒ 5.8V Fe

※充電式バッテリーと乾電池では電圧降下の特性が異なります。充電式バッテリーをご使用される場合必ず電圧を変更してお使いください。

選択範囲：
4.2V 4.6V 5.0V 5.4V 5.8V
6.2V 6.6V 7.0V 7.4V

送信機バッテリーアラーム電圧バيبの選択

- ① "BATT VIB" の項目が選択された状態で、+キー又は-キーを押して、ON か OFF を選択します。ON でアラームと同時に送信機が振動します。



選択範囲：
OFF, ON



ブザートーンの設定

- ① "BUZ-TONE" の項目が選択された状態で、+キー又は-キーを押して、数値(トーン)を変更します。数値が高い程高音になります。



選択範囲：
OFF, 1 ~ 100

- 設定値を初期値に戻したい場合、+キーおよび-キーを同時に押します。

初期画面表示モード

- ① "HOME-DSP" の項目が選択された状態で、+キー又は-キーを押して、初期画面の表示モードを選択します。



- "Futaba" : Futaba ロゴを表示
- "TIMER" : タイマー拡大表示
- "U-NAME" : 設定したユーザーネームを表示
- "RX BATT" : 受信機電圧を表示

選択範囲：
Futaba, TIMER, U-NAME,
RX BATT

初期設定 : Futaba

テレメトリモードの設定

- ① "TLM MODE" の項目が選択された状態で、+キー又は-キーを押して、ACT (動作) INH (動作しない) が選択します。



選択範囲：
ACT, INH

- ※パラメータ各機能は全てのモデル共通で連動します。ただし、(M)表示のある機能のみ現在のモデルのみの設定となります。

テレメトリ表示単位の設定

- ① "UNIT" の項目が選択された状態で、+キー又は-キーを押して、METER (メートル) YARD (ヤード) が選択します。



選択範囲：
METER, YARD

スピーチ言語の設定

- ① "SPEECH" の項目が選択された状態で、+キー又は-キーを押して、言語を選択します。



選択範囲：
ニホンゴ J, English



スピーチ音量の設定

- ① "VOLUME" の項目が選択された状態で、+キー
又は-キーを押して、HIGH (音量大) LOW (音
量小) が選択します。



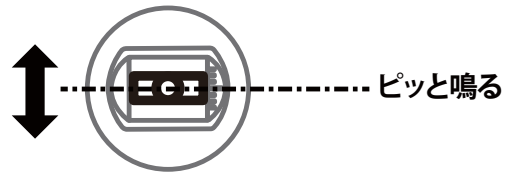
選択範囲：
HIGH, LOW

スティックポジションアラームの設定

スロットルスティックの指定したポジションでアラーム (ピットと一回) を鳴らすことができます。

- スイッチでアラーム機能の ON/OFF が設定できます。

※パラメータ各機能は全てのモデル共通で連動
します。ただし、(M) 表示のある機能のみ現在の
モデルのみの設定となります。



THRスティックを指定
位置にすると

"パラメータ" を選択します。

ジョグキーを横に押して 4 ページにします。

- 設定項目の選択はジョグ
キーで行ないます。

(STK ALRM 設定画面)

機能の有効にする → STK ALRM ▶ **INH (M)**

スイッチの選択 → SW ▶ SwA

スイッチの ON 方向 → SW POSI ▶ DOWN

アラームが鳴るスティック位置 → STK POSI ▶ 50 (0)

- パラメータ各機能は全ての
モデル共通で連動します。
ただし、(M) 表示のある機能
のみ現在のモデルのみの設
定となります。

- "INH" の場合は機能が使用でき
ない状態。"ON" または "OFF"
の場合は機能が有効な状態。
ON、OFF はスイッチに連動し
て変化します。

- カッコ内数値は現在のス
ロットルスティック位置を
示します。

- ① ジョグキーで "STK POSI" を
選択します。



パラメータ 1 2 3 4

STK ALRM ▶ ON (M)

SW ▶ SwA

SW POSI ▶ DOWN

STK POSI ▶ 50 (0)

- ② スロットルスティックをア
ラームを鳴らしたい位置に
します。



THRスティック

- ③ ジョグキーを長押しすると
その位置でアラームが鳴る
ようになります。



ピッピッと鳴り位置を記憶



P.MIX

プログラマブルミキシング

(共通)

機能説明

独立した 4 系統のカスタマイズ可能なミキシングが使用できます。

プログラマブルミキシングは機体のクセ取りや、操縦を楽にする目的で使用します。任意のチャンネル間のミキシングが行えるほか、トリム付加、オフセット、スイッチ設定機能が含まれています。

NOR: 1 ~ 3 (ノーマルタイプ)

プログラマブルミキシング 1 ~ 3 は、下記の機能が設定できます。

【ミキシングチャンネル】

- マスターチャンネルおよびスレーブチャンネルの初期設定は、仮の組み合わせが設定されていますので、チャンネルを変更して使用してください。
- マスターチャンネルの設定で、"OFS" を選択した場合、ミキシング量設定はスレーブ側のみとなります。ミキシング量を設定するとスレーブ側サーボがその量だけオフセットされて動作します。
- マスターチャンネルとしては、チャンネル以外に、ボリューム (VR) も設定することができます。

【トリム選択】

- マスターチャンネルのトリム動作をミキシングに含めるかどうかを選択できます。

【ミキシング基準点の変更】

- マスターチャンネルのミキシングの基準点を移動できます。

【スイッチ選択】

- プログラマブルミキシングの ON/OFF スイッチが選択できます。選択できるスイッチは、スイッチ A ~ D およびスロットルスティックの中から選ぶことができます。
- スイッチの動作方向が設定できます。2 ポジションスイッチを選択した場合はアップ側/ダウン側を、3 ポジションスイッチを選択した場合はアップ側/アップ側とダウン側/アップ側とセンター/センター/センターとダウン側/ダウン側を選択できます。また、スロットルスティックの場合は ON/OFF ポジションと動作方向が設定できます。"NULL" に設定するとミキシングは常時 ON となります。

CRV: 4 (カーブタイプ)

プログラマブルミキシング 4 は、5 ポイントカーブでミキシング量が設定できます。

上記ノーマルタイプのマスターチャンネルの設定で "OFS" およびボリュームの使用と、トリム選択はできませんが、スイッチ選択は同様に設定可能です。

共通機能

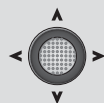
設定方法

設定画面の呼び出し

- ① 初期画面の状態、+ キーを 1 秒以上押して、メニュー画面を呼び出します。



- ② ジョグキーでメニュー内の "P.MIX" を選択します。



- ③ ジョグキーを押して、設定画面に入ります。





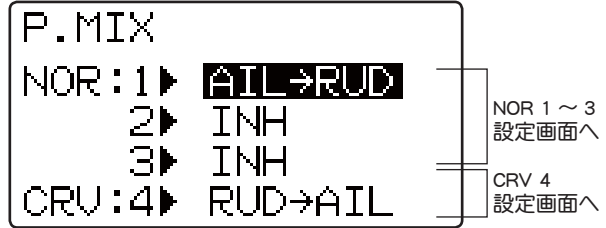
P.MIX の選択

■設定画面の呼び出し

- ① ジョグキーで使用したい No. を選択します。
 - ② ジョグキーを押して設定画面を呼び出します。
- NOR 1 ~ 3 (ノーマルタイプ)
 - CRV 4 (カーブタイプ)



(P.MIX 選択画面)



(P.MIX1 ~ 3 設定画面)

P.MIX1

RATE ◀▶ 0% MIX ▶ INH
 OFFST ▶▶ 0% TRM ▶ OFF
 (0%)
 MASTR ▶ AIL SW ▶ SWA
 SLAVE ▶ RUD POSI ▶ NULL

機能を有効にする
 ● "INH" の場合は機能が使用できない状態。"ON" または "OFF" の場合は機能が有効な状態。ON, OFF はスイッチに連動して変化します。

トリムの ON/OFF
 スイッチの選択
 スイッチの ON 方向

ミキシング量の調整
 基準点のオフセット
 マスター CH の選択
 スレーブ CH の選択

● 設定項目の選択はジョグキーで行ないます。

(マスター CH の現在位置)

NOR1 ~ 3

■機能を有効にする

- ① "MIX" の項目を選択した状態で、+ 又は - キーを押して、"ON" または "OFF" に設定します。



- 機能を使用しない場合は "INH" 側に設定してください。

■マスター/スレーブ CH の選択

- ② "MASTR" の項目を選択した状態で、+ 又は - キーを押して、マスター CH を選択します。
- ③ "SLAVE" の項目を選択した状態で、+ 又は - キーを押して、スレーブ CH を選択します。

- マスター CH としては、CH1 ~ 6 以外にボリューム VR も指定することができます。その他、マスター CH の設定で、"OFS" を選択した場合、スレーブ側サーボのオフセット動作となります。モデルタイプによりマスター、スレーブ CH に "----" が出現しますが、選択しないでください。

■ミキシング量の調整

- ④ "RATE" の項目が選択された状態で、マスターチャンネルに設定したスティック等の各方向について、+ キー 又は - キーを押して、ミキシング量を調整します。



設定範囲: -100 ~ +100%
 初期設定: 0%

- 設定値を初期値に戻したい場合、+ キー および - キーを同時に押します。

(ON/OFF スイッチを変更する場合)

■ON/OFF スイッチの選択

- ① "SW" の項目を選択した状態で、+ 又は - キーを押して、スイッチを選択します。



選択範囲: SwA ~ SwD, THR
 初期設定: SwB

■スイッチの ON 方向の設定

- ② "POSI" の項目を選択した状態で、+ 又は - キーを押して、スイッチの ON 方向を選択します。



- 2P SW の場合: NULL (常時 ON), UP, DOWN
- 3P SW の場合: NULL (常時 ON), UP, UP&DN, UP&CT, CENTR, CT&DN, DOWN

- THR スティックの場合: スティックを ON/OFF ポイントに保持し、ジョグキーを 1 秒以上押して、ON/OFF ポジションを設定してください。(ポジションが設定された状態でジョグキーを 1 秒以上押しすと、NULL の状態に戻ります。) また、+ 又は - キーを押して、スイッチの ON 方向を選択できます。



(ミキシングの基準点を変更する場合)

■ミキシング基準点の設定

- ① "OFFST" の設定項目を選択した状態で、マスター側のスティック等を設定したい位置に保持し、**ジョグ**キーを一秒以上押して、新しい基準点を設定します。

設定範囲：-100 ~ +100%
(THR のみ 0 ~ 100%)

初期設定：0%

(トリム動作を含める場合)

■トリム動作の ON/OFF 設定

- ① "TRM" の設定項目を選択した状態で、+又は-キーを押して、"ON" または "OFF" に設定します。



設定範囲：OFF、ON

初期設定：OFF

- ミキシングにトリムを含めない場合は "OFF" 側に設定してください。



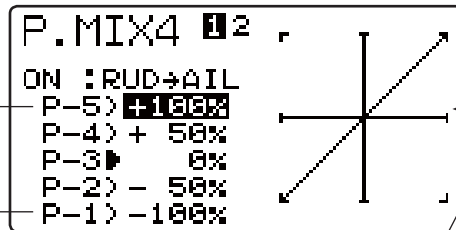
注意 ① ミキシング機能が ON に設定されている場合でも、ミキシング量が 0% の場合は動作しません。また、設定が終わったら、ミキシング機能が正常に動作することを確認してください。

(NOR 1 ~ 3 設定画面)

- 設定項目の選択はジョグキーで行ないます。

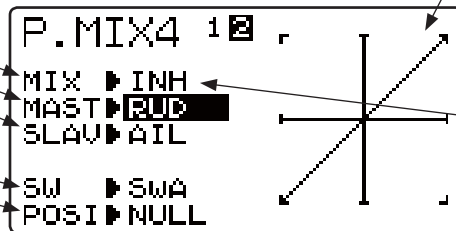


5ポイントカーブの設定



- 設定したカーブがグラフに表示されます。

機能を有効にする
マスター CH の選択
スレーブ CH の選択



- "INH" の場合は機能が使用できない状態。"ON" または "OFF" の場合は機能が有効な状態。ON、OFF はスイッチに連動して変化します。

CRV 4

下記の 5 ポイントカーブの設定以外は、前記の NOR1 ~ 3 の設定方法を参照してください。

■5ポイントカーブの設定

- ① **ジョグ**キーで各ポイントの設定項目 (P-1 ~ P-5) を選択した状態で、+又は-キーを押して、各ポイントの動作量を設定します。



設定範囲：-100 ~ +100%

初期設定：0%



注意 ① 設定が終わったら、必ずミキシング機能が正常に動作することを確認してください。

共通機能



AUX CH AUX チャンネル (共通)

機能説明

このAUXチャンネル機能により、CH5、CH6に設定されているスイッチ、ボリュームをお好みにより変更することができます。

- スイッチ SwA ~ D、ボリューム VRの中から選択が可能。
- また、スイッチ等を設定しないことも可能です。(NUL設定)

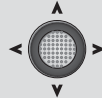
設定方法

設定画面の呼び出し

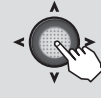
① 初期画面の状態、+キーを1秒以上押して、メニュー画面を呼び出します。



② ジョグキーでメニュー内の"AUX CH"を選択します。



③ ジョグキーを押して、設定画面に入ります。



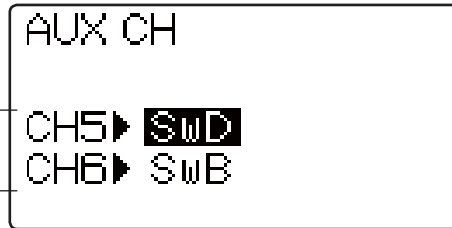
共通機能

(AUXチャンネル設定画面)

- 設定チャンネルの選択はジョグキーで行ないます。



チャンネル選択



- 他の機能でCHが使用されている場合は、"----"表示となり、スイッチ等を選択することはできません。

AUXチャンネル

① ジョグキーでチャンネルを選択します。



選択範囲：CH5, CH6

② +キー又は-キーを押してスイッチ等を選択します。



調整範囲：NUL, SwA ~ SwD, VR



サーボ

サーボ表示／サーボテスト

(共通)

機能説明

このサーボ表示／サーボテスト機能は、CH1～CH6 迄のサーボ出力のバーグラフ表示およびサーボ動作テストが可能です。

- サーボ表示機能はミキシング機能等の簡易な動作確認に使用できます。
- サーボテスト機能を ON にするとサーボは設定された周期で左右に動作します。スピードが可変の LNR (リニア) モードとスピード固定の JMP (ジャンプ) モードを選択可能。サーボのチェック等に使用できます。また、チャンネル毎に動作の ON/OFF が選択できます。

⚠ 注意

Ⓞ ただし、サーボテスト機能はサーボを左右に一定舵角動作させるため、リンケージした状態では使用しないでください。サーボおよびリンケージの破損の原因となります。

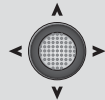
設定方法

設定画面の呼び出し

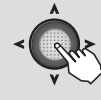
① 初期画面の状態、+ キーを 1 秒以上押して、メニュー画面を呼び出します。



② ジョグキーでメニュー内の "サーボ" を選択します。




③ ジョグキーを押して、設定画面に入ります。



👉 ホーム画面から - キーを長押しするとすぐにサーボ表示画面が呼び出せます。

(サーボ表示／サーボテスト 設定画面)

(サーボ表示画面)



●設定項目の選択はジョグキーで行ないます。

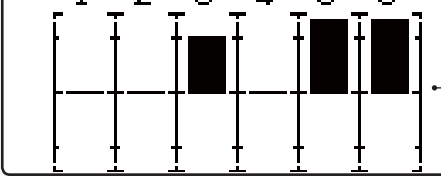
(サーボテスト画面)

サーボテストの ON/OFF

チャンネルの選択

サーボ

1 2 3 4 5 6



1 2 TEST

TYPE ▶ LNR

TEST ▶ OFF

CYCL ▶ 10

SPD ▶ 7

(■ACT □INH)

CH ▶ 1 2 3 4 5 6

■ □ □ □ □ □

サーボテスト画面への切替

● "TEST" を選択した状態で、ジョグキーを左または右に操作して画面を切り替えます。

●各 CH のサーボ動作位置をバーグラフで表示

サーボ表示画面への切替

● "GRAH" を選択した状態で、ジョグキーを左または右に操作して画面を切り替えます。

動作モードの選択

周期の設定

スピードの設定

●サーボテストの動作をバーグラフで表示

サーボテスト

■動作モード／周期／スピードの設定

① ジョグキーで各設定項目 (TYPE, CYCL, SPD) を選択した状態で、+ 又は - キーを押して設定します。



(設定範囲／初期設定)

TYPE : LNR, JMP / LNR

CYCL : 1 ~ 100 / 10 (1 で最速)

SPD : 1 ~ 100 / 7 (100 で最速)

■チャンネルの選択

② ジョグキーでテストしたい CH を選択した状態で、+ 又は - キーを押して、ACT/INH を選択します。



選択範囲 : ACT, INH

初期設定 : INH (CH1 のみ ACT)

■サーボテストの起動／停止

③ ジョグキーで "TEST" の項目を選択した状態で、+ 又は - キーを押して、起動／停止します。



選択範囲 : ON, OFF

初期設定 : OFF

共通機能



テレメトリー

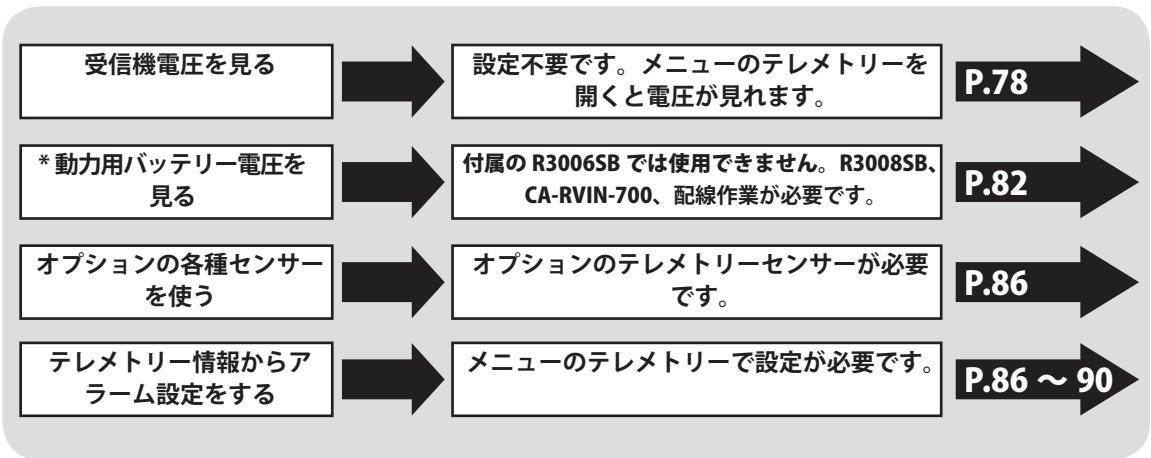
(共通)

機能説明

受信機からの各種情報を表示、設定する画面です。各情報に応じてアラームやパイプを起動することができます。例えば機体に積まれた受信機バッテリーの電圧が低下したのを送信機でアラーム警告することができます。

- T-FHSS Air モードのみ使用可能です。S-FHSS はテレメトリーは使用できません。
- 送信機と受信機がリンクされ、送信機に受信機の ID が登録されていなければ、テレメトリー機能が使用できません。
- 各種情報の表示には別売のテレメトリーセンサーを機体に搭載します。(受信機電圧はセンサー不要です。)
- パラメーターのテレメトリーモードが "ACT" になっていなければ、テレメトリー機能は使用できません。
- 1 台の送信機で受信機を 2 台使用する場合、テレメトリー機能が使用できません。
- 使用後に受信機の電源を OFF にするとその直前のテレメトリーデータが表示されます。(受信機の電源を OFF にしても受信機電圧は 0.0V にはならない。)

共通機能

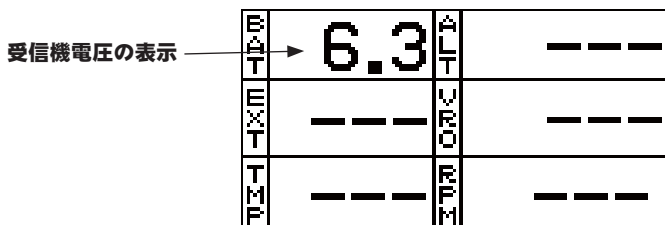
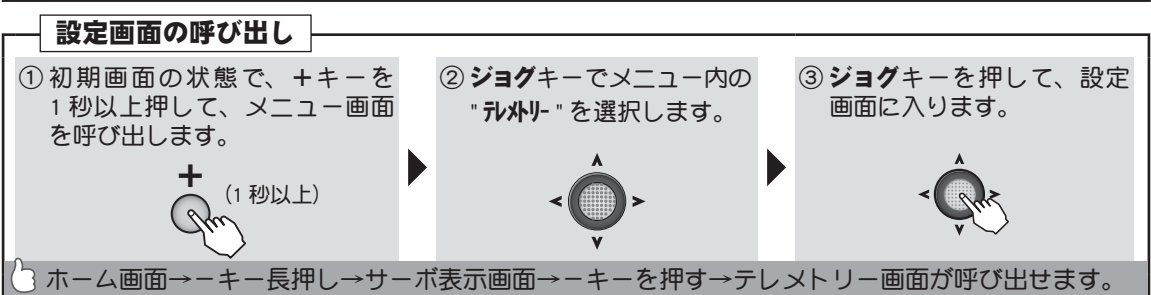


受信機電圧 (RX-BATT)

● 受信機電圧を見る

初期設定の状態、受信機の電圧が送信機に表示されます。

表示方法



ホーム画面に受信機電圧を表示する場合
パラメーター → HOME-DSP
を "RX BATT" とします。



●受信機電圧の最大 / 最小値を見る

初期設定の状態、受信機電圧の最大値 / 最小値が送信機に表示されます。(リセットされるまでの値)

表示方法

設定画面の呼び出し

① TELEMETRY 画面の状態、ジョグキーでメニュー内の "BAT" を選択します。



② ジョグキーを押して、設定画面に入ります。



受信機電圧最小値の表示

現在の受信機電圧の表示

受信機電圧最大値の表示

```

RX-BATT
MIN/MAX= 6.3V / 6.3V
(ALARM) (VIB) (LIMIT)
DN INH OFF 5.0V
SPEECH INH SW NULL

```

最大値 / 最小値のリセット

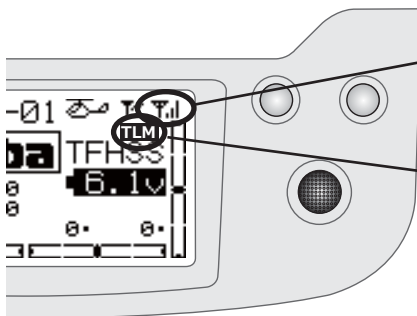
① TELEMETRY 画面の状態、ジョグキーでメニュー内の "MIN/MAX の電圧値" を選択します。



② ジョグキーを長押しするとリセットされます。



● 「ピピッ」という確認音が鳴り、リセットが完了します。



テレメトリーの通信状態の表示です。マークが3本出ると受信良好を示します。マークがでないときはテレメトリー表示されません。(飛行には影響ありません。)

テレメトリーに関するアラームが起動した場合、アラームと同時に **TLM** マークが表示されます。

警告



飛行中に送信機設定画面を凝視したり、設定操作をしたりしない。

■ 飛行中の機体を見失うと大変危険です。

■ 飛行中の情報を確認したい場合は、飛行前にテレメトリー画面を呼び出しておき、操縦者以外の助手に画面をチェックしてもらってください。



●受信機電圧のアラームをセットする

受信機の電圧が低くなってキケンなときにアラームが鳴るように設定できます。同時に送信機が振動する VIB(バイブレーション)も設定できます。

設定方法

設定画面の呼び出し

① TELEMETRY 画面の状態、ジョグキーでメニュー内の "BAT" を選択します。



② ジョグキーを押して、設定画面に入ります。

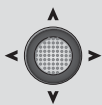


DN (ダウン)とはセットした電圧より下がったときにアラームが起動することを示します。

```
RX-BATT                               6.3V
MIN/MAX= 6.3V / 6.3V
(ALARM) (VIB) (LIMIT)
DN▶ INH ▶OFF ▶ 5.0V
SPEECH▶ INH SW▶ NULL
```

アラームのセット

① RX-BATT 画面の状態、ジョグキーでメニュー内の (ALARM) "INH" を選択します。

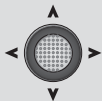


② +キー又は-キーを押して、"ACT" にします。



バイブ (振動) のセット

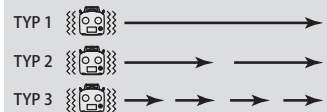
① BAT 画面の状態、ジョグキーでメニュー内の (VIB) "OFF" を選択します。



② +キー又は-キーを押して、"TYP" を選択します。

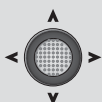


"VIB"(振動)のタイプ



アラーム電圧のセット

① BAT 画面の状態、ジョグキーでメニュー内の (LIMIT) "x.xV" を選択します。



② +キー又は-キーを押して、電圧を設定します。



選択範囲：

3.5V ~ 8.4V

●設定値を初期値したい場合、+キーおよび-キーを同時に押します。



●受信機電圧をスピーチで聞く

市販のイヤホン（3.5φジャック）で受信機電圧を送信機から聞くことができます。指定したスイッチでスピーチの ON/OFF ができます。

設定方法

設定画面の呼び出し

- ① TELEMETRY 画面の状態、ジョグキーでメニュー内の "BAT" を選択します。



- ② ジョグキーを押して、設定画面に入ります。



スピーチ機能
ACT (起動)
INH (停止)

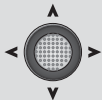
```

RX-BATT
                6.3V
MIN/MAX= 6.3V/ 6.3V
(ALARM) (VIB) (LIMIT)
DN▶ INH ▶OFF ▶ 5.0V
SPEECH▶ INH SW▶ NULL
  
```

スピーチ機能を ON/OFF
させるスイッチの選択

スピーチの起動

- ① RX-BATT 画面の状態、ジョグキーでメニュー内の SPEECH▶ "INH" を選択します。

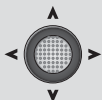


- ② +キー又は-キーを押して、"ACT" にします。



スイッチのセット

- ① RX-BATT 画面の状態、ジョグキーでメニュー内の SW▶ "NULL" を選択します。



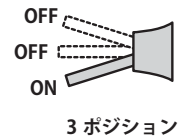
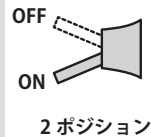
"NULL" の場合は
常時スピーチ ON になります。

- ② +キー又は-キーを押して、スイッチを選択します。



選択範囲：

NULL, SWA ~ SwD

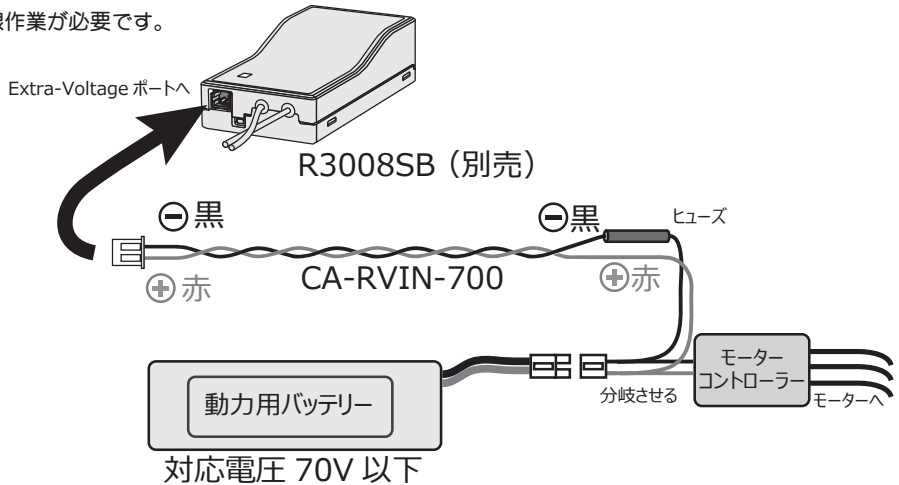




動力用バッテリー電圧 (EXT)

別売の R3008SB を使用して図のように接続すると、機体につまれた動力用バッテリーやその他の電源バッテリーの電圧を T6K に表示することができます。

- 受信機 R3008SB と CA-RVIN-700 (外部電圧入力コネクタ別売) が必要です。
- はんだ付け配線作業が必要です。



●動力用バッテリー電圧を見る

上図のように接続すると、動力用バッテリーの電圧が送信機に表示されます。

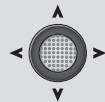
表示方法

EXT の起動

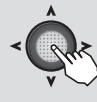
- ① 初期画面の状態、+キーを1秒以上押して、メニュー画面を呼び出します。



- ② ジョグキーでメニュー内の "センサー" を選択します。

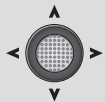


- ③ ジョグキーを押して、設定画面に入ります。



EXT の起動

- ④ "センサー" 画面1ページの EXT ▶ "OFF" へカーソルを移動します。



- ⑤ +キーで "OFF" から "R3008SB" へ切替えます。



センサー画面

```

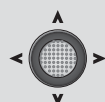
センサー          1/2
TEMP▶ SBS-01T*
RPM▶ SBS-01R*
ALTI▶ SBS-01A
EXT▶ R3008SB
  
```

設定画面の呼び出し

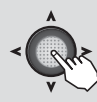
- ① 初期画面の状態、+キーを1秒以上押して、メニュー画面を呼び出します。



- ② ジョグキーでメニュー内の "テlemetry" を選択します。



- ③ ジョグキーを押して、設定画面に入ります。



👉 ホーム画面→+キー長押し→サーボ表示画面→+キーを押す→テレメトリー画面が呼び出せます。



動力用バッテリー電圧の表示

※ 6K に付属の R3006SB ではこの電圧は表示されません。

TEMP	6.3	ALT	---
EXM	0.0	ORCH	---
TEI	---	STW	---

●動力用バッテリー電圧の最大 / 最小値を見る

初期設定の状態、動力用バッテリー電圧の最大値 / 最小値が送信機に表示されます。(リセットされるまでの値)

設定画面の呼び出し

① TELEMETRY 画面の状態、ジョグキーでメニュー内の "EXT-VOLT" を選択します。



② ジョグキーを押して、設定画面に入ります。



動力用バッテリー電圧最小値の表示

現在の動力用バッテリー電圧の表示

動力用バッテリー電圧最大値の表示

EXT-VOLT	0.0V
MIN/MAX=	0.0V / 0.0V
(ALARM) (VIB) (LIMIT)	
DN ▶ INH ▶ OFF ▶	5.0V
SPEECH ▶ INH SW ▶	NULL

最大値 / 最小値のリセット

① TELEMETRY 画面の状態、ジョグキーでメニュー内の "MIN/MAX の電圧値" を選択します。



② ジョグキーを長押しするとリセットされます。



- 「ピピッ」という確認音が鳴り、リセットが完了します。



●動力用バッテリー電圧のアラームをセットする

動力バッテリーの電圧が低くなったときにアラームが鳴るように設定できます。同時に送信機が振動する VIB(バイブレーション)も設定できます。

設定方法

設定画面の呼び出し

- ① TELEMETRY 画面の状態、ジョグキーでメニュー内の "EXT-VOLT" を選択します。



- ② ジョグキーを押して、設定画面に入ります。



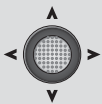
DN (ダウン)とはセットした電圧より下がったときにアラームが起動することを示します。

```

EXT-VOLT
                8.0V
MIN/MAX= 8.0V/ 8.0V
(ALARM) (VIB) (LIMIT)
DN▶ INH ▶OFF ▶ 5.0V
SPEECH▶ INH SW▶ NULL
  
```

アラームのセット

- ① EXT-VOLT 画面の状態、ジョグキーでメニュー内の (ALARM) "INH" を選択します。

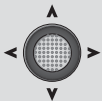


- ② +キー又は-キーを押して、"ACT" にします。



バイブ (振動) のセット

- ① EXT-VOLT 画面の状態、ジョグキーでメニュー内の (VIB) "OFF" を選択します。



- ② +キー又は-キーを押して、"TYP" を選択します。

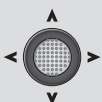


"VIB"(振動)のタイプ

TYP 1		→
TYP 2		→
TYP 3		→

アラーム電圧のセット

- ① EXT-VOLT 画面の状態、ジョグキーでメニュー内の (LIMIT) "0.0V" を選択します。



- ② +キー又は-キーを押して、電圧を設定します。



選択範囲：
0.0V ~ 70.0V

●設定値を初期値にしたい場合、+キーおよび-キーを同時に押します。



●動力用バッテリー電圧をスピーチで聞く

市販のイヤホン（3.5 φジャック）で動力用バッテリー電圧を送信機から聞くことができます。指定したスイッチでスピーチの ON/OFF ができます。

設定方法

設定画面の呼び出し

- ① TELEMETRY 画面の状態、ジョグキーでメニュー内の "EXT-VOLT" を選択します。



- ② ジョグキーを押して、設定画面に入ります。



```

EXT-VOLT
                8.8V
MIN/MAX= 8.8V / 8.8V

(ALARM) (VIB) (LIMIT)
DN▶ INH ▶OFF ▶ 5.8V

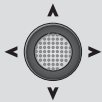
SPEECH▶ INH SW▶ NULL
  
```

スピーチ機能
ACT (起動)
INH (停止)

スピーチ機能を ON/OFF
させるスイッチの選択

スピーチの起動

- ① EXT-VOLT 画面の状態、ジョグキーでメニュー内の SPEECH▶ "INH" を選択します。

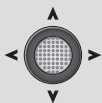


- ② +キー又は-キーを押して、"ACT" にします。



スイッチのセット

- ① EXT-VOLT 画面の状態、ジョグキーでメニュー内の SW▶ "NULL" を選択します。



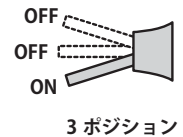
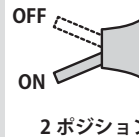
"NULL" の場合は
常時スピーチ ON になります。

- ② +キー又は-キーを押して、スイッチを選択します。



選択範囲：

NULL, SWA ~ SWd



共通機能

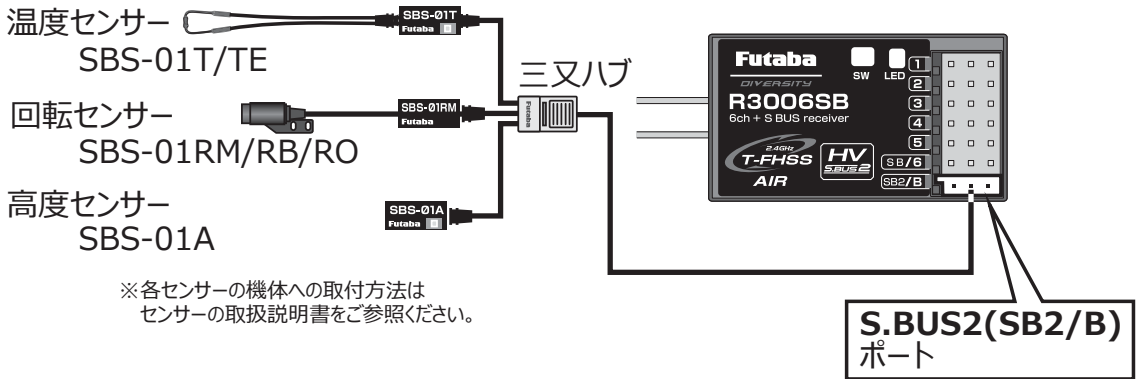


各種テレメトリーセンサー（オプション）の情報表示とアラーム設定

各種テレメトリーセンサー（別売）を R3006SB の S.BUS2 ポートに、三又ハブや中継ターミナルを使いまとめて接続します。T6K は温度、回転数、高度のセンサーをそれぞれ 1 つ使用できます。

- T6K で使用できるセンサー：Futaba SBS-01T/TE, SBS-01RM, SBS-01RO, SBS-01RB, SBS-01A
(Robbe: TEMP125, VARIO-1712, VARIO-1672)

センサーの接続



共通機能

設定方法

メニューのテレメトリーを呼び出し、接続したセンサーの表示ページを呼び出すとそのセンサーの情報をみることができます。ジョグキーで設定したいセンサーを選択して押すと、そのセンサーの詳細設定画面を呼び出すことができます。

- キーの操作については、前項の受信機電圧 (RX-BATT) を参考にしてください。

- ① ジョグキーでメニュー内の "テレメトリー" を選択しジョグキーを押します。

BATT	6.3	TEMP	0
EXT	0.0	ROTOR	0
TE	37	VARIO	1995

- ② ジョグキーでテレメトリーメニュー内の設定したいセンサーを選択してジョグキーを押します。

BATT	6.3	TEMP	0
EXT	0.0	ROTOR	0
TE	37	VARIO	1995



各種センサーの設定画面へ



TEMP (温度) : SBS-01T の情報表示とアラーム設定 ※別売の SBS-01T が必要です。

TEMP (温度) は別売の SBS-01T (テレメトリー温度センサー) からの温度情報を表示 / 設定する画面です。

飛行中の機体のエンジンやモーター、アンプなどの温度を送信機で見ることができます。設定温度より高く (低く) になるとアラームや振動で知らせることができます。

- 別売の温度センサーが必要です。搭載 / 接続方法はセンサーの説明書に従ってください。
- メートル表示からフィート表示に変更すると°Cから°Fに変わります。(パラメーター→UNIT 設定)

●現在のセンサー温度の表示です。

●[テレメトリー] 画面の [TMP] にカーソルを移動し、ジョグキーを押します。

●送信機が ON してからの温度の最大値 / 最小値の表示です。最大値 / 最小値を選択してジョグキーを長押しするとリセットされます。

●UP は設定値を上回った時アラームが作動することを示します。

●DN は設定値を下回った時アラームが作動することを示します。

●スピーチを起動→ACT

●スピーチの ON/OFF スイッチ選択

●高温警告設定範囲 : -20 ~ 200°C

●低温警告設定範囲 : -20 ~ 200°C

低温警告設定と同じか高い温度しか設定できません。

高温警告設定と同じか低い温度しか設定できません。

2 ポジション

3 ポジション

温度が高くなってしまった場合のアラーム設定

1. [TEMP] 画面の "UP ▶ INH" を +. キーで ACT にします。
2. "LIMIT" 下の数値をジョグキーで選択し、アラームがなる温度を +. キーで設定します。これより温度が上がるとアラームが鳴ります。
3. "VIB" 下のタイプか OFF をジョグキーで選択し、振動タイプを +. キーで選択します。アラームと同時に振動で知らせることができます。

温度が低くなってしまった場合のアラーム設定

1. "DN ▶ INH" を ACT にします。(INH にカーソルを置いて +. キーを押す。)
2. "LIMIT" 2 つ下の数値をジョグキーで選択し、アラームがなる温度を +. キーで設定します。これより温度が下がるとアラームが鳴ります。
3. "VIB" 2 つ下のタイプか OFF を選択しジョグキーを押すと、振動タイプが +. キーで選択できます。アラームと同時に振動で知らせることができます。

温度を音声で聞く

市販のイヤホンを使用すると飛行中の温度を音声で聞くことができます。

1. "SPEECH" 横の [INH] をジョグキーで選択し +. キーで [ACT] 選びます。
2. スイッチで音声を ON/OFF する場合は、"SW" の NULL にカーソルを置き +. キーで希望のスイッチを選びます。(スイッチは下、手前で ON です。)
3. T6K 裏面のイヤホンジャックに市販のイヤホンを接続します。音量は [パラメーター] の [VOLUME] で調整します。



R.P.M (回転数) : SBS-01RM(マグネット式) / SBS-01RO(光学式) / SBS-01RB(ブラシレスモーター用)の情報表示とアラーム設定 ※別売の SBS-01RM/RO/RB が必要です。

RPM は別売の SBS-01RM / SBS-01RO / SBS-01RB (テレメトリー回転センサー) からの回転数情報を表示 / 設定する画面です。

飛行中の機体のエンジンやモーターなどの回転数を送信機で見ることができます。設定回転数より高く (低く) になるとアラームや振動で知らせることができます。

●別売の回転センサーが必要です。搭載 / 接続方法はセンサーの説明書に従ってください。

●現在の回転数の表示です。

●[テレメトリ]画面の[R.P.M]にカーソルを移動し、ジョグキーを押します。

●送信機が ON してからの最大回転数の表示です。MAX の数値を選択してジョグキーを長押しするとリセットされます。

●設定範囲 : 0 ~ 390,000rpm

●UP は設定値を上回った時アラームが作動することを示します。

●DN は設定値を下回った時アラームが作動することを示します。

●OPT. → 光学式 (SBS-01RO)
MAG. → マグネット式 (SBS-01RM/RB)

●MAG.(マグネット)を選ぶとプロペラ羽数がギヤ比になります。

●設定範囲 : 0 ~ 390,000rpm

●UP と同じか低い回転数しか設定できません。

●DN と同じか高い回転数しか設定できません。

●スピーチを起動 → ACT

●OPT. (光学式) の羽数設定範囲 : 2 (2枚ペラ) ~ 10

●MAG. (マグネット) のギヤ比設定範囲 : 1.00 ~ 99.99

●スピーチの ON/OFF スイッチ選択

2 ポジション 3 ポジション

回転が上がった場合のアラーム設定

1. [RPM]画面の "UP ▶ INH" を +. -キーで ACT にします。
2. "LIMIT" 下の数値をジョグキーで選択し、アラームとなる回転数を +. -キーで設定します。これより回転が上がるとアラームが鳴ります。
3. "VIB" 下のタイプが OFF をジョグキーで選択し、振動タイプを +. -キーで選択します。アラームと同時に振動で知らせることができます。

回転が下がった場合のアラーム設定

1. "DN ▶ INH" を ACT にします。(INH にカーソルを置いて +. -キーを押す。)
2. "LIMIT" 2 つ下の数値をジョグキーで選択し、アラームとなる回転を +. -キーで設定します。これより回転が下がるとアラームが鳴ります。
3. "VIB" 2 つ下のタイプが OFF を選択しジョグキーを押すと、振動タイプが +. -キーで選択できます。アラームと同時に振動で知らせることができます。

マグネット式か光学式かの選択

使用するセンサーにより選択します。

1. MAG.(マグネット)か OPT.(光学式)を +. -キーで選択してください。
2. (SBS-01RM) でマグネットをエンジンに取付けた場合、機体のエンジンからローター (プロペラ) までのギヤ比を +. -キーで入力すると、ローター (プロペラ) の回転数が表示されます。コウガクシキ (SBS-01RO) はプロペラ (ローター) の羽数を +. -キーで入力してください。一般的な 2 枚ペラの場合は 2 のままです。

回転数を音声で聞く

市販のイヤホンを使用すると飛行中の回転数を音声で聞くことができます。

1. "SPEECH" 横の [INH] をジョグキーで選択し +. -キーで [ACT] 選びます。
2. スイッチで音声を ON/OFF する場合は、"SW" の NULL にカーソルを置き +. -キーで希望のスイッチを選びます。(スイッチは下、手前で ON です。)
3. T6K 裏面のイヤホンジャックに市販のイヤホンを接続します。音量は [パラメーター] の [VOLUME] で調整します。



ALTITUDE (高度) : SBS-01A の情報表示とアラーム設定 ※別売の SBS-01A が必要です。

ALTITUDE (高度) は別売の SBS-01A (高度センサー) からの高度情報を表示 / 設定する画面です。

飛行中の機体の高度を送信機で見ることができます。設定高度より高く (低く) になるとアラームや振動で知らせることができます。

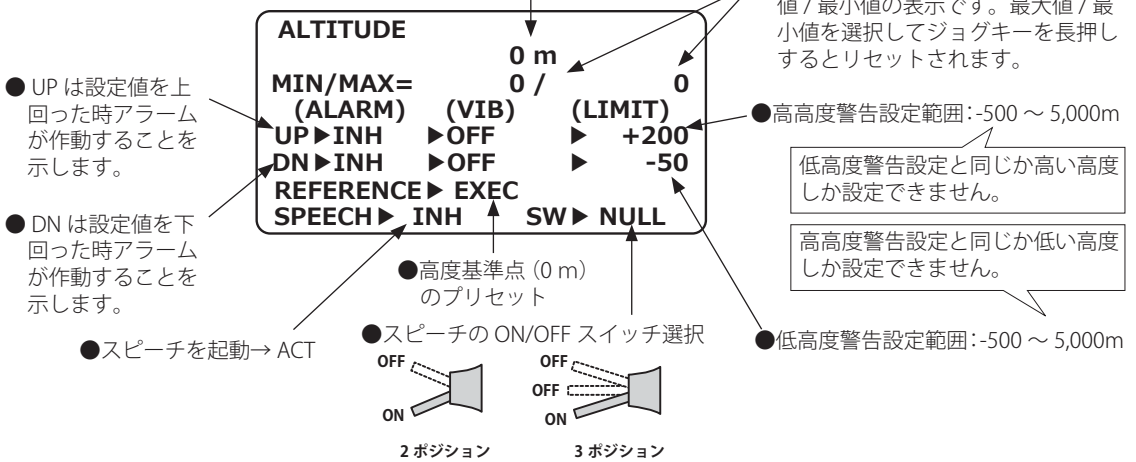
高度は気圧から換算します。表示されるのは地図上の絶対高度ではなく、飛行前の高度を 0m とし、そこからの差が表示されます。

送受信機が ON された場所が 0m とされ、基準点

を送信機でプリセットすることもできます。

- 別売の高度 (気圧) センサーが必要です。搭載 / 接続方法はセンサーの説明書に従ってください。
- 高度は気圧から計算しますので、天候の急変で気圧が変動すると正確な表示がされません。
- メートル表示からフィート表示に変更できます。(パラメーター → TELEMETRY UNIT 設定)

- [テレメトリー] 画面の [ALT] にカーソルを移動し、ジョグキーを押します。



共通機能

高度が高くなってしまった場合のアラーム設定

1. [ALTITUDE] 画面の "UP > INH" を +, - キーで ACT にします。
2. "LIMIT" 下の数値をジョグキーで選択し、アラームになる高度を +, - キーで設定します。これより高度が上がるとアラームが鳴ります。
3. "VIB" 下のタイプか OFF をジョグキーで選択し、振動タイプを +, - キーで選択します。アラームと同時に振動で知らせることができます。

高度が低くなってしまった場合のアラーム設定

1. "DN > INH" を ACT にします。(INH にカーソルを置いて +, - キーを押す。)
2. "LIMIT" 2 つ下の数値をジョグキーで選択し、アラームになる高度を +, - キーで設定します。これより高度が下がるとアラームが鳴ります。
3. "VIB" 2 つ下のタイプか OFF を選択しジョグキーを押すと、振動タイプが +, - キーで選択できます。アラームと同時に振動で知らせることができます。

基準点のプリセット

1. 送受信機の電源を入れて、機体を 0m としたい場所に置きます。
2. [ALTITUDE] 画面の "REFERENCE" 横の "EXEC" にカーソルを置きジョグキーを長押しします。
3. 「ピピッ」と鳴り、現状の機体位置が 0m にプリセットされます。

高度を音声で聞く

市販のイヤホンを使用すると飛行中の高度を音声で聞くことができます。

1. "SPEECH" 横の [INH] をジョグキーで選択し +, - キーで [ACT] 選びます。
2. スイッチで音声を ON/OFF する場合は、"SW" の NULL にカーソルを置き +, - キーで希望のスイッチを選びます。(スイッチは下、手前で ON です。)
3. T6K 裏面のイヤホンジャックに市販のイヤホンを接続します。音量は [パラメーター] の [VOLUME] で調整します。



VARIO (昇降計) : SBS-01A の情報表示とアラーム設定

※別売の SBS-01A が必要です。

VARIO (昇降計) は別売の SBS-01A (高度センサー) からの高度情報を表示 / 設定する画面です。

飛行中の機体がどれだけ上昇 (降下) しているかが表示できます。たとえばグライダーが上昇 (下降) 気流に乗っているかなどが判別しやすくなります。表示の m/s は毎秒何メートル上昇降下しているかの表示です。

- 別売の高度 (気圧) センサーが必要です。搭載 / 接続方法はセンサーの説明書に従ってください。
- 高度は気圧から計算しますので、天候の急変で気圧が変動すると正確な表示がされません。
- m/s (メートル毎秒) 表示から fpm (フィート毎分) 表示に変更できます。(パラメーター→TELEMETRY UNIT 設定)

● [テレメトリー] 画面の [VARIO] にカーソルを移動し、ジョグキーを押します。

● 現在のどの位の速度で上昇 (+)・降下 (-) しているかの表示です。

● 送信機が ON してからの昇降計の最大値 / 最小値の表示です。最大値 / 最小値を選択してジョグキーを長押しするとリセットされます。

● 上昇警告設定範囲 : -150 ~ +150m/s

● 降下警告設定範囲 : -150 ~ +150m/s

● UP は設定値を上回った時アラームが作動することを示します。

● DN は設定値を下回った時アラームが作動することを示します。

● スピーチを起動 → ACT

● スピーチの ON/OFF スイッチ選択

2 ポジション 3 ポジション

VARIO

MIN/MAX= 0 m/s 0 / 0

(ALARM) (VIB) (LIMIT)

UP ▶ INH ▶ OFF ▶ + 50

DN ▶ INH ▶ OFF ▶ - 50

SPEECH ▶ INH SW ▶ NULL

降下警告設定と同じか高い数値しか設定できません。

上昇警告設定と同じか低い数値しか設定できません。

共通機能

上昇したときのアラーム設定

1. [VARIO] 画面の "UP ▶ INH" を +. キーで ACT にします。
2. "LIMIT" 下の数値をジョグキーで選択し、アラームがなる上昇速度を +. キーで設定します。これより上昇速度が速くなるとアラームが鳴ります。
3. "VIB" 下のタイプか OFF をジョグキーで選択し、振動タイプを +. キーで選択します。アラームと同時に振動で知らせることができます。

降下したときのアラーム設定

1. "DN ▶ INH" を ACT にします。(INH にカーソルを置いて +. キーを押す。)
2. "LIMIT" 2 つ下の数値をジョグキーで選択し、アラームがなる高度を +. キーで設定します。これより降下速度が速くなるとアラームが鳴ります。
3. "VIB" 2 つ下のタイプか OFF を選択しジョグキーを押すと、振動タイプが +. キーで選択できます。アラームと同時に振動で知らせることができます。

昇降計を音声で聞く

市販のイヤホンを使用すると飛行中の昇降計を音声で聞くことができます。

1. "SPEECH" 横の [INH] をジョグキーで選択し +. キーで [ACT] 選びます。
2. スイッチで音声を ON/OFF する場合は、"SW" の NULL にカーソルを置き +. キーで希望のスイッチを選びます。(スイッチは下、手前で ON です。)
3. T6K 裏面のイヤホンジャックに市販のイヤホンを接続します。音量は [パラメーター] の [VOLUME] で調整します。



センサー

テレメトリーセンサー

(共通)

機能説明

この画面は、各テレメトリーの項目にセンサーを指定します。初期設定は Futaba の SBS-01 シリーズの使用可能なセンサー (SBS-01T/TE, SBS-01RO/RM/RB, SBS-01A) が割り当てられていますのでこのセンサーを使用する場合ここでの設定は不要です。Robbe 社のセンサー (TEMP125, VARIO-1712, VARIO-1672) を使用する場合は切替えが必要です。

また、別売の受信機 Futaba R3008SB を使用すると動力用バッテリーなどの別電源が測定できます。その場合センサー画面 1 ページ下段の EXT▶ を OFF から R3008SB へ切替えてください。

●スロットとは？

サーボは CH で分けられますが、センサーは「スロット」という単位で分けられます。NO.1 から No.31 までのスロットがあります。

高度計などのデータ量の多いセンサーユニットは複数のスロットを使用します。

各センサーには開始スロットナンバーが設定されていて、T6K では初期設定の開始スロットナンバーでしか使用することができません。T10J などは各センサーの開始スロットナンバーを変更することができ、もし開始スロットナンバーが変更されたセンサーを T6K で使用する場合、次項のセンサーリセットを行なう必要があります。

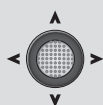
設定方法

設定画面の呼び出し

- ① 初期画面の状態、+ キーを 1 秒以上押して、メニュー画面を呼び出します。



- ② ジョグキーでメニュー内の "セナ-" を選択します。



- ③ ジョグキーを押して、設定画面に入ります。



センサー変更

- ① センサー画面の状態、ジョグキーでメニュー内の使用するセンサーの種類を選びます。



- ② + キー又は - キーを押して、センサー名を選びます。



センサー

1 2

TEMP▶ SBS-01T*
RPM ▶ SBS-01R*
ALTI▶ SBS-01A
EXT ▶ OFF ←

- SBS-01T *は SBS-01T、SBS-01TE が使用できます。
- SBS-01R *は SBS-01RO、SBS-01RM、SBS-01RB が使用できます。
- ここを R3008SB へ切替えて受信機に別売の R3008SB を使用すると動力用バッテリーなどの別電源を測定できます。(別売のケーブル CA-RVIN-700 と配線作業が必要です。)

●センサーの種類

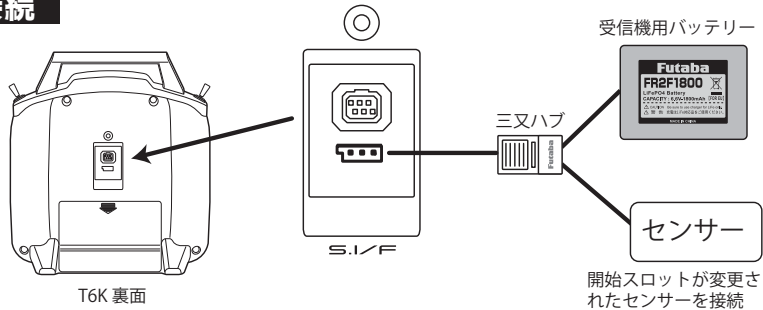


●センサーのリセット RESET（開始スロットが変更されたセンサーを使用する場合）

ここでセンサーをリセットすると T6K で使用可能な初期状態にセンサーがもどり、センサー画面 1 ページ目にそのセンサーが表示されます。

購入したばかりの初期状態のセンサーを使用する場合はこのページは必要ありません。

センサーの接続



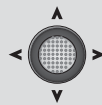
設定方法

設定画面の呼び出し

① 初期画面の状態、+キーを1秒以上押して、メニュー画面を呼び出します。



② ジョグキーでメニュー内の"センサ-"を選択します。



③ ジョグキーを押して、設定画面に入ります。



④ ジョグキーを横に動かして2ページ目を呼び出します。

センサー 1/2

TEMP ▶ SBS-01T*

RPM ▶ SBS-01R*

ALTI ▶ SBS-01A

EXT ▶ OFF



右に1回

センサー 1/2

RESET ▶ Execute

S.I/F --- SENSOR

BATT

センサーのリセット

① 2ページ画面の状態、ジョグキーでメニュー内の"Execute"を選択します。



② ジョグキーを長押しすると"sure?"と確認してきます。



③ ジョグキーを押すとセンサーがリセットされます。



● 「ピピッ」という確認音が鳴り、リセットが完了します。



S.BUS

S.BUS セッテイ

(共通)

機能説明

送信機裏面の S.I/F コネクタに S.BUS/S.BUS2 サーボとバッテリーを接続することにより、サーボの CH 設定や各種設定を行うことができます。S.BUS/S.BUS2 サーボが設定を記憶します。

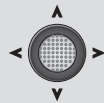
●ご使用の S.BUS/S.BUS2 サーボにより、使用できる機能とできない機能があります。使用できる機能のみ送信機に表示されます。

設定画面の呼び出し

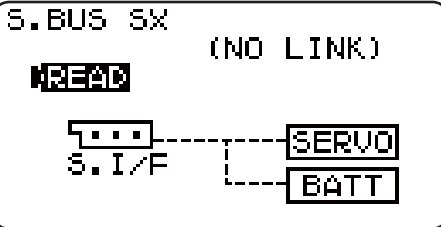
① 初期画面の状態では、+ キーを 1 秒以上押し、メニュー画面を呼び出します。



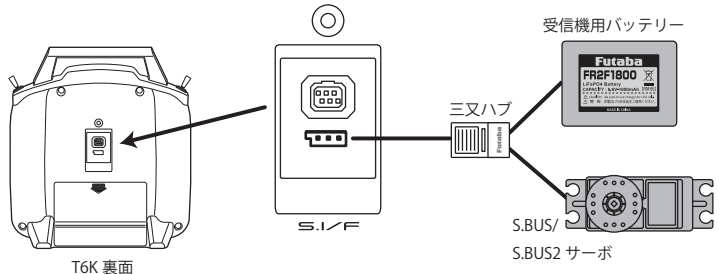
② ジョグキーでメニュー内の "S.BUS" を選択します。



③ ジョグキーを押して、設定画面に入ります。



④ S.BUS サーボを T6K に接続。



S.BUS サーボの設定

⑤ "READ" にカーソルがある状態でジョグキーを長押しします。



⑥ サーボのデータが送信機に読み込まれ、設定可能項目が表示されます。

※ "COMU-ERROR" が表示されると読み込みの失敗です。サーボや接続を確認ください。

⑦ 必要なサーボの設定をおこないません。
⑧ 設定後に "WRITE" を選択してジョグキーを長押しします。



"COMPLETE!" とでると設定完了です。

設定したチャンネルを操作すると、送信機に接続されたサーボが動作してチェックできます。

設定できる各機能の項目を次ページに記載します。

共通機能



S.BUS サーボ設定機能の説明

※ご使用の S.BUS サーボにより、使用できる機能とできない機能があります。

(S.BUS サーボ 設定画面)

```

S.BUS 5X      1 2
ID= 003-05530
READ WRITE RESET
CHAN▶ 1  DEAD▶ 0.19
                REVE▶ NORM
NEUT▶ 0.00
EPA▶ 100.0(L/R)100.0

```

```

S.BUS 5X      1 2
ID= 017-00016
READ WRITE RESET
STRE▶ 2.0  SPED▶ INH
BOST▶ 5%  STAR▶ 3.0
DAMP▶ 80  SMOT▶ ON
BSTM▶ OFF

```

ID= ● ID

パラメーターを読み込んだサーボの ID を表示します。変更はできません。

CHAN▶ ● CH

サーボに割り当てられた S.BUS システムのチャンネルです。使用する前に、必ずチャンネルの割り当てを行ってください。(T6K で使用できるチャンネルは 6CH までです。)

NEUT▶ ●ニュートラル調整

ニュートラル位置を変更することができます。ただし、ニュートラル位置を大きく変更した場合、最大舵角時にサーボの動作範囲を超え、サーボが動作しない不感帯が発生することがあります。

EPA▶ ●舵角調整

ニュートラルを中心とした左右の最大舵角を独立して設定することができます。

DEAD▶ ●デッドバンド

停止位置の不感帯の範囲(角度)を設定できます。

【デッドバンド設定値とサーボ動作の関係】

- 小さくする → 停止位置の不感帯幅を小さくできます。小さな信号変化でサーボがすぐに動きだすようになります。
- 大きくする → 停止位置の不感帯幅を大きくできます。小さな信号変化ではサーボが動きださなくなります。

(注意) 不感帯幅の角度を小さく設定しすぎると、サーボが常に動作し続ける状態になりますので、消費電流が増えることになり、サーボの寿命も短くなる場合があります。

REVE▶ ●サーボリバース

サーボの回転する方向を変更することができます。

STRE▶ ●ストレッチャー・ゲイン

サーボの保持特性の設定ができます。

サーボの現在位置が目標位置とずれている時に、目標位置へ戻ろうとするトルクを調整することができます。

ハンチングを止める時等に利用しますが、下記のように保持特性が変わります。

【ストレッチャー設定値とサーボ動作の関係】

- 小さくする → サーボの保持力が弱くなります。
- 大きくする → サーボの保持力が強くなります。

(注意) ストレッチャーを大きくすると、消費電流が増えていきます。



BOST ▶ ●ブースト量

サーボを駆動するときに、内部のモーターにかける最小動作量を設定できます。モーターは小さな動作量では起動しないので、実質的にデッドバンドが拡大するようになります。そこで起動できる最小動作量（ブースト）を調整して、モーターが直ぐに起動できるようにします。

【ブースト設定値とサーボ動作の関係】

- 小さくする → 微小な操作量には反応しなくなりますが、動作は滑らかになります。
- 大きくする → 初期レスポンスが良くなり動き出しのトルクが大きくなりますが、あまり大きくしすぎると、動作が粗くなります。

DAMP ▶ ●ダンピングゲイン

サーボが停止する際の特性を設定できます。

標準値の数値より小さくすると、オーバーシュート（行き過ぎてから戻る）特性となります。数値を大きくすると、停止位置手前からブレーキがかかったように止まる設定となります。

特に、大きい負荷がかかるときに、慣性によるオーバーシュート等を抑えて、条件によって起こるハンチング（サーボが痙攣するように動く現象）を起こりにくくすることができます。デッドバンド、ストレッチャー、ブーストなどのパラメーターが適正であっても、ハンチングが起こる場合は、初期値より大きい値に調整してください。

【ダンパー設定値とサーボ動作の関係】

- 小さくする → オーバーシュートさせたい場合。ハンチングが起こらないような設定にしてください。
- 大きくする → ブレーキがかかったような動作にしたい場合。但しサーボのレスポンスが悪くなったように感じます。

（注意） ハンチングが発生した状態で使用すると、消費電流が多くなるばかりでなく、サーボの寿命も短くなります。

BSTM ▶ ON/OFF ●ブースト ON/OFF

サーボを低速で動作させた場合のみブースト機能を ON させるモードと、常時ブーストを ON させるモードの切替えです。

OFF：低速のみ ON（通常は OFF でお使いください。） ON：常時 ON（素早い動作を希望する場合）

SPED ▶ ●スピードコントロール

動作スピードを設定できます。使用電圧、負荷トルク、モーターのばらつき等の影響を受けることなく、複数のサーボのスピードを揃えることができます。

ただし、各動作電圧におけるサーボの最大スピード以上の設定を行っても、最大スピード以上のスピードにはなりませんので注意してください。

STAR ▶ ●ソフトスタートディレイ

電源投入時の瞬時に指定位置に動く動作を制限します。この設定を行うことにより、電源を立ち上げた時の最初の 1 動作だけゆっくりと指定位置に移動します。またその時の動作速度を設定できます。

SMOT ▶ ●スムーサー

サーボの動きを滑らかにする機能です。好みに応じて設定を行ってください。通常は ON の設定でご使用ください。特に素早い動作を希望する場合には OFF にします。



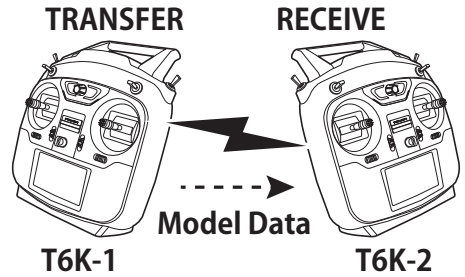
Mトランス モデルトランス (データ転送機能)

(共通)

機能説明

T6K 送信機同士でモデルデータの転送が可能です。無線でデータ転送を行います。

- このモデルトランスの操作を行うと、送信側の送信機で現在使用中のモデルデータの内容が、受信側の送信機で現在使用中のモデルデータに上書きされます。受信側の送信機はモデルセレクト機能で空きのモデルデータを呼び出した状態でデータ転送を行ってください。
- モデルトランスの操作中は、通常の動作(受信機・サーボ等)はしません。



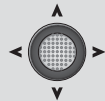
設定方法

設定画面の呼び出し

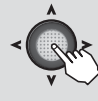
① 初期画面の状態では、+キーを1秒以上押し、メニュー画面を呼び出します。



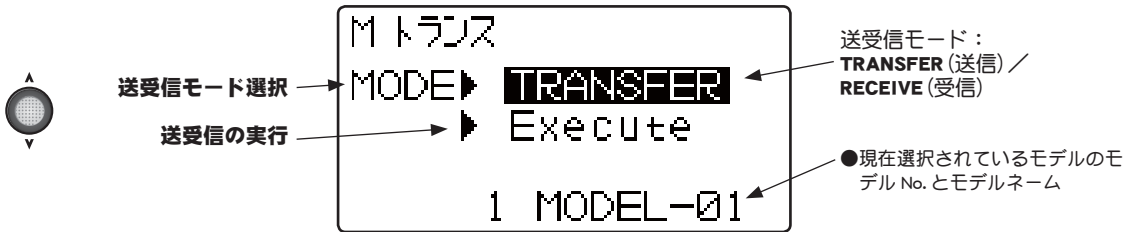
② ジョグキーでメニュー内の "Mトランス" を選択します。



③ ジョグキーを押して、設定画面に入ります。



(モデルトランス機能 設定画面)



●設定項目の選択はジョグキーで行ないます。

モデルトランス

●送信側および受信側の送信機を 2m 以内に近付けアンテナ部を向き合わせた状態で下記の操作を行ってください。

① 両方の送信機で、送受信モードの項目が選択された状態で、+又は-キーを押して、それぞれ対応するモードを選択します。



●"TRANSFER": 送信側、"RECEIVE": 受信側
 選択範囲: TRANSFER, RECEIVE

② 両方の送信機で、送受信の実行の項目が選択された状態で、ジョグキーを1秒以上押しします。



- 受信側の送信機で、「ピピッ」という確認音および画面上に "Complete" が表示され、データ転送が完了したことを知らせます。
- "Complete" が表示されない場合は、再度送信を実行してください。

●受信側の送信機はデータ転送されなければ、実行後 10 秒で通常動作に戻ります。この際に "Failure" (転送されていない) が表示されます。

警告

●安全上、データ転送後は機体の舵を動作させて、各機能のチェックを十分におこなってください。



タイマー

タイマー

(共通)

機能説明

タイマーは競技会の規定時間や燃料満タンでの飛行可能時間等に合わせると便利です。

- モデル毎にタイマーを設定できます。モデルに合ったタイマー設定ができるため、モデルを変える度にタイマーを設定し直さなくても済みます。
- タイマーの種類は、アップ(UP)/ダウン(DOWN)/ダウンストップ(DN-STP)タイマーから選択できます。アップタイマーは0からカウントアップされ、画面上に経過時間が表示されます。ダウンタイマーは設定した時間からカウントダウンされ、画面上に残り時間が表示されます。設定時間経過後は,"-"(マイナス)表示となります。ダウンストップタイマーはダウンタイマーの0でカウントが停止します。各タイマー共に最高99分59秒までの時間設定ができます。
- スタート/ストップスイッチ(START)として、スイッチA~D、スロットルスティック(THR)および電源スイッチ(PWR)の中から選択することができます。また、ON/OFF方向の設定が可能です。ただし、電源スイッチを選択したときは、電源スイッチを入れた時点でタイマーがスタートします。
- 各タイマーのリセットは初期画面の状態では、ジョグキーでリセットしたいタイマーを選択し、ジョグキーを1秒以上押しとリセットされます。また、リセットスイッチ(RESET)として、スイッチA~Dの中から選択することができます。また、ON/OFF方向の設定が可能です。
- アップ/ダウンタイマーのアラーム音は、1分毎に警告音「ピッ」、設定時間20秒前より2秒間隔の警告音「ピッ、ピッ、ピッ、・・・」、設定時間10秒前より1秒間隔の警告音「ピッピッ、ピッピッ、ピッピッ、・・・、ピー」で時間を知らせます。

ホーム画面にタイマーを表示する場合
 パラメーター→HOME-DSP
 を"TIMER"とします。

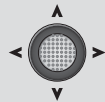
設定方法

設定画面の呼び出し

- ① 初期画面の状態では、+キーを1秒以上押し、メニュー画面を呼び出します。



- ② ジョグキーでメニュー内の"タイ-"を選択します。

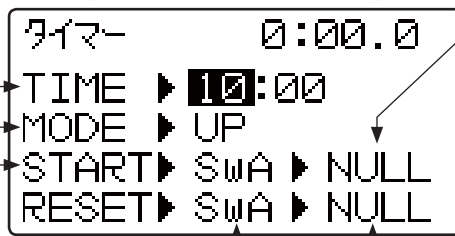
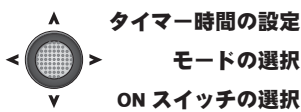


- ③ ジョグキーを押して、設定画面に入ります。



(タイマー機能 設定画面)

- 設定項目の選択はジョグキーで行ないます。



- スイッチ選択でスロットルスティックを選択した場合は、ON方向の設定で、スロットルスティックをON/OFFポイントに設定したい位置に保持し、ジョグキーを1秒以上押し、ON/OFFポジションを設定してください。そのポジションより上でONとなります。+又は-キーを押してON方向を切り替えることが可能です。

↑ リセットスイッチの選択 ↑ ON方向の設定

タイマー機能

■モードの選択

- ① "MODE" の項目で、+又は-キーを押してタイマーのモードを選択します。



(設定範囲/初期設定)
 UP, DOWN, DN-STP

■タイマー時間の設定

- ② "TIME" の(分):(秒)のそれぞれの項目で、+又は-キーを押して時間を設定します。

(設定範囲/初期設定)
 0 ~ 99分59秒
 / 10分00秒

■スイッチの選択およびON方向の設定

- ③ "ON-SW" 又は "RS-SW" の項目で、+又は-キーを押してスイッチを選択し、ON方向の設定の項目で、+又は-キーを押してON方向を設定します。

(スイッチの設定範囲/初期設定)

START : SwA ~ D, THR, PWR / SwA

RESET : SwA ~ D / SwA

(スイッチ ON 方向/初期設定)

3P SW の場合 : NULL (常時 OFF), UP, UP&D, UP&C,

CNTR, C&DN, DOWN

2P SW の場合 : NULL, UP, DOWN

共通機能



トレーナー

トレーナー機能

(共通)

機能説明

(T6K 送信機を先生側で使用する場合にこの機能を設定します。)

このトレーナー機能は指導に使うチャンネルと動作モードを選択できるため、生徒のレベルに合わせてトレーニングの難易度を設定することができます。

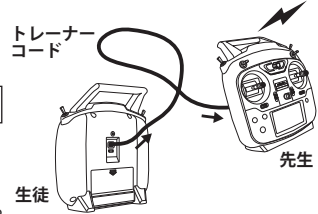
先生側の送信機と生徒側の送信機を専用のトレーナーコード(別売り)で接続して使用します。先生側のスイッチ操作により、生徒側の操作が可能となります。生徒の操縦が危険な状態に陥った時はすぐに先生側の操縦に切り替えることができます。

- チャンネル毎に4つの動作モードが選択できます。
- トレーナースイッチは**スイッチD**に設定されています。

※トレーナー機能を使用するときは**スイッチD**に各機能は割り当てないでください。

- ヘリのスロットルホールドは初期設定で**スイッチD**になっています。トレーナー機能を使用する場合、必ず**INH**にしてください。

なお、このトレーナー機能は以下の条件のもとで使用してください。



⚠️ 注意 (重要)

- T6K 送信機を先生側で使用する場合、生徒の送信機のモジュレーションを PPM (従来周波数の送信機の場合) にしてください。(T6K 送信機を生徒側で使用する場合はモジュレーションモードの変更は必要ありません。トレーナージャックより常時 PPM 信号が出力されています。)
- 飛行の前には必ず、先生、生徒側ともに全てのチャンネルが設定どおりに正常に動作することを確認してください。
- トレーナーコードのコネクターは必ず奥まで確実に差し込み、使用中にも抜けないようにしてください。
- 生徒側送信機の高周波モジュールは必ず抜いておく。(モジュールタイプの場合)
- 生徒側送信機の電源スイッチは絶対に ON にしない。

トレーナー機能の動作モード

- "FNC"** モード：先生側の送信機で設定されているミキシングを利用して生徒側が操作可能。※**生徒側の設定は初期値に戻して、つぎにリバース機能はすべてノーマルにします。**
- "NOR"** モード：生徒側の送信機からの信号でコントロールされます。(先生側と生徒側の設定を同一にする必要があります。)
- "OFF"**：生徒側では操作できません。先生側のみの操作となります。

※ただし、生徒側の送信機にないチャンネルは、上記の設定にかかわらず、先生側の操作となります。
 ※他のモデルを選択したとき、トレーナー機能は INH となりますが、チャンネルの設定はそのまま残ります。

使用例

- スティックチャンネルに "FUNC" モードを設定すると、4EX 送信機 (飛行機用 4 チャンネル) でもヘリコプターのスティック操作の練習ができます。
- 生徒のレベルに合わせて練習したいチャンネルのみを "NORM" モードに設定し、他のチャンネルは "OFF" モードに設定して先生側が操作することが可能。

【トレーナーコード】

接続は別売りのトレーナーコードを使用し、各送信機のトレーナージャックに差込みます。ただし、送信機により使用するトレーナーコードが異なります。使用する送信機に合わせてトレーナーコードを準備してください。

先生側送信機	生徒側送信機	トレーナーコード	備考
6K	10C, 9C, 7C, 6EX, 4EX	12FG トレーナーコード	昇圧回路付
	18MZ, 18SZ, 14MZ, 14SG, 12Z, 12FG, 8FG, 10J, 6K, 8J, 6J	トレーナーコード (マイクロタイプ)	
18MZ, 18SZ, 14MZ, 14SG, 12Z, 12FG, 8FG, 10J, 10C, 9C, 7C, 8J, 6J, 4EX	6K		

* T6K-2.4GHz 送信機の電源は乾電池 4 セル仕様のため、10C 等の 8 セル仕様の送信機を生徒側で使用する場合、昇圧回路付の 12FG トレーナーコードが必要となります。
 * 上記以外の組合せではご使用いただけません。(2015 年 5 月現在)



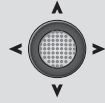
設定方法

設定画面の呼び出し

① 初期画面の状態では、+キーを1秒以上押し、メニュー画面を呼び出します。



② ジョグキーでメニュー内の"トレーナー"を選択します。



③ ジョグキーを押して、設定画面に入ります。

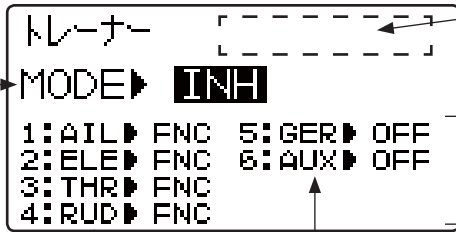


(トレーナー機能 設定画面)

● 設定項目の選択はジョグキーで行ないます。



機能を有効にする



● トレーナーケーブルが接続された時に (ON LINE) と表示されます。

● 各チャンネルの設定モードが表示されます。

チャンネルの選択

<チャンネル表示>

AIRPLANE (2AIL1FLP)	HELICOPTER	GLIDER (2AIL2FLP)	MULTICOPTER
1: AI1 (エルロン1)	1: AIL (エルロン)	1: AI1 (エルロン1)	1: AIL (エルロン)
2: ELE (エレベーター)	2: ELE (エレベーター)	2: ELE (エレベーター)	2: ELE (エレベーター)
3: THR (スロットル)	3: THR (スロットル)	3: FL3 (フラップ3)	3: THR (スロットル)
4: RUD (ラダー)	4: RUD (ラダー)	4: RUD (ラダー)	4: RUD (ラダー)
5: FLP (フラップ)	5: GYR (ジャイロ)	5: FL5 (フラップ5)	5: AUX (予備)
6: AI6 (エルロン6)	6: PIT (ピッチ)	6: AI6 (エルロン6)	6: MOD (モード)

トレーナー機能

■ 機能を有効にする

① "INH" の項目を選択した状態で、+又は-キーを押して、"OFF" に設定します。



● 機能を使用しない場合は "INH" 側に設定してください。

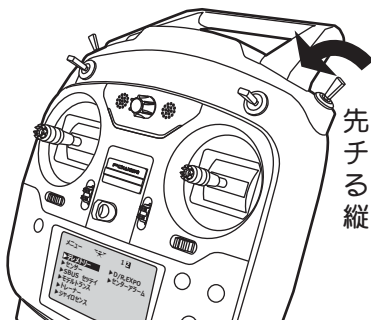
■ 動作モードの設定

② 動作モードを変更したいCHを選択した状態で、+又は-キーを押して、モードを設定します。

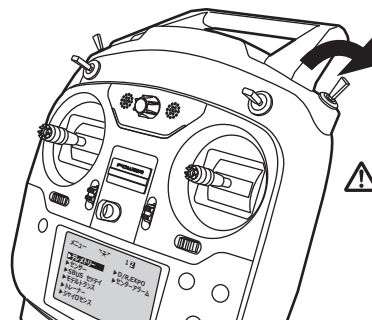


選択範囲：OFF, NOR, FNC

初期設定：OFF



先生側のスイッチDを手前にすると生徒側の操縦となります。



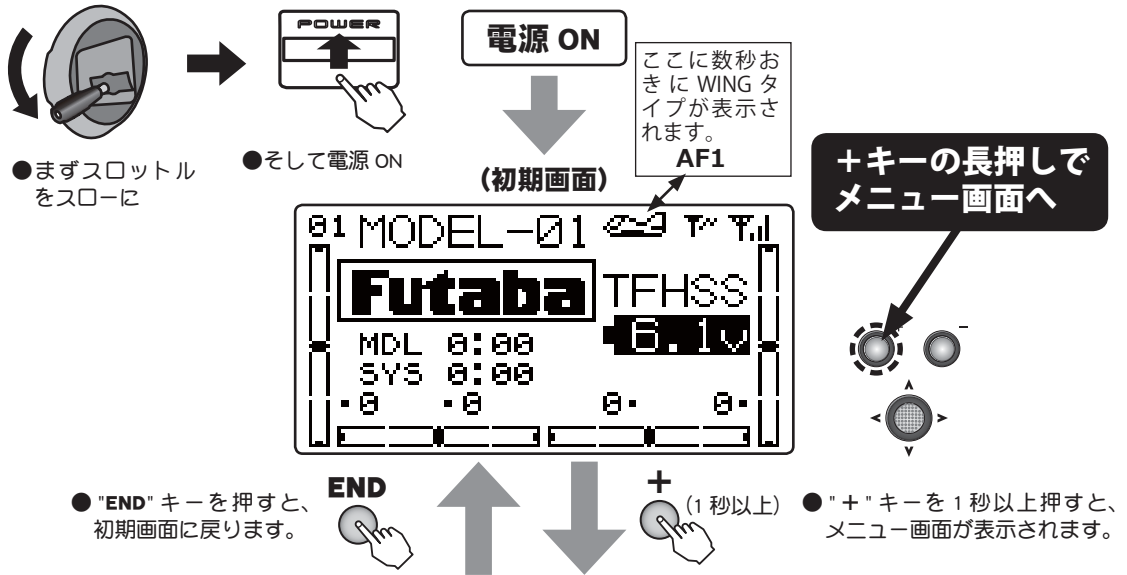
先生側のスイッチDを奥にすると先生側の操縦にもどります。

⚠ モーメンタリースイッチ (放せば元に戻る) ではありませんのでご注意ください。



飛行機用 (AIRPLANE) 機能

各機能の設定画面は、下記のメニューから呼び出します。ここでは、モデルタイプが飛行機用 (AIRPLANE) に設定されている場合の機能を示します。



メニュー画面

※ WING タイプによってメニュー項目が変わります。このメニュー画面は 2AIL1FLP の例です。

メニュー 1/4

メニュー	1 2 3 4
▶M 選択	E ホイール
▶M タイプ	トリム
▶M ネーム	サブトリム
▶F/S	リバーズ

メニュー 2/4

メニュー	1 2 3 4
▶パラメータ	テレメトリー
▶P. MIX	センサー
▶AUX CH	S. BUS
▶サーボ	M トランス

メニュー 3/4

メニュー	1 2 3 4
▶タイマー	DR EXP
▶トレーナー	TH カーブ
▶TH カット	IDL DWN

メニュー 4/4

メニュー	1 2 3 4
▶AIL DIF	EL → FLP
▶Vテール	FLP → EL
▶キャリパー	
▶エア BRK	

(機能の選択)

●ジョグキーで、上下・左右にカーソル(反転表示)を移動し、機能を選択します。ページをまたがって移動も可能。

●メニュー画面のページ移動は+キーでもできます。(設定画面のページ移動はジョグキーのみ)

(設定画面の呼出し)

●ジョグキーを押して、設定画面に入ります。



※ WINGタイプによってメニュー項目が変わります。例えば 1AIL ですと項目が減りますので、使用する WING タイプの項目のみを参照してください。
 該当 WING タイプの表示→ **WINGタイプ** **1AIL** **1AIL+1F** **2AIL** **2AIL+1F** **ELEVON**

この機能の説明は前の
 “共通機能” をご参照ください。

■機能一覧

◆ 1 ページ

Mセレクト	P.54
Mタイプ	P.57
Mネーム	P.60
F/S	P.62
Eポイント	P.64
トリム	P.65
サブトリム	P.66
リバース	P.67

◆ 2 ページ

パラメータ	P.68
P.MIX	P.73
AUX CH	P.76
サーボ	P.77
テレメトリー	P.78
センサー	P.91
S.BUS	P.93
Mトランス	P.96

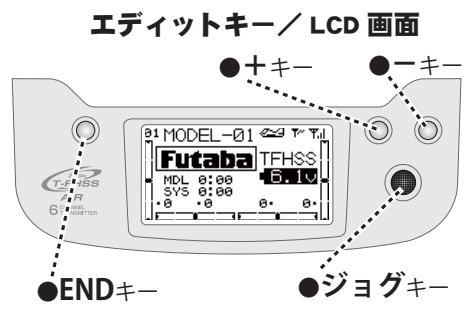
◆ 3 ページ

タイマー	P.97
トレーナー	P.98
TH カット	P.102
DR EXP	P.104
TH カーブ	P.106
IDL DWN	P.107
ジャイロ	P.108

飛行機能

◆ 4 ページ

AIL DIF	P.109
Vテール	P.110
キャンバー	P.111
エアー BRK	P.112
EL → FLP	P.114
FLP → EL	P.115
エレボン	P.116





TH カット スロットルカット

(AIRPLANE)

WING タイプ 1AIL 1AIL+1F 2AIL 2AIL+1F ELEVON

機能説明

スイッチ操作によりエンジンまたはモーターをカット(ストップ)する機能です。スロットルカット動作時に、スロットルサーボまたはESCが完全にカットする位置にレートを調整します。機能動作時はスロットルスティック位置に関係なくこの位置が保持されます。

- **NOR/ESC** 動作モード切替。スロットルカット機能解除時に不意にモーターが高速回転とならないように、機能解除時のスロットルポジションを設定することが可能となります。スロットルスティックが設定したスロットルポジションよりハイ側にある場合は、スイッチをOFF側にしてもスロットルカット機能は解除されません。安全なスロットルポジション(スロー側)に設定してください。ESCモードの場合、設定されたスロットルポジション以下の状態でなければ解除スイッチが効きません。
- 機能操作はスイッチA~Dの中から選択できます。また、スイッチ方向が選択できます。
- 安全のためにもスロットルカット機能を設定しておきましょう。

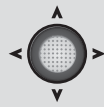
設定方法

設定画面の呼び出し

① 初期画面の状態、+キーを1秒以上押して、メニュー画面を呼び出します。



② ジョグキーでメニュー内の"TH カット"を選択します。



③ ジョグキーを押して、設定画面に入ります。



(スロットルカット 設定画面)



TH カット MIX ▶ INH ◀

MODE ▶ NOR

RATE ▶ 0%

THR ▶ 15% (0%)

SW ▶ SWA ▶ NULL

動作モードの選択 → MODE

カット位置の調整 → RATE

スロットル・ポジション → THR

スイッチの選択 → SW

● "INH" の場合は機能が使用できない状態。"ON" または "OFF" の場合は機能が有効な状態。ON、OFF はスイッチに連動して変化します。

● スロットルサーボまたはESCが完全にカットする位置にレートを調整します。

● THR ポジション設定
カッコ内数値は現在のスロットルスティック位置を示します。

● 設定項目の選択はジョグキーで行ないます。

● NULL (常時 OFF)、UP (上で ON)、UP&D (上または下で ON)、UP&C (上またはセンターで ON)、CNTR (センターで ON)、C&DN (センターまたは下で ON)、DOWN (下で ON)

飛行機用

スロットルカット

■動作モードの選択

① "MODE" の項目を選択した状態で、+又は-キーを押して、動作モードを選択します。



選択範囲：NOR, ESC
初期設定：NOR

- "NOR"：エンジン機の場合
- "ESC"：電動機の場合

■機能を有効にする

② "MIX" の項目を選択した状態で、+又は-キーを押して、"ON" または "OFF" に設定します。



● 機能を使用しない場合は "INH" 側に設定してください。



スロットルカット

■スイッチの選択

- ③ "SW" の項目を選択した状態で、+又は-キーを押して、スイッチを選択します。



選択範囲：SwA ~ SwD

初期設定：SwA

■スイッチの ON 方向の設定

- ④ "POSI" の項目を選択した状態で、+又は-キーを押して、スイッチの ON 方向を選択します。



選択範囲：

2 ポジションスイッチの場合：

NULL, UP, DOWN

3 ポジションスイッチの場合：

NULL, UP, UP&D, UP&C, CNTR, C&DN, DOWN

■カット位置の調整

- ⑤ "RATE" の項目が選択された状態で、+キー又は-キーを押して、カット位置を調整します。



- スロットルサーボまたは ESC が完全にカットする位置にレートを調整します。

選択範囲：-30 ~ 0 ~ +30%

初期設定：0%

- 設定値を初期値に戻したい場合、+キーおよび-キーを同時に押します。

(動作モードが ESC の場合)

■機能解除時のスロットル位置の設定

- ⑥ "THR" の項目が選択された状態で、設定したい位置にスロットルスティックを置き (スロー位置) ジョグキーを長押しします。



- モーターの回転が上がらない安全な位置に設定します。

設定範囲：0 ~ 100%

初期設定：15%

NOR MODE (エンジンで使用)

カット起動



スロットルカット ON

THRスティックが
下がった状態
(THRポジション変更可能)

エンジン
ストップ

カット解除



スロットルカット OFF

THRスティックが
下がった状態

スロットル作動
(THRポジション変更可能)

ESC MODE (モーターで使用)

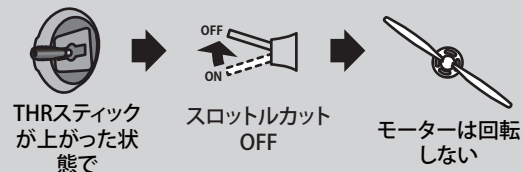
カット起動



スロットルカット ON

モーターストップ

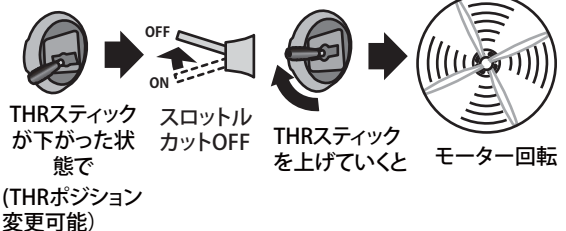
カット解除



THRスティック
が上がった状
態で

スロットルカット
OFF

モーターは回転
しない



(THRポジション
変更可能)



DR EXP

デュアルレート／エキスポネンシャル

(AIRPLANE)

WING タイプ 1AIL 1AIL+1F 2AIL 2AIL+1F ELEVON

機能説明

(この D/R、EXPO の説明は飛行機の場合を示します。)

デュアルレート (D/R)

エルロン、エレベーター、ラダーの各チャンネルの舵角を2～3段階に切り替えて使用できます。

- 舵角調整はスイッチの各方向で、各チャンネルの左右(上下)方向が個別に設定できます。

エキスポネンシャル (EXP)

エルロン、エレベーター、スロットル、ラダーのニュートラル付近のスティック動作に対するサーボの動きを鈍くしたり、または、敏感にして、操縦を楽に行えるような動作カーブに変更する機能です。舵角に応じて切替えます。

- " - "側はニュートラル付近が鈍くなり、" + "側は逆に敏感になります。スロットルについては振り巾全体にエキスポネンシャルが掛かります。" - "側を増やすと、スロー側が鈍くなり、ハイ側は敏感になります。スロットルカーブとの共用はできません。
- デュアルレート (D/R) のそれぞれのレートに対応して設定できます。(スロットル除く) スイッチの各方向および各チャンネルの左右(上下)方向が個別に設定できます。

スイッチ選択 (SW)

エルロン、エレベーター、ラダーの各チャンネル毎のデュアルレート(エキスポネンシャル)の切替スイッチとして、スイッチ A～D から選択できます。

- 初期設定 エルロン：スイッチ D エレベーター：スイッチ A ラダー：スイッチ B

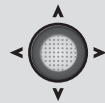
設定方法

設定画面の呼び出し

① 初期画面の状態、+キーを1秒以上押して、メニュー画面を呼び出します。



② ジョグキーでメニュー内の"DR EXP"を選択します。



③ ジョグキーを押して、設定画面に入ります。



(D/R, EXPO 設定画面)

チャンネル選択 → CH ▶ 1 2 3 4
 デュアルレート → D/R ▶ 100%
 エキスポネンシャル → EXP ▶ 100%
 スイッチ選択 → SW ▶ 8%
 SW ▶ SwD

●現在選択中のチャンネルには下線が表示されます。
 (スイッチ方向表示)
 ●デュアルレート、エキスポネンシャルの設定値をカーブで表示します。

<チャンネル表示>
 1: エルロン
 2: エレベーター
 3: スロットル
 4: ラダー

●設定項目およびチャンネルの選択はジョグキーで行ないます。

(スイッチ No.) (D/R および EXPO のレート表示)
 上段: 左側/下側
 下段: 右側/上側

(←)⇄(→)のカーソル移動は該当スティック操作で行ないます。



飛行機用



デュアルレート

- ① ジョグキーでチャンネルを選択します。



選択範囲：1, 2, 4

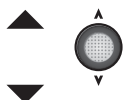
- ② ジョグキーでD/Rにカーソルを移動させ、デュアルレートスイッチを設定したい方向に切替え、スティックを左(下)側または右(上)側に操作した状態で、+キー又は-キーを押してレートを調整します。



調整範囲：
0 ~ 140%
初期値：100%

- 設定値を初期値に戻したい場合、+キーおよび-キーを同時に押します。

上記②を繰り返して、デュアルレートスイッチ、スティックの各方向のレートを調整してください。



- ジョグキーで同一チャンネルの別の設定項目への移動が可能。

エクスポネンシャル

- ① "EXP" の項目が選択された状態で、ジョグキーでチャンネルを選択します。



選択範囲：1 ~ 4

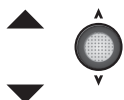
- ② ジョグキーでEXPにカーソルを移動させ、デュアルレートスイッチを設定したい方向に切替え、スティックを左(下)側または右(上)側に操作した状態で、+キー又は-キーを押してレートを調整します。スロットルはスイッチ設定、スティック位置による設定位置変更がなく数値を入力すると常時 ON となります。



調整範囲：
-100 ~ +100%
初期値：0%

- 設定値を初期値に戻したい場合、+キーおよび-キーを同時に押します。

上記②を繰り返して、デュアルレートスイッチ、スティックの各方向のレートを調整してください。



- ジョグキーで同一チャンネルの別の設定項目への移動が可能。

スイッチの変更

- ① "SW" の項目が選択されている状態で、ジョグキーでチャンネルを選択します。



選択範囲：1, 2, 4

- ② +キー又は-キーを押してスイッチを選択します。



選択範囲：SWA ~ SwD



TH カブ

スロットルカーブ

(AIRPLANE)

WING タイプ 1AIL 1AIL+1F 2AIL 2AIL+1F ELEVON

機能説明

スロットルカーブはスロットルスティックの動きに対しエンジン/モーター回転が最良の飛行状態になるように5ポイントのカーブが設定できます。

- スイッチのポジション毎にカーブを設定できます。

ただし、スロットル EXP 機能が設定されている場合はこの機能は使用できません。また、この機能が設定されている場合はスロットル EXP 機能は使用できません。

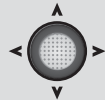
設定方法

設定画面の呼び出し

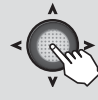
- ① 初期画面の状態、+キーを1秒以上押して、メニュー画面を呼び出します。



- ② ジョグキーでメニュー内の"THカブ"を選択します。



- ③ ジョグキーを押して、設定画面に入ります。



(スロットルカーブ 設定画面)

機能を有効にする

スイッチの選択

5ポイントカーブの設定

- 設定項目の選択はジョグキーで行ないます。

スロットルカーブ	MIX	INH
SW	SWC (UP)	
P-5	100.0%	
P-4	75.0%	
P-3	50.0%	
P-2	25.0%	
P-1	0.0%	

- "INH"の場合は機能が使用できない状態。"ON"の場合は機能が有効な状態。

- 設定したカーブがグラフに表示されます。

(カッコ内は現在のスイッチポジションを表示)

飛行機能

スロットルカーブ

■機能を有効にする

- ① "MIX"の項目を選択した状態で、+又は-キーを押して、"ON"に設定します。



- 機能を使用しない場合は"INH"側に設定してください。

■スイッチの選択

- ② "SW"の項目を選択した状態で、+又は-キーを押して、スイッチを選択します。



選択範囲：SwA ~ SwD、初期設定：SwC

■5ポイントカーブの設定

- ③ ジョグキーで各ポイントの設定項目(P-1 ~ P-5)を選択した状態で、+又は-キーを押して、各ポイントの動作量を設定します。



設定範囲：0 ~ 100%

初期設定：P-1: 0%, P-2: 25%, P-3: 50%, P-4: 75%, P-5: 100%



IDL DWN アイドルダウン

(AIRPLANE)

WING タイプ 1AIL 1AIL+1F 2AIL 2AIL+1F ELEVON

機能説明

スイッチ操作でエンジンのアイドルを下げる機能です。上空飛行中のエンストを防ぐため、エンジンのアイドルを高めに設定し、着陸時にエンジンのアイドルを下げたい時に使用します。

- アイドル降下量が設定できます。
- アイドルダウン動作時、スロットルトリムレバーはアイドルダウン降下量を調整するレバーとなります。
- 機能操作はスイッチ A～Dの中から選択できます。また、スイッチ方向が選択できます。

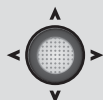
設定方法

設定画面の呼び出し

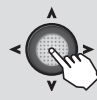
① 初期画面の状態、+キーを1秒以上押して、メニュー画面を呼び出します。



② ジョグキーでメニュー内の "IDL DWN" を選択します。



③ ジョグキーを押して、設定画面に入ります。



(アイドルダウン 設定画面)

機能を有効にする
アイドルダウン
降下量の設定

スイッチの選択
スイッチの ON 方向

IDL DWN

MIX ▶ INH

RATE ▶ 0%

SW ▶ SwC

POSI ▶ CNT&DN

● "INH" の場合は機能が使用できない状態。"ON" または "OFF" の場合は機能が有効な状態。ON, OFF はスイッチに連動して変化します。

● アイドル降下量を設定します。

● 設定項目の選択はジョグキーで行ないます。

● NULL (常時 OFF)、UP (上で ON)、UP&DWN (上または下で ON)、UP&CNT (上またはセンターで ON)、CENTER (センターで ON)、CNT&DN (センターまたは下で ON)、DOWN (下で ON)

アイドルダウン

■機能を有効にする

① "MIX" の項目を選択した状態で、+又は-キーを押して、"ON" または "OFF" に設定します。



●機能を使用しない場合は "INH" 側に設定してください。

■スイッチの選択

② "SW" の項目を選択した状態で、+又は-キーを押して、スイッチを選択します。



選択範囲：SwA～SwD、初期設定：SwC

■スイッチの ON 方向の設定

③ "POSI" の項目を選択した状態で、+又は-キーを押して、スイッチの ON 方向を選択します。



- 2P SW の場合：NULL, UP, DWN
- 3P SW の場合：NULL, UP, UP&DWN, UP&CNT, CENTER, CNT&DN, DOWN

■アイドル降下量の調整

④ "RATE" の項目が選択された状態で、+キー又は-キーを押して、降下量を調整します。



設定範囲：0～40%
初期設定：0%

●設定値を初期値に戻したい場合、+キーおよび-キーを同時に押します。

●アイドル降下量は通常 10%～20% ぐらいが適当です。機体を固定し、エンジンを回しながらスロットルスティックを最スローの状態ですwitchを ON,OFF しながらアイドル降下量を調整します。



ジャイロ

ジャイロ

(AIRPLANE)

WING タイプ **TAIL**

2AIL

機能説明

Futaba 製 GY シリーズジャイロのジャイロ感度およびジャイロモード (AVCS/NORM) を切り替えるための専用ミキシングです。

- 感度切替えスイッチが選択でき、スイッチの各方向の感度設定が可能です。(スイッチ A ~ D) 飛行機の特長上、失速状態に陥るとジャイロでは姿勢の制御ができなくなります。感度 OFF(0%) のポジションも設定しておくことをおすすめします。
- 感度設定チャンネルは CH5 です。
- T6K はジャイロゲイン CH は 1CH のみです。3 軸ジャイロのそれぞれの感度調整や複数のジャイロの感度調整はできません。

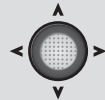
設定方法

設定画面の呼び出し

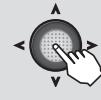
① 初期画面の状態、+ キーを 1 秒以上押して、メニュー画面を呼び出します。



② ジョグキーでメニュー内の "ジャイロ" を選択します。



③ ジョグキーを押して、設定画面に入ります。

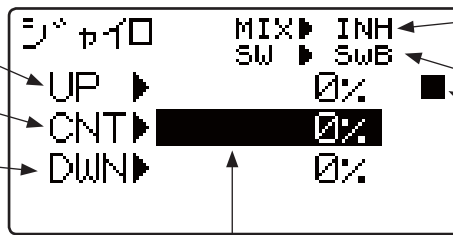


(ジャイロ 設定画面)

スイッチが上の時の感度
UP ▶ 0%

スイッチが真ん中の感度
CNT ▶ 0%

スイッチが下の時の感度
DWN ▶ 0%



- "INH" の場合は機能が使用できない状態。"ON" の場合は機能が有効な状態。
- 感度切替えスイッチの選択
- 現在のスイッチ位置の表示

● 設定項目の選択はジョグキーで行ないます。

● ジョグキーの上下でカーソルを移動して数値を+キーで入力します。

飛行機用

ジャイロセンス

■機能を有効にする

① "MIX" の項目を選択した状態で、+ または - キーを押して、"ON" に設定します。



● 機能を使用しない場合は "INH" 側に設定してください。

■感度切替えスイッチの選択

② "SW" の項目を選択した状態で、+ または - キーを押して、スイッチを選択します。



選択範囲：SwA ~ SwD、初期設定：SwB

■ジャイロタイプ、感度の設定

③ UP/CNT/DWN は設定したスイッチのポジションです。それぞれのポジションの感度とジャイロモードを設定します。

AVC 100% ← AVCS 0% ノーマル → NOR 100%

0%はジャイロが効かない (OFF) 状態です。

+ キーを押すと AVCS 側の感度が上がっていきます。



- キーを押すとノーマル側の感度が上がっていきます。



AIL DIF エルロンディファレンシャル

(AIRPLANE)

WING タイプ

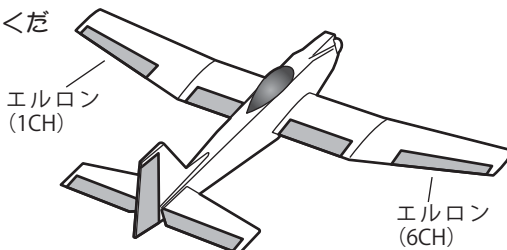
2AIL 2AIL+1F

機能説明

エルロンに2個のサーボを使用し、左右のエルロン動作に上下差動をつけることができます。

左側エルロンは1CH、右側エルロンは6CHに接続してください。

- 左右のエルロン舵面の上下の舵角を個別に調整可能。



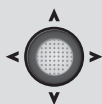
設定方法

設定画面の呼び出し

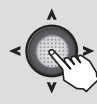
- ① 初期画面の状態、+キーを1秒以上押して、メニュー画面を呼び出します。



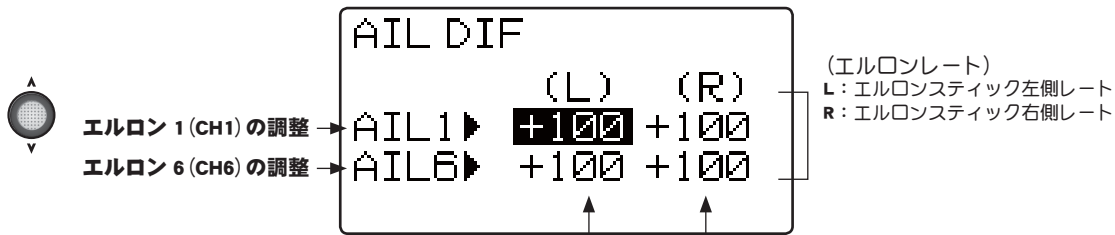
- ② ジョグキーでメニュー内の "AIL DIF" を選択します。



- ③ ジョグキーを押して、設定画面に入ります。

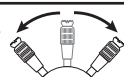


(エルロンディファレンシャル 設定画面)



- 設定項目の選択はジョグキーで行ないます。

(L) ⇄ (R) 左右のカーソル移動はエルロンスティック操作で行ないます。



エルロンディファレンシャル

■エルロンディファレンシャルは "M タイプ" で "WING" タイプを "2AIL" か "2AIL1FLP" に選択すると自動的に起動状態となります。

■エルロン舵角の調整

- ① "AIL1" "AIL6" の項目が選択された状態で、エルロンスティックを左右に操作し、それぞれの動作量を、+キー又は-キーを押して調整します。



設定範囲：-120 ~ +120%

初期設定：+- 100%

- 設定値を初期値に戻したい場合、+キーおよび-キーを同時に押します。ただし、極性が変更されている場合は数値のみ初期値に戻ります。

飛行機能



V テール

V テール

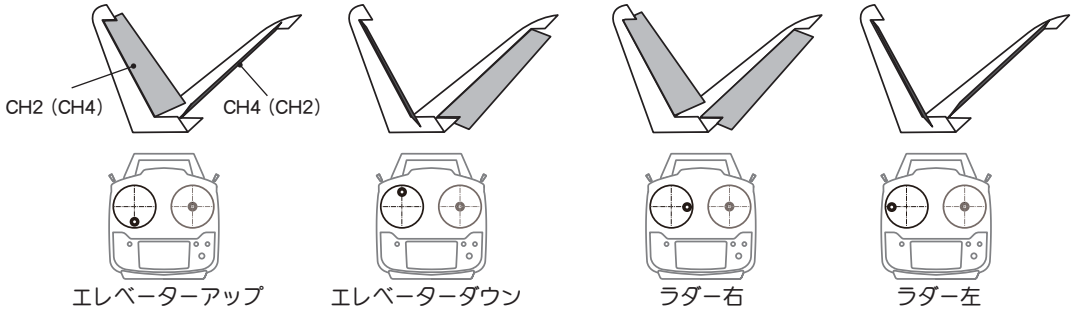
(AIRPLANE)

WING タイプ 1TAIL 1TAIL+1F 2AIL 2AIL+1F

機能説明

エレベーターとラダー機能を組み合わせたV尾翼機に使用するミキシングです。

- エレベーター、ラダーの動作量を個別に調整できます。



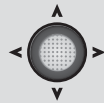
設定方法

設定画面の呼び出し

- ① 初期画面の状態、+キーを1秒以上押して、メニュー画面を呼び出します。



- ② ジョグキーでメニュー内の"Vテール"を選択します。



- ③ ジョグキーを押して、設定画面に入ります。



(Vテール 設定画面)

	Vテール	MIX ▶	INH	● "INH" の場合は機能が使用できない状態。機能を使用する場合は "ACT" に切替えます。
ELE2 の動作量の調整	ELE ▶	ELE2 ▶	+ 50	● "ACT" にするとモデルタイプのTAILが連動して "V-TAIL" となります。モデルタイプで "V-TAIL" を選択するとこの機能は自動的に "ACT" となります。 (サーボ動作量)
ELE4 の動作量の調整	→	ELE4 ▶	- 50	
RUD2 の動作量の調整	RUD ▶	RUD2 ▶	+ 50	
RUD4 の動作量の調整	→	RUD4 ▶	+ 50	

- 設定項目の選択はジョグキーで行ないます。

V テール

■機能を有効にする

- ① "MIX" の項目を選択した状態で、+又は-キーを押して、"ACT" に設定します。



- 機能を使用しない場合は "INH" 側に設定してください。

■動作量の調整

- ② "RATE" の各項目が選択された状態で、それぞれの動作量を、+キー又は-キーを押して調整します。



設定範囲：-100 ~ +100%
初期設定：+50%
(ELE4 のみ -50%)

- 設定値を初期値に戻したい場合、+キーおよび-キーを同時に押します。ただし、極性が変更されている場合は数値のみ初期値に戻ります。

注意:スティックを動かしながら動作量を確認しながら設定することをお勧めします。動作量を大きく設定すると、エレベーター、ラダーの動作が複合し、サーボの動作範囲を越え、動作しない不感帯が発生する場合があります。



キャンバ - キャンバー

(GLIDER)

WING タイプ

1AIL+1F

2AIL

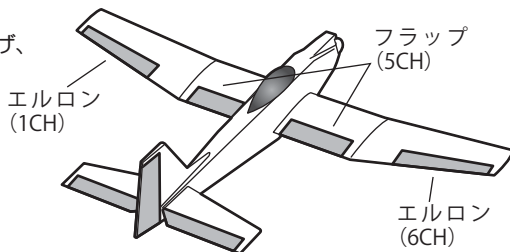
2AIL+1F

ELEVON

機能説明

ウイングタイプに応じてエルロン、フラップをスイッチ操作で設定値にオフセットすることができます。たとえばエルロン、フラップともにわずかに下にオフセットすると、揚力が高く抵抗の強い翼型に類似した状態にできます。

- エレベーターもオフセットすることで、起動時の頭上げ、頭下げを修正できます。
- 動作スイッチの変更可能



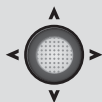
設定方法

設定画面の呼び出し

① 初期画面の状態では、+キーを1秒以上押し、メニュー画面を呼び出します。



② ジョグキーでメニュー内の"キャンバ"を選択します。



③ ジョグキーを押して、設定画面に入ります。



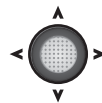
(キャンバ 設定画面)

- スイッチポジション
 - エルロン1
 - エルロン6
 - エレベーター
 - フラップ
 - 機能を有効にする
 - スイッチ選択

キャンバ			
	(UP)	(CNT)	(DWN)
AIL1	0	0	0
AIL6	0	0	0
ELE	0	0	0
FLP	0	0	0
MIX	INH		
SW	SWA (DWN)		

- WINGタイプにより設定できないCHがあります。(----の表示は設定不可)

●現在のスイッチポジション



- 設定項目の選択はジョグキーで行ないます。

+

-

- 数値の変更は+-キーでおこないます。

飛行機用

●翼端エルロンの機体で両方のエルロンを下に下げると翼端失速しやすくなりコントロール不能になる可能性があるので注意してください。



I7- BRK エアブレーキ

(AIRPLANE)

WING タイプ

1AIL+1FL

2AIL

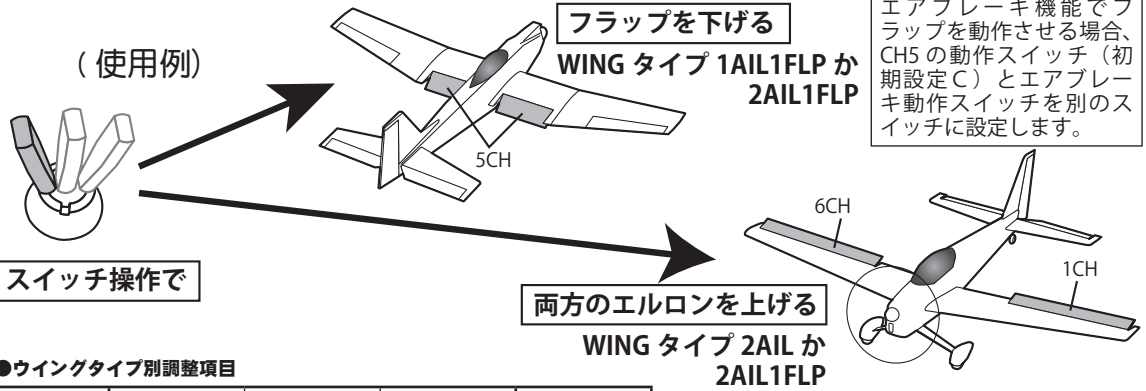
2AIL+1FL

ELEVON

機能説明

着陸などでエアブレーキが必要な場合に使用し、スイッチ C (初期設定) で ON/OFF 操作します。スイッチでフラップを下げたり、両方のエルロンを上上げて空気抵抗をふやしたりできます。

- 通常エルロンをブレーキにするときは上方向に上げます。両エルロンを下方向に下げると翼端失速しやすくなるのでご注意ください。
- "LINR" モードを選択した場合、スロットルスティックは 3CH 目およびエアブレーキの操作となりますが、3CH 目の操作から切り離すことが可能です。3CH 目コントロールとして、スティックからスイッチまたはボリュームボリュームに変更することができます。ただし、スティック以外を選択した場合はスロットルトリムおよびファンクションリバー機能は使用できません。
- "LINR" モードで使用時の動作量の調整は、スロットルスティックが最スロー側 (ブレーキ量最大) の状態で行ってください。



エアブレーキ機能でフラップを動作させる場合、CH5 の動作スイッチ (初期設定 C) とエアブレーキ動作スイッチを別のスイッチに設定します。

スイッチ操作で

●ウイングタイプ別調整項目

画面表示	1AIL1FLP	2AIL	2AIL1FLP	ELEVON
AIL1(1CH)	----	エルロン 1	エルロン 1	----
ELEV(2CH)	エレベーター	エレベーター	エレベーター	エレベーター
FLAP(5CH)	フラップ	----	フラップ	フラップ
AIL6(6CH)	----	エルロン 6	エルロン 6	----

- WING タイプにより設定できない CH があります。(---- の表示は設定不可)

飛行機用

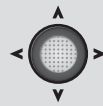
設定方法

設定画面の呼び出し

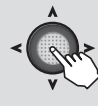
① 初期画面の状態、+キーを 1 秒以上押して、メニュー画面を呼び出します。



② ジョグキーでメニュー内の "I7-BRK" を選択します。



③ ジョグキーを押して、設定画面に入ります。



(エアブレーキ 設定画面)

機能を有効にする

各サーボの動作量の調整

ディレイ量の調整

```

I7エアブレーキ
-rate- CH3 ▶ ----
AIL1 ▶ + 50% MIX ▶ INH
ELEV ▶ - 10% SW ▶ SWC
FLAP ▶ - 50%   ▶ DOWN
AIL6 ▶ + 50% MOD ▶ OFST
-delay-
ELEV ▶ 0%

```

3CH 目コントロールの変更

● "INH" の場合は機能が使用できない状態。"ON" または "OFF" の場合は機能が有効な状態。ON、OFF はスイッチに連動して変化します。

スイッチの選択

スイッチ ON 方向の選択

動作モードの選択

- 設定項目の選択はジョグキーで行ないます。

- 動作モード "LINR" を選択した場合、動作基準点および下段の括弧内に現在のスロットルスティック位置が表示されます。
- スイッチ ON 方向表示: NULL (常時 OFF)、UP (上で ON)、UP&DN (上または下で ON)、UP&CT (上またはセンターで ON)、CENTR (センターで ON)、CT&DN (センターまたは下で ON)、DOWN (下で ON)



エアブレーキ

■機能を有効にする

- ① "MIX" の項目を選択した状態で、+又は-キーを押して、"ON" または "OFF" に設定します。



- 機能を 사용하지 ない場合は "INH" 側に設定してください。

■動作量の調整

- ② "-rate-" の各舵の項目で、+キー又は-キーを押して、動作量を調整します。



設定範囲：-100 ~ +100%
初期設定：+50% (ELEV のみ -10%)

- 設定値を初期値に戻したい場合、+キーおよび-キーを同時に押します。ただし、極性が変更されている場合は数値のみ初期値に戻ります。

■ディレー量の調整

- ③ "-delay-" の項目を選択した状態で、+キー又は-キーを押して、エレベーター動作のディレー量を調整します。



- 100% でディレー量最大

設定範囲：0 ~ 100%、初期設定：0%

- 設定値を初期値に戻したい場合、+キーおよび-キーを同時に押します。

(スイッチを変更する場合)

■スイッチの選択

- ① "SW" の項目を選択した状態で、+又は-キーを押して、スイッチを選択します。



選択範囲：SwA ~ SwD

■スイッチ ON 方向の設定

- ② "SW" の下段の項目を選択した状態で、+又は-キーを押して、スイッチの ON 方向を選択します。



- 2P SW の場合：NULL, UP, DOWN
- 3P SW の場合：NULL, UP, UP&DN, UP&CT, CENTR, CT&DN, DOWN

(動作モードを変更する場合)

■動作モードの選択

- ① "MOD" の項目を選択した状態で、+又は-キーを押して、動作モードを選択します。



選択範囲：OFST, LINR
初期設定：OFST

■動作基準点の設定 ("LINR" モード時のみ)

- ② "MOD" の下段に新たに表示される動作基準点の設定項目を選択した状態で、スロットルスティックをエアブレーキ開始点に保持し、ジョグキーを一秒以上押して基準点を設定します。



設定範囲：0 ~ 100%

("LINR" モード時の 3CH 目のコントロールを変更する場合)

■"LINR" モード時の 3CH 目コントロールの選択

- ① "CH3" の項目を選択した状態で、+又は-キーを押して、コントロールを選択します。



選択範囲：THR, SwA ~ SwD, VR
初期設定：THR



EL → FLP

エレベーター→フラップミキシング

(AIRPLANE)

WING タイプ

1AIL+1F

2AIL+1F

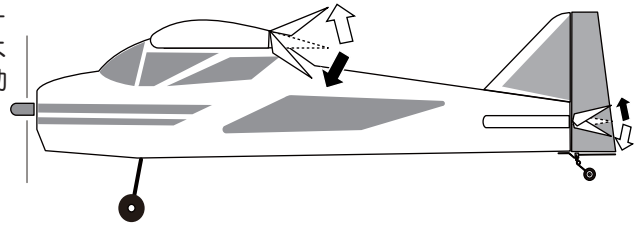
ELEVON

機能説明

エレベーターからフラップにミキシングをかけたい場合に使用します。通常、エレベーターがアップ(上に上がる)でフラップが下がるようにミキシングします。エレベーターを補助する働きができます。

- アップ側、ダウン側のレートが調整可能

エレベーター操作に連動してフラップが動作します。



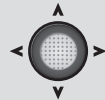
設定方法

設定画面の呼び出し

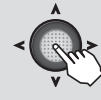
- ① 初期画面の状態、+キーを1秒以上押して、メニュー画面を呼び出します。



- ② ジョグキーでメニュー内の"EL → FLP"を選択します。



- ③ ジョグキーを押して、設定画面に入ります。



(エレベーター→フラップミキシング 設定画面)

機能を有効にする →

ミキシング量の調整 →

スイッチの選択 →

スイッチのON方向 →

ELE→フラップ⁺ (+) (+)

RATE ▶ + 50 + 50

MIX ▶ INH

SW ▶ SwC

POSI ▶ UP

● "INH" の場合は機能が使用できない状態。"ON" または "OFF" の場合は機能が有効な状態。ON、OFF はスイッチに連動して変化します。
(エレベーターアップ側レート)
(エレベーターダウン側レート)

(↑)⇄(↓)のカーソル移動はエレベータースティック操作で行ないます。

● 設定項目の選択はジョグキーで行ないます。

● NULL (常時 OFF)、UP (上で ON)、UP&DWN (上または下で ON)、UP&CNT (上またはセンターで ON)、CENTER (センターで ON)、CNT&DN (センターまたは下で ON)、DOWN (下で ON)

エレベーター→フラップミキシング

■機能を有効にする

- ① "MIX" の項目を選択した状態で、+又は-キーを押して、"ON" または "OFF" に設定します。



- 機能を使用しない場合は "INH" 側に設定してください。

■スイッチの選択

- ② "SW" の項目を選択した状態で、+又は-キーを押して、スイッチを選択します。



選択範囲：SwA ~ SwD

■スイッチの ON 方向の設定

- ③ "POSI" の項目を選択した状態で、+又は-キーを押して、スイッチの ON 方向を選択します。



- 2P SW の場合：NULL, UP, DWN
- 3P SW の場合：NULL, UP, UP&DWN, UP&CNT, CENTER, CNT&DN, DOWN

■ミキシング量の調整

- ④ "RATE" の項目が選択された状態で、エレベータースティックを設定したい方向に操作して+キー又は-キーを押して、エレベーターの各方向のミキシング量を調整します。



設定範囲：-100 ~ +100% 初期設定：+50%

- 設定値を初期値に戻したい場合、+キーおよび-キーを同時に押します。ただし、極性が変更されている場合は数値のみ初期値に戻ります。



FLP → EL フラップ→エレベーターミキシング (AIRPLANE)

機能説明

このミキシングは、フラップ操作時に発生する姿勢変化（エレベーター方向）を補正するために使用します。

- リンケージによりミキシング方向が逆の場合はレートの極性を変えることにより調整可能。
- ミキシングの基準点を移動可能。（OFFSET）

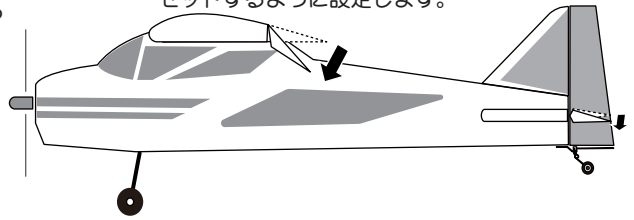
WING タイプ

1AIL+1F

2AIL+1F

ELEVON

フラップを下げたときに頭上げが激しいときなどにエレベーターがダウンにオフセットするように設定します。



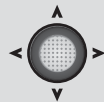
設定方法

設定画面の呼び出し

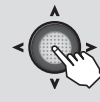
① 初期画面の状態では、+キーを1秒以上押し、メニュー画面を呼び出します。



② ジョグキーでメニュー内の"FLP → EL"を選択します。



③ ジョグキーを押して、設定画面に入ります。



(フラップ→エレベーターミキシング 設定画面)

フラップ → ELE (SWD)

機能を有効にする → MIX ▶ INH

ミキシング量の調整 → RATE ▶ 0%

ミキシング基準点のオフセット設定 → OFFSET ▶ 0%

(現在のフラップ操作位置) → (-100%)

● "INH" の場合は機能が使用できない状態。"ON" の場合は機能が有効な状態。

● 設定項目の選択はジョグキーで行ないます。

フラップ→エレベーターミキシング

■機能を有効にする

① "MIX" の項目を選択した状態で、+又は-キーを押して、"ON" に設定します。



● 機能を使用しない場合は "INH" 側に設定してください。

■ミキシング量の調整

② "RATE" の項目が選択された状態で、+キー又は-キーを押して、ミキシング量を調整します。



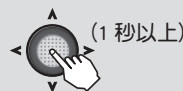
設定範囲：-100 ~ +100%
初期設定：0%

● 設定値を初期値に戻したい場合、+キーおよび-キーを同時に押します。

(ミキシングの基準点を変更する場合)

■ミキシング基準点のオフセット設定

② "OFFSET" の項目を選択した状態で、フラップチャンネルをミキシングの基準点としたい位置に操作し、ジョグキーを一秒以上押し、基準点を設定します。



設定範囲：-100 ~ +100%
初期設定：0%



エルボン エレボン

(AIRPLANE)

WING タイプ

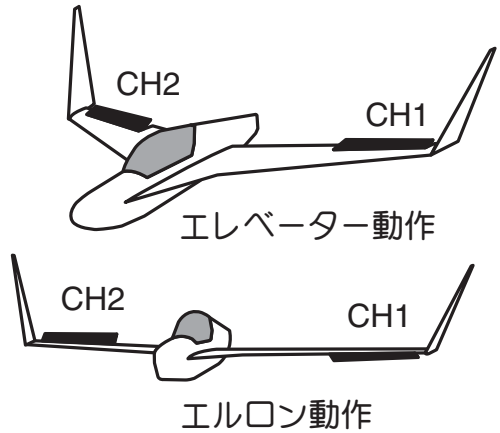
ELEVON

機能説明

エルボンとエレベーターの機能を組み合わせたデルタ翼機、無尾翼機、円盤機等に使用するミキシングです。

サーボは左側エルボンに CH1 サーボ、右側エルボンに CH2 サーボを接続してください。

- エルボン、エレベーターの動作量を個別に調整できます。



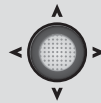
設定方法

設定画面の呼び出し

- ① 初期画面の状態で、+キーを1秒以上押して、メニュー画面を呼び出します。



- ② ジョグキーでメニュー内の"エルボン"を選択します。



- ③ ジョグキーを押して、設定画面に入ります。

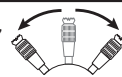


(エレボン 設定画面)

	エルボン	(L)	(R)	
エルボン (CH1) の調整	AIL1 ▶	+100	+100	(エルボンレート) L: エルボンスティック左側レート R: エルボンスティック右側レート
エルボン (CH2) の調整	AIL2 ▶	+100	+100	
エレベーター (CH1) の調整	ELE1 ▶	+100		(エレベーターレート)
エレベーター (CH2) の調整	ELE2 ▶	-100		

- 設定項目の選択はジョグキーで行ないます。

(L) ⇄ (R) 左右のカーソル移動はエルボンスティック操作で行ないます。



エレボン

- エレボンはウイングタイプ "ELEVON" を選択すると自動的に起動状態となります。

■動作量の調整

- ① 各数値が選択された状態で、それぞれの動作量を、+キー又は-キーを押して調整します。



設定範囲: -120 ~ +120%

初期設定: +100%

(ELE1 のみ -100%)

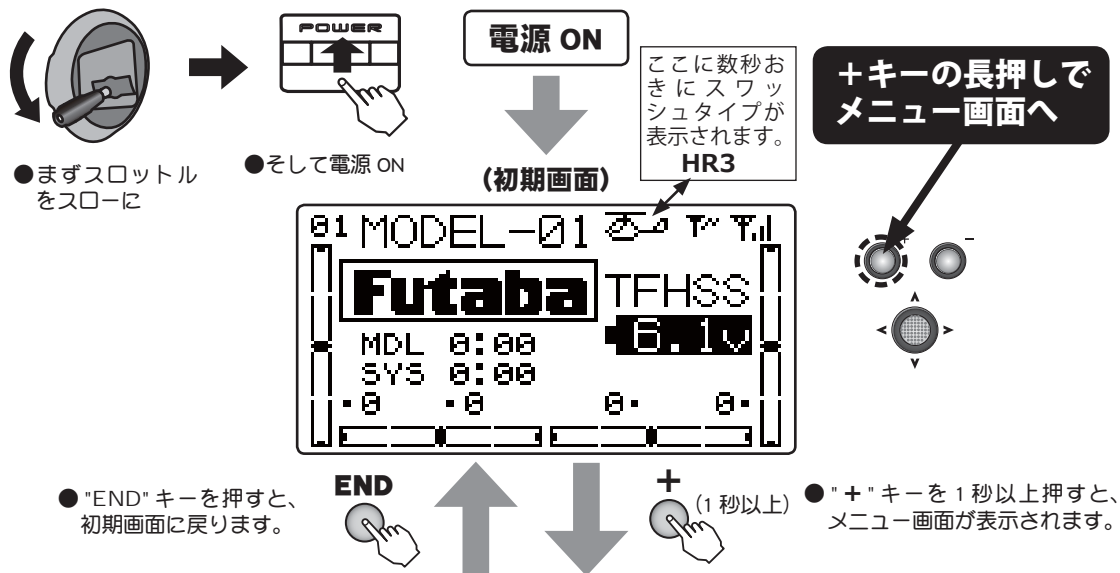
- 設定値を初期値に戻したい場合、+キーおよび-キーを同時に押します。ただし、極性が変更されている場合は数値のみ初期値に戻ります。

注意: スティックを動かしながら動作量を確認しながら設定することをお勧めします。動作量を大きく設定すると、エルボン、エレベーターの動作が複合し、サーボの動作範囲を越え、動作しない不感帯が発生する場合があります。

ヘリ用 (HELICOPTER) 機能



各機能の設定画面は、下記のメニューから呼び出します。ここでは、モデルタイプがヘリ用 (HELICOPTER) に設定されている場合の機能を示します。



メニュー画面

※スワッシュタイプによってメニュー項目が変わります。このメニュー画面は HR3 の例です。

メニュー 1/4

▶Mセレクト	▶Eポイント
▶Mタイプ	▶トリム
▶Mネーム	▶サブトリム
▶F/S	▶リバース

メニュー 2/4

▶パラメータ	▶テレメトリー
▶P.MIX	▶センサー
▶AUX CH	▶S.BUS
▶サーボ	▶Mトランス

メニュー 3/4

▶タイマー	▶DR EXP
▶トレーナー	▶オフセット
▶コンディシ	▶ディレイ
▶TH カット	▶シヤイロ

メニュー 4/4

▶SWH AFR	▶PI → RUD
▶SWH MIX	▶TH HOLD
▶TH カーブ	▶TH おりり
▶PI カーブ	▶PI おりり

(機能の選択)

●ジョグキーで、上下・左右にカーソル(反転表示)を移動し、機能を選択します。ページをまたがって移動も可能。

●メニュー画面のページ移動は+キーでもできます。(設定画面のページ移動はジョグキーのみ)

(設定画面の呼出し)

●ジョグキーを押して、設定画面に入ります。

ヘリコプター用機能



(各設定画面でのコンディション切替)



●ジョグキーを長押し。
 下記の機能ではコンディションが設定されている場合にジョグキーの長押しでコンディションを切替えて各設定をすることができます。
 D/R, EXPO、スロットルカーブ、ピッチカーブ、オフセット、スワッシュ MIX

この機能の説明は前の
 “共通機能” をご参照ください。

■機能一覧

◆ 1 ページ

Mセレクト	P.54
Mタイプ	P.57
Mネーム	P.60
F/S	P.62
Eポイント	P.64
トリム	P.65
サブトリム	P.66
リバース	P.67

◆ 2 ページ

パラメータ	P.68
P.MIX	P.73
AUX CH	P.76
サーボ	P.77
テレメトリー	P.78
センサー	P.91
S.BUS	P.93
Mトランス	P.96

◆ 3 ページ

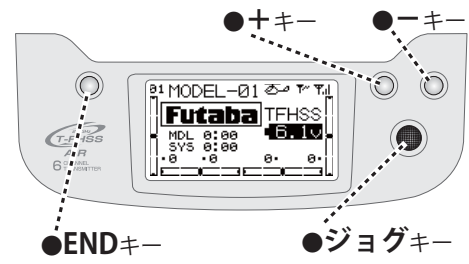
タイマー	P.97
トレーナー	P.98
コンディション	P.119
TH カット	P.120
DR EXP	P.122
オフセット	P.124
ディレー	P.125
ジャイロ	P.126

◆ 4 ページ

SWH AFR	P.127
SWH MIX	P.128
TH カーブ	P.130
PI カーブ	P.132
PI → RUD	P.134
TH HOLD	P.136
TH ホバリング	P.137
PI ホバリング	P.138

ヘリコプター用機能

エディットキー / LCD 画面





コンディ ションセレクト (アイドルアップ・スロットルホールド) (HELICOPTER)

機能説明

コンディション切替スイッチ(アイドルアップ 1/2 およびスロットルホールドスイッチ)は、初期設定では動作しない状態です。その他の機能を設定する前に、予めこのコンディションセレクト機能で設定を行います。

- ◆アイドルアップ: 上空高速飛行を行なうときに使用します。スロットルスティックを下げてもエンジン回転が下がらないように設定して、上空でローターが止まってしまうようにします。
- ◆スロットルホールド: オートローテーション降下で使用します。スロットルスティックを操作してもエンジンはスローカストップしたままでピッチのみをコントロールします。

設定方法

設定画面の呼び出し

① 初期画面の状態、+キーを1秒以上押して、メニュー画面を呼び出します。

② ジョグキーでメニュー内の"コンディ"を選択します。

③ ジョグキーを押して、設定画面に入ります。

(コンディションセレクト 設定画面)

コンディ ション

アイドルアップの設定

スロットルホールドの設定

1 INH SWC CNTR
2 INH SWC DOWN

THR-HOLD
INH SWD DOWN

● "INH"の場合は機能が使用できない状態。"ON"または"OFF"の場合は機能が有効な状態。ON/OFFはスイッチに連動して変化します。

● 設定項目の選択はジョグキーで行ないます。

(機能を有効にする) (スイッチの選択) (ON方向の設定)

コンディションセレクト

■機能を有効にする

① 使用したいコンディションの"INH"の項目を選択した状態で、+又は-キーを押して、"ON"又は"OFF"に設定します。

●使用しないコンディションは"INH"側に設定してください。

(スイッチを変更する場合)

■スイッチの選択

② スイッチ選択の項目で、+又は-キーを押して、スイッチを変更します。

選択範囲: SwA ~ SwD
初期値: SwC (IDLE-UP1/2)、SwD (THR-HOLD)

■ON方向の選択

③ ON方向選択の項目で、+又は-キーを押して、ON方向を選択します。

選択範囲:

- 2P SWの場合: NULL, UP, DOWN
- 3P SWの場合: NULL, UP, UP&D, UP&C, CNTR, C&DN, DOWN

ヘリコプター用機能



TH カット スロットルカット (HELICOPTER)

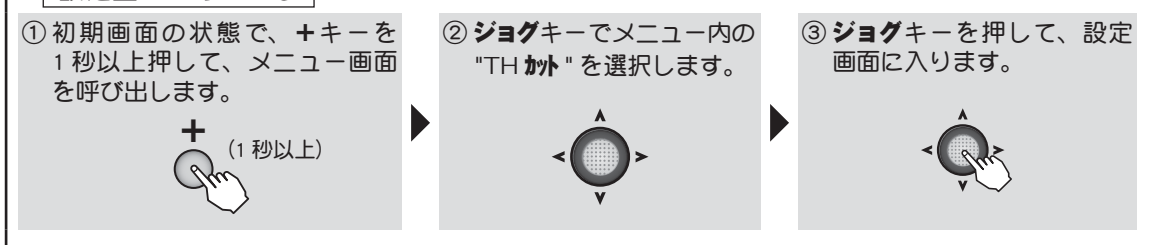
機能説明

スイッチ操作によりエンジンまたはモーターをカット(ストップ)する機能です。スロットルカット動作時に、スロットルサーボまたは ESC が完全にカットする位置にレートを調整します。機能動作時はスロットルスティック位置に関係なくこの位置が保持されます。

- **NOR/ESC** 動作モード切替。スロットルカット機能解除時に不意にモーターが高速回転とならないように、機能解除時のスロットルポジションを設定することが可能となります。スロットルスティックが設定したスロットルポジションよりハイ側にある場合は、スイッチを OFF 側にしてもスロットルカット機能は解除されません。安全なスロットルポジション(スロー側)に設定してください。ESC モードの場合、設定されたスロットルポジション以下の状態でなければ解除スイッチが効きません。
- 機能操作はスイッチ A ~ D の中から選択できます。また、スイッチ方向が選択できます。
- 安全のためにもスロットルカット機能を設定しておきましょう。

設定方法

設定画面の呼び出し



(スロットルカット 設定画面)

動作モードの選択 → MODE ▶ NOR
 カット位置の調整 → RATE ▶ 0%
 スロットル・ポジション → THR ▶ 15% (0%)
 スイッチの選択 → SW ▶ SWA ▶ NULL

- "INH" の場合は機能が使用できない状態。"ON" または "OFF" の場合は機能が有効な状態。ON、OFF はスイッチに連動して変化します。
- スロットルサーボまたは ESC が完全にカットする位置にレートを調整します。
- THR ポジション設定
カッコ内数値は現在のスロットルスティック位置を示します。

● 設定項目の選択は **ジョグ** キーで行ないます。
 ● NULL (常時 OFF)、UP (上で ON)、UP&D (上または下で ON)、UP&C (上またはセンターで ON)、CNTR (センターで ON)、C&DN (センターまたは下で ON)、DOWN (下で ON)

スロットルカット

■ **動作モードの選択**
 ① "MODE" の項目を選択した状態で、+ 又は - キーを押して、動作モードを選択します。

● "NOR" : エンジン機の場合
 "ESC" : 電動機の場合

■ **機能を有効にする**
 ② "MIX" の項目を選択した状態で、+ 又は - キーを押して、"ON" または "OFF" に設定します。

● 機能を使用しない場合は "INH" 側に設定してください。

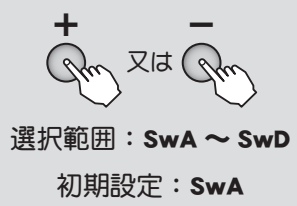
ヘリコプター用機能



スロットルカット

■スイッチの選択

③ "SW" の項目を選択した状態で、+又は-キーを押して、スイッチを選択します。



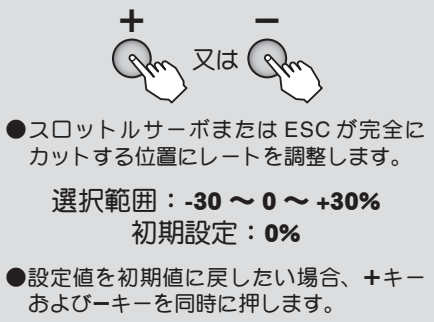
■スイッチの ON 方向の設定

④ "POSI" の項目を選択した状態で、+又は-キーを押して、スイッチの ON 方向を選択します。



■カット位置の調整

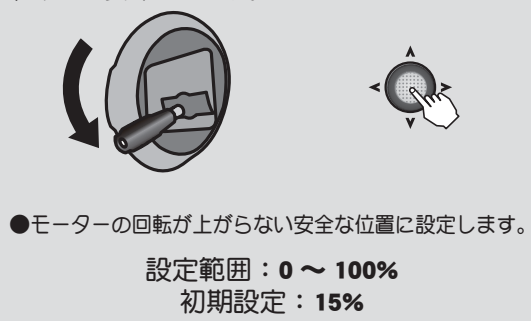
⑤ "RATE" の項目が選択された状態で、+キー又は-キーを押して、カット位置を調整します。



(動作モードが ESC の場合)

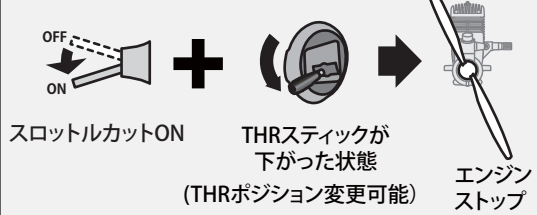
■機能解除時のスロットル位置の設定

⑥ "THR" の項目が選択された状態で、設定したい位置にスロットルスティックを置き (スロー位置) ジョグキーを長押しします。



NOR MODE (エンジンで使用)

カット起動



カット解除

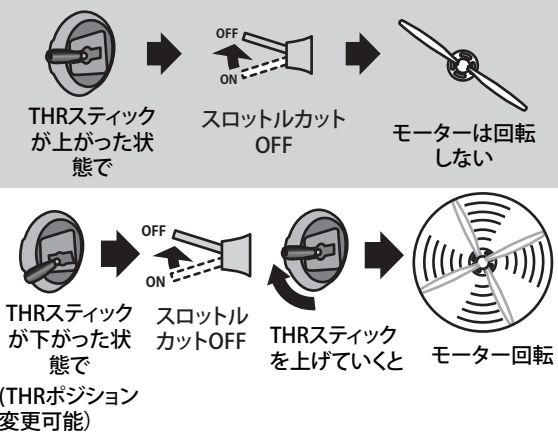


ESC MODE (モーターで使用)

カット起動



カット解除



ヘリコプター用機能



DR EXP デュアルレート／エクスポネンシャル (HELICOPTER)

(この D/R、EXP の説明はヘリ用の場合を示します)

機能説明

デュアルレート (D/R)

演技によって、エルロン、エレベーター、ラダーの各チャンネルの舵角を切り替えて使いたい場合に使用します。

- 舵角調整はスイッチの各方向またはコンディション毎に個別に設定できます。
- ヘリタイプは D/R、EXP とも上下左右別個の調整はできません。

エクスポネンシャル (EXP)

エルロン、エレベーター、ラダーのニュートラル付近のスティック動作に対するサーボの動きを鈍くしたり、または、敏感にして、操縦を楽に行えるような動作カーブに変更する機能です。

- "-"側はニュートラル付近が鈍くなり、"+"側は逆に敏感になります。
- エクスポネンシャルはスイッチの各方向またはコンディション毎に個別に設定できます。

スイッチ選択 (SW)

デュアルレート／エクスポネンシャルの切替スイッチの選択ができます。

(選択できるスイッチ等)

- スイッチ：SwA ~ SwD
- コンディション：Cond

(初期設定位置)

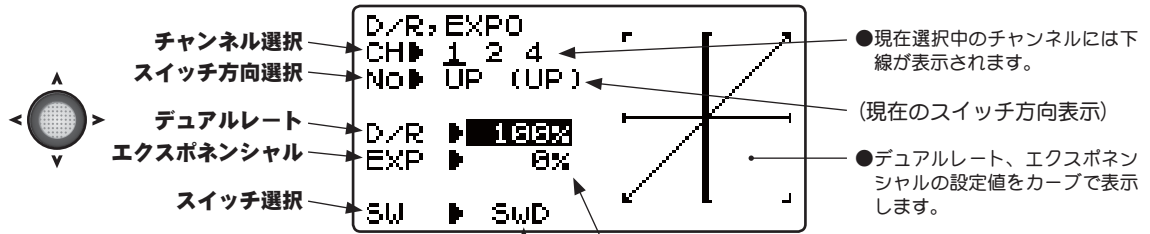
- エルロン：SwD
- エレベーター：SwA
- ラダー：SwB

設定方法

設定画面の呼び出し



(D/R, EXPO 設定画面)



- 設定項目およびチャンネルの選択はジョグキーで行ないます。
- ジョグキーの長押しで各スイッチ方向、コンディションを切替えた状態での設定を行うことができます。

- 現在選択中のチャンネルには下線が表示されます。
- (現在のスイッチ方向表示)
- デュアルレート、エクスポネンシャルの設定値をカーブで表示します。

- <チャンネル表示>
- 1: エルロン
 - 2: エレベーター
 - 4: ラダー

ヘリコプター用機能



デュアルレート

■チャンネルの選択

① ジョグキーで設定したいチャンネルを選択します。



選択範囲：1, 2, 4

■スイッチ方向の選択

② "No"の項目を選択した状態で、+キー又は-キーを押して設定したいスイッチの方向、コンディションを選択します。



■D/R レートの調整

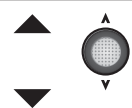
③ "D/R"の項目を選択した状態で、+キー又は-キーを押してレートを調整します。



調整範囲：0 ~ 140%、初期値：100%

●設定値を初期値に戻したい場合、+キーおよび-キーを同時に押します。

上記を繰り返して、チャンネル、スイッチの各方向のレートを調整してください。



●ジョグキーで同一チャンネル/スイッチ方向の別の設定項目への移動が可能。

エクスポネンシャル

■チャンネルの選択

① ジョグキーで設定したいチャンネルを選択します。



選択範囲：1, 2, 4

■スイッチ方向の選択

② "No"の項目を選択した状態で、+キー又は-キーを押して設定したいスイッチの方向、コンディションを選択します。



■EXP レートの調整

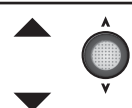
③ "EXP"の項目を選択した状態で、+キー又は-キーを押してレートを調整します。



調整範囲：-100 ~ +100%、初期値：0%

●設定値を初期値に戻したい場合、+キーおよび-キーを同時に押します。

上記を繰り返して、チャンネル、スイッチの各方向のレートを調整してください。



●ジョグキーで同一チャンネル/スイッチ方向の別の設定項目への移動が可能。

スイッチの変更

■チャンネルの選択

① "SW"の項目が選択されている状態で、ジョグキーでチャンネルを選択します。



選択範囲：1, 2, 4

■スイッチの選択

② +キー又は-キーを押してスイッチを選択します。



選択範囲：SWA ~ SwD、Cond

●"Cond"を選択した場合、NOR(ノーマル)、IDL1/2(アイドルアップ1/2)、HLD(ホールド)の各コンディション毎の設定が可能となります。

ヘリコプター用機能



オフセット

トリムオフセット

(HELICOPTER)

機能説明

このトリムオフセット機能を使用すれば、ホバリングと上空で別々にトリム調整が可能となります。設定したスイッチまたはコンディションに連動して、エルロン、エレベーター、ラダーのニュートラルガオフセット(トリムをずらすことが)できる機能です。高速での上空飛行時、ヘリコプターの特性上傾こうとする癖がでます。この癖を補正することができる機能です。

- 右回転ローターの場合、上空飛行で右に傾こうとするので、スワッシュプレートをオフセット機能で左に傾けるように設定します。エレベーター方向は機体の調整により違いが出ますのでフライトをしてから設定方向を決めてください。ラダー等で、ジャイロを AVCS モードで使用時は、ジャイロ側で補正動作が行われるためオフセット量は 0%(初期設定)とします。
- スイッチを選択した場合、2 ポジションスイッチの場合オフセット 1 系統、3 ポジションスイッチの場合オフセット 2 系統が設定可能です。また、コンディション(IDL1 ~ 2, HOLD)に連動させることが可能です。
- オフセット機能が ON 時、デジタルトリムでもデータ調整が可能です。上空でトリム調整した量が入力されます。(オフセット機能 ON 時、初期画面のトリム表示が連動)

設定方法

設定画面の呼び出し

① 初期画面の状態、+キーを1秒以上押して、メニュー画面を呼び出します。

② ジョグキーでメニュー内の"オフセット"を選択します。

③ ジョグキーを押して、設定画面に入ります。

(トリムオフセット 設定画面)

●設定項目の選択はジョグキーで行ないます。

機能を有効にする
スイッチ方向、コンディションの選択
オフセット量の調整

オフセット	MIX	INH
COND	SW	Cond
AIL	0%	
ELE	0%	
RUD	0%	

●"INH" の場合は機能が使用できない状態。"ON" または "OFF" の場合は機能が有効な状態。ON/OFF はスイッチに連動して変化します。

(現在のスイッチ操作方向)

●"Cond" を選択している場合、ジョグキーを長押しすると各コンディションのオフセット設定画面に切り替わります。

トリムオフセット

機能を有効にする

① "MIX" の項目を選択した状態で、+又は-キーを押して、"ON" 又は "OFF" に設定します。

●機能を使用しない場合は "INH" 側に設定してください。

スイッチの選択

② スイッチ選択の項目で、+又は-キーを押して、スイッチを選択します。

選択範囲：Cond, SwA ~ SwD

スイッチ方向、コンディションの選択

③ スイッチ方向選択、コンディションの項目で、設定したいスイッチ方向、コンディションを選択します。

オフセット量の設定

④ "RATE" の項目を選択した状態で、+又は-キーを押して、オフセット量を設定します。

設定範囲：-120 ~ +120%
初期設定：0%

●設定値を初期値に戻したい場合、+キーおよび-キーを同時に押します。



ディレイ デイレー機能

(HELICOPTER)

機能説明

オフセット、コンディション切替えの ON/OFF 時の急激なオフセット変化を防止するための機能です。スイッチ操作時にゆっくりサーボを移動させることができます。

- エルロン、エレベーター、ラダー、スロットル、ピッチに設定可能。
- ディレイ設定値は、オフセット、コンディション機能に共通の値となります。

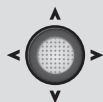
設定方法

設定画面の呼び出し

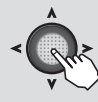
① 初期画面の状態、+キーを1秒以上押して、メニュー画面を呼び出します。



② ジョグキーでメニュー内の"ディレイ"を選択します。

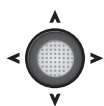


③ ジョグキーを押して、設定画面に入ります。



(ディレイ機能 設定画面)

- 設定項目の選択はジョグキーで行ないます。



ディレイ量の調整

ディレイ			
(OFFSET)		(COND)	
AIL▶	<input checked="" type="checkbox"/>	THR▶	<input type="checkbox"/>
ELE▶	<input type="checkbox"/>	PIT▶	<input type="checkbox"/>
RUD▶	<input type="checkbox"/>		

- オフセット、コンディション機能に連動して"ON"になります。

- 100%でディレイ量が最大(ゆっくり動作)。

ディレイ機能

■ディレイ量の設定

① "RATE" の各CHの項目を選択した状態で、+又は-キーを押して、ディレイ量を設定します。



設定範囲：0 ~ 100%

初期設定：0%

- 設定値を初期値に戻したい場合、+キーおよび-キーを同時に押します。



ジャイロ

ジャイロ (ヘリ用)

(HELICOPTER)

機能説明

(ヘリ用ジャイロ専用ミキシング)

送信機側からジャイロ感度を調整するミキシングです。Futaba GYシリーズジャイロの場合 AVCS モード (AVC) とノーマルモード (NOR) の設定できます。

- コンディション (Cond) または任意のスイッチに連動して感度設定が可能です。
- 感度設定値に "AVC" または "NOR" が表示されます。
- 感度設定チャンネルは CH5 です。
- T6K はジャイロゲイン CH は 1CH のみです。3 軸ジャイロのそれぞれの感度調整や複数のジャイロの感度調整はできません。

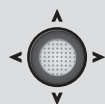
設定方法

設定画面の呼び出し

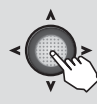
① 初期画面の状態では、+ キーを 1 秒以上押し、メニュー画面を呼び出します。



② ジョグキーでメニュー内の "ジャイロ" を選択します。



③ ジョグキーを押して、設定画面に入ります。



(ジャイロセンス 設定画面)

(SW に "Cond" を選んだ場合)

- ノーマル (ホバリング) の感度
- アイドルアップ 1 の感度
- アイドルアップ 2 の感度
- スロットルホールドの感度

ジャイロ	MIX ▶	INH
	Sw ▶	Cond
NORM ▶	AVC	50%
IDL1 ▶	AVC	50%
IDL2 ▶	AVC	50%
HOLD ▶	AVC	50%

- "INH" の場合は機能が使用できない状態。"ON" の場合は機能が有効な状態。
 - 感度切替えスイッチの選択
- 現在のコンディションの表示

● 設定項目の選択はジョグキーで行ないます。

ジャイロセンス

■機能を有効にする

① "MIX" の項目を選択した状態で、+ または - キーを押して、"ON" に設定します。



- 機能を使用しない場合は "INH" 側に設定してください。

■感度切替スイッチの選択

② "SW" の項目を選択した状態で、+ または - キーを押して、スイッチを選択します。



選択範囲: Cond, SwA ~ SwD

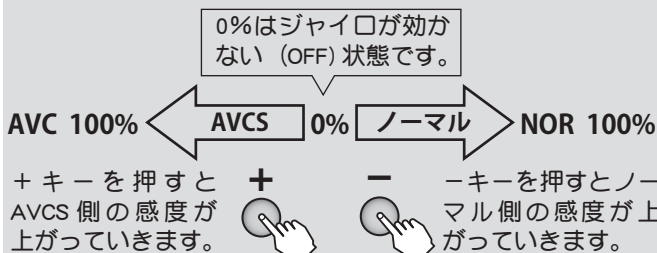
■コンディションごとに感度を変える場合

- "SW" の項目で "Cond" を選択します。
- それぞれのコンディションごとに感度を設定します。

■スイッチで感度を変える場合

- "SW" の項目で希望のスイッチを選択します。
- スイッチのポジションごとに感度を設定します。

■ジャイロ感度とモード (AVCS ⇄ ノーマル) 設定方法





SWH AFR スワッシュ AFR (HELICOPTER)

機能説明 (スワッシュタイプが H-1 の場合は、この設定画面は表示されません。)

この機能は、スワッシュタイプが HR3、H-3、HE3、HN3、H-2 が選択されている場合の舵角調整機能 (AFR 機能) です。エルロン、エレベーター、ピッチの舵角および方向が調整できます。たとえば HR3 を選択している場合、スワッシュ AFR でピッチの動作量を変化させるとピッチ動作を複合で行なっている 1CH、2CH、6CH すべてのサーボ動作量が変化します。まず、対してエンドポイントでは 1 つのサーボの動作量しか変化しないので HR3 タイプではピッチ動作に不具合が生じます。

設定方法

設定画面の呼び出し



(スワッシュ AFR 設定画面)

- 設定項目の選択はジョグキーで行ないます。

SWH AFR

AIL▶	+ 50%
ELE▶	+ 50%
PIT▶	+ 50%

- スワッシュタイプにより画面表示が異なります。
- 極性を変えると動作方向が反転します。

注意: 舵角を大きくとり過ぎると、複合動作時にリンクageの突き当たりを生じます。

スワッシュ AFR

■各ファンクションの舵角調整

① "RATE" の各ファンクションの項目を選択した状態で、+又は-キーを押して、舵角を設定します。

又は

設定範囲: -100 ~ +100%
初期設定: +50%

- 設定値を初期値に戻したい場合、+キーおよび-キーを同時に押します。ただし、極性が変更されている場合は、数値のみ初期値に戻ります。

ヘリコプター用機能



SWH MIX スワッシュミキシング (HELICOPTER)

機能説明

このミキシングはエルロン、エレベーター、ピッチの各操作に対するエルロン方向、エレベーター方向へのスワッシュプレートのクセ取りに使用します。各操作に対してなめらかにかつ正しい方向に動作するように、補正を必要とする方向のレートを調整します。

- コンディション毎の補正量が設定できます。
- 各操作の左右(上下)の補正量が設定できます。

使用例：ロールのクセ取りに使用する場合

- ① AIL → ELE を ON に設定します。
- ② INH/ON は全コンディションで共通。使用しないコンディションはレートを 0% に設定します。
- ③ 右ロールの時に機首が下がる場合は右側のレートを "+" 方向に調整すると、右エルロンを打った時にエレベーターがアップ側に動くようになります。
左ロールの場合は、左側のレートで調整できます。
ただし、左右エルロンのレートの極性とエレベーターの動作方向の関係は逆になりますので、補正の方向はスワッシュプレートの動作で確認してください。

設定方法

設定画面の呼び出し

- ① 初期画面の状態、+キーを1秒以上押して、メニュー画面を呼び出します。

- ② ジョグキーでメニュー内の"SWH MIX"を選択します。

- ③ ジョグキーを押して、設定画面に入ります。


ヘリコプター用機能

(スワッシュミキシング 設定画面)

●設定項目の選択はジョグキーで行ないます。

設定コンディション → **NORM (NORM)**

ミキシング元の方向 → ←/↑ ↓/→

補正量の調整

機能を有効にする

スワッシュMIX 2

AIL→ELE	0%	0%
ELE→AIL	0%	0%
PIT→AIL	0%	0%
PIT→ELE	0%	0%

スワッシュMIX 1

AIL→ELE	MIX	
ELE→AIL	INH	
PIT→AIL	INH	
PIT→ELE	INH	

(カッコ内は現在のコンディションを示す)

(レート設定)

●"INH"の場合は機能が使用できない状態。"ON"の場合は機能が有効な状態。



スワッシュミキシング

■機能を有効にする

① 設定したい補正ミキシングの "MIX" の項目を選択した状態で、+又は-キーを押して、"ON" に設定します。



●機能を有効にしない場合は "INH" 側に設定してください。

■レートの調整

② 設定したい補正ミキシングのレートの項目を選択した状態で、+又は-キーを押して、レートを調整します。



設定範囲：-100 ~ +100%

初期設定：0%

●設定値を初期値に戻したい場合、+キーおよび-キーを同時に押します。

●機能の ON/OFF、レート調整及びトリムの ON/OFF 時、**ジョグ**キーを押して、設定コンディションを選択できます。

選択範囲：

NORM, IDL1, IDL2, HOLD





TH カブ スロットルカーブ (ヘリ用) (HELICOPTER)

機能説明 (ヘリ専用スロットルカーブ)

スロットルカーブはスロットルスティックの動きに対しエンジン回転が最良の飛行状態になるように 5 ポイントのカーブで設定でき、各ポイントとも 0 ~ 100% の範囲で調整できます。

- スロットルカーブはノーマル (NOR)、アイドルアップ 1 (IDL1)、アイドルアップ 2 (IDL2) のカーブが設定可能です。
- ノーマル (NOR)、アイドルアップ 1 (IDL1)、アイドルアップ 2 (IDL2) の切替スイッチは予めコンディション選択画面で設定しておきます。

(ノーマルスロットルカーブの調整方法)

ノーマルスロットルカーブは、ホバリングを中心とした基本的なスロットルカーブを作ります。ノーマルピッチカーブと合わせて、エンジン回転が一定で、上下のコントロールが一番やりやすくなるように調整します。ノーマルスロットルカーブ機能は常時 ON 設定されております。

(アイドルアップ 1/2 スロットルカーブの調整方法)

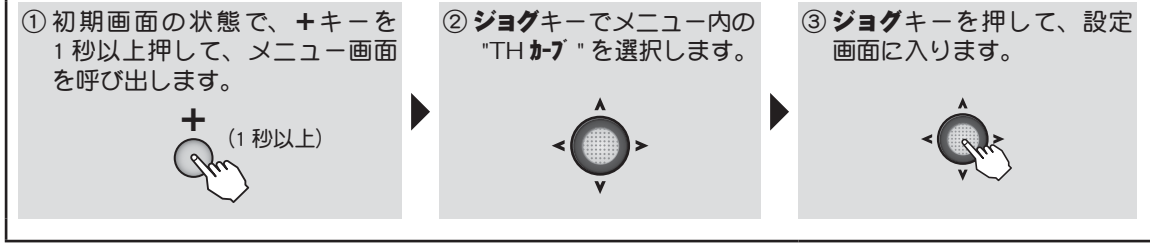
上空飛行でピッチを減らす操作をした時でも、エンジンが常に一定回転を保てるよう、アイドルアップカーブを設定します。ループ、ロール、3D など、目的に合わせカーブを作り、演技によりアイドルアップカーブ 1/2 を使い分けます。

⚠ 注意

❗ **【操作時の注意事項】 エンジンを始動する場合、アイドルアップスイッチ 1/2 は必ず OFF とし、アイドルングでエンジンを始動してください。**

設定方法

設定画面の呼び出し



ヘリコプター用機能

(スロットルカーブ 設定画面)

機能の有効にする
設定コンディション
5 ポイントカーブの設定

スロットルカーブ
MIX= ON
CND NOR (NOR)
P-5) 100.0%
P-4) 75.0%
P-3) 50.0%
P-2) 25.0%
P-1) 0.0%

● "INH" の場合は機能が使用できない状態。"ON" または "OFF" の場合は機能が有効な状態。ON、OFF はスイッチに連動して変化します。ノーマル時は "..." (常時 ON) 表示となります。

● 設定したカーブがグラフに表示されます。

● 設定項目の選択はジョグキーで行ないます。

(各ポイントのレート) (カッコ内は現在のコンディションを表示)


● ジョグキーの長押しでコンディション切替えた状態での設定を行うことができます。



スロットルカーブ

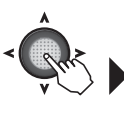
■スロットルカーブを有効にする (IDL 1/2 の場合)

① "MIX" の項目を選択した状態で、+ 又は - キーを押して、"ON" 又は "OFF" に設定します。



- ノーマルコンディションの場合、"---" が表示されます。(常時 ON)
- アイドルアップカーブを使用しない場合は "INH" 側に設定してください。


● 機能を有効にしたり、カーブ設定時に、ジョグキーを押して、設定コンディションを選択できます。



選択範囲：NOR, IDL1, IDL2

■5ポイントカーブの設定

② ジョグキーで各ポイントの設定項目 (P-1 ~ P-5) を選択した状態で、+ 又は - キーを押して、各ポイントの動作量を設定します。



設定範囲：0 ~ 100%

初期設定：

P-5: 100%

P-4: 75%

P-3: 50%

P-2: 25%

P-1: 0%

● 設定値を初期値に戻したい場合、+ キーおよび - キーを同時に押します。

■カーブのコピー方法

① "COND" の項目を選択した状態で、ジョグキーを押してカーブのコピーモードに切り替えます。



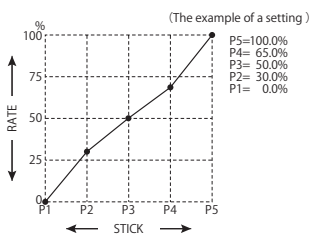
② + キー又は - キーを押してコピー先のコンディションを選択します。



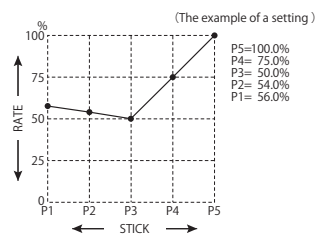
③ ジョグキーを 1 秒以上押してコピーを実行します。



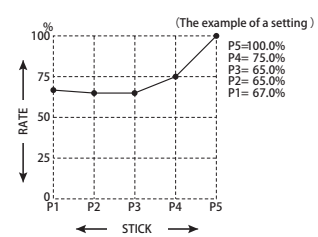
●スロットルカーブ設定例



(ノーマル)

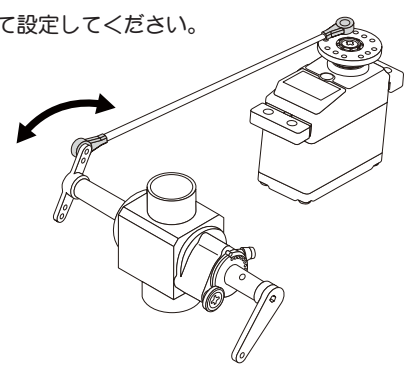


(アイドルアップ 1)



(アイドルアップ 2)

注意：実際のスロットルカーブの数値は機体側の指定に従って設定してください。



ヘリコプター用機能



PI カーブ ピッチカーブ (ヘリ用) (HELICOPTER)

機能説明 (ヘリ専用ピッチカーブ)

ピッチカーブはスロットルスティックの動きに対し、ピッチが最良の飛行状態になるように 5 ポイントのカーブで設定でき、各ポイントとも、-100% ~ +100% の範囲で調整できます。

- ピッチカーブはノーマル (NOR)、アイドルアップ 1 (IDL1)、アイドルアップ 2 (IDL2)、ホールド (HLD) のカーブが設定できます。
- ノーマル (NOR)、アイドルアップ 1 (IDL1)、アイドルアップ 2 (IDL2) およびホールド (HLD) の切替スイッチは予めコンディション選択画面で設定しておきます。

注意: アイドルアップスイッチがどの位置であっても、ホールドスイッチを ON した場合、ホールド機能が優先されます。

(ノーマルカーブの調整方法)

ピッチカーブのノーマル (NOR) では、ホバリングを中心とした基本的なピッチカーブを作ります。スロットルカーブ (NOR) と合わせて、エンジン回転が一定で、上下のコントロールが一番やりやすくなるように調整します。

(アイドルアップ 1/2 カーブの調整方法)

ハイ側ピッチカーブはエンジンに負担のかからない最大のピッチを設定します。ロー側ピッチカーブはループ、ロール、3D 等の目的に合ったカーブを作り、演技によりアイドルアップ 1/2 カーブを使い分けます。

(スロットルホールドカーブの調整方法)

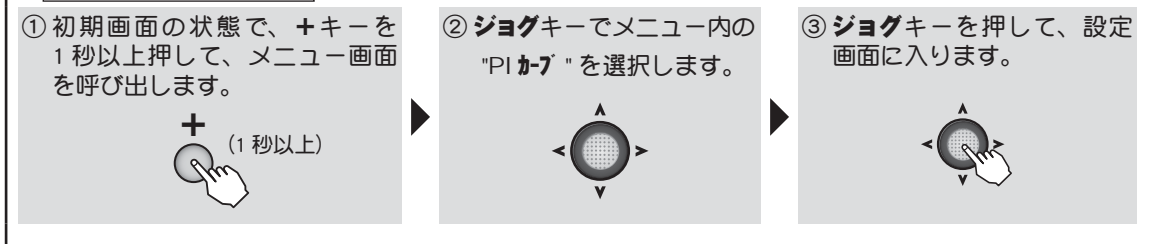
スロットルホールドカーブは、オートローテーション降下を行うときに使用します。中間のピッチ設定はピッチアップ時のスティックワークに合わせて設定してください。

注意

❗ **【操作時の注意事項】 エンジンを始動する場合、アイドルアップスイッチ 1/2 は必ず OFF とし、アイドルリングでエンジンを始動してください。**

設定方法

設定画面の呼び出し



ヘリコプター用機能

(ピッチカーブ 設定画面)

機能を有効にする
設定コンディション
5ポイントカーブの設定

●設定項目の選択はジョグキーで行ないます。

ピッチカーブ
MIX= ON
CND NOR (NOR)
P-5 +100%
P-4 + 50%
P-3 0%
P-2 - 50%
P-1 -100%

● "INH" の場合は機能が使用できない状態。"ON" または "OFF" の場合は機能が有効な状態。ON、OFF はスイッチに連動して変化します。ノーマル時は "..." (常時 ON) 表示となります。

●設定したカーブがグラフに表示されます。

(各ポイントのレート) (カッコ内は現在のコンディションを表示)

●ジョグキーの長押しでコンディション切替え状態での設定を行うことができます。



ピッチカーブ

■ピッチカーブを有効にする (IDL 1/2, HLD の場合)

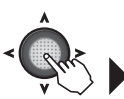
① "MIX" の項目を選択した状態で、+ 又は - キーを押して、"ON" 又は "OFF" に設定します。

● ノーマルコンディションの場合、"---" が表示されます。(常時 ON)

● アイドルアップカーブ、ホールドカーブを使用しない場合は "INH" 側に設定してください。



● 機能を有効にしたり、カーブ設定時に、**ジョグキー**を押して、設定コンディションを選択できます。



選択範囲：NOR, IDL1, IDL2, HLD

■5ポイントカーブの設定

② **ジョグキー**で各ポイントの設定項目 (P-1 ~ P-5) を選択した状態で、+ 又は - キーを押して、各ポイントの動作量を設定します。

設定範囲：-100 ~ +100%



初期設定：

P-5: +100%

P-4: +50%

P-3: 0%

P-2: -50%

P-1: -100%

● 設定値を初期値に戻したい場合、+キー および -キーを同時に押します。

■カーブのコピー方法

① "COND" の項目を選択した状態で、**ジョグキー**を押してカーブのコピーモードに切り替えます。



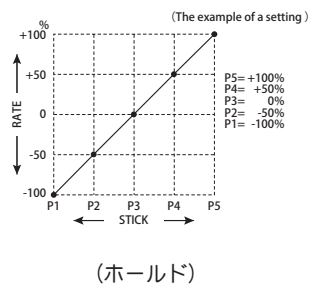
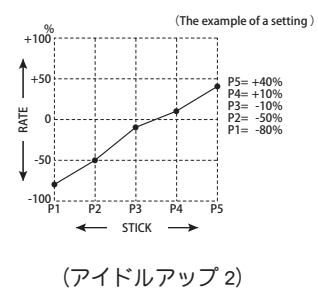
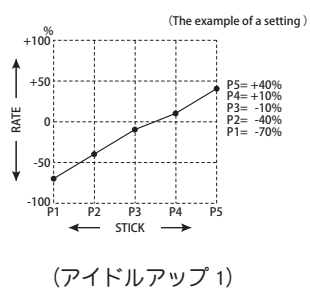
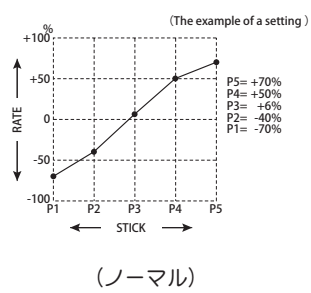
② +キー又は -キーを押してコピー先のコンディションを選択します。



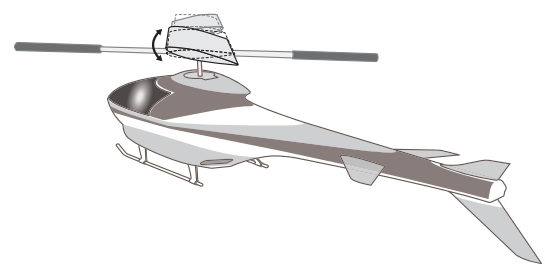
③ **ジョグキー**を1秒以上押してコピーを実行します。



●ピッチカーブ設定例



注意：実際のピッチカーブの数値は機体側の指定に従って、設定してください。



ヘリコプター用機能



PI → RUD

ピッチ→ラダーミキシング

(HELICOPTER)

機能説明

このピッチ→ラダーミキシングはメインローターのピッチ、及び回転数に応じて発生する反動トルク(メインローターの回転方向と反対の方向に胴体を回そうとする力)を抑えるためのテールローターのピッチを制御するミキシングで、メインローターのピッチが変化し反動トルクが出た時に、テールローターのピッチも変化させ、ラダー方向の機首振りが出ないように調整をとります。ただし、GY シリーズ等のジャイロで **AVCS モード** を使用する場合、このピッチ→ラダーミキシングは不要です **INH** のままご使用ください。

- ノーマル(NORM)、アイドルアップ1/2(IDL1,2)のレートを設定可能。
- ハイ側、ロー側のレートが調整可能。
- 動作方向は右回転のローターの場合、ピッチがプラスになった時にラダーが右方向にミキシングするよう設定します、左回転の場合は、反対の設定となります。動作方向の設定はレートの極性を反転させます。

右回転の場合：ロー側(LOW)-10%、ハイ側(HIGH)+10%

左回転の場合：ロー側(LOW)+10%、ハイ側(HIGH)-10%

※上記の数値は初期値です。実際の設定数値に置き換えてください。

調整手順

最初にホバリング飛行でトリムをとり、ニュートラルを出しておきます。

(ノーマルピッチ→ラダーミキシング)

● スロットルロー側(スロー、ホバリング間)の調整

離陸からホバリング、ホバリングから着陸を自分のリズムに合った一定レートで繰り返し、スロットルの上げ下げで機首を振らないようにピッチ→ラダーミキシングで調整します。

ホバリングから着陸する時機首が左に向く場合、または離陸時機首が左に向き、ホバリングでは安定し、スティックがニュートラルになる場合は、ロー側のミキシング量が多く、反対に向く場合はミキシング量が少ないことが考えられます。ただし、離陸の場合、地上の状態により機首方向が安定しない場合があります、またローターの回転が上がらない場合も機首方向が不安定となります。

● スロットルハイ側(ホバリングから上昇、降下しホバリングまで)の調整

ホバリングから上昇、降下しホバリングまでを自分のリズムに合った一定レートで繰り返し、スロットルの上げ下げで機首を振らないようにピッチ→ラダーミキシングで調整します。ホバリングから上昇する時機首が右に向く場合、ハイ側のミキシング量が多く、左に向くときはミキシング量が少なすぎます。上昇、降下を繰り返しバランスをとりながら調整します。

(アイドルアップ 1/2 ピッチ→ラダーミキシング)

高速飛行時ラダー方向が直進できるようにミキシング量を設定します。

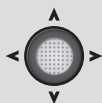
設定方法

設定画面の呼び出し

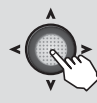
① 初期画面の状態、+キーを1秒以上押して、メニュー画面を呼び出します。



② ジョグキーでメニュー内の"PI → RUD"を選択します。



③ ジョグキーを押して、設定画面に入ります。





(ピッチ→ラダーミキシング 設定画面)

● "INH" の場合は機能が使用できない状態。"ON" の場合は機能が有効な状態。

(カッコ内は現在のスイッチ操作方向を示す)

●設定項目の選択はジョグキーで行ないます。

(レート設定)

ピッチ→ラダーミキシング

■機能を有効にする

- ① "MIX" の項目を選択した状態で、+又は-キーを押して、"ON" に設定します。



- 機能を使用しない場合は "INH" 側に設定してください。

■設定コンディションの選択

- ② "COND" の項目を選択した状態で、+又は-キーを押して、コンディションを選択します。



選択範囲：NORM, IDL1/2

■レートの調整

- ③ "LOW" 又は "HIGH" の項目を選択した状態で、+又は-キーを押して、レートを調整します。

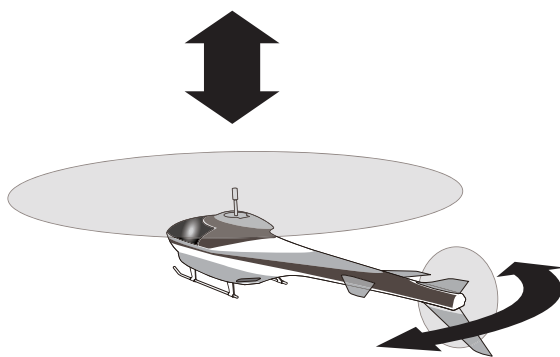


設定範囲：-100 ~ +100%

初期設定 (NORM)：-20%(LOW)、+20%(HIGH)

初期設定 (IDL1/2)：0%(LOW)、0%(HIGH)

- +-キーを同時に押しで初期設定値に戻ります。



ピッチ操作時に発生するラダー方向の回転を打ち消すための機能です。フライトしながらの調整が必要です。Futaba GY シリーズのジャイロで AVCS モードの場合は自動的にこの回転を修正しますので、この機能は必要ありません。



TH HOLD スロットルホールド (HELICOPTER)

機能説明

スロットルホールド機能は、オートローテーション降下を行う時、ホールドスイッチを操作することによりエンジンのスロットル位置をアイドル位置に固定またはストップさせる機能です。スロットリム位置付近を基準に -50 ~ +50% の範囲で動作が設定できます。切替スイッチを変更する場合は、コンディション選択画面で変更しておきます。

⚠ 注意

! 【操作時の注意事項】スロットルホールド機能はアイドルアップ機能より優先します。エンジン始動時は、アイドルアップスイッチ、スロットルホールドスイッチが OFF になっていることを必ず確認する。

設定方法

設定画面の呼び出し

- ① 初期画面の状態、+キーを1秒以上押して、メニュー画面を呼び出します。
- ② ジョグキーでメニュー内の"TH HOLD"を選択します。
- ③ ジョグキーを押して、設定画面に入ります。

(スロットルホールド 設定画面)

THR ホールド*

MIX ▶ INH ◀

RATE ▶ 0%

SW ▶ SWD

POSI ▶ DOWN

●設定項目の選択はジョグキーで行ないます。

●"INH"の場合は機能が使用できない状態。"ON"または"OFF"の場合は機能が有効な状態。ON/OFFはスイッチに連動して変化します。

ヘリコプター用機能

スロットルホールド

■機能を有効にする

① "MIX"の項目を選択した状態で、+又は-キーを押して、"ON"又は"OFF"に設定します。

●機能を使用しない場合は"INH"側に設定してください。

■ホールド位置の調整

② "RATE"の項目が選択された状態で、+キー又は-キーを押して調整します。

設定範囲：-50 ~ +50%
初期設定：0%

●設定値を初期値に戻したい場合、+キーおよび-キーを同時に押します。

●機能の有効⇔INHはコンディションのTHR-HOLDと連動しています。どちらの画面でも設定できます。

【ホールドポジションの調整方法】

- エンジンアイドルを下げたいとき、または停止させたいときは、"+" (プラス) 方向にセットし、キャブレターが全閉になるように調整します。
- アイドルリングを維持する場合はスロットルスタックを再スローの位置にし、ホールドスイッチを ON/OFF してサーボが動かない数値に設定します。

注意：スロットルリンクージを行う時、デジタルトリムを最スローまで下げ、キャブレターが全閉になるように調整します。



THホリ ホバリングスロットル (HELICOPTER)

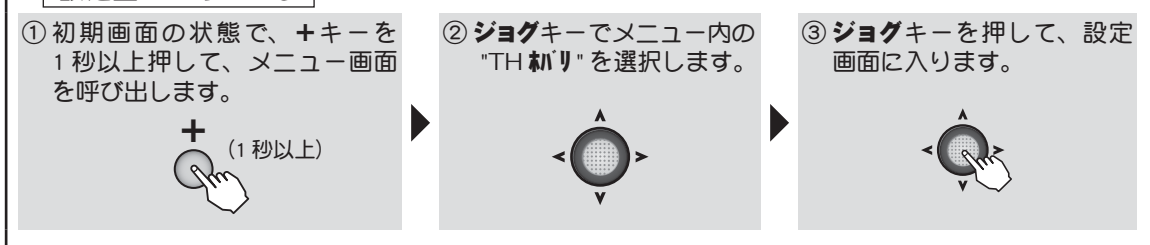
機能説明

ホバリングスロットルは、ホバリングポイント付近のスロットルのトリム機能です。ホバリングスロットルボリュームを回すと、エンジン（モーター）回転が変化します。温度、湿度等飛行条件の変化に伴うローター回転数の変化に対し微調整ができます。ローター回転が一番安定するように調整して下さい。

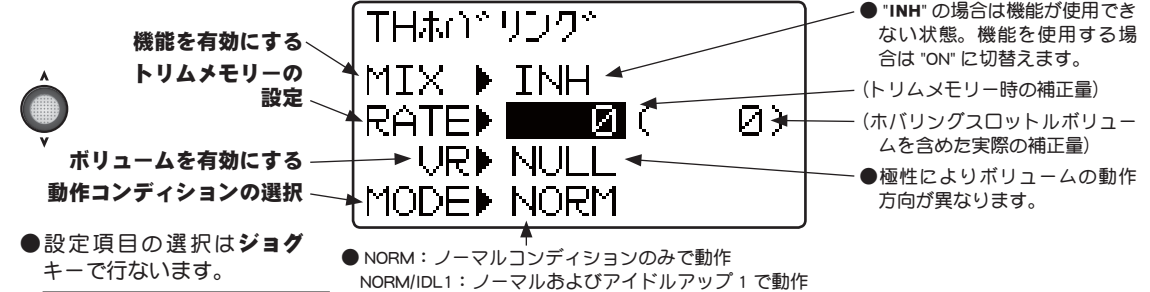
- 動作コンディションをノーマルのみまたはノーマル/アイドルアップ1を選択できます。
- T6KはVRが1つですのでホバリングピッチとホバリングスロットルを別個にVRで調整することはできません。

設定方法

設定画面の呼び出し



(ホバリングスロットル 設定画面)



ホバリングスロットル

■機能を有効にする

① "MIX" の項目を選択した状態で、+又は-キーを押して、"ON" に設定します。

●機能を使用しない場合は "INH" 側に設定して下さい。

■動作コンディションの選択

② "MODE" の項目を選択した状態で、+又は-キーを押して、動作コンディションを選択します。

選択範囲：NORM、NORM/IDL1
初期設定：NORM

■ボリュームを有効にする

③ "VR" の項目を選択した状態で、+又は-キーを押して、ボリュームを有効にします。

選択範囲：NULL (OFF), +VR, -VR
初期設定：NULL

■メモリーの設定

④ "RATE" の項目が選択された状態で、ジョグキーを押して、現在のトリム位置をメモリーします。

●メモリー後、ボリュームをセンターに戻すと、メモリーを行う前の位置となります。

[注意] 同じ位置でメモリーを繰り返すと値が積算されます。

ヘリコプター用機能



機能説明

ホバリングピッチは、ホバリングポイント付近のピッチのトリム機能です。ホバリングピッチボリュームを回すと、ホバリング時のピッチが変化します。温度、湿度等飛行条件等の変化に伴うローター回転数の変化に対し微調整ができます。ローター回転が一番安定するように調整してください。

- 動作コンディションをノーマルのみまたはノーマル/アイドルアップ1を選択できます。
- トリム位置をメモリーできます。モデルメモリーを変更する前にメモリーを行うと、再呼び出し時、ボリュームをセンターにするだけで元のトリム状態になります。
- T6KはVRが1つですのでホバリングピッチとホバリングスロットルを別個にVRで調整することはできません。

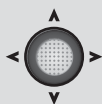
設定方法

設定画面の呼び出し

① 初期画面の状態、+キーを1秒以上押して、メニュー画面を呼び出します。



② ジョグキーでメニュー内の"PIホリ"を選択します。



③ ジョグキーを押して、設定画面に入ります。



(ホバリングピッチ 設定画面)

機能を有効にする
トリムメモリーの設定

ボリュームを有効にする
動作コンディションの選択

PIホリ*リンク*

MIX ▶ INH ← OFFSET

RATE ▶ [] ← []

▶ VR ▶ -VR ←

MODE ▶ NORM

- "INH" の場合は機能が使用できない状態。機能を使用する場合は "ON" に切替えます。(トリムメモリー時の補正量)
- (ホバリングピッチボリュームを含めた実際の補正量)
- 極性によりボリュームの動作方向が異なります。

● 設定項目の選択はジョグキーで行ないます。

● NORM : ノーマルコンディションのみで動作
NORM/IDL1 : ノーマルおよびアイドルアップ1で動作

ホバリングピッチ

■機能を有効にする

① "MIX" の項目を選択した状態で、+又は-キーを押して、"ON" に設定します。



- 機能を使用しない場合は "INH" 側に設定してください。

■動作コンディションの選択

② "MODE" の項目を選択した状態で、+又は-キーを押して、動作コンディションを選択します。



選択範囲 : NORM、NORM/IDL1
初期設定 : NORM

■ボリュームを有効にする

③ "VR" の項目を選択した状態で、+又は-キーを押して、ボリュームを有効にします。



選択範囲 : NULL (OFF), +VR, -VR
初期設定 : -VR

(ホバリングピッチ調整位置をメモリーする場合)

■メモリーの設定

④ "RATE" の項目が選択された状態で、ジョグキーを押して、現在のトリム位置をメモリーします。



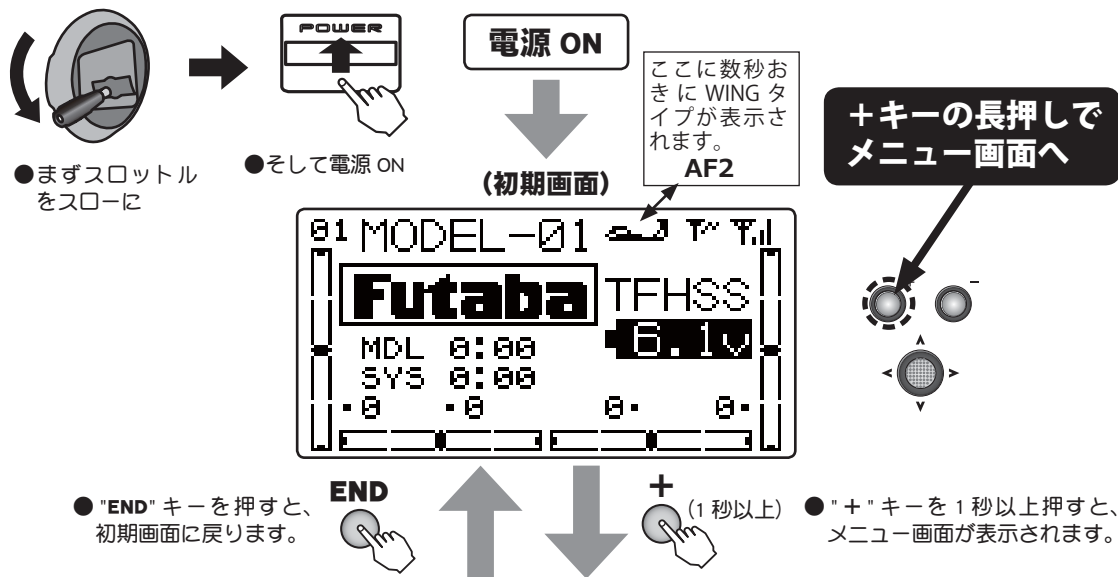
- メモリー後、ボリュームをセンターに戻すと、メモリーを行う前の位置となります。

[注意] 同じ位置でメモリーを繰り返すと値が積算されます。



グライダー用 (GLIDER) 機能

各機能の設定画面は、下記のメニューから呼び出します。ここでは、モデルタイプがグライダー用 (GLIDER 2AIL2FLP) に設定されている場合の機能を示します。



メニュー画面

※ウイングタイプによってメニュー項目が変わります。このメニュー画面は 2AIL2FLP の例です。

メニュー 1 2 3 4

▶Mセレクト ▶Eホイント

▶Mタイプ ▶トリム

▶Mネーム ▶ソフトリム

▶F/S ▶リリネース

メニュー 1 2 3 4

▶パラメータ ▶テレメトリー

▶P.MIX ▶センサー

▶AUX CH ▶S.BUS

▶サーボ ▶Mトランス

メニュー 1 2 3 4

▶タイマー ▶DR EXP

▶トレーナー

▶コンディション

メニュー 1 2 3 4

▶AIL DIF ▶EL→CMB

▶Vテール ▶CMB MIX

▶ウィングフライト ▶AL→CMB

▶トリム MIX

(機能の選択)

●ジョグキーで、上下・左右にカーソル(反転表示)を移動し、機能を選択します。ページをまたがって移動も可能。

●メニュー画面のページ移動は+キーでもできます。(設定画面のページ移動はジョグキーのみ)

(設定画面の呼出し)

●ジョグキーを押して、設定画面に入ります。

グライダー用



※ WING タイプによってメニュー項目が変わります。例えば 1AIL ですと項目が減りますので、使用する WING タイプの項目のみを参照してください。

該当 WING タイプの表示→ **WING タイプ** **1AIL** **1AIL1FLP** **2AIL** **2AIL1FLP** **2AIL2FLP**

この機能の説明は前の“共通機能”をご参照ください。

※ 2AIL2FLP タイプは 6CH すべて舵に使用します。モーターグライダーには使用できません。

■機能一覧

◆ 1 ページ

Mセレクト	P.54
Mタイプ	P.57
Mネーム	P.60
F/S	P.62
Eポイント	P.64
トリム	P.65
サブトリム	P.66
リバース	P.67

◆ 2 ページ

パラメータ	P.68
P.MIX	P.73
AUX CH	P.76
サーボ	P.77
テレメトリー	P.78
センサー	P.91
S.BUS	P.93
Mトランス	P.96

◆ 3 ページ

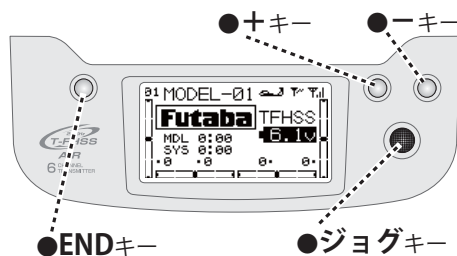
タイマー	P.97
トレーナー	P.98
コンディション	P.141
DR EXP	P.142
モーター SW	P.144
ジャイロ	P.145

◆ 4 ページ

AIL DIF	P.146
Vテール	P.147
バタフライ	P.148
トリム MIX	P.149
EL → CMB	P.150
CMB MIX	P.152
AL → CMB	P.153

グライダー用

エディットキー / LCD 画面





コンディ ション セレクト (GLIDER)

WING タイプ 1AIL1FLP 2AIL 2AIL1FLP 2AIL2FLP

機能説明

コンディションは1つのSW操作で複数の設定を変更できる機能です。2つのコンディションを切り替えることで、すぐに異なるセッティングにすることができます。

- コンディションで変更可能な機能は以下の項目の設定量です。
 - ・キャンバ MIX ・バタフライ
 - ・ELE → キャンバ ・AIL → キャンバ ・トリム MIX

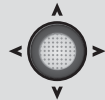
設定方法

設定画面の呼び出し

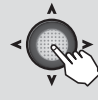
① 初期画面の状態、+キーを1秒以上押して、メニュー画面を呼び出します。



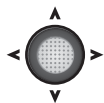
② ジョグキーでメニュー内の"コンディ"を選択します。



③ ジョグキーを押して、設定画面に入ります。



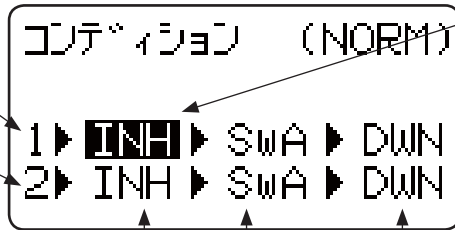
(コンディションセレクト 設定画面)



コンディション1の設定

コンディション2の設定

●設定項目の選択はジョグキーで行ないます。



(機能を有効にする) (スイッチの選択) (ON方向の設定)

●"INH"の場合は機能が使用できない状態。"ON"または"OFF"の場合は機能が有効な状態。ON/OFFはスイッチに連動して変化します。

●コンディション1と2が同時にONされた場合はコンディション2が優先されます。

コンディションセレクト

■機能を有効にする

① 使用したいコンディションの"INH"の項目を選択した状態で、+又は-キーを押して、"ON"又は"OFF"に設定します。



●使用しないコンディションは"INH"側に設定してください。

(スイッチを変更する場合)

■スイッチの選択

② スイッチ選択の項目で、+又は-キーを押して、スイッチを変更します。



選択範囲：SwA ~ SwD

■ON方向の選択

③ ON方向選択の項目で、+又は-キーを押して、ON方向を選択します。



選択範囲：

- 2P SWの場合：NUL, UP, DWN
- 3P SWの場合：NUL, UP, U&D, U&C, CNT, C&D, DWN

**DR EXP****デュアルレート／エクスポネンシャル****(GLIDER)****WING タイプ 1AIL 1AIL1FLP 2AIL 2AIL1FLP 2AIL2FLP****機能説明****デュアルレート (D/R)**

エルロン、エレベーター、ラダーの各チャンネルの舵角を2～3段階に切り替えて使用できます。

- 舵角調整はスイッチの各方向で、各チャンネルの左右(上下)方向が個別に設定できます。

エクスポネンシャル (EXP)

エルロン、エレベーター、スロットル、ラダーのニュートラル付近のスティック動作に対するサーボの動きを鈍くしたり、または、敏感にして、操縦を楽に行えるような動作カーブに変更する機能です。舵角に応じて2段階に調整できます。

- "－"側はニュートラル付近が鈍くなり、"+"側は逆に敏感になります。スロットルについては振り巾全体にエクスポネンシャルが掛かります。"－"側を増やすと、スロー側が鈍くなり、ハイ側は敏感になります。スロットルカーブとの共用はできません。
- デュアルレート(D/R)のそれぞれのレートに対応して設定できます。(スロットル除く)スイッチの各方向および各チャンネルの左右(上下)方向が個別に設定できます。

スイッチ選択 (SW)

エルロン、エレベーター、ラダーの各チャンネル毎のデュアルレート(エクスポネンシャル)の切替スイッチとして、スイッチA～Dから選択できます。

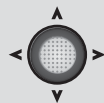
- 初期設定：エルロン：スイッチD／エレベーター：スイッチA／ラダー：スイッチB

設定方法**設定画面の呼び出し**

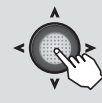
① 初期画面の状態、+キーを1秒以上押して、メニュー画面を呼び出します。



② ジョグキーでメニュー内の"DR EXP"を選択します。



③ ジョグキーを押して、設定画面に入ります。

**(D/R, EXPO 設定画面)**

グライダー用

チャンネル選択 → CH ▶ 1 2 3 4

デュアルレート → D/R ◀▶ 100%

エクスポネンシャル → EXP ◀▶ 100%

スイッチ選択 → SW ▶ SwD

(スイッチ No.) (D/R および EXPO のレート表示)
上段：左側/下側
下段：右側/上側

- 現在選択中のチャンネルには下線が表示されます。
- (スイッチ方向表示)
- デュアルレート、エクスポネンシャルの設定値をカーブで表示します。

<チャンネル表示>

1：エルロン
2：エレベーター
3：スロットル
4：ラダー

(←) ⇄ (→) のカーソル移動は該当スティック操作で行ないます。



デュアルレート

- ① ジョグキーでチャンネルを選択します。



選択範囲：1, 2, 4

- ② ジョグキーでD/Rにカーソルを移動させ、デュアルレートスイッチを設定したい方向に切替え、スティックを左(下)側または右(上)側に操作した状態で、+キー又は-キーを押してレートを調整します。



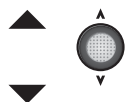
調整範囲：

0 ~ 140%

初期値：100%

- 設定値を初期値に戻したい場合、+キーおよび-キーを同時に押します。

上記②を繰り返して、デュアルレートスイッチ、スティックの各方向のレートを調整してください。



- ジョグキーで同一チャンネルの別の設定項目への移動が可能。

エクスポネンシャル

- ① "EXP" の項目が選択された状態で、ジョグキーでチャンネルを選択します。



選択範囲：1 ~ 4

- ② ジョグキーでEXPにカーソルを移動させ、デュアルレートスイッチを設定したい方向に切替え、スティックを左(下)側または右(上)側に操作した状態で、+キー又は-キーを押してレートを調整します。

スロットルはスイッチ設定、スティック位置による設定位置変更がなく数値を入力すると常時 ON となります。



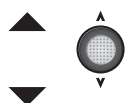
調整範囲：

-100 ~ +100%

初期値：0%

- 設定値を初期値に戻したい場合、+キーおよび-キーを同時に押します。

上記②を繰り返して、デュアルレートスイッチ、スティックの各方向のレートを調整してください。



- ジョグキーで同一チャンネルの別の設定項目への移動が可能。

スイッチの変更

- ① "SW" の項目が選択されている状態で、ジョグキーでチャンネルを選択します。



選択範囲：1, 2, 4

- ② +キー又は-キーを押してスイッチを選択します。



選択範囲：SWA ~ SwD



モーター-SW モーター スイッチ (GLIDER)

WING タイプ 1AIL 1AIL1FLP 2AIL 2AIL1FLP

機能説明

モーター付 EP グライダーで、スイッチでモーターをスタートさせる機能です。動作スピードの設定が可能です。また、スローからハイ/ハイからスローの2つで個別に動作スピードの設定が可能です。スロットルスティックでリニアにコントロールする場合は、このモーター機能を INH で使用します。

- 安全のため、セーフスイッチを設定することが可能です。
- モーター-SWがONのまま送信機電源を入れるとワーニングが作動します。必ずモータースイッチ OFF で電源を入れてください。

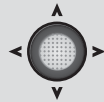
設定方法

設定画面の呼び出し

① 初期画面の状態、+キーを1秒以上押して、メニュー画面を呼び出します。



② ジョグキーでメニュー内の"モーター-SW"を選択します。



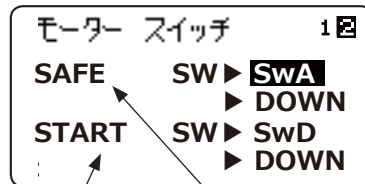
③ ジョグキーを押して、設定画面に入ります。



(モータースイッチ 設定画面)



- 回転が下がるスピードの設定
- 回転が上がるスピードの設定



- ページ、設定項目の選択はジョグキーで行ないます。

モーター

機能の有効にする

① "MODE" の項目を選択した状態で、+又は-キーを押して、"OFF" に設定します。



- 機能を使用しない場合は "INH" 側に設定してください。

各スイッチの選択

② 2 ページ目それぞれの "SW" の項目を選択した状態で、+又は-キーを押して、スイッチを選択します。



選択範囲 : SwA ~ SwD

ON/OFF 方向の設定

③ SW 下の "DOWN" の項目を選択した状態で、+又は-キーを押して、ON/OFF 方向を設定します。



- 2P SW の場合 : (NULL), UP, DOWN
- 3P SW の場合 : (NULL), UP, UP&DWN, UP&CNT, CENTER, CNT&DN, DOWN

スピードの設定

④ ジョグキーで SPEED 横の OFF を選択します。

設定範囲 : OFF, 1 ~ 10

- 右側は回転があがるスピードの設定です。OFF だとすぐにハイになり 10 はゆっくりハイになります。
- 左側は回転がさがるスピードの設定です。OFF だとすぐに停止になり 10 はゆっくり回転が下がっていきます。

⚠ 危険

- ❗ 設定中や動作確認は必ずモーターからプロペラをはずして行なってください。
- 不意にプロペラが回転すると大ケガをする危険性があります。



ジャイロ ジャイロ

(GLIDER)

WING タイプ TAIL

ZAIL

機能説明

Futaba 製 GY シリーズジャイロのジャイロ感度およびジャイロモード (AVCS/NORM) を切り替えるための専用ミキシングです。

- 感度切替えスイッチが選択でき、スイッチの各方向の感度設定が可能です。(スイッチ A ~ D)
飛行機の特性上、失速状態に陥るとジャイロでは姿勢の制御ができなくなります。感度 OFF(0%) のポジションも設定しておくことをおすすめします。
- 感度設定チャンネルは CH5 です。
- T6K はジャイロゲイン CH は 1CH のみです。3 軸ジャイロのそれぞれの感度調整や複数のジャイロの感度調整はできません。

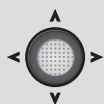
設定方法

設定画面の呼び出し

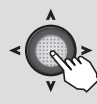
① 初期画面の状態、+ キーを 1 秒以上押して、メニュー画面を呼び出します。



② ジョグキーでメニュー内の "ジャイロ" を選択します。



③ ジョグキーを押して、設定画面に入ります。

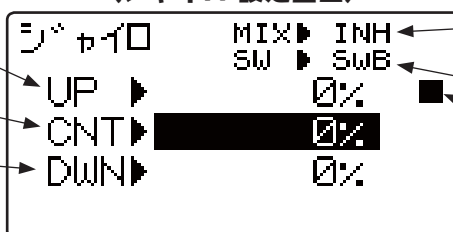


(ジャイロ 設定画面)

スイッチが上の時の感度

スイッチが真ん中の感度

スイッチが下の時の感度



● "INH" の場合は機能が使用できない状態。"ON" の場合は機能が有効な状態。

● 感度切替えスイッチの選択
現在のスイッチ位置の表示

- 設定項目の選択はジョグキーで行ないます。

ジャイロセンス

■機能を有効にする

① "MIX" の項目を選択した状態で、+ 又は - キーを押して、"ON" に設定します。



- 機能を使用しない場合は "INH" 側に設定してください。

■感度切替えスイッチの選択

② "SW" の項目を選択した状態で、+ 又は - キーを押して、スイッチを選択します。

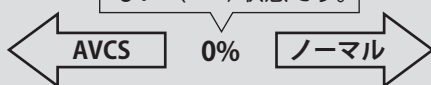


選択範囲：SwA ~ SwD、初期設定：SwB

■ジャイロタイプ、感度の設定

③ UP/CNT/DWN は設定したスイッチのポジションです。それぞれのポジションの感度とジャイロモードを設定します。

AVC 100%



NOR 100%

+ キーを押すと AVC 側の感度が上がっていきます。



- キーを押すとノーマル側の感度が上がっていきます。



AIL DIF エルロンディファレンシャル

(GLIDER)

WING タイプ

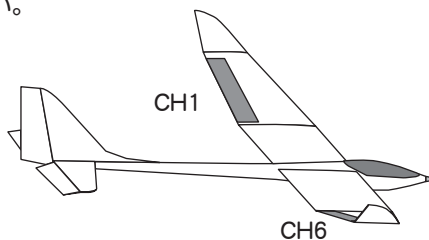
2AIL 2AIL1FLP 2AIL2FLP

機能説明

エルロンに2個のサーボを使用し、左右のエルロン動作に差動をつけることができます。

左側エルロンは1CH、右側エルロンは6CHに接続してください。

●左右のエルロン舵面の上下の舵角を個別に調整可能。



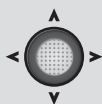
設定方法

設定画面の呼び出し

① 初期画面の状態では、+キーを1秒以上押し、メニュー画面を呼び出します。



② ジョグキーでメニュー内の "AIL DIF" を選択します。



③ ジョグキーを押して、設定画面に入ります。



(エルロンディファレンシャル 設定画面)



エルロン 1 (CH1) の調整
エルロン 6 (CH6) の調整

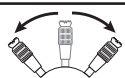
AIL DIF		
	(L)	(R)
AIL1 ▶	+100	+100
AIL6 ▶	+100	+100

(エルロンレート)

L: エルロンスティック左側レート
R: エルロンスティック右側レート

●設定項目の選択はジョグキーで行ないます。

(L) ⇄ (R) 左右のカーソル移動はエルロンスティック操作で行ないます。



エルロンディファレンシャル

■エルロンディファレンシャルはウイングタイプ "2AIL, 2AIL1FLP, 2AIL2FLP" を選択すると自動的に起動状態となります。

■エルロン舵角の調整

① "AIL1" "AIL6" の項目が選択された状態で、エルロンスティックを左右に操作し、それぞれの動作量を、+キー又は-キーを押して調整します。



設定範囲: -120 ~ +120%

初期設定: +100%

●設定値を初期値に戻したい場合、+キーおよび-キーを同時に押します。ただし、極性が変更されている場合は数値のみ初期値に戻ります。



V テール

V テール

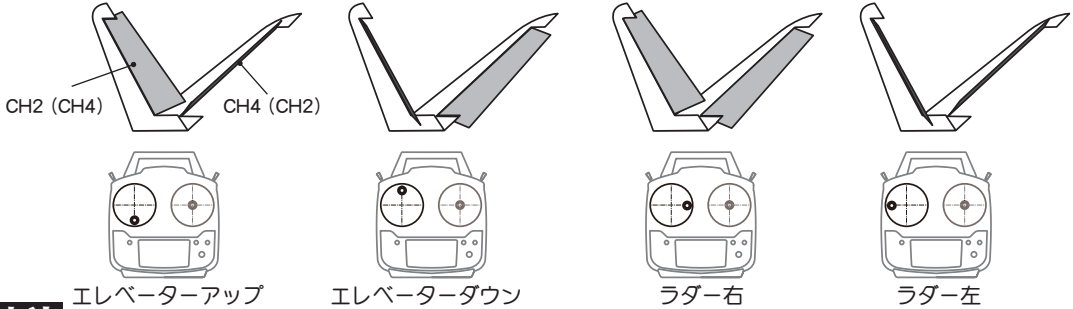
(GLIDER)

WING タイプ 1AIL 1AIL1FLP 2AIL 2AIL1FLP 2AIL2FLP

機能説明

エレベーターとラダー機能を組み合わせたV尾翼機に使用するミキシングです。

- エレベーター、ラダーの動作量を個別に調整できます。



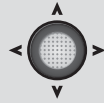
設定方法

設定画面の呼び出し

- ① 初期画面の状態、+キーを1秒以上押して、メニュー画面を呼び出します。



- ② ジョグキーでメニュー内の "Vテール" を選択します。



- ③ ジョグキーを押して、設定画面に入ります。



(Vテール 設定画面)

	Vテール	MIX ▶	INH
ELE2の動作量の調整	ELE ▶	ELE2 ▶	+ 50
ELE4の動作量の調整		ELE4 ▶	- 50
RUD2の動作量の調整	RUD ▶	RUD2 ▶	+ 50
RUD4の動作量の調整		RUD4 ▶	+ 50

(サーボ動作量)

- "INH" の場合は機能が使用できない状態。機能を使用する場合は "ACT" に切替えます。
- "ACT" にするとモデルタイプのTAILが連動して "V-TAIL" となります。モデルタイプで "V-TAIL" を選択するとこの機能は自動的に "ACT" となります。

- 設定項目の選択はジョグキーで行ないます。

Vテール

■機能を有効にする

- ① "MIX" の項目を選択した状態で、+又は-キーを押して、"ACT" に設定します。



- 機能を使用しない場合は "INH" 側に設定してください。

■動作量の調整

- ② "RATE" の各項目が選択された状態で、それぞれの動作量を、+キー又は-キーを押して調整します。



設定範囲：-100 ~ +100%
 初期設定：+50%
 (ELE4 のみ -50%)

- 設定値を初期値に戻したい場合、+キーおよび-キーを同時に押します。ただし、極性が変更されている場合は数値のみ初期値に戻ります。

注意: スティックを動かしながら動作量を確認しながら設定することをお勧めします。動作量を大きく設定すると、エレベーター、ラダーの動作が複合し、サーボの動作範囲を越え、動作しない不感帯が発生する場合があります。



バタフライ

バタフライ ミキシング

(GLIDER)

WING タイプ

1AIL1FLP

2AIL

2AIL1FLP

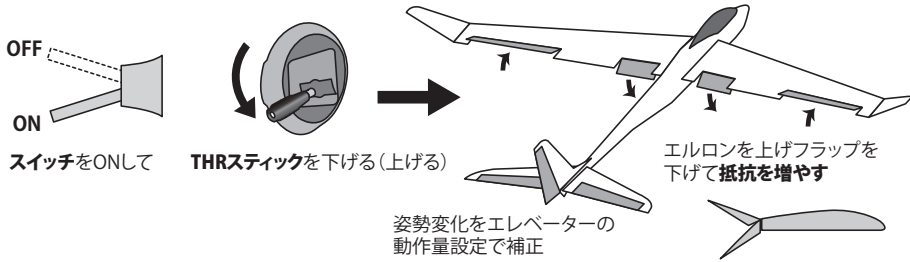
2AIL2FLP

機能説明

ウイングタイプに応じてフラップを下げて、エルロンを上げ、エアブレーキをかける機能です。急降下や着陸に使用します。

- スイッチで動作の ON/OFF 設定可能
- エレベーターで姿勢変化の補正舵が設定可能
- 各舵の動作方向も＋で設定可能

(動作の一例)



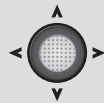
設定方法

設定画面の呼び出し

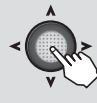
① 初期画面の状態、＋キーを1秒以上押して、メニュー画面を呼び出します。



② ジョグキーでメニュー内の"バタフライ"を選択します。



③ ジョグキーを押して、設定画面に入ります。



バタフライミキシングの動作量の設定です。

(バタフライ 設定画面)

●バタフライの ACT/INH

●MIX を ACT にした時に、スティック操作に応じた MIX 量が表示されます。

バタフライ 1 2

- エルロン → AL1 → 0 6 → 0
- フラップ → FL5 → 0 3 → ---
- エレベーターの補正量です。 → ELE → 0

(NORM)

● --- は設定できません。(WINGタイプによる)

●コンディションを使用した場合、コンディション SW の切替で表示が変わりそれぞれのコンディションごとの設定ができます。

バタフライ 1 2

- 動作させるかどうかの SW → MIX → INH
- NULL の場合常に THR スティックで動作します。
- SW → SwA → DOWN
- THR スティックの現在位置 → OFST → 60% (0%)
- 0% : 下側 100% : 上側

(NORM)

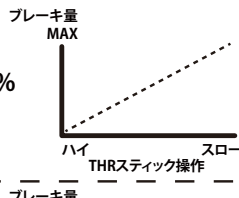
●オフセットをセンターより下で設定した場合は THR スティックがハイ側でバタフライミキシングが動作します。

グライダー用

●オフセット設定 - "OFST" の%を選択して

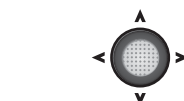
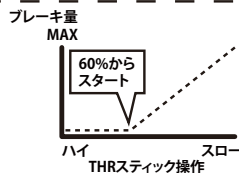
THRスティックハイで ジョグキー長押し

OFST → 100%



THRスティック60%位置で ジョグキー長押し

OFST → 60%



●設定項目の選択はジョグキーで行ないます。



●数値の変更は＋－キーでおこないます。



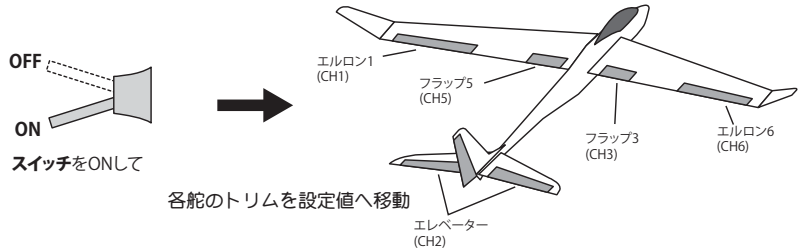
トリム MIX トリムミックス (GLIDER)

WING タイプ 1AIL1FLP 2AIL 2AIL1FLP 2AIL2FLP

機能説明

エルロン、エレベーター、フラップのトリムを、スイッチであらかじめセットしておいた位置に移動させる機能です。

(動作の一例)



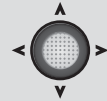
設定方法

設定画面の呼び出し

① 初期画面の状態で、+キーを1秒以上押して、メニュー画面を呼び出します。



② ジョグキーでメニュー内の"トリムMIX"を選択します。



③ ジョグキーを押して、設定画面に入ります。

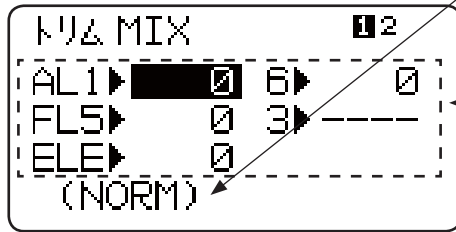


- 設定項目の選択はジョグキーで行ないます。
- 数値の変更は+-キーでおこないます。

機能を有効にする

- "INH" の場合は機能が使用できない状態。"ON" の場合は機能が有効な状態。

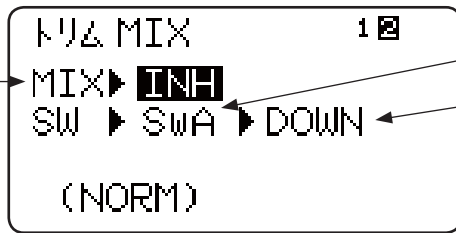
【トリムミックス設定画面】



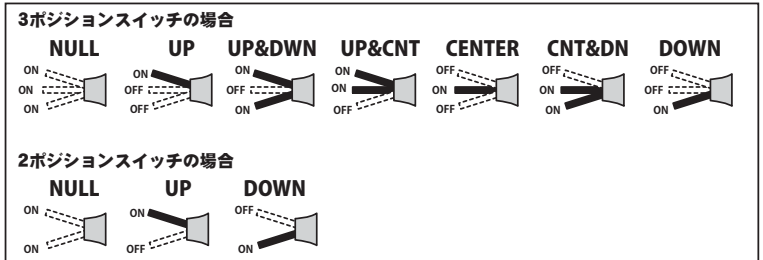
- コンディションを使用した場合、コンディションSWの切替で表示が変わりそれぞれのコンディションごとの設定ができます。

- 各舵のトリムニュートラル位置の設定です。
設定範囲：-100 ~ +100
+-キーの同時押しで0にもどります。

【トリムミックスの2ページ目】



- ON/OFF スイッチの変更ができます。(ジョグキーで選択し+-キーで変更)
- 選択したスイッチのON/OFF方向の設定です。





EL → CMB エレベーター → キャンバミキシング

(GLIDER)

WING タイプ

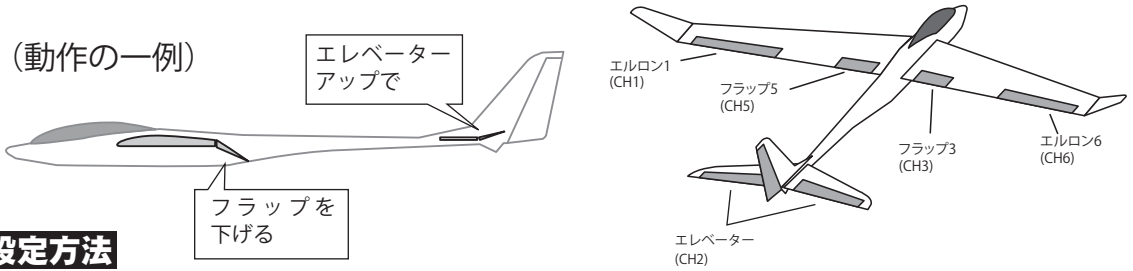
2AIL 2AIL1FLP 2AIL2FLP

機能説明

エレベーターにキャンバを連動させるミキシングです。エレベーターアップでキャンバフラップを下げることで、揚力が増し運動性が向上します。

- リンケージによりミキシング方向が逆の場合はレートの極性を変えることにより調整可能。
- エレベーターの中立付近ではフラップ動作がしないように設定できます。(RANGE)

(動作の一例)



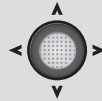
設定方法

設定画面の呼び出し

① 初期画面の状態、+キーを1秒以上押して、メニュー画面を呼び出します。



② ジョグキーでメニュー内の"EL → CMB"を選択します。



③ ジョグキーを押して、設定画面に入ります。



エレベーター操作時の動作量の設定です。

- エルロン 1
- エルロン 6
- フラップ 5
- フラップ 3

(ELE → キャンバ 設定画面)

(現在選択中のコンディション名)

EL → CMB	(NORM)	1 2
AL1 ▶	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
AL6 ▶	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
FL5 ▶	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
FL3 ▶	---	---

● --- は設定できません。(WINGタイプによる)

(RT1) エレベーターをアップにしたときの動作量
(RT2) エレベーターをダウンにしたときの動作量

● 設定項目の選択はジョグキーで行ないます。



● 数値の変更は+キーでおこないます。

[ELE → キャンバの2ページ目]

(現在選択中のコンディション名)

EL → CMB	(NORM)	1 2
MIX ▶	INH	
SW ▶	SWA ▶	DOWN
RANGE ▶	<input checked="" type="checkbox"/>	(0%)

- キャンバ MIX の ACT/INH
- 動作させるかどうかの SW NULL の場合常にミキシング動作します。

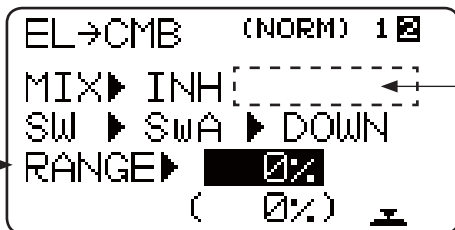
● コンディションを使用した場合、コンディション SW の切替で表示が変わりそれぞれのコンディションごとの設定ができます。

● 次ページに説明

● 現在のエレベータースティックの位置



[ELE → キャンバの2ページ目]



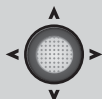
● MIX を ACT にした時に、スティック操作に応じた MIX 量が表示されます。

● エレベーターの中立付近でキャンバミキシング動作がしなくなる設定です。大きくエレベーターを操作した時のみキャンバミキシングが動作するように設定できます。

RANGE の設定

■ 設定状態

① ジョグキーで RANGE 横の "0%" の項目を選択します。



■ 設定値へ

② エレベータースティックを動作開始させたい位置に操作します。



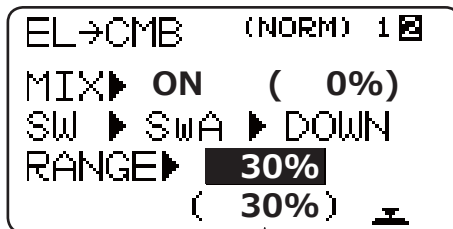
アップ/ダウンどちらでもかまいません。ダウンで設定すると同じ量でアップ側も設定されます。

■ 設定値記憶

③ そのままジョグキーを長押しします。



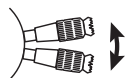
スティック位置を保持したまま



スティック位置が表示され、エレベーター操作がその範囲を超えたらミキシング動作します。

● RANGE の数値が選択された状態でジョグキーを長押しすると 0% にリセットされ、通常のミキシング動作になります。

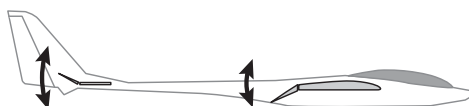
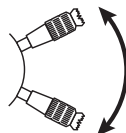
● RANGE の使用例



エレベーター操作



通常操作ではエレベーターのみ動作



フルアップ (フルダウン) のときにキャンバー動作



CMB MIX キャンバ ミキシング (GLIDER)

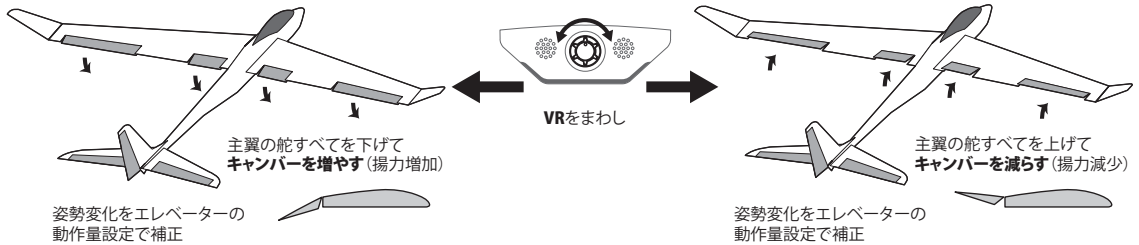
WING タイプ 1AIL1FLP 2AIL1FLP 2AIL2FLP

機能説明

ウイングタイプに応じてフラップとエルロン、エレベーターをすべて VR でトリム操作できます。主翼のすべての舵を下げてキャンバを増やしたり、逆に減らしたりできます。

- スイッチで動作の ON/OFF 設定可能
- AUX CH の CH5 で操作を VR から SW へ変更可能

(動作の一例)



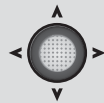
設定方法

設定画面の呼び出し

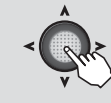
① 初期画面の状態、+キーを1秒以上押して、メニュー画面を呼び出します。



② ジョグキーでメニュー内の"CMB MIX"を選択します。



③ ジョグキーを押して、設定画面に入ります。



(キャンバミキシング 設定画面)

VRを回したときの動作量の設定です。

- エルロン 1
- エルロン 6
- フラップ 5
- フラップ 3

	CMB MIX (NORM)	(RT1)	(RT2)
AL1	▶	☑	☐
AL6	▶	☐	☐
FL5	▶	☑	☐
FL3	▶	---	---

● --- は設定できません。(WINGタイプによる)

(RT1)VRを右にまわしたときの動作量



(RT2)VRを左にまわしたときの動作量

(現在選択中のコンディション名)

● 設定項目の選択はジョグキーで行ないます。



● 数値の変更は+-キーでおこないます。

【キャンバFLPの2ページ目】 (現在選択中のコンディション名)

● キャンバを変えたときのエレベーターの補正量です。

- キャンバMIXのACT/INH
- 動作させるどうかのSW NULLの場合常にVRで動作します。

	CMB MIX (NORM)	(RT1)	(RT2)
ELE	▶	☑	☐
MIX	▶	INH	
SW	▶	SWA	▶ DOWN

● コンディションを使用した場合、コンディションSWの切替で表示が変わりそれぞれのコンディションごとの設定ができます。



AL → CMB エルロン→キャンバミキシング

(GLIDER)

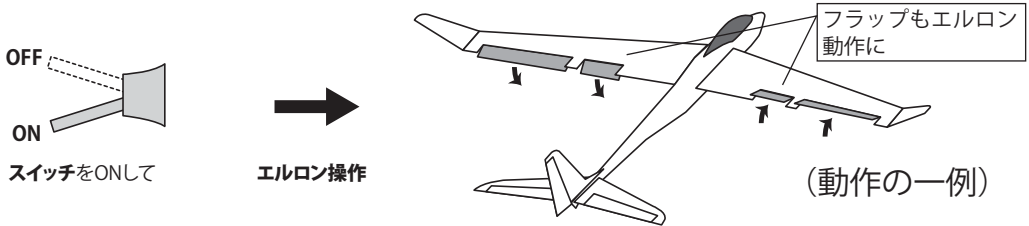
WING タイプ

2AIL2FLP

機能説明

このミキシングは、エルロン操作（スティック）にフラップを連動させるミキシング機能です。ロール軸の運動性を高めたいときに使用します。

- リンケージによりミキシング方向が逆の場合はレートの極性を変えることにより調整可能。



エルロンにキャンバFLPを連動させロールを補助

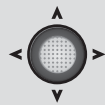
設定方法

設定画面の呼び出し

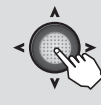
- ① 初期画面の状態、+キーを1秒以上押して、メニュー画面を呼び出します。



- ② ジョグキーでメニュー内の"AL → CMB"を選択します。



- ③ ジョグキーを押して、設定画面に入ります。



(AIL → キャンバミキシング 設定画面)

● 設定項目の選択はジョグキーで行ないます。

3ポジションスイッチの場合

NULL	UP	UP&DWN	UP&CNT	CENTER	CNT&DN	DOWN
ON OFF ON	ON OFF ON	ON OFF ON	ON OFF ON	ON OFF ON	ON OFF ON	ON OFF ON

2ポジションスイッチの場合

NULL	UP	DOWN
ON OFF ON	ON OFF ON	ON OFF ON

AL → CMB (L) (NORM) (R)

FL5 ▶ ▶

FL3 ▶ ▶

MIX ▶ INH

SW ▶ SWA ▶ DOWN

- "INH" の場合は機能が使用できない状態。"ON" の場合は機能が有効な状態。
- コンディションを使用した場合、コンディション SW の切替で表示が変わりそれぞれのコンディションごとの設定ができます。
- ON/OFF スwitchの変更ができます。(ジョグキーで選択し+キーで変更)
- 選択したスイッチの ON/OFF 方向の設定です。

+

-

● 数値の変更は+-キーでおこないます。

AIL → キャンバミキシング

■ 機能を有効にする

- ① "MIX" の項目を選択した状態で、+又は-キーを押して、"ON" に設定します。



- 機能を使用しない場合は "INH" 側に設定してください。

■ ミキシング量の調整

- ② "RATE" の項目が選択された状態で、+キー又は-キーを押して、ミキシング量を調整します。

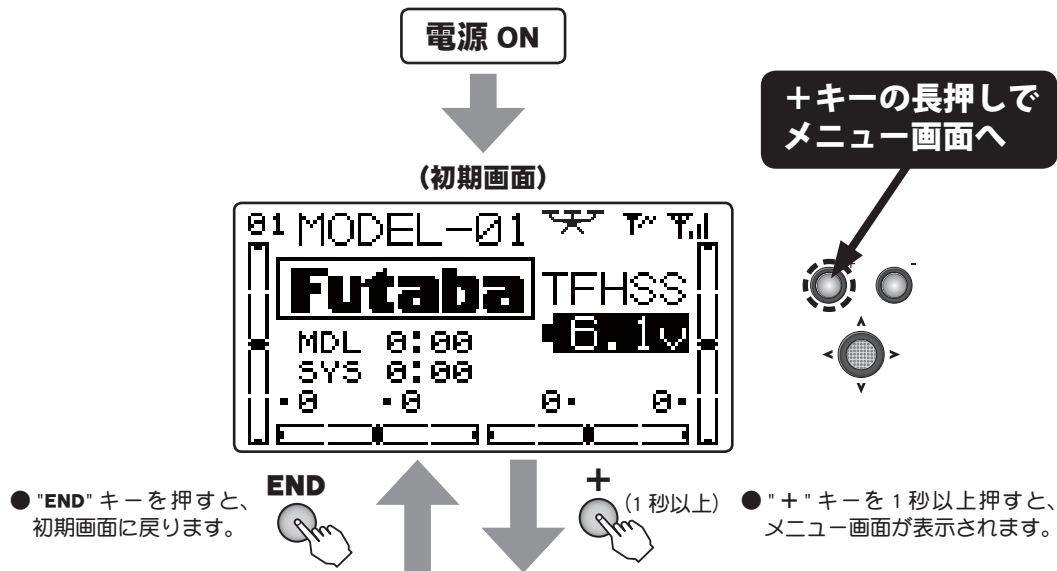


設定範囲：-120 ~ +120%
初期設定：0%

- 設定値を初期値に戻したい場合、+キーおよび-キーを同時に押します。

マルチコプター用 (MULTICOPT) 機能

各機能の設定画面は、下記のメニューから呼び出します。ここでは、モデルタイプがマルチコプター用 (MULTI COPT) に設定されている場合の機能を示します。



メニュー画面

メニュー 天 1 2 3 4

▶ M セレクト ▶ E ホイール

▶ M タイプ ▶ トリム

▶ M ネーム ▶ サブトリム

▶ F/S ▶ リバース

メニュー 1/3

メニュー 天 1 2 3 4

▶ 回転ラメータ ▶ テレメトリー

▶ P.MIX ▶ センサー

▶ AUX CH ▶ S.BUS

▶ サーボ ▶ M トランス

メニュー 2/3

メニュー 天 1 2 3

▶ タイマー ▶ DR EXP

▶ トレーナー ▶ TH カーブ

▶ フライト MD ▶ THR DLY

▶ センタ ALM ▶ ショット

メニュー 3/3

↑

(機能の選択)

↓

● ジョグキーで、上下・左右にカーソル(反転表示)を移動し、機能を選択します。ページをまたがって移動も可能。

● メニュー画面のページ移動は+キーでもできます。(設定画面のページ移動はジョグキーのみ)

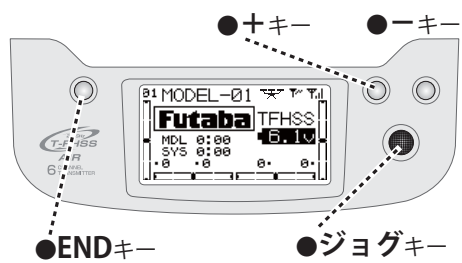
(設定画面の呼出し)

↓

● ジョグキーを押して、設定画面に入ります。



エディットキー / LCD 画面



この機能の説明は前の
“共通機能” をご参照くだ
さい。

■機能一覧

◆ 1 ページ

Mセレクト	P.54
Mタイプ	P.57
Mネーム	P.60
F/S	P.62
Eポイント	P.64
トリム	P.65
サブトリム	P.66
リバース	P.67

◆ 2 ページ

パラメータ	P.68
P.MIX	P.73
AUX CH	P.76
サーボ	P.77
テレメトリー	P.78
センサー	P.91
S.BUS	P.93
Mトランス	P.96

◆ 3 ページ

タイマー	P.97
トレーナー	P.98
フライト MD	P.156
センタ ALM	P.157
DR EXP	P.158
TH カーブ	P.160
THR DLY	P.161
ジャイロ	P.162

マルチコプター用



フライト MD フライトモード (MULTICOPT)

機能説明

フライトモードは 6CH に接続されたマルチコプターのモードを任意のスイッチで設定した 4 つの信号に変化させることができます。フライトモードが変更できるタイプのマルチコプターのコントローラーの場合に使用します。

- - 100 ~ 0 (ニュートラル) ~ + 100 に設定できます。(通常は 0 で使用)
- マルチコプターのコントローラーに従って設定してください。

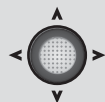
設定方法

設定画面の呼び出し

① 初期画面の状態では、+ キーを 1 秒以上押し、メニュー画面を呼び出します。



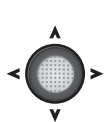
② ジョグキーでメニュー内の "フライト MD" を選択します。



③ ジョグキーを押して、設定画面に入ります。



(コンディションセレクト 設定画面)



● "INH" の場合は機能が使用できない状態。"ON" または "OFF" の場合は機能が有効な状態。ON/OFF はスイッチに連動して変化します。

● 設定項目の選択はジョグキーで行ないます。

フライト MD		CH6	
	NOR		
1	INH	SwA	DOWN
2	INH	SwA	DOWN
3	INH	SwA	DOWN
4	INH	SwA	DOWN

(機能を有効にする) | (ON 方向の設定)
(スイッチの選択)

● NOR は SW が OFF の状態の CH6 の設定です。0 はニュートラルで通常この状態で使用します。1 ~ 4 が INH の場合数値をかえても動作に反映しません。

● 1 ~ 4 が同時に ON された場合は 4 が優先されます。

コンディションセレクト

■機能を有効にする

① 使用したいコンディションの "INH" の項目を選択した状態で、+ または - キーを押して、"ON" または "OFF" に設定します。



● 使用しないモードは "INH" 側に設定してください。

(スイッチを変更する場合)

■スイッチの選択

② スイッチ選択の項目で、+ または - キーを押して、スイッチを変更します。



選択範囲：SwA ~ SwD

■ON 方向の選択

③ ON 方向選択の項目で、+ または - キーを押して、ON 方向を選択します。



選択範囲：

- 2P SW の場合：NULL, UP, DOWN
- 3P SW の場合：NULL, UP, UP&D, UP&C, CNTR, C&DN, DOWN



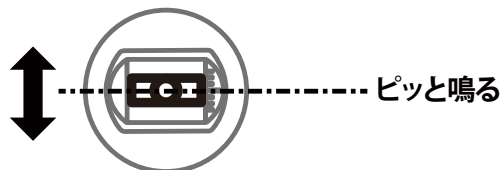
セタ ALM センターアラーム

(MULTICOPT)

機能説明

スロットルスティック（機体の上下のコントロール）の指定したポジションでアラーム（ピットと一回）を鳴らすことができます。

- スイッチでアラーム機能の ON/OFF が設定できます。
- パラメーターの STK ALRM と同じ機能です。どちらでも同じ設定ができます。（設定は連動します。）



THRスティックを指定位置にすると

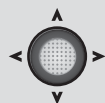
設定方法

設定画面の呼び出し

① 初期画面の状態、+キーを1秒以上押して、メニュー画面を呼び出します。



② ジョグキーでメニュー内の"セタ ALM"を選択します。

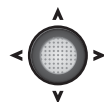


③ ジョグキーを押して、設定画面に入ります。



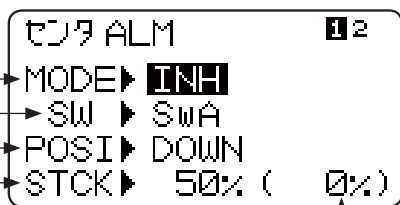
- "INH" の場合は機能が使用できない状態。"ON" または "OFF" の場合は機能が有効な状態。ON、OFF はスイッチに連動して変化します。

(センターアラーム 設定画面)

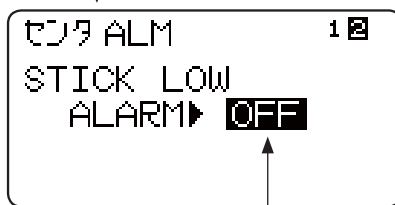


- ページ、設定項目の選択はジョグキーで行ないます。

- 機能を有効にする
- スイッチの選択
- スイッチの ON 方向
- アラームが鳴るスティック位置



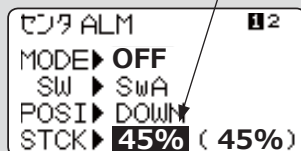
- カッコ内数値は現在のスロットルスティック位置を示します。



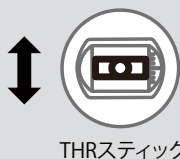
- 電源 ON 時にスロットルスティックがスロー以外の場合アラームが鳴る機能です。

位置の設定

① ジョグキーでスティック位置を選択します。



② スロットルスティックをアラームを鳴らしたい位置にします。



③ ジョグキーを長押しするとその位置でアラームが鳴るようになります。



ピッピッと鳴り位置を記憶

マルチコプター用



機能説明

デュアルレート (D/R)

エルロン、エレベーター、ラダーの各チャンネルの舵角を切り替えて使用できます。

- 舵角調整はスイッチの各方向で、各チャンネルの左右(上下)方向が個別に設定できます。

エクスポネンシャル (EXP)

エルロン、エレベーター、スロットル、ラダーのニュートラル付近のスティック動作に対するサーボの動きを鈍くしたり、または、敏感にして、操縦を楽に行えるような動作カーブに変更する機能です。舵角に応じて切替えることができます。

- " - "側はニュートラル付近が鈍くなり、" + "側は逆に敏感になります。
- デュアルレート (D/R) のそれぞれのレートに対応して設定できます。(スロットル除く) スwitchの各方向および各チャンネルの左右(上下)方向が個別に設定できます。
- ただし、スロットルカーブ機能が設定されている場合はスロットル EXP は使用できません。

スイッチ選択 (SW)

エルロン、エレベーター、ラダーの各チャンネル毎のデュアルレート(エクスポネンシャル)の切替スイッチとして、スイッチ A ~ D から選択できます。

- 初期設定 エルロン：スイッチ D エレベーター：スイッチ A ラダー：スイッチ B

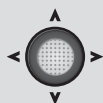
設定方法

設定画面の呼び出し

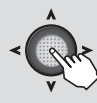
- ① 初期画面の状態、+ キーを1秒以上押して、メニュー画面を呼び出します。



- ② ジョグキーでメニュー内の "DR EXP" を選択します。



- ③ ジョグキーを押して、設定画面に入ります。



(D/R, EXPO 設定画面)

マルチコプター用

チャンネル選択 → CH ▶ 1 2 3 4

デュアルレート → D/R ◀▶ 100%

エクスポネンシャル → EXP ◀▶ 0%

スイッチ選択 → SW ▶ SWD

●現在選択中のチャンネルには下線が表示されます。

(スイッチ方向表示)

●デュアルレート、エクスポネンシャルの設定値をカーブで表示します。

<チャンネル表示>

1: エルロン

2: エレベーター

3: スロットル

4: ラダー

(スイッチ No.) (D/R および EXPO のレート表示)

上段: 左側/下側

下段: 右側/上側

●設定項目およびチャンネルの選択はジョグキーで行ないます。

(←) ⇄ (→) のカーソル移動は該当スティック操作で行ないます。



デュアルレート

- ① ジョグキーでチャンネルを選択します。



選択範囲：1, 2, 4

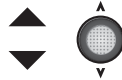
- ② ジョグキーでD/Rにカーソルを移動させ、デュアルレートスイッチを設定したい方向に切替え、スティックを左(下)側または右(上)側に操作した状態で、+キー又は-キーを押してレートを調整します。



調整範囲：
0 ~ 140%
初期値：100%

- 設定値を初期値に戻したい場合、+キーおよび-キーを同時に押します。

上記②を繰り返して、デュアルレートスイッチ、スティックの各方向のレートを調整してください。



- ジョグキーで同一チャンネルの別の設定項目への移動が可能。

エクスポネンシャル

- ① "EXP"の項目が選択された状態で、ジョグキーでチャンネルを選択します。



選択範囲：1 ~ 4

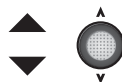
- ② ジョグキーでEXPにカーソルを移動させ、デュアルレートスイッチを設定したい方向に切替え、スティックを左(下)側または右(上)側に操作した状態で、+キー又は-キーを押してレートを調整します。



調整範囲：
-100 ~ +100%
初期値：0%

- 設定値を初期値に戻したい場合、+キーおよび-キーを同時に押します。

上記②を繰り返して、デュアルレートスイッチ、スティックの各方向のレートを調整してください。



- ジョグキーで同一チャンネルの別の設定項目への移動が可能。

スイッチの変更

- ① "SW"の項目が選択されている状態で、ジョグキーでチャンネルを選択します。



選択範囲：1, 2, 4

- ② +キー又は-キーを押してスイッチを選択します。



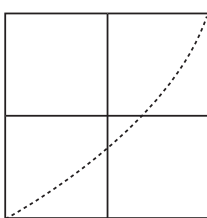
選択範囲：SWA ~ SwD

マルチコプター用

スロットルの EXPO タイプについて

TYPE ▶ NORM

THR : HIGH
↑
THR : LOW

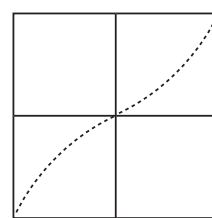


NORMはEXPを入力すると左図のようなカーブとなります。スティックの下がモーターOFFで中立位置が中速のモデルに適しています。

Stick : LOW Stick : HIGH

TYPE ▶ SEPA

THR : HIGH
↑
THR : LOW



SEPAはEXPを入力すると左図のような上下対称カーブとなります。スティックの中立がモーターOFFのモデルに適しています。

Stick : LOW Stick : HIGH



機能説明

スロットルカーブはスロットルスティックの動きに対し任意のモーター回転になるように5ポイントのカーブが設定できます。

- スイッチのポジション毎にカーブを設定できます。

スロットルカーブが設定されている場合はスロットル EXP 機能は使用できません。

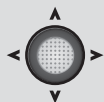
設定方法

設定画面の呼び出し

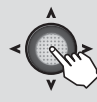
- ① 初期画面の状態、+キーを1秒以上押して、メニュー画面を呼び出します。



- ② ジョグキーでメニュー内の"THカブ"を選択します。



- ③ ジョグキーを押して、設定画面に入ります。



(スロットルカーブ 設定画面)

機能の有効にする
スイッチの選択
5ポイントカーブの設定

スロットルカーブ

MIX ▶ INH

SW ▶ SWC (UP)

P-5) 100.0%

P-4) 75.0%

P-3) 50.0%

P-2) 25.0%

P-1) 0.0%

● "INH" の場合は機能が使用できない状態。"ON" の場合は機能が有効な状態。

● 設定したカーブがグラフに表示されます。

(カッコ内は現在のスイッチポジションを表示)

● 設定項目の選択はジョグキーで行ないます。

スロットルカーブ

■機能の有効にする

- ① "MIX" の項目を選択した状態で、+又は-キーを押して、"ON" に設定します。



- 機能を使用しない場合は "INH" 側に設定してください。

■スイッチの選択

- ② "SW" の項目を選択した状態で、+又は-キーを押して、スイッチを選択します。



選択範囲：SwA ~ SwD、初期設定：SwC

■5ポイントカーブの設定

- ③ ジョグキーで各ポイントの設定項目 (P-1 ~ P-5) を選択した状態で、+又は-キーを押して、各ポイントの動作量を設定します。



設定範囲：0 ~ 100%

初期設定：P-1: 0%、P-2: 25%、P-3: 50%、P-4: 75%、P-5: 100%



THR DLY スロットルディレイ

(MULTICOPT)

機能説明

スロットルディレイはスロットルの反応を遅くできる機能です。スロットル操作に対して、モーターの反応が敏感すぎる場合に使用します。

- レートが0%が通常の反応速度で100%に近づくにつれて反応が遅くなります。

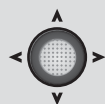
設定方法

設定画面の呼び出し

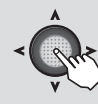
① 初期画面の状態、+キーを1秒以上押して、メニュー画面を呼び出します。



② ジョグキーでメニュー内の"THR DLY"を選択します。



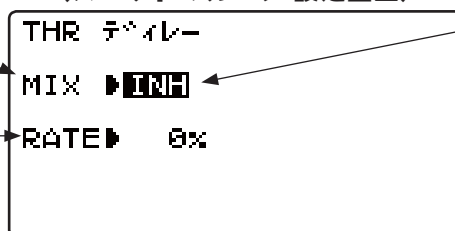
③ ジョグキーを押して、設定画面に入ります。



(スロットルカーブ 設定画面)

機能を有効にする

レートの設定



● "INH" の場合は機能が使用できない状態。"ON" の場合は機能が有効な状態。

- 設定項目の選択はジョグキーで行ないます。

スロットルディレイ

■機能を有効にする

① "MIX" の項目を選択した状態で、+又は-キーを押して、"ACT" に設定します。



- 機能を使用しない場合は "INH" 側に設定してください。

■レートの設定

② "RATE" の項目を選択した状態で、+又は-キーを押して、レートを設定します。

選択範囲：0%～100% 初期設定：0%

スロットルの反応通常速度

スロットルの反応が遅くなる



機能説明

Futaba 製 GY シリーズジャイロのジャイロ感度およびジャイロモード (AVCS/NORM) を切り替えるための専用ミキシングです。

- 飛行のためのジャイロは通常マルチコプターに装備されています。このジャイロ機能は飛行とは別の用途 (カメラの姿勢保持など) で使用してください。
- 感度設定チャンネルは CH5 です。
- T6K はジャイロゲイン CH は 1CH のみです。3 軸ジャイロのそれぞれの感度調整や複数のジャイロの感度調整はできません。

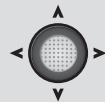
設定方法

設定画面の呼び出し

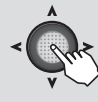
① 初期画面の状態では、+ キーを 1 秒以上押して、メニュー画面を呼び出します。



② ジョグキーでメニュー内の "ジャイロ" を選択します。



③ ジョグキーを押して、設定画面に入ります。



(ジャイロ 設定画面)

スイッチが上の時の感度	UP	MIX	INH	0%	● "INH" の場合は機能が使用できない状態。"ON" の場合は機能が有効な状態。
スイッチが真ん中の感度	CNT	SW	SwB	0%	● 感度切替スイッチの選択
スイッチが下の時の感度	DWN			0%	現在のスイッチ位置の表示

●設定項目の選択はジョグキーで行ないます。

●ジョグキーの上下でカーソルを移動して数値を+キーで入力します。

マルチコプター用

ジャイロセンス

機能の有効にする

① "MIX" の項目を選択した状態で、+ 又は - キーを押して、"ON" に設定します。



●機能を使用しない場合は "INH" 側に設定してください。

感度切替スイッチの選択

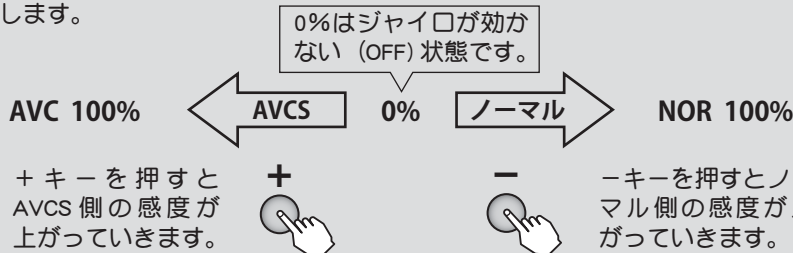
② "SW" の項目を選択した状態で、+ 又は - キーを押して、スイッチを選択します。



選択範囲: SwA ~ SwD、初期設定: SwB

ジャイロタイプ、感度の設定

③ UP/CNT/DWN は設定したスイッチのポジションです。それぞれのポジションの感度とジャイロモードを設定します。



一般仕様

送信機 T6KA / T6KH

(飛行機用/ヘリ用送信機)

操作方式 : 2スティック、6チャンネル

アンテナ : 内蔵方式

周波数(方式) : 2.4GHz帯 T-FHSS Air方式

使用電源 : 6V(単3アルカリ乾電池4本)または

6.0V ニッケル水素電池 (HT5F1800B)

6.6V リチウムフェライト電池 (FT2F2100BV2)

消費電流 : 200mA以下

受信機 R3006SB

T-FHSS Air-2.4GHz方式、6チャンネル、双方向通信、S.BUS/S.BUS2対応

アンテナ : ダイバーシティ方式

使用電源 : 4.8V~7.4V

* BEC電源を使用する場合、ご使用のサーボ等の条件に合った容量のものをご使用ください。

* 乾電池は使用しないでください。誤動作の原因となります。

サイズ : 43.1×25.0×8.8mm

重量 : 8.5g

⚠ 注意



送信機、受信機、サーボ、FET アンプ、バッテリーその他オプションパーツは、必ず Futaba 純正品の組み合わせで使用する。

■ Futaba 純正品以外との組み合わせにより発生した損害等につきましては、弊社では責任を負いません。取扱説明書およびカタログに記載されているものを使用してください。

オプションパーツ（別売り）

別売りのオプション・パーツの一部です。詳しくは弊社カタログをご参照ください。

●バッテリー & 充電器

- (品名) 送信機用ニッケル水素電池 HT5F1800B
送信機用リチウムフェライト電池 FT2F2100BV2
受信機用リチウムフェライト電池 FR2F1800, FR2F800
専用充電器 HBC-3A(4) - ニッケル水素用
専用充電器 LBC-4E5 - リチウムフェライト用

●テレメトリーセンサー

- (品名) SBS-01T (温度センサー：～ 200℃)
SBS-01TE (電動用温度センサー：～ 125℃)
SBS-01A (高度センサー)
SBS-01RM (マグネット式回転センサー)
SBS-01RO (光学式回転センサー)
SBS-01RB (ブラシレスモーター用回転センサー)

●トレーナーコード

- (品名) 12FG トレーナーコード, トレーナーコード (マイクロタイプ)

●延長コード

- (品名) 延長コード 100mm ~ 500mm (大電流タイプもあります)
* デジタルサーボを使用の場合は大電流タイプを使用してください。

●三又ハブ

- (品名) 三又ハブ 100mm ~ 1,500mm (別電源用もあります)

●充電口付スイッチ

- (品名) SSW-J
HSW-J (大電流タイプ)
* デジタルサーボを使用の場合は大電流タイプを使用してください。

●電子スイッチ

- (品名) ESW-1J (Futaba 純正コネクター)
ESW-1D (Deans Ultra Plug)

参考

●フックバンド

- (品名) フックバンド

●スティックレバーヘッド

- (品名) レバーヘッド (各種)

送信機設定

ここでの設定は**通常の使用では必要のない**特殊なものです。スティックモードの変更、スティックアジャスト（キャリブレーション）、スロットルリバース、言語の設定ができます。

ソウシンキ セットイ

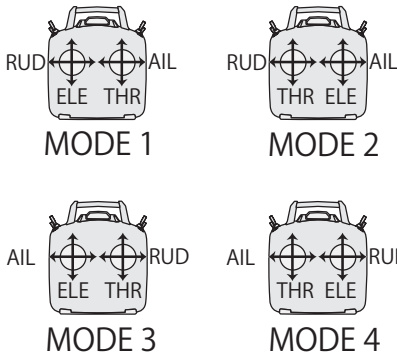
STK-MODE▶1

STK-ADJ ▶ NEXT
THR-REV ▶ NOR

MENU LANG ▶ ニホンゴ (JPN)

電源が OFF の状態で+キーと-キーを先に押したままで電源スイッチを ON します。する左の画面がでます。ホーム画面にもどすには電源を OFF してからキーを押さずに ON します。

■ STK-MODE



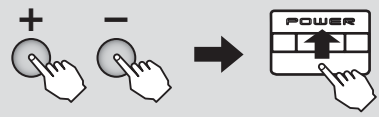
MODE1 ~ MODE4 の設定です。初期状態では MODE1 になっています。変更するにはスティックのラチェットの入替が必要です。弊社カスタマーサービスへご依頼ください。(有償改造)

■ STK-ADJ

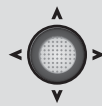
通常は使用しません。万ースティックのずれが生じた場合にこのアジャストを行ってください。正常状態では使用しないでください。

設定画面の呼び出し

- ① 電源 OFF の状態で、+キーと-キーを同時に押しながら、電源を ON します。



- ② ジョグキーでメニュー内の STK-ADJ > NEXT を選びます。

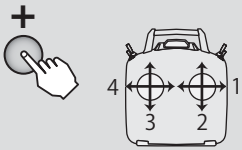


- ③ ジョグキーを押して、設定画面に入ります。

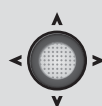


スティックアジャスト

- ① +キーでアジャストしたいスティックを1~4で選びます。



- ② ジョグキーを下に押し NEUT ■ とします。



- ③ スティックをニュートラルにしてジョグキーを押します。



参考



THR-REV

通常は使用しません。スロットルスティックが下でフルスロットル、上でスローで使いたい場合に REV にします。スティックが上のときにトリムが効き、下でトリムが効かなくなります。

※リンケージでスロットルサーボの動作を反対にするのは通常メニューのリバースで行います。この THR-REV で逆にするとスローでトリムが効かなくなります。

THR-REV の設定



MENU LANG

プロポに表示される言語を変更できます。初期設定は日本語で 7 か国語から選べます。

MENU LANG の設定



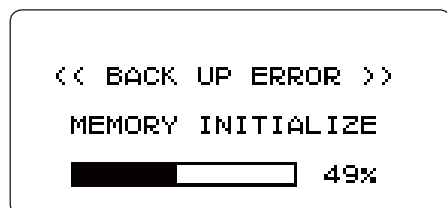
参考

送信機設定画面から通常メニューにもどすのは、電源を OFF にしてキーを押さずに電源を ON します。

ワーニング表示／エラー表示


電源スイッチ ON 時、ローバッテリー時及びその他で、アラーム表示又はエラー表示されることがあります。それぞれで処置の方法が異なりますので、それぞれ以下の方法で処置を行ってください。

■バックアップエラー



警告音：ビ・ビッ・ビッ・ビッ、(繰り返し)

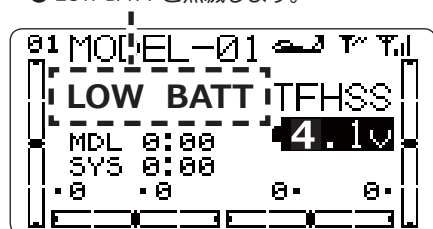
記憶しておいたデータが何らかの原因で消えてしまったときに表示されます。この場合、電源を入れ直すとすべてのデータがリセットされます。

 このエラーが発生した場合は絶対に飛行しないでください。

原因調査のため、弊社ラジコンカスタマーサービスまでご連絡ください。


■ローバッテリーエラー

● LOW BATT と点滅します。



警告音：ビッ・ビッ・ビッ--- (連続)

送信機のバッテリー電圧が設定以下(初期設定の場合は 4.2V)になると表示されます。

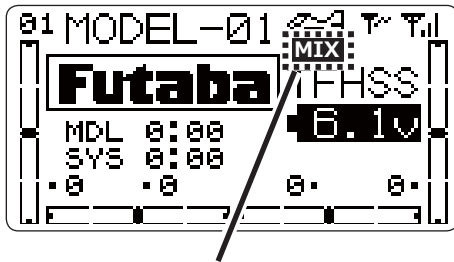
 すぐに飛行を中止し、電池を交換してください。

■ミキシングワーニング (警告)

**** WARNING ****

警告音：ピッピッピッ、休止（繰り返し）

スロットルカットを動作モード "ESC" で使用している場合は、スロットルカット SW が ON でもワーニングは鳴りません。



右記のミキシング（スロットルスティック以外）が起動状態になるとホーム画面に MIX のマークがでます。

電源 ON 時、安全上下記のミキシングスイッチが ON の場合にワーニング表示されます。このとき、ミキシングスイッチを OFF にすると表示は停止します。

(飛行機の場合)

スロットルスティック
スロットルカット
アイドルダウン
エアブレーキ

(ヘリコプターの場合)

スロットルスティック
スロットルカット
スロットルホールド
アイドルアップ

(グライダーの場合)

スロットルスティック
モーター SW
コンディション

(マルチコプターの場合)

フライト MD

(スイッチ OFF でミキシングワーニングが止まらない場合の操作)

画面にワーニング表示されたミキシングのスイッチを OFF にしても、ワーニングが止まらない場合、上記に示す機能同士が同じスイッチを使用し、OFF 方向が逆の設定が考えられます。つまり、上記のいずれかのミキシングが OFF できない状態となっています。

この場合、＋キーを同時押しするとワーニング表示が解除されます。その後、1つのスイッチに重なっているいずれかのミキシングのスイッチ設定を変更してからご使用ください。

修理を依頼されるときは

修理を依頼される前に、もう一度この取扱説明書をお読みになって、チェックしていただき、なお異常のあるときは、次の要領で修理を依頼してください。

<依頼先>

Futaba ラジコンカスタマーサービスまで修理依頼してください。

<保証内容>

セットに添付の保証書をご覧ください。
保証書の範囲内で修理をお受けになる場合は、修理品と一緒に保証書を送付してください。

<修理の時に必要な情報>

トラブルの状況をできるだけ詳しく書いて修理品と一緒に送ってください。

- 症状（トラブル時の状況も含めて）
- 使用プロポ（送信機、受信機、サーボの型番）
- 搭載機体（機体名、搭載状況）
- お送りいただいた修理品の型番及び個数
- ご住所、お名前、電話番号

(Futaba ラジコンカスタマーサービス)

修理・アフターサービス、プロポに関するお問い合わせは弊社ラジコンカスタマーサービスへどうぞ

<受付時間／ 9:00 ～ 12:00 ・ 13:00 ～ 17:00、土・日・祝日・弊社休日を除く>

■双葉電子工業（株）ラジコンカスタマーサービス

〒 299-4395 千葉県長生郡長生村藪塚 1080

TEL.(0475)32-4395